

稲沢市学校施設整備基本計画

(資料編)

2024（令和6）年8月

稲沢市教育委員会

目 次

1	稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会設置要綱	1
2	稲沢市学校施設整備基本計画策定員会委員名簿	4
3	稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会会議開催状況	5
4	稲沢市教育委員会定例会等での審議状況	6
5	学校施設整備基本計画案に対するパブリックコメント募集結果	7
6	保護者アンケートの「その他自由記述欄」でいただいた御意見	100
7	瀬戸市立にじの丘学園の視察結果について	154
8	稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿	164

稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会の設置、組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 稲沢市学校施設整備基本計画（以下「計画」という。）を策定するため、稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第3条 委員会は、次の事項について検討する。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) その他計画の策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第4条 委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから稲沢市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 保護者（子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第6条第2項に規定する保護者をいう。）
- (3) まちづくり関係団体代表者
- (4) 稲沢市小中学校長代表者
- (5) 公募による者
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第5条 委員の任期は、計画の策定が完了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、委員委嘱後最初の委員会の会議は、教育長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 委員会の会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

第8条 委員会は、必要があると認めたときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、教育委員会事務局庶務課において処理する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

付 則

この要綱は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

○稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会委員名簿

No	氏名	推薦団体・役職等	備考
1	栗林 芳彦	名古屋文理大学教授	委員長
2	富田 健弘	愛知文教女子短期大学学長	副委員長
3	鈴木 賢一	名古屋市立大学特任教授	
4	小川 紗希	小学校PTA代表	
5	曾我 菜美子	中学校PTA代表	
6	甲斐 琴音	保育園保護者代表	
7	内藤 美文	保育園保護者代表	
8	吉川 永浩	まちづくり団体代表	
9	風間 哲郎	校長会代表	
10	江崎 浩央	校長会代表	
11	平野 直海	市民公募	
12	鈴木 明裕	市民公募	

○稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会開催状況

期 日	内 容
令和5年 6月3日(土)	第1回会議 ・計画策定の目的及び策定スケジュールについて ・稲沢市の学校施設を取り巻く現状と課題について ・令和4年度市政世論調査の結果(概要)について
7月15日(土)	第2回会議 ・今後の学校施設の在り方について ～新しい時代の学びから～ ・学校規模について ・保護者アンケートについて
9月2日(土)	第3回会議 ・保護者アンケートについて ・計画骨子案について
11月18日(土)	第4回会議 ・保護者アンケート結果について ・計画素案について
12月23日(土)	第5回会議 ・計画案について ・(報告事項)今後の日程について
令和6年 3月9日(土)	第6回会議 ・パブリックコメント募集結果について ・計画案の修正について

○稲沢市教育委員会定例会等での審議状況

期 日	内 容
令和6年 3月18日(月)	令和6年第2回教育委員会臨時会 ・稲沢市学校施設整備基本計画(案)について
3月21日(木)	令和6年第3回教育委員会定例会 ・稲沢市学校施設整備基本計画について(議案第8号) 審議の結果、さらなる検討が必要との意見があり、継続審議となった。
4月8日(月)	教育委員による検討会(第1回) ・計画案の内容について自主的な検討を実施
6月14日(金)	教育委員による検討会(第2回) 第1回検討会に引き続き、計画案の内容について自主的な検討を実施し、議案第8号についての修正意見を集約
6月21日(金)	令和6年第6回教育委員会定例会 ・稲沢市学校施設整備基本計画(案)について 教育委員から議案第8号についての修正意見を報告
7月30日(火)	令和6年第7回教育委員会定例会 ・稲沢市学校施設整備基本計画(案)について 教育委員からの修正意見に対する教育委員会事務局の考え方を示し、修正内容について協議
8月16日(金)	令和6年第8回教育委員会定例会 ・稲沢市学校施設整備基本計画について(修正議案第8号) 7月30日の協議を踏まえた修正議案を再提案し、賛成多数で承認

学校施設整備基本計画案に対するパブリックコメント募集結果

1 意見募集の趣旨

学校施設整備基本計画案を公表し、計画案に対して広くご意見を伺うことを目的として、次のとおり実施しました。

(1) 募集期間

令和6年1月10日(水)から2月9日(金)まで

(2) 閲覧場所

教育委員会庶務課、市役所行政情報コーナー、支所、市民センター

※市のホームページにも掲載

(3) 計画(案)説明会 参加者：175名

開催地区	開催日時	開催場所
稲沢地区	1月12日(金)午前10時～	稲沢市民センター研修室1・2
小正・下津地区	1月15日(月)午後2時～	下津市民センター研修室
明治地区	1月16日(火)午前10時～	明治市民センター研修室
千代田地区	1月17日(水)午後2時～	千代田市民センター研修室
大里地区	1月22日(月)午前10時～	大里西市民センター大研修室
祖父江地区	1月18日(木)午後2時～	祖父江生涯学習センター多目的ホール
平和地区	1月23日(火)午後2時～	平和支所第2・3会議室

2 募集結果

(1) 意見提出者数 延べ170人

(2) 意見件数 424件

3 意見の要旨及び意見に対する教育委員会の考え方

意見の内容別に13項目に分類し、次ページ以降にまとめています。

※計画案の内容に直接関係しない個人的な見解及びパブリックコメントの実施

方法に対するご意見については、回答をしておりません。

「通学」に関するご意見

52件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	千代田小と坂田小の統廃合に反対です。小さな子どもたちが通学で1時間近くかけて徒歩通学することになります。通学路には大型車も通るため、危険です。行政は効率ばかり求めるのではなく、子どもたちがのびのびと暮らせる環境を崩さないでください。	計画案では、再編により通学距離が実際の距離で2.5kmを超える場合は、スクールバス等の通学支援を検討することとしています。 通学支援の目安を実際の距離で概ね2.5kmとしたのは、現在徒歩通学している児童で最も通学距離が長い児童が2.5kmとなっているためです。
2	片原地区では30分くらいかけて通学しており、再編するとスクールバスが必要になることから、現実的ではないと思います。	ただし、実際にスクールバス等を導入するにあたっては、学校再編・統合に向けて各地区で立ち上げる（仮称）地域協議会で保護者等の意見を聴取し、地域の交通事情（交通量や歩道等の整備状況）や同じ行政区内で不公平が生じることがないように勘案しながら検討しますので、機械的に2.5kmで線引きするものではありません。
3	徒歩での通学距離の想定を2.5キロとしているが、通学に要する時間、特に悪天候時の負担が大きくなります。児童の安全な登下校のために実施しているセーフティ・プラスワンの考え方にも反し、登下校の危険性は増すのではないのでしょうか？	また、スクールバスの運用方法については、意見にもある市立保育園との合同運用やコミュニティバスとの乗り合い、学校跡地を活用したスクールバスの発着など様々な手法が考えられますので、（仮称）地域協議会の中で柔軟に検討してまいりたいと考えています。
4	通学バスが出せないことを知りました。小学生に4キロ歩かせると1時間以上かかります。自転車もダメと聞きました。保護者が送迎すると聞いています。これでは人口減少がますます進むのではないですか？	
5	坂田小学校を統廃合すると子どもたちは暑い中を片道30分から40分かけて登下校する必要があり、熱中症のリスクがあります。学校との距離が近いことで、登校への物理的な負担が減り、不登校のリスクを下けている面もあると考えます。ある程度小さな校区であることの可視化されていないメリットは大きいと思います。	
6	ほとんどの親が仕事を持っているのに、バス通学を却下するのは無理があります。車を持っている人ばかりではなく、道程も遠いため心配が絶えません。もし統廃合するのであれば、バスの手配は必須で、教員人員確保、学童の充実など、そういった整備をした上でないと、納得しないと思います。	
7	登下校の距離と歩く時間が今以上に長くなると、熱中症のリスクが上がります。学校行事でも熱中症対策のため様々な見直しをしているのに、登下校の問題を簡単に考えてよいのでしょうか。登下校ボランティアの負担が増えることで参加者が減ってしまい、子どもたちの安全・安心が失われると思います。	
8	片道2.5キロまではスクールバス等の支援はないようですが、2.5キロは子どもの足だと1時間ほどかかると思います。私の自宅から小学校まで1.3キロですが、30分ほどかかります。もう少し通学支援の範囲を広げてほしいです。	
9	通学距離2.5キロは子どもの足では30分で歩けない。1時間はかかると思ったほうが良い。	
10	登下校の負担軽減策（スクールバスの運用）は気象条件の悪化や不審者対策などを考慮して今からでも導入して欲しい。市立保育園との合同運用はできないか。	

1 1	<p>保護者アンケートでは通学時間は30分までを保護者が望んでいるとして、通学距離を2.5kmの範囲内とし、それを超える場合はスクールバスの導入を検討するとしています。スクールバスの導入ではなく、通学距離を2.5kmの範囲内というならその範囲内に小学校があるべきです。</p> <p>児童・生徒が住む地域と学校との距離が離れることは、その繋がりが薄れることです。「子育て・教育は稲沢で」というのに、地域に小学校がなければ、特に若い世帯がそこに住みたいとは思わないではありませんか。これではその地域の切り捨てであり衰退するばかりです。</p>
1 2	<p>再編後の小学校に通うのに徒歩30分以上かかる場合は必ずスクールバスが必要です。スクールバス導入を検討ではなく、必須事項とすべきです。低学年ならなおさらです。我が家は夫婦共働きのため、送迎したくてもできません。基本計画内で、徒歩〇〇分以上かかる距離の家庭はスクールバスの対象とする、というような具体的条件を明示してください。そうでないと小学校を統廃合することに賛成できません。</p>
1 3	<p>(24ページ) 圧倒的に多くの方が30分以内の通学距離を求めています。なのに「概ね2.5kmの範囲内」としているのは疑問です。それぞれの地域、自治体でその重要性が語られ、建てられてきた小学校です。150年以上の歴史をもっています。こわさないで下さい。</p> <p>このまま再編・統合が進められれば、学校までの距離が非常に長い地域が広範囲に市内に広がることとなります。子育てしやすい稲沢市からますます遠のくこととなります。子育てしやすく、働くにも便利で、お年寄りも安心して暮らせる稲沢市のために予算を使いましょう。</p>
1 4	<p>六輪小学校を将来統合することに反対します。P31【問7】で小学校を再編・統合する場合、配慮すべき点として「子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保」が最も高くなっています。仮に統合される3校の中心に建設する場合、小学校区域図（別図1）を見ると三宅小、法立小と比べて距離が増えるケースが多くなると考えられます。</p> <p>通学距離の考え方として2.5kmを限度と考えるとあるが、時間もかかり、安全性の面からも上限は1.5kmとすべきです。2.5kmとした根拠を示してほしいです。現在2.5km以上を通過している児童が何%おり、再編案の場合に何%になるかを踏まえて検討してほしいです。また、スクールバスを導入する場合は、これまでよりも時間がかかるといけないよう、相当数の台数で運用してほしいです。運用台数をどう決めるかなどのスクールバス運用案を検討して示してほしいです。</p> <p>また、市外の学校のほうが近いケースも多く出てくると考えられるため、越境通学制度の運用についても示してほしいです。</p>

15	<p>40Pの(3)通学距離について、安全対策に対して小学生への通学支援について賛成である。しかし、スクールバスでは費用も大きくかかり、時期や時間帯による利用者の差が激しいと考えるため、シルバー人材センターの活用や現在あるバス路線を拡大するなどして通学支援する方法がよいと考える。</p>
16	<p>P.40 第4章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方 2.学校再編・統合 (4)通学距離について、遠距離通学者が極力少なくなる位置に学校を設置する、バス通学の柔軟な運用を行う(場合によっては高学年は自転車通学を条件付きで認める等)など、児童の通学には特段に配慮してほしい。</p> <p>また学区の境界地域では旧小学校区に引っ張られすぎない柔軟かつ合理的な学区設定(通学距離などの面で合理性があれば旧祖父江町に位置する場所でも平和町の小学校区に編入するなど)を行ってほしい。</p>
17	<p>学校の建物が老朽化のため、建て替えもお金がかかる、子供の数も減っている、だから統廃合する。合理的で仕方のないことなのかもしれません。</p> <p>実際に対象となる地域をみると、統廃合後は徒歩では通えないくらい学校が遠くになってしまう子供もでてくるのではないのでしょうか。そうすると、スクールバスなども検討されるのでしょうか。今の時代、バスの運転手の方も人材不足とか。そういったことは一切触れられていないのが気になりました。</p>
18	<p>祖父江町でどうしても小学校を統廃合する場合は借地料のかからない、過疎化が最も進んでいる場所で新学校を建ててください。そして住宅も誘致してください。長岡は駅も遠く、商業施設もほとんどないため、祖父江地区では最も過疎化が進んでいます。これで小学校もなくなってしまったら、誰が親の跡を継いで住むでしょうか？</p> <p>小さい子どもが重い荷物を持って雨の中遠い距離を通学させたいと思う親は誰もいません。</p> <p>40ページの(3)について、結局バスは維持費、燃料費、人件費もかかるので、徒歩通学できる最大の距離を直線距離で換算し、より多くの生徒を徒歩通学させようとするでしょう。最大の距離を歩かされる生徒は可哀想です。学校や、家についた頃には疲れ切ってしまう、勉強に身が入らないと思います。そしてスクールバスなどの通学支援とありますが、少人数のバス利用になると、結局バスも廃止されてしまうのではないのでしょうか。</p> <p>生徒が少ないから廃校されてしまうと、益々この地区は人が住まなくなるため断固反対です。</p> <p>新学校をこの地に建てるのはのであれば大賛成です。</p>

19	<p>バス通学の基準2.5キロは直線距離なのか実際の通学路の距離なのかはつきりしてください。</p> <p>直線距離と実際の通学路の距離とでは違いすぎるため、直線距離であるなら、断固反対します。</p> <p>小学生の足と大人の足とでは基準が違い過ぎる。少し考えればわかると思います。</p> <p>また、中学校は自転車通学が2キロ以上と聞いてます。小学生にそれ以上の距離を歩けと言うのでしょうか。もう少し考えてください。熱中症も考慮してください。</p>
20	<p>40Pの通学距離2.5kmを範囲ですか？</p> <p>大人が歩いてきついな距離だと思います。</p> <p>その距離を小学校1年生に荷物を持って歩けるとおもいますか？試しに稲沢職員の方で通勤距離2.5kmの方をテストしてみてください。それをできますか？</p> <p>考え直す必要があると思います。通学方法については、スクールバスを導入でしたら今までの集合場所にスクールバスを送迎すれば解決します。</p>
21	<p>通学距離を4kmから2.5kmにとのことですが、酷暑の中、大人でも大変です。</p>
22	<p>通学距離の見直しには賛成です。500m以下の距離でも大人が同伴しているのですから、安全性を考慮していただきたい。体力的には歩いてほしいのですが。</p>
23	<p>学校統廃合について、学校を減らすと子供たちの負担が増える。登下校に時間を取られる。疲れる。登下校の際、夏の炎天下を長時間歩くと死の危険がある。下校の際、警報が出ているときは大変危険である。スクールバスにした場合、受益者負担となり保護者の出費が増える。他地域で距離が長い所もあるが、それはその事情であって、わざわざ稲沢市がそれに合わせる必要はない。参考にするなら、もっと教育が充実している自治体を見習ってください。</p>
24	<p>とても楽しそうな良い学校ができるんですね。絵に描いたもちほど良いものはないです。「魅力ある」ってつけければ何でも通ると思わないでほしい。バカにしてるのか!!夢見すぎなところが多いわ!!概算で良いので通学に関する試算を数値で見せてくれないと良し悪しが判らない。ホント「塾の統合」じゃないんだから。もっと丁寧をお願いしたい。</p> <p>「自分の子供の事だと思って考えて!!自分の6歳の子供を3km歩かせる自信、あるんですね？」</p>
25	<p>P40 通学距離について</p> <p>概ね2.5kmを超える場合はスクールバスを導入する計画となっています。他の自治体事例などを十分参考にし、通学バスの安全運行および効率的な運行に努めてください。</p>

26	<p>財源確保が難しい中、スクールバスはどこから出しますか？</p> <p>12月議会では市の持ち出しで国からも県からも補助なしで瀬戸市では失敗していると聞きました。子供の人数減少で統廃合するのにスクールバスが出せますか？朝は全員一緒に登校できても、帰りは学年によってバラバラ。初めから出す気がないのでは？ということも遠くても歩けということですか？1月17日の説明会で家から学校までの距離が2.5キロ（距離は決まっていなくても）以上はバスと答えられた。隣同士で100メートル少ないからと片方は乗車、片方は歩かせるのですか？乗り遅れた子どもは？遅れる子どもが悪いとでも？なんと無情で冷たい市政か？それでどんな子どもが育つか？それは親と子に対する市のいじめではないでしょうか。</p> <p>通学の距離が長いということは暑い夏の熱中症、冬の寒くて暗い道のりを歩く子供たちの危険性は考えないのですか？距離が遠ければ遠いほど地域の人の見守りは薄く、歩く時間も長くなります。何があるかわからない今の世の中、怖いことですが市は平気で統廃合しますか？</p>
27	<p>②通学距離について</p> <p>「通学距離2.5キロ」はとんでもない距離だと思います。統廃合されればこれを超す地域がたくさん出てきます。以前は4キロともいわれていましたが…。小学生が毎日通うのですよ。晴れの日ばかりではありません。雨や風するとき、雪や寒いときなど想像してみてください。毎日通えますか。</p> <p>統廃合地域と人口密集地にある学校との通学時間における歴然とした格差が生まれてきます。学校規模を市部にある学校と同様な標準規模学校という論理で考えた結果なのです。通学時間の子供の立場で考えることが必要です。通学時間の格差をなくす上でも地域の小学校の統廃合には賛成できません。</p>
28	<p>稲沢市を全て標準規模校にする根拠は何か。通学距離は半径2.5キロから概ね2.5キロに修正されたが、それでも祖父江、平和、明治、千代 地区の児童は現在よりも通学距離や時間が長くなる児童がかなり増えることになる。低学年の児童が重い鞆を背負って2.5キロの道のりを歩くことを想像してみたことはあるのか。1つの例としてサリオパーク駐車場から祖父江中学校までが約2.5キロである。この間の通学では、児童の交通事故、不審者、熱中症など保護者の心配は絶えない。</p>

29	<p>40ページ 通学距離</p> <p>小学校の通学距離、学校から概ね2.5キロメートルとする根拠は何か。文科省は4キロメートルと示している。保護者アンケート調査では、通学時間は30分までが圧倒的に多い。学校を統廃合することにより、多くの児童は通学距離と時間が現在よりも長くなる。児童の徒歩での通学距離は半径1.5キロメートル、通学路にして2キロメートルを上限とするのが妥当である。</p> <p>また、中学校での自転車通学の範囲との整合性が生じてくる。市が統廃合を進めようとしている祖父江、平和、明治、千代田地区は中学校区と校区が同一となる。私が調査したところ祖父江中学校は半径1.3キロ以内が徒歩通学である。平和中学校、明治中学校、千代田中学校は全生徒が自転車通学可能である。つまり、この4地区の児童は学生よりも徒歩通学がかなり負担になることになる。</p>
30	<p>新しく統廃合される4地区は、ほぼ新幹線の西側に位置しており、統廃合すれば中学校区と同じになる。児童が通学する距離と時間はかなり長くなるのは明らかである。徒歩通学は半径2.5キロから概ね2.5キロと修正されたが、多くの児童が現在の通学距離より長くなる。通学路の交通や不審者対応などの安全対策は大丈夫なのか、熱中症対策はどうか、地域のスクールガードボランティアの活動は継続していただけるのかなど、保護者としては不安材料が増えるばかりである。</p> <p>また、中学生の自転車通学距離との整合性の問題が発生する。祖父江中学校では半径1.3キロ以上は自転車通学可で、以内は徒歩通学である。つまり、小学生は2.5キロ以内は徒歩通学、中学生は半径1.3キロ以内が徒歩通学ということになり、小学生の負担が倍近くになる。明治中学校、平和中学校、千代田中学校は希望者全員が自転車通学可である。こうした矛盾を地域住民や保護者はどう考えるか。</p>
31	<p>通学距離も半径2.5キロから概ね2.5キロに修正された。しかしそれでも保護者の希望である通学時間30分以内は難しい。通学距離を市独自にするなら学校規模も独自にすべきである。</p>
32	<p>P40(3) 通学距離について</p> <p>「小学校の通学距離は、学校から概ね2.5kmの範囲内」としているが、その定義はどうなっているか。「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」では「片道4kmを限度」としているが、この4kmを2.5kmにするという意味か。</p> <p>P. 24で「小学校までの片道の通学時間（徒歩）として最大限許容できる時間」として30までと答えた方が90.1%に上っています。「概2.5km」と「30分」はどのような関係になっているのか。「概ね2.5km」は「30分」以内の範囲に入っているのか。</p> <p>現在の通学距離でも途中で給水タイムを取り、安全に配慮している。今後猛暑が続くと、通学距離をさらに短くする必要があるのではないか。</p>

33	<p>「スクールバス」を走らせる条件はあるのか。通学距離が2.5 kmを超える地域はスクールバスを走らせるのか。また対象が1人になっても走らせるのか。</p>
34	<p>通学距離は概ね2.5kmの範囲内とすることについて、事務局は稲沢東小学校の鳥地区がおよそ2.5kmという答弁でした。子どもたちのことを全く考えていません。策定委員会でもほとんど議論されなかった。それ以上であればスクールバスでよいということですからまけてしまっています。今の時代本当に大丈夫かと思えます。策定委員の皆様の幼少期とは全く違っています。本当は1.5km程度だと思えます。</p>
35	<p>学校統廃合に伴って、当然の事ながら通学距離が延伸します。通学は厳冬期もあれば猛暑、酷暑の日もあります。万が一、通学中に熱中症等により命の危機が迫った場合の責任の所在について考えておられるのでしょうか。例えばバスを運行したとして、静岡で起こったような取り残し等が起こった場合、どう対処されるおつもりですか。学校等に通う子供たちは多感な年齢なので、小規模校で教員の目が届く範囲の支援のほうが校内での事故防止、不幸ないじめ問題を未然に防ぐことの可能性も多くあると思えます。</p>
36	<p>P. 40～(3)通学距離について、スクールバスなどの通学支援を実施しますをスクールバスでの通学支援を実施しますと1月18日(木)の祖父江学区での説明会で役所の担当者が発言されました。スクールバスが必ず実施されると理解してよろしいでしょうか。自宅(明治学区)から学校設置予定場所まで歩いてみました。大人の足で30分(3,100歩)でした。P. 24での通学時間の最大許容限度は子どもの足で30分です。子供の足なら45分かかると思えます。</p>
37	<p>4キロメートルという基準で本当に小学生の子どもたちは1時間以上かかって通学するのはいいのでしょうか。朝7時ごろ家を出なくてはなりません。始業時間を遅くしても、下校時刻が遅くなってしまいます。距離ではなく時間で考えることが必要である。30分間程度が妥当だと思います。現在は、見守り隊などで安全に通学しています。距離が長くなれば協力していただける方(高齢の方が多い)もどうなることでしょうか。通学路の距離が長くなればなるほど交通事故や不審者に会うことは多くなることでしょうか。本当に安心・安全は保たれるのでしょうか。</p>

38	<p>6ページ 県内市別の小・中学校数及び児童・生徒数の状況</p> <p>この資料から、児童数の割に学校数が多いと言いたいのだろうが、それは誰の目からも明らかである。だから、学校を統廃合する必要がある。全く単純な考え方である。この資料は別の角度からみることができる。田原市の学校数18である。児童数はこの表にはないが3,151名で稲沢市の約45%である。稲沢市よりも小規模校は6校もある。稲沢市より児童数の割に学校数が遥かに多いことになる。一方田原市の面積は、稲沢市の約2.4倍である。また、豊田市も市町村合併により人口と共に小学校数が75校に増え、そのうち25校が児童数100人以下の小規模校で、そのうち50人以下の学校が17校である。しかし、統廃合はほとんど進んでいない。その大きな理由は、統合したら通学距離が長くてとても通えないからである。つまり学校数の問題は、市の面積や通学距離の問題が最も大きな影響を及ぼすという現実がある。稲沢市も統合したら、2.5キロも歩かなければならない児童がかなり増えることになる。</p>	
39	<p>通学距離が2.5km以上はスクールバス等を検討すると言われたが、1年生、2年生が2.5kmを20分、30分で歩けると思いませんか。</p>	
40	<p>コミュニティバスも整備されていない中で、スクールバスを出す気があるのか。</p>	
41	<p>ランドセルを背負って小学生が2.5km歩くのは大変なことだと思う。距離について長いのではないか。</p>	
42	<p>スクールバス導入費用の試算がないのはなぜですか？ソブエルでの説明会でスクールバス導入費用が学校再編によるコスト面の効果を上回った場合、どうするのかとの問いに対して、「学校再編は教育環境を整えることが目的であり、経費削減のみを目的としたものではないため、仮にスクールバス導入費用が学校再編によるコスト面の効果を上回ったとしても、学校再編を進めるべきと考える」との説明がありました。そうであるなら、計画案に学校施設整備費用の試算や借地料の資料は不要ではないでしょうか？</p>	<p>学校施設整備費用の試算や借地料の資料については、本市の現状と課題を知っていただくための資料として記載しているものです。スクールバス等の通学支援については、対象地区との合意形成を図るための協議事項の一つとして、今後（仮称）地域協議会等で検討していくものです。現時点で再編・統合の正確な時期や、その時点での児童数、新しい学校の位置、希望される通学経路など、試算するための前提条件が決まっていないので、根拠を持った試算にならないことから、スクールバスに関する試算は示しておりません。</p>
43	<p>スクールバスの運転手は確保できるのか？1か2校に統合すると徒歩通学できる子どもがかなり限られ、スクールバスの運営がむずかしいのでは？スクールバスの運転手はかなりストレスの多い仕事だと聞きます</p>	<p>また、意見のような予算閲覧のシステムはありませんが、（仮称）地域協議会などの場では、予算の面も含めて比較検討しやすいような情報提供に努めてまいります。</p>
44	<p>スクールバスが可能かどうかを考える必要があります。運転手が確保できるでしょうか。バスの走る路線があるのでしょうか。</p>	
45	<p>通学支援として、スクールバス等の導入を検討すると記載があるが、実際どのようになるのか心配である。やるならちゃんとやってくださいということです。</p>	

46	<p>小学校が統廃合されることになると、遠くまで通学する事となり、特にこの御時世は安全の問題があるのではないのでしょうか。家族の負担というの也被えられます。少子化に拍車をかけかねないのでは、との疑念も湧きます。</p> <p>自分の住んでいる瀬戸市では市中心部の小学校が統廃合して通学バスを用意すると瀬戸市が説明したにも関わらず、予算の関係上バスは用意されなかったと聞きました。</p> <p>学校教育にかかる予算が細かいところまで気軽に閲覧出来るようなシステムが有ると比較検討出来て、制度の見直しに立ち入り易いのではないかと思います。</p>	
47	<p>スクールバスの経費に係る試算やバスの必要台数、経路、放課後児童クラブ利用者の送迎などのシミュレーションは実施していますか？</p>	
48	<p>スクールバス運行となった場合に、運転手や付き添い職員の確保は可能でしょうか。また、その経費はどうするのでしょうか。</p>	
49	<p>通学距離に関連して、スクールバスを将来もずっと次の学校建替まで本当に維持できるのかについても大きな疑問を感じざるを得ない。</p>	
50	<p>P.40「スクールバスなどの通学支援を実施」するとあるが、「スクールバスなど」とはどういう意味か。スクールバスを必ず走らせると理解していいのか。「など」は何をさすのか。</p>	<p>スクールバス以外の通学支援策としては、通学路における危険個所の改修、看板設置等の安全対策やコミュニティバスなど他の交通手段の活用などが考えられます。</p>
51	<p>40ページ 通学距離 市の示す概ね2.5キロを超える場合はスクールバス等とあるがスクールバスの他にどんな方法を考えているのか。曖昧な提案は住民を不安にする。瀬戸市では、学校統合にあたりスクールバスを走らせるとしたが、市長が突然止めると言い出して住民の怒りを買ったと聞いている。</p>	
52	<p>学校を統廃合して教職員数が減って人件費が減ったとしても、バス代等で費用がかかるなら同じことで無意味ではないかと思うが。</p>	<p>学校再編は単にコスト面を理由に計画するものではなく、標準規模化を含め、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することを目的として計画するものです。</p>

「学級規模」に関するご意見

50件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	片原一色小、明治中の卒業生ですが、片原一色小はクラス替えができませんが、教諭が一人ひとりに対応できる時間が長く、学習に関してが多人数の学級よりも理解度が高く、教諭の負担も軽いように思います。	計画案P7からP8に記載のとおり、小規模校にはそれぞれメリット・デメリットがあります。 意見にあるとおり、小規模校では小規模であることを活かした様々な特色ある教育が行われており、それを否定するものではありません。
2	学校再編・統合について、議事録を見ると「本来の価値ある学校」という発言があるが、大人の事情ではないか。子どもの目線を大切にしてほしい。単学級には単学級の良さがあり、いじめについても、早期発見、早期対応してもらえるので、困ることはないと考えます。	しかし、今後さらに急激に児童生徒数が減少し、近い将来に1学級10人未満の学級や2学年以上の児童で1つの学級を編成する複式学級が発生する可能性もある中で、体育科での球技や音楽科での合奏、グループ別学習など、様々な教育活動に制約が生じることとなります。
3	学校再編・統合した場合、先生が子どもたち一人ひとりに目をかけていただきにくくなります。現状がきっちり目をかけていただける教育環境だと思っています。	また、本計画案にも記載していますが、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」には、小規模校における学校運営上の課題が児童生徒に与える影響として「集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重したりする経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身に付きにくい。」「児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい。」ことなどが示されています。
4	祖父江町の6小学校を1校または2校にするのは大反対です。山崎小に子どもを通わせ、私自身は旧稲沢の出身ですが、1学年1クラスの良さを感じています。先生方の一生懸命さや地域との密なつながり、そんな思いやりに溢れた環境でのびのびと真っ直ぐに育っていく子どもたち。こんないい学校はありません。再編でなくなるのは悲しいです。6小学校の子どもが中学校で1つになり、更に大きく成長して巣立っていくことの素晴らしさを分かっていたいただきたいです。	学校施設は1度建築したら80年間は使用することとなります。2100年には人口が今よりも半減するとの推計がある中で、学校再編・統合を行うことなく、過少規模となった学校をそのまま維持し建て替えた場合、子どもたちにとって十分な教育活動が行えないばかりか、その費用を将来の子どもたちに負担させることとなります。 教育委員会としては、将来の児童生徒数の減少に備え、教育の公平性の観点からも、老朽化した学校施設の建替えを機に学校再編・統合を進めることで、標準規模化を図り、子どもたちにとってより良い教育環境を整える必要があると考えています。
5	計画案P39(3)標準規模ですが、この項目の最後で現に中学校の標準規模の上限を変更しているように、あくまでその数値は恣意的に変更可能なものです。 またP27のアンケート結果では小学校の適切だと思う学級数については地区によってかなり差があることが示されています。つまり地区にも子供一人ひとりと同じように個性があるのです。 このような実情があるなかで、標準規模を大きめに設定して”標準規模に満たない学校”を恣意的に作り出すことは、悪意的な”地区差別”だと言えましょう。 むしろ子供たちに”個別最適な学び”を与えるのと同じように、各地区にも”個別最適な学校施設”を与えるのが、これからの教育行政のあるべき姿であるはずで、過疎な地区の小学校の標準規模は小さいのです。それを認めていただくか、そもそも不均一な市全域に標準規模という概念を当てはめるといふ発想をやめていただく必要があります。	学校再編・統合を行うにあたっては、現状、標準規模に満たない学校であっても、地域住民・保護者・学校が一丸となって、特色ある教育が行われていることに留意し、これまでの教育成果を大切にしながら、子どもたちにとってさらなる教育環境の充実を図ることを最優先に進めてまいります。

6	<p>リニア開通を機に稲沢の発展をというのは、稲沢駅、国府宮駅周辺の発展であって、祖父江地域などの発展ではありません。児童・生徒が少なくなるから再編・統廃合というのは対症療法であって、そうした地域の発展をどうするかを考えるのが市政の役割だと思います。児童・生徒全員に先生が目が行き届く少人数学級を進めるべきで、再編・統廃合して大規模学校にすればその問題が解決するとは思われません。複数学級は望ましいことですが、それよりも学校がなくなることのほうが大問題です。学校の再編・統合はしないでください。</p>
7	<p>小規模校のメリットに対してデメリットが2倍以上あるのは小規模校の廃校ありきを前提にした恣意的な記述で、抽象的な一般論です。たとえばアに「運動会・文化祭・遠足・修学旅行などの集団活動・行事の教育効果が下がる。」とありますが、私が小規模校に勤めたときの経験では、そのような声は聞いたことがありません。また「児童生徒の多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる」とも書いてありますが、子どもから多様な発言が出るかどうかは、教師がどんな授業をするか次第です。唯一正しいと思われるのはイの「教職員1人当たりの校務負担や行事に関わる負担が重く」ということです。しかし後半の記述の「校内研修の時間」は夏休みなどに学校規模に関わりなく研修を受けているはずで、また、その次に書かれている「教員同士が切磋琢磨する環境を作りやすく」という事以前に、「教員が多忙すぎて、自己研修する教員は学校規模にかかわらず激減している」と私は教員仲間から聞いています。教員の多忙化を解消するためにお仕着せの校内研修会を減らしたりする学校管理職や教育委員会のリーダーシップが求められています。ウの「協働的な学びの実現が困難となる」という文言の「協働的な学び」とは、文科省が掲げる「主体的で対話的な深い学び」のことだと思われるが、その主旨を理解していれば小規模校で協働的な学びが困難になることはあり得ません。</p>

8	<p>計画案には小規模校のメリットも書かれているが、多くの字数をデメリットに割いている。そこに書かれた「デメリット」のいくつかを考えてみる。なお私は統廃合対象校に7年勤務した経験がある。</p> <p>①「クラス替えができない」。これはいじめ問題への不安を煽るためだろうか。しかし、クラス替えで解決できるほど「いじめ」は単純ではない。いじめはクラスなど容易に乗り越えてしまう。いじめの解決には教職員のきめ細かい指導が不可欠で、小規模校こそ可能である。</p> <p>②「行事の教育効果が下がる」小規模校こそ児童一人一人の個性を生かした行事の計画と実行が可能だ。</p> <p>③「児童生徒から多様な発言が引き出しにくく」これは教員の側の問題で学校規模とは関係がない。</p> <p>確かに小規模校ゆえの問題は少なくないが、「小規模校のメリット」はそれを補ってあまりあると感じる。私は大規模校にも「標準規模校」にも勤務経験があり、それらの良さも認めるが、小規模校より優れた教育条件があるとは思えない。教員の目が行き届かないまま、大勢の中に埋没してしまい自信を持ってないまま卒業することになる子どもが少なくない。教員は大勢の子どもを相手にせざるを得ず、それだけでも疲弊してしまい、一人一人に目が届かなくなってしまうことが多い。つまり小規模校の方がより良い教育ができると私は考える。</p>
9	<p>ICTを活用した学校づくりをするのであれば小規模校でも問題ないのでは？</p> <p>情報通信技術の使い方次第で小規模校同士を繋いでの授業ができると思います。また専門性のある授業も可能ではないでしょうか？</p> <p>また、基本計画案の小規模校のデメリットにも疑問があります。考え方、運用の方法、個人の資質、何をもってしての教育効果なのか、大規模校でも起こり得ることがデメリットになっていると思います。</p>
10	<p>「令和の日本型学校教育」の目指しているのは、小規模校のメリット（P.7）と重なるのでは？</p> <p>先行例の中で見つかる課題（思うように行かなかった）を知りたい</p>

1 1	<p>私の30数年にわたる教師経験では小規模校、少人数クラスの方がイジメが起きていません。大規模校や多人数クラスの方が教師の目が子ども達一人一人に届きにくくなるからです。私の娘は大規模校に通っていました。小学校高学年の頃にクラブ活動でイジメに合いました。そのことを娘の学校の生徒指導主任に伝えましたが、クラブ顧問も担任も生徒指導主任もイジメを知らずにいたことがわかりました。子ども達がたのしく意欲的に学ぶ授業ができていると子ども達と教師の信頼関係が厚くなります。そうすると子ども達の中で危ない状況が起きると「あの子たちやバイよ」と子ども達からのヘルプサインが教師の耳に入ってきます。子ども達と教師の本音で語り合える信頼関係の醸成こそが、何よりイジメ防止に役立つことだと思います。私は教員退職後に子どもの人権擁護機関で相談員をしており、イジメの問題もよくあったのですが、小規模校の事例は少なかったと思います。学校統廃合に関わる経済的な合理性は大人の都合です。学校を子ども達にとってどうすると良いかを考えた後で、納税者である保護者の皆さんが経済的なことの知恵を出し合っていくと良いと思います。</p>
1 2	<p>・複式学級について P.4、別表2を見ると、小学校23校の中でも長岡小学校の児童数減少が他校に比べて極端に顕著で、全校児童数が約半数減、学年児童数も半数の学年が一桁である。これは標準学級云々ではなく単学級も危ぶまれる危機的状況である。愛知県、稲沢市の基準では2学年総数14人以下で複式学級が実施されると認識しているが、資料によると令和11年度の長岡小学校3、4年生のうち一人でも特別支援学級への編入や転出等があれば複式学級が実施されることになる。このような状況は資料や説明会でも紹介されておらず、また、複式学級についての情報周知が一般的とは言えないため、市民の多くが現状を理解していない。少人数学級、単学級のまま統廃合せず各校の存続を望んでいても、複式学級となると話は変わってくるのではないかと。遠い未来ではなく、現実問題として複式学級導入の可能性があることを広く市民に公開するべきではないか。また、稲沢市は現時点で複式学級に関する対策や教職員への研修等の実施計画があるのか。</p>

1 3	<p>・たてわり班と複式学級の効果</p> <p>長岡小ではたてわり班での活動が盛んに行われているようです。たてわり班での活動は、同学年の児童との関わりだけでは得られない成長があります。また、山間部や離島の小規模な学校では、複式学級という二つ以上の学年をひとつにした学級編制が取られることがあります。これには同一学年だけで固められたクラスにはない様々な利点があることが知られており、教育研究のためにいくつかの国立大学法人附属小学校で複式学級編制が採用されています。複式学級の利点は、年長者が年少者に「教える」ことにより教育効果を発揮する、人間規模があまりに小さいので喧嘩やいじめが起きにくいなどがあります。欠点としては、人間関係の葛藤を経験する機会に恵まれない、適度な競争意識を持たせることができないなどがあります。複式学級の欠点を補うため、インターネットの活用などの工夫をしている学校もありますが、小規模校でも応用できると思います。</p> <p>今回の計画案は小規模校を無くすことに重点を置きすぎて、このような観点からの考察が足りていないと感じます。同学年の児童による関りに固執する姿勢は理解に苦しみます。</p>
1 4	<p>学校の再編については、基本的には賛成です。</p> <p>長岡小学校は、現在いわゆる小規模校の部類で、児童一人一人に対して密接な学習指導が行われている、児童一人一人が意見を述べる機会が多い、保護者同士も顔見知りが多い等小規模校としてのメリットを感じていますが、私は、「学校」は、集団での行動における協調性、規律を学ぶ場であると思っています。また、現在、各学年の児童で構成する縦割りグループによる集団行動を実施しており評価していますが、やはり、各学年クラス単位であったり、クラスの中でもより多くのグループを作り切磋琢磨するのが、学校で学ぶうえで、あるべき姿ではないかと思います。</p> <p>運動会や学習発表会(学習発表会は、他校でも実施されているかは分かりかねますが・・)において、他校よりも演目が少ないので、児童にとって、これでよいのかと考えてしまいます。</p> <p>現在、祖父江地区には、6つの小学校があり、中学校は1つであり、中学生へ進級した際、人数のギャップを感じ子どもが少なからずいますので、こういった面からも小学校の段階から多い人数で学習したほうがよいかと思っています。</p>

15	<p>計画案を読んで稲沢市としては標準規模に満たない小学校は再編・統合を進めたいこと、また教育については「令和の日本型学校教育」の姿の中で[全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現]を令和時代の目標としていることが分かりました。この教育目標達成の観点から小学校の統廃合が妥当であるか考察していきます。</p> <p>始めに「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」ですが、これは少人数の方が実現しやすいと考えます。個別最適というならばその子の得意不得意に合わせて授業を行うことが理想的だからです。大人数であれば1人ひとりに割ける時間が短くなり個別学習に対応するのは難しいと考えます。</p> <p>「子供の学びや教職員を支える環境」において「少人数によるきめ細やかな指導体制」とあり、統廃合で学級人数を増やすと目標に矛盾すると考えます。また、いじめが起きる原因として子どもの家庭環境まで教師が把握出来ないことが挙げられます。小人数学級では物理的に1人ひとり観る時間が多くなるので、家庭環境も把握しやすくなると思います。P2の「新しい時代の学びを実現する学級施設の在り方(5つの方向性)」でも、ゆとりある教室の整備、個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペースなどは少人数の方が自然とゆとりある教室になると考えます。</p>
16	<p>統廃合にて学級人数を増やすのではなく少人数学級を存続させることが「令和の日本型教育」や「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の目標達成や地域コミュニティの維持に繋がると考えます。そもそもWHOの学校規模の基準は100人を上回らない規模(6学年なら1学級16人以下)を推奨していますので統廃合は妥当でないと思われます。その他にもアメリカの社会学者コールマンらがまとめた教育実態調査で小さな学校ほど子どもの学校への帰属意識や愛着が強くなり、学習態度も能動的になることが実証されているので小規模学校は主体的な学びを得ることを目標としている令和の日本型教育に合っていると考えます。</p>
17	<p>P.4 小規模校でなぜダメなのですか。近い友人が多くなり、先生も目が届きやすいのでは。2029年の推計人数はもっと加速するのでは？このような立地では若い世代は住みにくいです(引っ越しする時は必ず小学校までの距離が明記されています)。</p>
18	<p>P.3、P.41 学級の児童数は少ないほうが学ぶほうも教えるほうも負担が少ない。</p>
19	<p>二つ目は各学年は2学級以上、小中一貫した教育課程にこだわっているようですが、7ページにある①小規模校のメリットでいいのではないか。</p>

20	<p>P.22 再編・統合の根拠のひとつに、複数学級がいじめ対応に有効との考え方が示されているが、クラス替えは年度ごとにならざるを得ず（担任制）、いじめ対応に求められる即応性があるとは思えない。学級数を問題とするならば、できる限り現状の学校配置を維持することを基本として「1学年2学級まで」を追求するのが望ましく、必要なら学年統合の学級も考慮されて良いのではないかと（教員配置数の問題は別途解決の道を探るとして）</p>
21	<p>①学校規模について 学校は地域の要です。落ち着いた学校教育が行われ、地域の暮らしが安定してくれば人は集まってくるでしょう。単なる住宅地でなく、そこでの暮らしが成り立つという産業の育成も含めた取り組みが必要ですが、1つのコミュニティとして作り上げていくことが求められます。 何よりも教育に対しての展望を持った投資が必要です。何のためにお金を使うかという哲学が必要です。私は安易な統廃合によって小学校が大規模化することに反対します。</p>
22	<p>ウ 学校運営上の課題が児童生徒に与える影響について 小規模校の方が、人間関係（子ども・保護者・教職員）が良好で、トラブルや、問題も少ない。</p>
23	<p>①学校規模について 稲沢市西部の農村地帯にある小学校の児童数減少に伴って、学校の存続が可能かどうか標準規模の学校と比べて論じられているが、この論理でいくと、「過疎」はすべて切り捨てられていくことになってしまう。 日本の公教育の歩みを見ると、1学級の児童数は長い年月をかけて少人数学級に向かってきているように見えるが、現在のところやっと40人から35人学級への移行が始まったという段階である。 不登校問題や時代に要請される教育内容、それに伴う教員の過重労働問題など教育現場には問題が山積している。今こそ少人数学級、小規模校の良さが見直されるべきではないのか。統廃合して大規模校の実現などもってのほかである。大規模校での少人数学級が可能ですか。とんでもない問題が出てくるに違いありません。</p>

24	<p>学年1学級のクラスは、児童一人あたり活躍する場面が多い。児童会・委員会・クラブ活動などは、企画・提案・実践などを含めたリーダーに誰でもなれるチャンスがある。その経験こそがいろいろな場面での考え方や相手の気持ちになって行動できる、協力できる心、意識が育ちやすい。これが大人への第一歩である。</p> <p>学級の人数が少ないことで先生方の目が子どもたちに届き、子どもたちのいいところや活躍する場面を細かくみることができ、声をかけやすく教師との関係も深まりやすい。</p> <p>統廃合で一小一中の考え方は、一年でいじめなり、不登校になった場合は9年間同様なことが続くと考えられる。</p> <p>学習場面では、確かに多様な考え方は人数の多い学級の方がいろいろな角度から考えが多く出やすい。これは標準規模とは関係ないと思われる。</p>
25	<p>学校規模は小規模でもその地区の特色を生かした新しい未来のある学校を目指すべきである。小さな学校の特色とは、つまり小規模校の最大のメリットは、少人数で移動でき活動しやすいことである。校内では異学年交流や縦割り活動が容易にでき、地域の自然を生かした田植えや稲刈りなどの体験学習、地域の工場や老人福祉施設での探検、体験活動など、小規模校ならではの学習が可能であり、同学年の仲間を超えた幅広い人間関係づくりができることである。</p>
26	<p>P.7~8 (4) 学校が小規模化することの影響②小規模校のデメリット</p> <p>ア 学級数が少ないことによる学校運営上の課題について、</p> <p>クラス替えができないと人間関係が固定することを単学級のデメリットとしているが、少人数学級・小規模校の方が良好な人間関係を築きやすく、将来に渡って長く付き合える親友ができることが多く、互いに励まし合い、生き方を含め切磋琢磨しあう関係になれる。「互いに励まし合える」人間関係が大切であり、学級の数や学校の規模はあまり関係ないのではないか。</p> <p>多人数での切磋琢磨は、排他的競争関係になりやすく、自分本位な子どもに育ったり、心が傷つく子を生ま出ししたりする恐れがある。小規模校だから、「いじめられやすい子を守ってくれる友達」や「そばにいてくれる友達」が出てくることも多い。家庭や地域も暖かく見守ってくれ、いじめ問題が生じて、「孤立化」や「深刻化」といった事態になることが少ない。また、「集団活動、行事の教育効果が下がる」と記述されているが、子どもたちの育ち、学びに大きな影響があるのか。むしろ、「小さな学校」、「小さな学級」が世界の流れ、学校の統廃合は世界の流れに反する。子ども一人一人に目が行き届き、どの子も大切にされる学校にしていくべき。</p>

27	<p>OECD加盟国の小学校一クラスの平均人数は平均21人です。教師の過剰な負担を減らして、1人ひとりに目が届き学力を伸ばしていき、いじめを無くすためには、少人数の教育を目指す計画こそが必要です。（子育て・教育は稲沢で）岡崎市は、すでに32人の学級を始めています。先生を市独自に採用しています。クラス替えがいじめを無くすことにはなりません。根本の解決にはならないから。「切磋琢磨」とは「多人数での競争」ではありません。「励ましあい、教えあい」です。競争は「一部の勝者とその他大勢の敗者」を生み、子ども達を傷つけ追い込むだけです。</p> <p>「統廃合」の基準にされている「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」にある「学校標準規模」について、2023年3月議会で教育委員会は「教育学的研究成果に基づいたものではありません。」と答弁しています。さらに「統廃合により町が元気になった事例があるか。」との質問には答えがありませんでした。全国の小学校の約半数は「標準規模」以下だといいます。能登半島地震で再開された珠洲市の小学校のニュースでは「全校児童が34人、始業式には4人が出席した。」と伝えています。</p>
28	<p>P.7~8 (4) 学校が小規模化することの影響について記述しているが、小規模校が問題で、標準規模校が問題ない=いい学校だという教育学的な根拠はあるのか。</p> <p>新型コロナ感染流行時に問題になったのは「40人学級でいいのか」だった。クラスを半分に分けての授業を機に35人学級への移行が始まった。しかし35人学級でも多すぎるという声があり、30人以下の少人数学級を（喫緊の課題として）めざすべきではないか。愛知県内でも自治体独自の措置で少人数学級を実施している。学校とは趣が異なるが、学習塾では少人数・マンツーマン指導(1:1)が当たり前になっている。</p> <p>少人数学級を実施している自治体名古屋市 豊田市 岡崎市 新城市 豊明市 知立市 犬山市 みよし市</p>
29	<p>統廃合は市民（保護者、子供）から要求したものではありません。先日地元紙の説明会の記事を読みました。説明会では多くの方が反対、知らなかった人も多かったようです。少人数学級は子どもにとっても教師にとってもより良い教育ができます。今回の統廃合は中止すべきです。</p>
30	<p>少人数学級で子供にも先生にも心にゆとりある場所に</p>
31	<p>P.39 「明日また行きたい学校」、「輝く学校」とは施設の良し悪しでなく、人と人とのつながりであり、教職員が声をかけ、把握できる児童数であるべきだと思います。</p>

3 2	<p>P. 39 標準規模を24学級とせざるを得ない地域が現状としてあるのかもしれないが、標準規模を「12学級から24学級」と設定しているのは、周辺地域を無視した発想ではないか。</p>	
3 3	<p>祖父江町、平和町、明治・千代田地区の学校の標準規模を12学級から6学級に変えれば、何ら問題は生じないのではないか。</p>	
3 4	<p>計画案の具体的な検証はいつから、どこで始まったのですか？ また、その検証に市内の地区特性に応じた検証がされたのですか。「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」の「2. ア 稲沢市の小中学校標準規模」の形式的適用があるのでしょうか。そこには、稲沢市内でも地区の多様性があり、万が一、市内中心部の数値的結果を市内一律適用があるとすると、多様性のある地区特性を反映していないことになりませんか。</p>	<p>計画案については、令和5年6月の第1回策定委員会を皮切りに、策定委員会及び事務局において検討しています。 また、計画案における標準規模については、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を基に、策定委員会や保護者アンケートにおける意見を踏まえ、見直しをしているものです。その際に、「小規模校が多い地区においては4学級以上の学級規模は望まない」との保護者アンケート結果を受け、標準規模の範囲内で適正な学校規模を検討することとしています。（計画案P39（3））</p>
3 5	<p>別表2に具体的な再編の「対応案」が示されていますが、これは、どこで検証し議論されて示されているのですか教えてください。その際、「対応案」の地域に与える影響について具体的に検証された内容について教えてください。</p>	<p>計画案別表2の対応案についての考え方は、計画案P39（3）標準規模のとおりです。 学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。学校再編によって地域に学校がなくなった場合、これまで学校が果たしていた教育以外の役割をどのように継承するかということについては、大きな課題だと考えています。そうした中で、（仮称）地域協議会などの場で、地域の団体とも協議しながら、新しい学校づくりが新たな交流を生み、魅力ある学校づくりにつながるよう進めてまいりたいと考えております。例といたしまして、教育活動の継承やモニメントの移設、また、子どもたちの学びの時間や安全性を確保しつつ、地域開放可能な多目的室や会議室、学校図書館などを新しい学校施設に整備するなど、新しい地域の核としての機能についても検討してまいります。</p>

36	<p>計画案の標準規模が「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を機械的に踏襲してのことであるなら、その影響について、様々な角度から検証すべきである。</p> <p>この標準規模の形式的適用を前提とするなら、小学校区の地域間格差が著しく拡大し、「稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）」による将来ビジョンが描けず、地区の「消滅可能性リスク」が著しく高まる。</p> <p>例えば、旧祖父江町と旧平和町の小学校数は、現在全23校中9校ですが、再編後は祖父江地区1校となった場合、全12校中2校と市内小学校における構成比が下がります。市内で約4割の面積を占める旧祖父江町・旧平和町に小学校が2校しか存在しない。そのような地区には、次を担う若者が来なくなり、子供たちも学生時代から地元離れが著しくなることが見込まれ、30年後には地区消滅のリスクが著しく高まることが想定される。</p>	<p>学校の適正な規模については様々な考え方があり、教育学的な見地から統一された学説がある訳ではありません。しかし、文部科学省は「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～（平成27年1月）」の中で、学校規模の適正化に係る基本的な考え方として、教育的観点から「学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要になります。そうした教育を十全に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいものと考えられます。このようなことから、一定の学校規模を確保することが重要となります。」としています。</p> <p>また、「12学級以上18学級以下」とする国の標準規模について、学校教育法施行規則第41条ただし書では「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」としております。したがって、稲沢市も地域の事情を勘案しながら、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進していくために、どの程度の学校規模がよいのかという視点で議論を重ね、小学校では「12学級（各学年2学級以上）から24学級」、中学校においては「6学級（各学年2学級以上）から24学級」とする、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を平成26年に策定しました。</p>
37	<p>別表2に記載されている「学校施設の標準規模」に定まった学説はないと説明会で聞いた。また、稲沢市は「子育て教育は稲沢で」と宣言していることから、小学校統廃合によって若い世代が住みにくくなり過疎化が加速する可能性等のデメリットよりも、標準規模にとらわれない財源第一でなく、少人数学級による教師の負担軽減や子供目線の教育を実施して、地域の活性化を含めた他の市町村の見本となるような稲沢市独自の教育施策を実施してほしい。</p>	<p>また、「12学級以上18学級以下」とする国の標準規模について、学校教育法施行規則第41条ただし書では「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」としております。したがって、稲沢市も地域の事情を勘案しながら、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進していくために、どの程度の学校規模がよいのかという視点で議論を重ね、小学校では「12学級（各学年2学級以上）から24学級」、中学校においては「6学級（各学年2学級以上）から24学級」とする、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を平成26年に策定しました。</p>
38	<p>「標準規模」なる根拠のない基準で、統廃合が進められることに問題がある。</p> <p>①「標準規模」に満たない学校は統廃合が必要（その言葉自体、まず統廃合ありきの発想）となっているが、そもそも、1学年1学級では教育成果があがらない、という根拠が希薄である。むしろ小ぶりの学校・学級でこそ行き届いた教育ができ、発達が保障できる。</p> <p>②「標準規模」という規定は、2014年の「学校のあるべき姿」ですでに設定されたもので、今回は関与しないというであろうが、それは、詭弁である。「あるべき姿」では、中学校の標準規模を、6から24学級と設定していた。だが今回、それを6から18学級へと変更している（現に変更しているではないか）。付け加えるならば、施設設備の計画を検討する会で、そこまで踏み込む権限があるのか。また、10年で標準規模が大幅に変更となる—それは標準という名に値しない。となれば、統廃合の根拠そのものが崩れていると言わざるを得ない。</p>	<p>計画案P39（3）の標準規模は、この「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」の基本的な考え方を踏襲しつつ、保護者アンケートの結果や直近の児童生徒数推計に基づき、見直しを行ったものです。</p> <p>なお、本計画案では、学校教育法施行規則における学級数の規定を準用し「標準」という表記にしています。</p>

<p>39</p>	<p>・標準規模の恣意性、脆弱性について 稲沢市では、国の「適正規模・適正配置」に倣って標準規模を定めていますが、計画案でそれを変更しました。稲沢市の標準規模が恣意的な性質を持つことがこれで明らかになりました。市街地の小学校の標準規模は12～24学級かもしれませんが、祖父江地区等の標準規模は6～12学級としてください。それに当てはめれば、再編は必要ないと思います。祖父江地区等は面積が広く、再編・統合により通学に困難が生じます。「適正規模・適正配置」の由来をご存知でしょうか？昭和の町村合併の時代に、人口が8千人程度の自治体が行政効率上良いとされました。人口8千人だと中学生は何人くらいで何学級ほどになるか…これが「適正規模・適正配置」の始まりです。教育的効果があるなどの学術的な根拠はありません。そのような具体的な根拠に乏しいものに倣って、稲沢市の「標準規模」は定められているわけです。先日稲沢市教育委員会の定例会を傍聴した際に、教育委員の一人が、標準規模の学術的根拠について市教委事務局側に質問しておりましたが、回答としては不適切なものであったと感じました。具体的にどのような学術論文があるのかを導けなければ、論拠として不十分です。標準規模の脆弱性についてどのように回答いただけるのでしょうか。</p>
<p>40</p>	<p>・ダンバー数とコミュニティの適正規模 皆様はダンバー数というものをご存知でしょうか？ロビン・ダンバーという人類学者の提唱するもので、人間にとって平均150人（100～230人）が「それぞれと安定した関係を維持できる個体数の認知的上限」であるとされています。この理論は霊長類の脳の大きさと平均的な群れの大きさとの間に相関関係が見られたことから導かれました。因みに、ダンバー数を超えると、グループの団結と安定を維持するためにより拘束性のある規則や強制的なノルマが必要になると考えられています。 そこから導かれることは、全校生徒数100名ほどというのは、理想的な規模であるということです。児童同士も学校中のほぼ全員の顔と名前が一致するし、教員も然りです。児童と教員のより良い関係が築けるのではないのでしょうか。実際に、現職の先生に「学校中の全員の顔と名前が一致する」ことの満足度についてお尋ねになられてはいかがでしょうか。 230人以上の規模の学校にコミュニティとしての意味はあまりありませんし、より拘束性のある規則が必要となるため、子どもたちにとっては居心地の良いものではなくなる可能性があります。テクノロジーがどれだけ発達しようとも、人間の進化はゆっくりです。効率のためにコミュニティを大きくしようとしても、それはうまくいかず、必ず揺り戻しがあるのではないのでしょうか。</p>

4 1	<p>2014年の「稲沢市の 義務教育と学校のあるべき姿」では、中学校の標準規模は6～24学級とされており、今回変更された18学級と大きく隔たっている。10年の間にこれほどズレを生ずる標準は、標準のていをなしていない。となれば、小学校の標準規模もまた根拠が希薄と言わざるを得ない。</p>
4 2	<p>39ページ 標準規模 第5回の基本計画策定委員会で、中学校の標準規模の上限を24学級から18学級に修正された。このように、標準規模は市の実情に合わせて容易に修正できる。 国の標準規模を示す法律は「義務教育諸学校の施設費の国庫負担に関する法律」であり、統合したことによって標準規模になれば、国は新築又は増築に要する費用の2分の1を負担するというものである。もう一つは「学校教育法施行規則」である。第41条では「ただし、地域の実態その他により特別な事情のあるときはその限りでない。」としている。2022年に文科省が全国の小学校19,055校を調査したところ標準とされる12から18学級の学校は6,330校で全体の33.2パーセント、11学級以下の学校は9,458校で全体の49.6パーセントにあたり標準規模校より遥かに多い。中学校の標準規模は同じ12学級から18学級であるが、稲沢市の標準規模は6学級以上となっている。これは地域の実態による特別な事情として下方修正されたことになる。そうであれば、小学校も6学級以上と下方修正しても問題はない。要するに、国の示す標準規模より地域の実態が優先されるのである。</p>
4 3	<p>P.39 (3) 標準規模について 文科省は公立小中学校について「適正規模」という表現を用いている。「適正規模」と「標準規模」は何が違うのか。もし同じ意味だということであれば、なぜ「適正規模」という言葉を使わないのか。「適正規模」といえない理由は何か。「標準規模」でないとなぜいけないのか。 「標準規模」が優れているという教育学上の根拠はあるのか。 P.7で「小規模校のメリット」にふれながら、なぜ「標準規模」でなければならないのか。なぜ「小規模校のメリット」を生かした学校づくりを行わないのか。</p>
4 4	<p>[1]学校統廃合ありきの「稲沢市学校施設整備基本計画（案）」（以下策定計画）を白紙に戻し、すべての小学校を存続させること。 「標準規模」（各学年2学級以上）に満たない学校は廃校・統廃合が必要とされているが、そもそも1学年1学級では教育成果が上がらないという教育的知見があるのか。おそらくない。私の教職経験（38年）から言えば、逆で、小ぶりの学級・学校の方が行き届いた教育ができる。今回の策定計画は、入れ物ハコのみが取り上げられ、眼目である教育の中身・ありようが問われていない。</p>

45	2クラス以上でないと教育の成果が上がらないという報告はあるのかどうか。	
46	35人学級を標準として計画が立てられているが、定員を「35人」とすることの検討は行われているのでしょうか。「子育てしやすいまち」として若年層の呼び込みを図るのであれば、国や他市町村に先んじて学級定員を小学校25名、中学校30名とし、少人数教育を行っていることをアピールすることは有効ではないでしょうか。山梨県では既に小学校25人学級が実施されています。中央教育審議会「令和の日本型教育」の構築を目指して（答申）」でも目指すべき姿として「少人数によるきめ細やかな指導体制」とあります。目指すべき方向性はクラス替えを行うための1学年複数学級ではなく、少人数学級ではないでしょうか。上位計画も含めて「35人」を見直し、少人数学級を市の方針として定め、必要な課題を洗い出し検討をしてください。	現時点で国の基準である「35人学級」を見直す考えはありません。 学級定員を引き下げた場合、学校規模が比較的大きな学校では標準規模を超え、大規模校となること、また、逆に小規模な学校では現時点で既に多くの学級で1学級あたりの児童数が30人を下回っており、学級定員引き下げによる効果が見込めないことが理由です。
47	(2ページ) 中央教育審議会「令和の日本型教育」にもある、「人口減少地域においても、魅力的な教育環境が実現されている。少人数によるきめ細やかな指導体制」を進め、魅力ある稲沢市にしましょう。	本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場として学校施設を整備するにあたり市内の学校全体の整備方針とスケジュール目標を示しています。 そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのため、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。
48	超少子化社会を迎え、近い将来は現在の教員数不足から教員数過剰の時代が来る。国のこども家庭庁が今年度76年ぶりに4歳児の配置基準を30人から25人に見直した。小学校においても、それに併せて欧米のように学級規模が35人学級から30人、25人学級へと適正化されていくはずである。つまり、学校規模だけでなく学級規模が大きな問題となっている。	御意見のとおり、本市でも学級規模の小規模化が進んでおり、今年度は約7割の学級が30人以下となっております。6年後の2029年度の1学級あたりの児童数は、今年度と比較して更に2.7人減少する推計となっており、過小規模となった学校では将来的に複式学級が発生する可能性もあることから、学校再編・統合により適正な学級規模を確保できればと考えております。
49	イ 教職員が少なくなることによる学校運営上の課題について 教職員一人当たりの公務負担や行事に関わる負担が重く、行内研修の時間が十分確保できない。教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達がなされにくい。教員の定数が少ないのが問題。先生の数が必要で困っているのが現状ではないか。	教員配置は、学級数に応じて基準が設けられており、現状の配置基準は、課題の一つと認識しています。
50	小規模校のメリット、デメリットが記載されているが、なぜ抜粋したのか。どうして全部記載しなかったのか。	文部科学省が公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に記載されたものを掲載しており、手引きでは、小規模校のメリットについて9項目、デメリットについて34項目挙げられております。この中から、本市にも該当する項目を中心にメリットから7項目、デメリットから18項目を記載したものです。

「アンケート」に関するご意見

28件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	保護者アンケート対象世帯ですが、1回のアンケートでそこまで深く考えて回答する保護者はいないと思います。アンケートの結果は、学校再編に賛成8割、反対2割となっていますが、それは旧稲沢市など統廃合がない地域に聞いているからではないですか？	本計画案は、子どもたちにとってよりよい教育環境はどうあるべきかという、「教育施設としての学校」を主眼に策定しているものです。このため、アンケートは、現在小学校に通っている、または近い将来に通う予定の児童を持つ保護者を対象に、小学校高学年と低学年から各1学年、また、未就学児童のうち就園している児童から1学年を抽出して調査したもので、統計上も有意な数の調査対象数となっており、学校施設や教育環境に対する意向を適切に把握させていただくことができましたと考えています。
2	基本的な説明が住民に不足している。アンケートも全学年対象にしていないことから不当である。	また、集計・分析については全体での集計・分析のほか、地区別での集計・分析も実施し、計画案にも記載しています。
3	セグメント別で分析されるとより現状が見えるのではないかと。稲沢市でも過疎地域（1学級標準に満たない）の親や、子供が1～2歳の親、など。小学生の親では、統廃合が10年以上先であるため、自分事に考えにくい時間軸の計画だと思いました。本当に困っている方々がいる地域、世代は細かく見てみると、真意を把握できるのではないかと。	設問の一部が学校再編・統合の結論を導くための恣意的な内容ではないかとの意見ですが、そもそも今回の保護者アンケートの趣旨としては、学校再編・統合の是非を問うものではありません。教育委員会では学校再編・統合は避けては通れないものと考えており、子どもの数の減少や学校施設の老朽化といった課題がある中にもあっても、さらなる教育環境の充実を図るといった視点で、学校施設や教育環境に対する考えを聴取し、あわせて、将来学校再編・統合を実施するとなった場合に、学校再編・統合に対する考えや、学校再編・統合に際して配慮すべき点などについて、保護者の意見を聴取することで、将来的な学校施設整備に関する基礎資料とすることを目的として実施したものです。
4	基本計画（案）第3章の「学校施設整備に関する保護者アンケート調査の結果」ですが調査対象の選定の仕方などが、学術的な調査をする時の統計学の検定に耐え得ない方法で行われています。保護者や当事者の意見が分かれることが想定される計画についてのアンケート調査であるからこそ、学術的な調査の統計学的な検定にも耐えうるような方法で実施する必要があります。策定委員会に参加する学識経験者がこのような方法と内容のアンケートを実施することに異議を唱えなかったのだとしたら、その方の学識が問われます。大学や大学院の研究ではこのような統計学の知見を無視した研究や論文は通用しません。	調査対象や内容については、策定委員会で検討していただいた上で、作成しています。
5	本来のアンケートについて、決定前に、校区の声、地域の声と合わせて、保育園、小・中在学の全保護者の意向をアンケートによって聞くべきである。その際、学校教育法施行規則による学校の標準規模により、これまで現状維持を進めてきた経緯があり、「現状維持」の選択肢をつくってから実施すべきである。さらに、子どもの意見表明権の観点から地区説明会でも意見が出たように児童へのアンケートも実施すべきである。	
6	保護者アンケートだが、その内容も統廃合に誘導するかのような設問も問題だが何より大きな問題は、アンケートの対象が小学校の5年生と2年生の保護者及び幼稚園等の年中の保護者のみに偏っていることだ。地域の財産でもある学校を廃校にするような重大な問題を、このような一部の市民によるアンケート結果を根拠に決めて良いのかも大きな問題だ。	
7	・第3章の保護者アンケートの調査対象が幼児、小学生の保護者全体にならなかったのはなぜでしょうか。 計画策定の基礎資料とするならより多くの意見を抽出することが必要と考えます。今後の調査の在り方を検討いただきたい。	

8	<p>・アンケートについて</p> <p>再編がない地域と、再編該当地域では、アンケート結果に差異が生じるのは当然予想されることです。まずはその二つに分けてアンケートをそれぞれ作成し、再編該当地域においては、入念に統廃合についての説明をした上でのアンケートを実施しなければ、真意を汲み取ることはできません。</p> <p>また、小5、小3、年中の子どもを持つ保護者だけを抽出してアンケートに回答させるのは、母集団を表しているとは言えず、統計学的に正しいとは言えません。</p>
9	<p>・保護者アンケートの結果をどこまで取り入れるか</p> <p>保護者にアンケートを取るのはいいのですが、その結果をどこまで反映するかは慎重になった方がよいと思います。保護者は教育に関しては素人であることが多く、知見も十分でない可能性があるからです。また、アンケートの回答は主観的なもの（あるいは自身の経験に基づくもの、誰もが自分が育った環境を普通と考えます）である場合が多く、客観性を欠いている場合も多いです。</p> <p>公共施設をどのようにしてゆくかで利用者にアンケートを取るのはいいですが、注意すべきは学校は単なる公共施設ではなく、「子どもの教育機関」であることです。</p> <p>保護者の意見を反映して、保護者の消費者的態度を助長することは、歓迎されることではありません。噛み砕いて言うと、モンスターペアレンツを増やす結果となります。それよりも適切に選定された学識経験者の意見を聞き、教育的に正しいものにするべきだと思います。</p>
10	<p>第3章 保護者アンケート について</p> <p>特定年齢の子どもがある家庭に対して行われているが、集計では学校規模が考慮されておらず、人数の多い学校の保護者の意見が重視される傾向になっている。</p> <p>問5では複数学級を望む保護者が大半と分析されているが、1学級の人数は考慮されていない。いかにも保護者が複数学級を望んでいると思わせる結果だが、1学級の人数が40人になる事を望んでいる訳ではないと思われる。</p> <p>問6では「再編・統合を進めることに83.0%の方が一定の理解を示している」と分析しているが、アンケートが「再編・統合は仕方がない」と思わせるようとする流れで「仕方がない」と答えた保護者が多いと思われ、それは小規模校が多い地区で「現状のまま」を望む回答が多いことから予想される。</p> <p>問7は3つ選択できるが、アンケート対象が子どもを持つ保護者で有り、子どもへの影響が大きい順に選択したならばごく当然の結果で、再編・統合ありきでアンケートが作成されている。</p>
11	<p>29Pのアンケートについて 選択肢の中に「現状の学校配置が望ましい、老朽化した学校施設は改修すればよい」がなく、「小学校の再編・統合を進めるのは仕方がない」の方へ誘導してはいないか？</p>

1 2	<p>学校施設整備に関する保護者アンケート調査ですが、稲沢市の全校の保護者にアンケートをするべきだと思います。</p> <p>今回の調査では年中、小学校2年、5年のみでの調査ですが、この保護者のみのアンケート結果で話をすすめるのはおかしいと思います。</p>
1 3	<p>保護者アンケートについて、なぜ一部の人のアンケートしかとらなかったんですか？アンケートを取るなら納税者全員ではないでしょうか？建て替えには巨額な費用がかかりますよね費用は誰が出すのですか？稲沢市民でしょ。何を考えているのか理解できません。アンケートを取り直してください。</p>
1 4	<p>稲沢市学校施設整備基本計画策定（案）からのアンケートが小学5年生と2年生、保育園、幼稚園、認定こども園の年中児保護者のみということはその他の保護者はどうでも良いということですか？結果はどうだったのか。一部の保護者から合併が決まったようなアンケートだったとききました。統廃合ありきのアンケートだったのではないかと説明会ではもう決定事項のように聞こえました。</p> <p>学校は地域と密接な関係があるけど、地域住民の声は聴いたのか？市政世論調査ではなく、学校に対しての思い、考え、意見をきちんと聞いていない。2月4日の長岡小学校の出前講座での地域の人たちの切実な声をどうって聞いたのですか。</p>
1 5	<p>③アンケートについて</p> <p>学校統廃合問題は、地域作りの問題でもあることから、一部の抽出アンケートでなく、現在児童・生徒のいない世帯も含めた全世帯調査、そして地域作りの講演会、出前講座、ミニ集会など行政と住民の時間をかけた取り組みが必要ではないか。</p> <p>住民の知らないところで決められていく取り組みでなく、計画をオープンにして合意を図っていく取り組みが必要と思います。</p>
1 6	<p>P. 18～「稲沢市学校施設整備基本計画」（案）の策定にあたり、稲沢市内の小5学年生と2年生及び保育園・幼稚園・認定こども園の年中のお子さんの保護者に限定したアンケートを行っているが、限定した理由は何か。「教育施設長寿命化計画（個別施設計画）」では、学校再編、校区再編をすすめるときは児童生徒、保護者だけでなく、地域住民の学校に対する思いや判断も最大限尊重すると言っていたのではなかったか。「市政世論調査」の中で聞いたというかもしれないが、「市政世論調査」は「稲沢市学校施設整備基本計画」策定を前提としたものではなく、したがって稲沢市学校施設整備基本計画」策定を前提に市民の声を聞いたといえないことは明らかだ。「稲沢市学校施設整備基本計画」策定を前提として、小学校、保育園等の保護者以外からも広く意見を聞くべきではなかったか。アンケート調査時に「はじめにお読みください」と資料を配っているが、これは学校統廃合に誘導するものではないか。</p> <p>またアンケートそのものも学校統廃合に誘導する内容になっており、問題だ。</p>

17	<p>P.18 第3章 学校施設整備に関する保護者アンケート調査について</p> <p>(2) 調査対象者は小学校5年生と2年生及び保育園・幼稚園・認定こども園の年中のお子さんの保護者3,313人とあるが、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」では、学校再編、校区再編の進め方で、学校再編・校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重すると記述されている。</p> <p>どう理由で対象者を決めたのか。対象となる地域住民のアンケート調査もするべきであった。</p>
18	<p>アンケートを、小5、小2、年中を対象としているが、統廃合は20年30年先の子どもたちをも縛るものであり、在籍の子どもの保護者の意向を尋ねるだけでは不十分である。この先生まれて来る子どものことも含め、地域住民の願いを基本に置かなくてはならない。</p>
19	<p>「学校を核とした地域づくり」や「地域コミュニティのきずなの大切さ」などの観点からも、それぞれの小学校区で賛成、反対、わからないなど、すべての世帯に聞くことが民主主義からの立場でいいと思います。</p>
20	<p>16・17ページ 保護者アンケート</p> <p>このアンケートの選択肢は誰がどのように作成したか。検討はどのようにされたのか。特に、「A:クラス替えなどを通じて」「C:いじめなどの問題が生じ社ときにクラス替えなどが可能な学校規模」と2度のクラス替えという言葉が使われている。いじめの対応にクラス替え可能とは、飛躍しすぎている。しかも、選択肢の上位にきている。選択肢として入れるなら、その他の意見にあるように、「いじめなど人間関係に問題が生じたときは加害者なども含めた精神的なケアができる環境」とすべきである。これは、かなり誘導的な発問である。また「E:教科指導の専門性を持った教員」という発問は意図がわからない。小学校免許は、すべての教科指導ができるもので、誰もが共有している。</p>
21	<p>このアンケートは、学校を統廃合することを念頭において作成している。このアンケートを作成されたのは誰ですか。</p>
22	<p>アンケートを5年生、2年生と年中の子どもの保護者から取っているが、それより後の子ども達が利用するので、もっと取るべきではないか。</p>

23	<p>保護者アンケートでは、小規模の学級と標準規模の学級を比較させるアンケートになっているが、この手法は恣意的ではないでしょうか。また、大規模校になると、いじめや不登校の問題など、小規模校よりも別の問題が出てくるのではないのでしょうか？</p>	<p>文部科学省は、25学級以上の学校を大規模校としています。したがって、本市には大規模校は存在せず、標準規模校と小規模校しかありませんので、現状の学校施設や将来的な整備方針についてお尋ねする場合には、標準規模校と小規模校の比較を念頭に置くことはありますが、本市の現状に沿ったものであり、恣意的であるとは考えておりません。</p> <p>なお、学校再編・統合を進めた場合でも大規模校にはならない計画です。</p>
24	<p>計画案18ページから30ページのアンケートは、学校施設整備に加えて「……統廃合ありき」を前提に作成していると予想される。アンケートには、前文として目的を書く。ついては、アンケート全体を公表するとともに、現行の継続を希望する旨の選択肢がどのように存在していたか知りたい。</p>	<p>アンケートの様式については、資料編として市公式ホームページ上で公開する予定です。</p>
25	<p>P.29 アンケートの設問構成の不備 問6の選択肢の中に「できる限り現状の学校配置を維持しながら建て替えを進める」といったものがあれば、回答分布は変化した可能性が高く、設問構成が意図的ではないかとの疑いも出てくる。</p>	<p>学校配置に対する市民と保護者の意識も比較できるよう、令和4年度に市民2,500人を対象に実施した市民意識調査における設問「標準規模を下回る小学校の配置に対する考え方」と同様の選択肢としているものです。</p>
26	<p>地域の方の意見を聞くことも大事だが、児童生徒の意見もちゃんと聞いて、それをパブリックコメントでどこかに反映していただきたい。</p>	<p>子どもの意見を聞くことは大切だと考えますが、子どもにとっては、自分が通っている学校がすべてであり、学校規模ごとのメリット、デメリットがある中で、その意見でもって将来の学校のあり方を判断することは、難しいと考えます。このため、施設整備については、保護者に対してアンケートを行ったものです。</p> <p>子どもたちの意見については、校名や校歌、あるいは、特色ある教育活動など、新しい学校を具現化する際に、取り入れることを考えています。</p>
27	<p>今回のこの整備計画を見るとハード面とか経済面から来ていて、実際問題、人間を育てるソフト面が弱いと感じます。小規模校に通った子どもたちとか大規模校で育った子どもたちのアンケートを取るなど、実際どうだったのだろうか。子どもたちの意見を聞くべきではないか。</p>	<p>子どもたちの意見を聞くことは大切だと考えますが、子どもにとっては、自分が通っている学校がすべてであり、学校規模ごとのメリット、デメリットがある中で、その意見でもって将来の学校のあり方を判断することは、難しいと考えます。このため、施設整備については、保護者に対してアンケートを行ったものです。</p> <p>子どもたちの意見については、校名や校歌、あるいは、特色ある教育活動など、新しい学校を具現化する際に、取り入れることを考えています。</p>
28	<p>子どもの教育のための機関であるのに子どもの意見を全く聞いていないのは何故か。</p>	

「建築コスト」に関するご意見

10件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	ある程度設計を標準化し、コンパクト化＋機能性＋メンテナンス性を向上し、低層建築とすれば、建築コストを下げることができ、学校を再編することなく全校を建て替えることが可能ではないでしょうか？	<p>校舎棟の整備にあたっては、意見にあるような視点も考慮しながら設計してまいります。新しい学校に求められる機能（一例として、特別教室も含めた空調整備やこれまでよりも広い教室や廊下、トイレの洋式化・乾式化、エレベーター等バリアフリー設備の設置等）は多岐に渡り、建築コストの削減には限界があります。</p> <p>また、学校再編は単にコスト面を理由に計画するものではなく、標準規模化を含め、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することを目的として計画するものであり、仮に全校を建替えることが可能な財源があったとしても、学校再編・統合は避けて通れないものと考えます。</p>
2	P. 38 大きな校舎を建て、スクールバスを走らせるのも予算がかかると思います。	
3	この計画は、小規模校が増え、維持することが難しいから一つにまとめようとしているのか、又は教育環境の整備が目的と考えてよいか。	
4	学校再編・統合の理由の一つとして、校舎建て替え費用等の経費（予算）の面が挙げられていますが、教育のためには経費がかかろうと最善の努力をすべきではないでしょうか。	
5	新しく計画を立案するのであれば新校舎を建てることによる地域の人口増減と完成後、廃校になるまでの改修工事やランニングコストの約3年ごとの試算、廃校になる際の費用試算などが無いまま進めると完成から50年後にはまた市の運営を圧迫する事になると思う。	<p>施設整備費の試算は、直近での改築や長寿命化改修工事を実施した学校で実際に要した費用を参考に試算したものです。</p> <p>あくまでも現時点での試算であり、概ね30年間の計画期間の間に、様々な理由により費用も変動しますので、実際の施設整備に要する費用と一致するものではありませんが、ここ数年の物価高騰の流れを考慮すれば、計画案の試算額よりも実際の工事費は上振れする可能性が高いと考えています。</p> <p>学校施設は、大規模改修や長寿命化改修を施しながら80年間を目標に使用することになりますので、整備にあたっては、その間の児童生徒数推計やランニングコスト等も精査しながら進めてまいります。</p>
6	<p>学校統廃合に関わる施設整備のための費用1030億円以上の試算・推計額の根拠やどのようにして推計したかを公開して示してください。稲沢市で暮らす納税者としての住民に示すべきデータだと考えます。その推計のあり方からも教育委員会の考え方や計画の妥当性がより理解できると考えます。</p> <p>このような基本計画(案)の記述を読むと、子ども達がどのような授業で楽しく意欲的に学ぶかを知らない方が作成した文言に思えます。基本計画策定委員会に参加する教職員は文科省や中央教育審議会が作成した資料などをもっとよく読み理解して頂きたいと思えます。</p>	
7	「案」が掲げる、統廃合した場合の費用としない場合の費用の比較だが、残念がら私には十分検討する材料は持ち合わせておらず、「案」の計算を信用するしかないが、子育てのまち稲沢をこれからも掲げ続けるなら、どこに市のお金をかけるべきか考えれば答えは明らかだろう。	

8	<p>1月23日の平和支所での説明会に参加して、全体のことはよくわかりました。この説明会で発言がありました質問、要望、意見を踏まえてもう一度検討して「稲沢市学校施設整備基本計画（案）」を作成してもらいたい。気になる事が二つあり、一つ目は、16ページにある費用の①と②ですが、①でもいいのではないかと。</p>	<p>校舎棟においては、築50年以上の学校が18校、築60年以上の学校も6校あり、建物の老朽化が進んでいるため、他用途への転用は困難な状況です。これらすべての学校を同時期に建替えることは財政上困難であるため、建築後60年を目途に外壁改修・屋上防水改修・給排水設備機器などの部分改修や更新を中心とする小規模な長寿命化改修工事を行う必要があります。</p>
9	<p>P.16(3)の①とP.17の②が同じ建築工事費で出来るとは思いません。</p>	<p>学校施設整備に対する補助割合を、「老朽化した校舎を全面改築する場合」と「統合して校舎を新築する場合」で比較しやすくするため、建築工事費を同額として試算条件を設定したのになります。</p>
10	<p>P16.17 学校を新築する場合、稲沢市は30億円、瀬戸市のにじの丘学園は80億円と言われている。これで夢のある学校ができるのでしょうか。</p>	<p>学校施設の整備費用については、本計画期間中の概ね30年間に現存する市内小中学校をそのまま建て替えるために必要な平均費用として試算したものです。小学校5校、中学校2校を統廃合して建設した瀬戸市のにじの丘学園の整備費用は、解体費や用地取得費を除き約63億円ですが、学校再編・統合により同規模の校舎棟を整備する場合は、本市においても同程度の費用になることが想定されます。</p>

「周知」に関するご意見

15件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	計画案の策定がされていることを、地区の議員、友人伝いに12月に初めて知りました。どのように周知していたのですか？	令和5年5月号広報及び市公式ホームページにおける策定委員会市民公募委員募集の案内を皮切りに、策定委員会が開催される都度、市広報や公式ホームページ上で周知しています。
2	保護者アンケートの実施について、どのような周知をしましたか？	保護者アンケートは小学校5年生・2年生・保育園等の年中の3学年の保護者を対象に実施したものであり、調査用紙は学校や保育園を通じて直接配布していますので、広報等での周知は行っていません。
3	統廃合対象地域居住者だが、計画の周知がされていないと感じる。パブコメ公開直後の平日昼間に説明会を開催して、やった気にならないでほしい。近隣の一宮や愛西ではまず対象校への説明があったと聞いた。地域住民のことをもっと考えて欲しい。	パブリックコメントの一環として実施した地区説明会は、令和6年1月号広報及び市公式ホームページで周知を行いました。平日の開催について様々な意見があるのは承知していますが、7会場で175名の参加者があり、計画案の不明点に関する質問や意見を多数いただくことができました。また、計画案の周知にもつながる有意義なものであったと認識しています。
4	説明会の周知不足。回数が少ない。市が管理している土地で廃校後の土地利用に関する計画や試算がないなどから不信感はぬぐえない状況になっていると思う。土地柄も相まって変化をさせるには苦勞をすと思うが、説明を繰り返して理解を得る事が出来なければ教育委員会&市政と市民の溝は深くなり反発やあきらめる人も増えるかと思えます。もっと市に興味を沸き子育てや介護が終了したときに「稲沢でよかった」と思える人が増えるような仕組み作りに期待しています。	なお、計画案が承認されましたら、来年度以降、各地区での説明会の開催を予定していますので、その際の周知方法については、提案いただいた小学校のtetoruなど、市広報や公式ホームページ以外の方法も検討します。
5	説明会を稲沢市の全世帯にわかるように伝え、みんなに聞いてもらい、稲沢市の全世帯に周知してもらい、進めるべきだと思います。稲沢市のみなさんが納得いくまで話し合って進めてください。よろしくおねがいします。	
6	住民説明会に参加させていただきました。正直最初の説明会の時は日時など私らは何も聞かされてなくて後から聞いて正直驚きました。連区委員の会長さんから一週間前に昨日あった住民説明会のお知らせをいただいて事実を知りました。小学校が無くなったり、統合の話は近年の少子高齢化やコストの関係上仕方ないにしても、住民説明会とは名ばかりではないかと。あまりにも地元住民を蔑ろにしていたのでは？って正直思いました。真に地元住民に理解してほしいと思うなら、告知をもう少し大々的に言うべきだったのでは？とあくまで個人の意見ですが思いました。	

7	<p>稲沢市の小学校が合併するという話は知っていましたが、稲沢市がこういったことを市民に意見を求めていることを今回初めて知りました。稲沢市に住んでみえる方、お子さんをお持ちの方がどれだけの方がこういったことを認知されているのだろうかと思いました。資料をみて、正直一人で読むのは難しい文面。公的な文章なら当たり前の話で、何を言っているんだと思われるかもしれませんが、これでは本当に伝わって欲しい方には伝わらないと思いました。市議会議員が開催した読み合わせの会に参加して、わかりやすく説明していただけて、内容はなんとなく理解できました。</p> <p>ただ、疑問が沢山湧き出しました。けれど、このあらかた決まってしまうかの資料を拝見すると、一市民が声をあげたところで、何か変わることはあるのかなあと思いました。</p>
8	<p>本計画案が該当地区の方々に広く周知されることが肝要と思います。</p> <p>市のHPと広報等だけでは（他にもあったかもしれませんが）、知らないままの方も多いと感じます。実際、周りの保護者の方々に本計画をご存知ない方が多くおられます。文科省の『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引』のP.18/47には、「…学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、…」とあります。</p> <p>回覧板、市の公式LINE、小学校のtutor、保育園のキッズビューなどを利用し、保護者への周知を図ってはいかがでしょうか？未就園の方には、乳幼児健康診査の際にチラシを渡すなど可能かと考えます。</p>
9	<p>小学校の統廃合には反対です。</p> <p>下水道建設の住民説明会は土・日で行われたのに、なぜ学校施設整備計画の説明会は、平日の昼間（一番関心がある若い世代の意見が反映されない）なのですかと説明会で尋ねたら、とりあえずの説明会で後日、土・日曜日、夜を含めて説明会を実施するとの回答であった。後日、市のホームページで確認したら、今回の説明会（1月22日10時～）で配布された資料に「資料2：稲沢市学校設備基本計画策定スケジュール（最後のページ）」は添付されていませんでしたし、スケジュール表に2月、3月に説明会の項目はありませんし、3月の定例教育委員会に議案提出と記載されています。後日説明会を実施するのは決定事項の説明ですか。それでは意見を聞くとは言えないのでは？</p>
10	<p>P.40 その辺の説明を地域の人たちにしっかり説明していただきたい。住民の合意は最も重要です。町内の役職者だけ説得するような手法は取らないでいただきたい。</p>
<p>今回の地区説明会はパブリックコメント手続きの一環として、計画案の内容を周知する目的で開催したものであり、地域住民との合意形成を目的とした住民説明会ではありません。地域住民との合意形成を目的とした説明会は、計画案が承認されましたら、来年度以降、土日・平日の夜間等、住民が参加しやすい日時も設定しながら開催する予定をしております。</p> <p>また、本計画案はあくまでも教育委員会としての基本方針であり、具体的な地区毎の個別の整備方針は、（仮称）地域協議会等の場で別途協議して決めていくこととしています。</p>	

1 1	<p>稲沢市学校施設整備基本計画（案）として説明会を開かれたけど、もう決定事項としての説明で有無を言わせない。そのまま資料に基づいてページと意見を求めているけど一応パブリックコメントで住民の声を聴いたというポーズですね。それも全部目を通してくれるのか、どこで答えてくれるのか、一方的でやはり市民の声など聞く耳持たないということですか？</p>	
1 2	<p>[2]市民・住民の声が、計画に反映されていない。時間をかけて、合意を作り出すことが必要である。 ・市の広報1月号に、説明会・パブリックコメントの案内が書かれている。だが、統廃合が中心的な課題であるにも関わらず、そのことには一切触れていない。しかも、説明会は、平日の午前10時、午後2時からと、現役世代が参加しにくい時間帯となっている。</p>	
1 3	<p>説明会に親世代、若い人たちが参加できないような日程では稲沢の子育ての姿勢が問われる、どこを向いて学校施設整備を行うのか。</p>	
1 4	<p>本計画のダイジェスト版は作成できないでしょうか？ 本計画書が50ページ弱のボリュームで、多忙な方々にとって、通読は困難な場合もあるかと思えます。情報を削るのは難しいかもしれませんが、ダイジェスト版は、多くの方に考える機会をもっていただくのに有益と考えます。（仮称）地域協議会の発足よりも前に、早い段階で、多くの方が概要を知って考える時間を長く得られれば、多面的に多くの意見・要望を引き出すことも可能かと思えます。</p>	<p>現時点では計画案のため、ダイジェスト版の作成は検討していません。 今後は、意見にありますように、多くの方に計画の内容を周知するため、ダイジェスト版の作成や市広報での特集号掲載など、計画内容の分かりやすい周知に努めてまいります。</p>
1 5	<p>地域住民から情報を集めているが、ほとんどの住民がこの基本計画について全く知らない。1月に住民説明会があるが、それすらもほとんど知らない。広報だけでなく、基本計画についてのダイジェスト版をラインやYouTubeなどで広く住民に知らせ、まずは関心を高めていくことが必要である。</p>	

「跡地利用・借地」に関するご意見

10件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>廃校になった学校跡地は、地域の憩いの場にでもなるのでしょうか？</p>	<p>学校再編・統合に伴い廃止した学校施設は、建物の老朽化も進んでおり、他の用途への転用は困難な状況です。このため、原則解体します。学校施設解体後の学校敷地については、まずは借地解消を前提に地域の意見を伺いながら、避難所や地区公民館など他用途への転用も含め、市全体で活用方法を検討します。</p>
2	<p>祖父江地区でどうしても学校再編・統合しなければならないなら、どの学校の出身者も自分の小学校を残してほしいと切に願うと思います。どうしても廃校にしなければならないなら、せめて建物はのこして住民が町の活性化のために使えるようにしてください。そのための資金もクラウドファンディングなりで募ってください。</p> <p>明治からの歴史ある小学校です。数やお金だけで考えず、歴史的価値の点からも再考をお願いします。建物を安易に壊してしまうのではなく、アセットマネジメントをして長寿命化改修を目指してほしいです。建物を壊せば、私たちの思い出も壊されてしまいます。そして「祖父江」という名前は是非でも残していただきますようお願いいたします。</p>	
3	<p>学校敷地の借地解消について、借地を買い上げることはできないのでしょうか。また、学校再編・統合により借地を返還することになった場合、地主はどういう意見でしょうか。</p>	<p>教育委員会では、市の借地解消基本方針に沿って、地権者の代替わりの際などに借地売却を働きかけてきました。令和2年度には4筆1,122.8㎡、令和3年度には1筆136.36㎡の借地を買い上げ、令和4年度には595㎡の借地を返還しています。</p> <p>しかし、本市は土地所有者の土地への思いが強く、教育委員会が思うようには借地解消が進んでいないのが現状です。</p> <p>借地料の負担解消は本市にとって大きな課題となっておりますので、引き続き市の借地解消基本方針に基づき、借地解消に努めていく考えです。</p>
4	<p>・学校敷地の借地状況について P.12,13の借地状況、借地率、借地料を見て非常に驚いている。今まで積極的に対応してきたのか疑問に思う。学校再編・統合が実施される際は新たに作る学校の場所を選定する上で市有地であることを最大限に考慮していただきたい。</p>	
5	<p>借地に関しては、山崎、領内、丸甲の土地が返却されても売却が可能だが、祖父江、牧川、長岡に関しては地権者は手放したいのでは？ 市として低額で買い取りできるのでは？</p>	
6	<p>・借地地主との協議について 借地解消を目標とされていますが、地主との協議はこれからだ、と、説明会の際の質疑応答でお答えいただきました。もし地主が返還に応じない場合、どのような手続きを取るのでしょうか。 地主が返還に応じない場合、統廃合案は廃止になるのでしょうか。それとも強行するのでしょうか。それはできませんね。 学校敷地が借地となった経緯は、おそらく複雑かと思えます。売却しない、返還に応じないなどの反応が起こることは、容易に想像できます。</p>	<p>施設整備は借地解消を目的として行うものではありませんが、市の借地解消の考え方に基づき、施設整備等に合わせて、土地所有者に対し譲渡を積極的に働きかけるとともに、学校再編・統合によって新たに学校を建設する場合は、現在ある市有地を活用するなど、借地の解消を図っていく必要があると考えます。</p> <p>また、借地の返還については借地地権者との間で土地賃貸借契約書を取り交わしておりますので、契約書に定めるところにより返還することになります。</p>

7	<p>・借地ゼロを目指して… まずは借地ゼロの既存の学校敷地に学校を構える方針でいかがでしょうか。先ほども申しましたように、借地地主との協議はそう簡単には進まないと予想されます。既に市の土地であれば、新しく土地を購入するよりもお金がかかりません。</p> <p>当方は長岡地区に住んでおりますが、窓から養老山脈を臨むロケーションは勉学に励むのにぴったりの環境です。岐阜側から稲沢市に入れば一番最初に目に付く学校です。稲沢市の顔とも言えるでしょう。そんな場所に魅力的な学校ができたらどうでしょうか。稲沢市の評判は鰻登りかもしれませんよ。祖父江町内で唯一（祖中を除く）借地ゼロパーセントの長岡小学校の敷地を生かさない手はありません。</p>
8	<p>第5章 学校施設整備の基本方針 について 第2章で述べられている、学校施設の老朽化と借地料の財政負担が大きな問題であるなら、築年数が新しく借地が無い場所を残し、そこへ新たな学校を建設するのが妥当ではないか。通学距離が問題となるが、再編・統合によりスクールバスを通学手段とするなら、5～6kmの範囲ならどの場所に有っても通学時間が極端に長くなることはない。</p>
9	<p>借地料を減らすための統合でしょうか。</p>
10	<p>12ページ 学校敷地の借地状況 当市の借地料が毎年約1億6,700万円、県下ワーストであることを知り驚いている。毎年この金額が市民の税金から支出されている。この金額は県平均の約6倍であり、毎年の市内小中学校の学校施設維持管理修繕料約1億1,500万円をはるかに超えている。第5回の稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会で市には借地解消計画があることを初めて知ったが、市の借地料解消に向けての働きかけがどのようになされてきたのか知りたい。借地料解消に向けての市の働きかけを強く要請したい。</p>

「避難所・まちづくり」に関するご意見

23件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	小学校は地域の避難所になっています。避難所をなくすことは、昨今の災害を見ても、明らかに逆行しているのでは？	<p>学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。学校再編によって地域に学校がなくなった場合、これまで学校が果たしていた教育以外の役割をどのように継承するかということについては、大きな課題だと考えています。</p> <p>そうした中で、（仮称）地域協議会などの場で、地域の団体とも協議しながら、新しい学校づくりが新たな交流を生み、魅力ある学校づくりにつながるよう進めてまいりたいと考えております。また、避難所等の防災機能についても、先行自治体において、学校跡地を避難場所として継続使用したり、学校跡地に防災機能を持ったコミュニティ施設を整備する事例もありますので、（仮称）地域協議会などの場で、防災部局も含めて地域の方々と協議してまいります。</p>
2	災害時に避難場所がなくなるのでは。	
3	能登半島地震が発生し、避難所として学校施設が活用されています。校庭は災害対策車両の駐車場や緊急ヘリの離着陸にも使用できます。その学校が4キロ離れていては高齢の方は利用できません。地域コミュニティの中心である学校は、地区運動会や夏祭り、地域防災訓練など、身近にあるから集まりやすいのです。	
4	学校は単に子どもの教科の学びの場ではないのではないのでしょうか？学校が地域で果たしてきた・果たすべき役割について、どう捉えていますか。	
5	学校が無くなった場合の地域への影響（避難所が無くなるなど）は考慮されているのか。解体～避難所等施設建設までには相応の期間がかかるはずだが、その期間はどうか。	
6	統廃合は「地域のコミュニティ」を壊してしまうのではないか。先日起きた「能登の震災」でも明らかなように、学校が無くなったなら「避難所」はどうなるのか。	
7	「避難所として体育館だけを残せばいい」という考えは、命の軽視。東日本大震災では、養護学校が避難所になったところで喜ばれた。寄宿舎が併設されていたからだ。（風呂、調理場など生活をする環境があった）。学校なしで、体育館だけ残すのでは、求められる避難環境にはならない。生活できる避難所を—能登半島地震の現状がそれを示している。	
8	学校施設整備については、少子化によって人数の少ない小学校を合併して、古くなった建物を壊して新しく小学校を建てる計画ではなく、新しい小学校作りと街作りを一緒に考える必要があると思う。	

9	<p>基本計画について 少子化・児童数の減少と市の財政状況から、学校・学区の再編が必要なことはある程度理解するが、小学校は教育施設としてだけでなく地域コミュニティーの核になっており、その地域から小学校が無くなれば地域の繋がりが薄くなり、そこに有ったコミュニティーは崩壊してしまう。 現に長岡小学校区では保育園が休園になり、それまで保育園で繋がっていたコミュニティーは無くなってしまった。また、近くに保育園や小学校が無ければ、その地域で子育てをしようとする若い世代が住まなくなり、過疎化・高齢化に拍車がかかるのは目に見えており、地域住民の意見を反映せずにこのような計画を策定すること自体が暴挙といえる。</p>
10	<p>「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の「共創」では地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現と他の公共施設等との複合化・共用化等としています。現在小学校は避難所であるため地域の人たちも集まれる開かれた他施設としても活用することで目標達成できると考えます。地域の人も小学校の敷地内に入り図書館や運動施設を使用することで小学校の様子を知ることができ、有意義な時間を過ごせるので送り迎えのボランティアを希望される方が増えることも考えられます。地域の人との交流においては登下校もその一環となります。送り迎えボランティアを楽しみにされている高齢者もいらっしやるのでバス通学となってボランティアがなくなると孤独死や自殺者が増えることも考えられます。また日常から交流があることは災害等の非常時に役立ちます。避難所での犯罪として盗難、置き引き、スリ、性被害、詐欺等の事件も起きていますがこれは地域のコミュニティーが希薄であり知らない人に対しての罪悪感を持たないことが原因とされています。コミュニティーを確立することで災害時の問題を減らすことに繋がるため地域それぞれの小学校を存続することが望ましいと考えられます。</p>
11	<p>42ページの学校跡地の利用は原則解体とのことですが、大地震が起きた時に学校がなかったらどこに避難すればいいのでしょうか？長岡地区は木曾川が近くにあるため、洪水、氾濫があった際に高い建物がないと避難も出来ません。特にこの地区は高い建物が必要なのです。</p>
12	<p>避難所も大事だとは思いますが。 ですが、馬飼や神明津の方々が長岡小学校での垂直避難をするのならまだしも、長岡小学校より東側の人達が木曾川に向かって避難をするのでしょうか？ ハザードマップを見る限りでは木曾川が氾濫した場合長岡小学校は浸水することになっています。 まして西側にも用水路があり、道路よりも低いところに学校があります。 しかも老朽化が進んでいる建物… しっかりとした避難所としての役割を果たせるのか疑問に思います。</p>

13	<p>39ページ 学校再編・統合の考え方 文科省が平成27年1月に示した公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きによれば、「小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く」、「学校教育は地域の未来の担い手である子どもたちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分な性格を持っている」とある。つまり、市は学校規模より地域コミュニティの場としての存在を十分考慮し、それぞれの地域の特色を生かした学校づくりをしていくことが重要である。</p> <p>学校統廃合にあたって、市は地域コミュニティのことをどう考えているのか。地域コミュニティは、各小学校が中心で成り立っている。その伝統は周辺地域ほど強く100周年や150周年を迎えている学校もある。近年は地域ボランティアの活動が盛んでほとんどの学校で児童の登下校を見守るスクールガードの活動や防災訓練などが行われている。学校を統合する場合は、これまで培ってきた地域コミュニティ活動を阻害することのない隣接する学校が至極当然のことである。統合した場合は、お互いの地域コミュニティが連携して新たな学校を支えていくことになるが、地域コミュニティの統合と連携も大きな課題となる。</p>	
14	<p>地域学校協働活動を稲沢市も取り組んでいます。これは地域と学校の両方、特に学校が中核となって地域の子も達を見守ろう、そして子ども達を育てていこうというものです。地域と学校の果たすべき役割とは何か、また、どのような検討がされたのかお聞きしたい。</p>	
15	<p>すべての小学校の存続を願います。学校統廃合すれば避難場所が減る事になる。</p>	
16	<p>避難場所がなくなる。最近天災地変の厳しい日々、とても心配です。</p>	
17	<p>P.37 災害時に避難場所になっている小学校が遠くなり、小さい子供、老人はいけません。</p>	
18	<p>避難所はどうなるのか。</p>	
19	<p>学校は地域のコミュニティの核という役割を担いながら避難所に指定されているがどのように考えているか。</p>	
20	<p>坂田小学校を廃校にした場合、体育館はどうなりますか。</p>	
21	<p>本計画案と地域学校協働活動との関わりをどのように考えていますか？</p>	<p>学校再編・統合によって整備される学校も地域にとっての学校であり、新たな学校を拠点に地域学校協働活動を展開していくことができるよう、地域との合意形成を図ってまいりたいと考えております。</p>

22	<p>地域学校協働活動を考えたときに、元気な高齢者やボランティアが児童などにふれあえるよう、学校と保育園・放課後児童クラブを隣接する形で整備し、これを稲沢市の特色として喧伝することで、人口減少対策や地域活性化につながるのではと考えます。今後の人口動態（人口ピラミッドの推移）をみても、児童福祉・高齢者福祉や障がい者福祉に携わる人員が不足してくることは明らかです。そのため、「おたがいさまの社会づくり」を念頭に、互いに支え合うことができる仕組みの強化・再生が必須だと考えます。</p>	<p>計画案でも、P36にありますように、放課後児童クラブなど子どもたちと関連性の高い施設の複合化を計画します。</p> <p>また、計画案に写真を掲載している瀬戸市立にじの丘学園や小牧市立小牧南小学校のように、地域の方が学校を拠点に活動しやすいよう、専用の部屋や外部から出入り可能な部屋を整備するなど、新しい学校が地域活動の拠点となることも視野に入れて計画します。</p>
23	<p>P.38 避難所も必要ですから、今ある校舎を順次耐震化工事をして活用したほうが良いのではないのでしょうか。</p>	<p>校舎棟においては、築50年以上の学校が18校、築60年以上の学校も6校あり、建物の老朽化が進んでいるため、他用途への転用は困難な状況です。これらすべての学校を同時期に建替えることは、財政上困難であるため、建築後60年を目途に外壁改修・屋上防水改修・給排水設備機器などの部分改修や更新を中心とする小規模な長寿命化改修工事を行います。しかしながら、建物の耐力度の観点から、長寿命化改修を施した場合でも安全に使用できるのは築80年までとなっており、長寿命化改修後10年～15年を見据えて、建替えを検討する必要があります。</p> <p>避難所等の跡地利用については、通学支援等と同様に学校再編・統合対象地区との合意形成を図るための協議事項の一つとして検討してまいります。</p>

「再編理由」に関するご意見

12件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>学校を統廃合して未来にあった施設を作る。この点について、かなり目標の高いものが提示されていると感じた。本当に公立の学校で実現するのを感じてしまう。子どもが坂田小に通学中。それより古い千代田小の老朽化問題などが上がっている。統廃合するにしても千代田小はそのまま残るのだから、老朽化に対しては介入していくのは統廃合関係なく必須。計画案は老朽化対応にお金がかかるから統廃合をという印象。まだ老朽化が進んでいない坂田小は使えるのだから、統廃合の前に存続していくために必要なことを検討してほしい。坂田小があるから田代団地には若い人が入ってきている。名古屋へのアクセスがほどよいことなど関係しているだろう。個人的には統廃合には反対です。しかし、統廃合しても魅力ある場所だからと、若い人がわざわざ稲沢を選んで越してこようと感じられることを大前提に、物事を考えて話を進めて頂きたいです。</p>	<p>本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場としての学校施設を整備するにあたって、市内全体の学校の整備方針とスケジュール目標を示しています。そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があり、学校再編・統廃合は避けて通ることができない課題であると考え、学校再編・統廃合を包含する形で策定しています。</p> <p>また、本計画案の主目的は、先述のとおり、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することです。もちろん教育委員会も行政組織の一部ですので、予算やコスト意識と無縁ではありませんが、学校施設に係る経費削減や公共施設総量の削減を主目的として、学校再編・統廃合を行うものではありません。</p>
2	<p>学校の施設を整備するという事を主眼に置いている委員会がどうして小学校の統廃合を提案できるのか疑問です。教育のあり方を協議できる委員会が統廃合を提案するならまだ理解できるが、施設を整備する委員会が提案すること自体が間違っている。稲沢市は、実際は「学校の統廃合」が主目的なのに、それを出すと住民からの反対が噴出するので、「稲沢市学校施設整備基本計画」というものをつくり、施設整備だからいい事であるかのように誤魔化し、そのうえで「策定委員会」なるものを作って、統廃合を押し進めてきた。教育のあり方を全く無視し、「予算がないから、総務省の公共施設15%~30%削減の圧力があるから」といって、哲学不在で統廃合を押し進めようとする姿勢に怒りを覚えます。</p> <p>20年後の稲沢市西部の状況を想像してみてください。小学校が無くなったことにより、各部落、集合住宅は住む人も急減し、地域は荒廃するでしょう。</p> <p>行政、教育委員会は今からでも遅くはありません。統廃合をやめてください。</p>	

3	<p>祖父江小学校の卒業生です。この話を地元在住の同級生から聞き、晴天の霹靂でした。大変、悲しくショックを受け、しななく立ち直れませんでした。老朽化と児童の減少が祖父江町の6つの小学校を統合しようという理由であることは理解できます。ただ祖父江町は平成の大合併により稲沢市に吸収されてしまった町です。小さいながらも祖父江町は祖父江町でありたいという誇りがあり、何とか稲沢市の中に取り込まれても祖父江町という名前を残したと思っております。その祖父江町は6つ小学校があるのが特徴でした。児童数の大小はありますが、それぞれの学校に特徴があり、誇りがあります。維持にお金がかかるという理由で簡単に合併させるのは反対です。児童数の減少にしても僻地の山間部の小学校などは全校で数人でもやっているところもあります。お金がかかるというなら、クラウドファンディングや寄付を募るなどもしてみてもらえませんか？</p>
4	<p>39ページ 学校再編・統合の考え方 に反対します。 「標準規模」を定め、満たない学校は再編・統合を進めるとするのは、乱暴です。小規模校のメリット（7ページ）を認め、地域住民・保護者・学校が一丸となって、特色ある教育が行われている（39ページ）としつつも、再編・統合を進めるのは経済的な理由（16ページ 学校施設整備に係る補助）なのでしょう。子どもたちにどのような学校が必要なのかの視点がありません。</p>
5	<p>全国に1学年1クラスの学校が半数と言われているなか、なぜ複数クラスが必要か？子どもたちには、歩いて通える(負担にならない)学校であるべきです。以前、議会答弁で「統廃合を考える時期は、複式学級にしなければならなくなった時」と言われた時もありました。</p>
6	<p>公共施設全般を建替え・維持していくのに、床面積で教育関連施設が一番大きいことから「統廃合」が打ち出されていると思います。 財政面から打ち出しているのであれば、ムダな大型公共事業(例・国府宮駅開発)こそ見直すべきです。だれもが、住み続けられる街づくりを考えてください。</p>
7	<p>祖父江地区の中でもこの長岡地区は過疎化が進んでいます。市は東側の市街地を整備するばかりで、祖父江地区は放置しています。この計画は更なる過疎化に繋がります。「子育て教育は稲沢で」と言いながら、建物の老朽化による改修費用や借地料で統廃合を進めようとしているならば、ぜひ借地料のない長岡に新学校を建ててください。送迎用の駐車場も作りやすいと思います。バス通学も少人数ですと廃止になってしまいそうなので、ぜひこちらに小学校を建てただけならば人口も緩やかに上昇すると思います。私達の大切な長岡小学校を無くすことは断固反対です！</p>

8	<p>計画（案）説明会で感じたことは、住民サービスを考慮しない功利的価値優先の恣意的に作成された計画（案）に棒読みの説明では、参加者のほとんどが賛同できない説明会に終わりました。もう少しPublic Servantの精神で質問者に丁寧に説明対応して欲しかった。長岡小学校は、旧長岡村役場跡地で旧長岡村から現在唯一残っているコミュニティ施設なので、功利的説明だけでは住民が納得できない。隣りの一宮市は、旧尾西市・旧木曾川町の既存施設を住民サービス優先して残す施策が行われています。例えば、お隣の朝日西小学校は本当に小規模の学校ですが、地域の小学校として残り朝日西小校区の活性化施策も次々と行われています。市長さん始め職員の皆さんがPublic Servantの精神を尊重されている結果だと思います。稲沢市では、旧祖父江町・旧平和町の施設を功利的価値で判断し、住民サービスを犠牲にした施設統廃合施策が進行中です。市長始め職員の皆さんにPublic Servantの精神から住民サービス尊重の気持ちが有れば、旧祖父江町時代に行われていた行政より劣化した施策の実施はないはずです。稲沢市は、一宮市に対して市人口は三分の一程度ですが、稲沢市長始め職員の皆さんのServant資質に於いては、角落ち的な格差を実際肌で感じた説明会でしたが、こんな気持ちを抱いて帰路についた参加者は私だけではないと思います。</p>
9	<p>こんな大事な問題を簡単に済ませてしまおうという姿の稲沢市に失望しました。祖父江町で1月18日に住民説明会が行われ、2月4日に長岡での出前講座、意見書の提出を2月9日という速さ、軽視しすぎです。平成17年に祖父江町という名前は残りましたが、稲沢市になり、今回は財政難という大人の努力不足により稲沢市の子供達までバラバラにしようとしていますね。確かにこの先は人口減少は顕著になるかと思いますが、今、マスコミが大注目している明石市みたいな考え、つまり稲沢市も人口増の政策する頭の切替出来ませんか？</p> <p>14ページにあります財政難でしたら、まず先にするのは、まず身内からだと思います。つまり稲沢市の職員数を削減して下さい。会社だって財政難でしたら社員は削減されますよね。それが当たり前の社会です。それを大人の事情だけで将来のある子供達を犠牲にするのはおかしいです。今、稲沢市職員は全員100%で働いていますか？公務員だから保証されていると思っていないませんか？</p>

10	<p>広報いなざわ一月号で加藤市長は新年のあいさつのなかで、「子育て・教育は稲沢で」をスローガンに進めてまいります。と述べておられます。その一方(案)で、学校の再編・統合を進めようとしています。結論を先に述べれば、再編・統廃合には反対です。スローガンと(案)は矛盾しています。経済優先でことを進めようとしており、将来を担う子どもの立場に立っていません。</p> <p>元日に発生した能登半島地震で甚大な被害が発生し、多くの方々が、避難先として学校の体育館に避難されており、緊急の場合の避難先として絶対必要なものです。いつ南海トラフ大地震が起きるかもしれないといわれる中、学校の再編・統廃合よりも、体育館の暖房を進めるべきではないでしょうか。</p>	
11	<p>計画案の策定は、なぜ今、この時期に始まったのですか。</p>	<p>計画案にもありますように、学校施設の建替えには基本構想の策定から7年目でようやく開校となります。また、学校再編・統合の場合は、さらに長い期間が必要となります。学校施設の老朽化が進む中で、一時的には長寿命化改修を行いますが、その後10年から15年先には建替えることとなります。その際には、平成26年5月に策定した「義務教育と学校のあるべき姿」を指針として、学校規模の標準規模化を図るため、学校再編・校区再編も視野に検討することとしています。こうした将来的な建替えを見据えて、今から検討を始めなければ、地域と十分に協議していく時間が失われてしまいます。そこで、今年度中を目標に教育委員会としての基本方針である稲沢市学校施設整備基本計画の策定を進めているものです。</p>
12	<p>地区説明会で「今回の計画案はお金の問題でない」と担当から言われたが、そのことが、どこのページから読み取れるか示していただきたい。</p>	<p>計画案P1「1 計画策定の趣旨」のとおりです。</p>

「人口減少対策」に関するご意見

39件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>児童生徒の減少を食い止めるような政策が打ち出されていないのに統廃合すると、子育て世代の流入がとまり、結果的に人口減少は加速するため、市民の利益につながらないのでは？市街化調整区域の見直しや農地転用の一時的な規制緩和など検討すべきだと考えます。</p>	<p>人口減少対策は本市にとっても重要な課題だと認識しています。 本市でも人口減少に歯止めをかけるべく、「子育て・教育は稲沢で！」をスローガンに、子ども医療費無償化の拡大や給食費、保育料の支援など、様々な施策を講じています。また、国府宮駅前の再開発事業や新たな住居系市街地の形成など、長期的な視点での取組みも進めているところです。 しかし、人口減少は本市だけの問題ではなく、日本全体が抱える構造的な問題であり、様々な人口減少対策を実施し、一時的に人口減少に歯止めがかかったとしても、長期的には人口減少は避けられない状況です。</p>
2	<p>学校再編・統合した場合、地域に子どもたちの姿を見かける機会がなくなります。特に、学校が近くにないと、若い家族が地域に来なくなってしまいます。</p>	<p>今後も人口減少対策は市をあげて取り組んでいく必要がありますが、教育施設としての学校施設整備については、人口減少対策とは別に考えていく必要があります。</p>
3	<p>児童等の減少は、今の施策が続く限り継続するでしょう。財政的効率化のため学校を統合（廃校）することは、誰でも考えることです。稲沢市の安心、安全なまちづくり、住んでみたいまちづくりの一環としての計画ではなく、統廃合ありき計画と見えて仕方ありません。一部、JR稲沢駅近辺は変わりましたが、名鉄国府宮駅近辺はどうでしょうか。名古屋への通勤、通学の利便性を活かす施策はないのでしょうか。農地が何十年もそのまま、最近では耕作放棄地も目につきます。農地の宅地並み課税による安価な宅地供給。住宅、マンションの新築増加により働く世代の移入を増やす。市の中心部の人口増加を市役所付近、尾張中央道、国道155線のロードサイドへと拡大させる。そのような施策を望みます。</p>	<p>また、建物の耐力度の観点から、長寿命化改修を施した場合でも安全に使用できるのは築80年までとなっており、長寿命化改修後10年～15年を見据えて、建替えを検討する必要があります。 こうした将来的な建替えを視野に、引き続き子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのため、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。 このため、10年後から建替えや学校再編・統合について検討を始めては、建物の耐用年数を超過してしまうことになり、将来的な建替えの時期を見据えて、今から検討していく必要があると考えます。</p>
4	<p>小学校が無くなることは各小学校区の過疎化を加速化させる致命傷となり得る。分譲地や建売住宅には「〇〇小学校徒歩〇分」と記載があるのが普通です。子育て世代にとってはそれがかなり重要な情報であるからです。極端な統廃合がなされ、近隣に小学校が無くなってしまった場合、そこに移住してこれるような物件があったとしても、子育て世代からは完全に敬遠されることでしょう。そうなってしまったはその小学校区に未来はありません。小学校を無くすということは、すでに過疎が進行している地域を見捨ててとどめを刺す行為だと自覚してください。</p>	<p>学校が近くにあるということは、子育て世代にとって魅力ではあります。しかし、児童生徒数が減少し続ける学校では十分な教育活動が行えず、子育て世代にとって魅力ある学校とはなりません。教育委員会といたしましては、標準規模化を図り、新しい時代の学びに対応した学校施設を整備することで、子育て世代の流入につながればと考えています。</p>

5	<p>今回の案件を考えますと腹がたって腹がたって夜も眠れません。もし建て替えを考えるのであれば、借地代0円の長岡小学校の跡地に建設してください。稲沢市職員の削減、国府宮駅前の整備の廃止など経費削減を考えてください。人口が減るのに職員を減らさないのは不思議です。今一番必要なのは、市街化調整区域の撤廃をして大手企業などの誘致に力を入れてください。祖父江から稲沢市に合併したことにより環境が悪化していると思います。稲沢中心部のみに力が入っているので、長岡地区にも力をいれて下さい。</p>
6	<p>・別表2では5年後の推計児童数は記されているが、統廃合はその後の児童数が対象となるはずである。これ以上の児童数減少を防止するための人口増加策を望む。それには「市街化調整区域内地区計画運用指針」（令和2年8月策定）による祖父江地区の市街化調整地区内の活性化の対策を今まで以上に強力に進めるべきである。</p>
7	<p>これまで、高齢化が進み・人口が減少している地域への対策として、稲沢市は何をしてきたのか。市町合併後すでに20年、この間、地域振興について特に策のないままで、人口減少は当然の結果。</p> <p>今まさに「地域再生（地域振興）」に向けて、国を挙げて推進しようとしているその時に、その核となる小学校を、人口増加が見込めないから統合するとは、あまりにも愚策としか言い様がない。まずは地域振興策について知恵を出し合うべきではないか。</p>
8	<p>○ 統廃合を考えるにあたって市や市民が考える必要があること。</p> <p>稲沢市は名古屋市の郊外にあり、自然に恵まれた素晴らしい町です。特に祖父江町は木曾川という大自然があり、珍しい河川の砂丘もあり、全国に自慢の出来る町です。自然が豊かである地域では多くの過疎がありますが、稲沢市は大都市の近くであり、過疎になることを心配して発展をあきらめてはいけません。いままでに稲沢市は市の魅力をアピールして名古屋市やその近郊の若い家族を稲沢に呼び込む計画を立てていました。稲沢市の好条件を生かしてこれからも前向きに考えるべきです。</p> <p>小人数学級はこどものために最適な環境です。もし人数が少なすぎるというなら、稲沢市の魅力を発信して新しい家族を呼び寄せる努力をすべきです。「子育てはいなざわで」はすばらしいスローガンです。絶対に達成すべきです。小人数のところは廃校という安易な選択はしないでください。市・教育委員会は地元住民の意見をしっかり聞いて対応してください。自然豊かで人間らしい生活の出来る魅力ある稲沢市をつくっていきましょう。</p>

9	<p>稲沢市は「消滅可能自治体」にならないが、市を構成する各地区の内「消滅可能地区」が多数発生するリスクは高まる。このことが市の将来ビジョンに大きな影響を与える。したがって、教育関係者だけの数値調整重視の統廃合だけではなく、官民一体となった「まちづくり」に着手し、未来に向かった「稲沢づくり」に取り組むべきである。</p> <p>学校統廃合の議論は、今後10年間は、長寿命化対応とし、同時に市内の地区特性に合わせた人が集まる地域づくりに着手するべきである。名古屋圏の重要地区である西尾張地区で消滅地区拡大スパイラル発生と言われてはいけない。「ステージアッププラン」で「稲沢市が目指すまち」としている「市民が、将来もずっと暮らし続けるまち」「名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち」に向かって行動するべきである。</p>
10	<p>そもそも人口を増やすための施策がなされていない。宅地開発や公園整備などまちづくりの観点がこの計画にあるのか疑問。</p>
11	<p>小学校を統廃合するということは子どもが育てにくい地域にするということになる。将来についても議論されているか疑問である。もっと他地域から人を呼び込む政策を先に出来ないか。例えば祖父江地区なら羽島インターに近いことをメリットにできるのでは。</p>
12	<p>坂田小学校を含め、稲沢市立小学校の統廃合は止めて下さい。</p> <p>私は六十数年前、目比町に住んでおり、千代田小学校に通っていました。病弱でしたので、片道40分の通学は大変でした。ですからよく学校を休みました。</p> <p>今は田代の住人です。四十年前のことですが、我が子は坂田小学校で学ぶことができました。通学距離が短いお陰で、道中の心配も無く安心して通わせられました。本当に助かりました。</p> <p>そもそも、田代区は坂田小学校のお陰で成り立ってきた住宅地です。ですから、坂田小学校が無くなれば、ここに住む利点は無くなります。世代交代期の今、せつかく少しずつ新しい家が建って、新しい住民が流入しつつあるのに、この流れは止まるでしょう。そして、田代の住人は激減し、謂わば限界集落、ゴーストタウンになるのではないかと想像しさえしてしまいます。稲沢市はコンパクトシティなどという政策を掲げておられるようですが、まさか市の中心部の周辺地域がそのようになるのを望んではおられないと思いますが……。</p>

13	<p>「子育てと教育は稲沢で」というスローガンも掲げておられますね。何をしてそのように言えるのでしょうか？子どもの数の減少を口実にして学校の数を減らすのは真逆のあり方ではないでしょうか。むしろそんな状況の中でこそ目指せる少人数教育の充実に力を注いで頂きたいです。今、全国で統廃合の嵐が吹き荒れているようですが、そんな中でこそ稲沢市内の小学校を存続させることによって、「子育てと教育は稲沢で」というスローガンが生きてくるのではないですか。</p>
14	<p>子供がいないから統合も理解できるが、子供が増えるよう手立てが大切。娘夫婦が家を建てたいが市街化調整区域で建てれない。国、県に稲沢の現状を理解してもらい若者が移住できる町造りが必要。</p>
15	<p>計画案4ページを見てわかるように、稲沢市の中心の学校は児童が多いことがわかります。市の中心から離れたところに住む若者が少ないのは市街化調整区域により、家が建てたくても建てられない若者が多数いるからではないでしょうか。国や県の意見に従うだけでは何も変わらないと思います。市街から離れた高齢者を支えることができるのは、若者です。その若者たちが過ごしやすい環境作りが必要だと思います。学校を少なくするよりも前に、子供たちが集まってくるような子供支援を整えるべきだと思います。</p>
16	<p>計画案は、次のことを実践したのちあらためて検討してほしい。まずは、現状の施設設備に対する必要な補修等により現状を継続しながら、一方で市の計画として「子どもの数を増やすことを視野に入れた10年計画」として多数の具体策を示す。担当部署で一年間をめどに当該計画案の作成、議会に提案・承認を得てその後、10年間実践、検証その上で、あらためて策定委員会を開き検討していただきたい。地区説明会で人口増加対策として「調整区域でも下水道が整っているところは家が建てられるよう・・・」との説明だったが、出席者はもっと期待していた。「今後様々な人口増加施策により、住居建設や転入の増加、子どもの数の増加等が見込まれ・・・そして、それらのことが、統廃合のことに波及し、今後、現状維持を大幅に上回る子どもの数が見込まれる・・・」とした建設的な案を期待していた。「子どもの数を増やすことを視野に入れた10年計画」が実施されていないにもかかわらず、計画案4ページの児童数推計はどのような根拠で示されているのか説明責任を果たしていない。不誠実である。市議会で「子どもの数を増やすことを視野に入れた10年計画」として多数の具体策を議決した上で、実践を行い、子どもの数がいかに増えていくかを検証し、その上で、あらためて同策定委員会を開き検討していただきたい。</p>

17	<p>少子化の影響で小学校統合を考える前に、祖父江地区などに子供の人口が増えるような政策を考えて実施すべきであると考え。</p>
18	<p>「案」で統廃合の対象とされた学校のある地域は比較的人口が少ない地域であり、その地域から学校がなくなれば子育て世代が住まなくなり（実際に統廃合対象地域ではそこに学校があるから移住してきた事例は少ない）、人口減少に拍車がかかる可能性がある。さらにそれらの学校が地域で果たしている役割を考えると、地域の「まちづくり」の核であり、多くが地域の人々の心の拠り所である。それを考えればさらに地域への負の影響がさらに大きい。市当局が統廃合対象地域がどうなっても構わないと考えていれば、別に気にすることもないのだろうが。</p>
19	<p>・人口減少対策と交通網整備について p. 4、別表2、別図1を見ると、令和11年度に児童数が増加または現状維持の小学校は鉄道沿線に立地していることが多い。学区に駅がある、駅が近いという点はまちに住み続ける大きな要因となっている。鉄道沿線以外でもバスなどの交通網が整備されていれば同様の効果が期待できるが、残念ながら稲沢市内には公共交通機関が整備されていない地区が多くあり、その不便さが人口減少に繋がっているように推測される。高齢化の観点からも市内の交通網の見直しは必須であり、学校再編・統合によるスクールバスの運行と合わせて抜本的なコミュニティバスの運用改善を強く求めたい。そもそも、人口が増加に転じれば学校再編・統合の必要性も低くなる。説明会でも話題にあがっていたが、稲沢市の人口増加対策が市民に見えてこない。都市部と農村部では抱える問題も異なるため、各地域に合わせた対策を講じてもらいたい。農村部の人口減少を食い止め、市全体の人口増加を目指さなければ数年後にまた新たな学校再編・統合問題が生じかねない。</p>
20	<p>この案に反対します。小中学校は、地域の拠点として必要不可欠な存在です。古くからの伝統校であれば、尚更重要な存在です。今の日本の地方各地が抱える問題ですが、地域に空き家、耕作放棄地が目立ち、若者の流出が続く中で、当長岡地区で小学校が廃校になれば、その流れに拍車がかかるのは明白です。稲沢市でも、当長岡地区は都心から車で1時間という近さにも関わらず、その傾向が顕著で、このまま何の対策も無ければ限界集落、集落消滅になる恐れがあります。小中学校の統廃合の問題は、地域の存続に繋がる問題だと思います。全国の自治体では、様々な努力が為されていると聞きます。稲沢市が市西部特に長岡地区の将来にどのようなビジョンを描いているのか、地域の住民に説明をしていただきたいと思っています。</p>

2 1	<p>第4章 3 地域とのつながりを大切にする施設について</p> <p>子どもたちの成長や教育には地域環境も大きく影響しており、前述ように、再編・統合されることで地域との密接なつながりは崩壊する。学校(公共)施設を地域に開放すれば、地域のつながりが生まれると考えるのは安易で旧態依然である。</p> <p>仮に小学校も無くなると、長岡小学校の校区内に市の施設が無くなり、稲沢市東部との格差が益々広がっていく。西部は農業振興地域で高齢化・過疎化が進んでいることに対し、更に人口減少につながる施策を策定して、現住者には我慢を強いているのではないか。</p>
2 2	<p>子どもたちが学ぶ地域教育について、身近な地域を知るための子ども用地域資料が少ないと感じている。過去の社会科副読本は、地域の成立や特性を知ることができる貴重な教材のひとつであるが、教育委員会や稲沢市図書館にも過去資料がすべて保管されているわけではない。また、数少ない子ども用地域資料も図書館では禁退のため利用されていないのが現状である。特に稲沢市・祖父江町、平和町が合併される以前の社会科副読本は子どもたちが身近な地域を学ぶために必要な教材である。そのため、一部の学校に保管されている(だろう)資料を回収してデジタル化し、子どもたちが利用できるように整備する必要があると考える。稲沢市は東側と西側の文化が大きく異なる。その全体が稲沢市であるということを知ることが学ぶ必要がある。また、同時に市町村合併や学校再編・統合により、身近な地域が広域化されることで、地元愛が希薄なものとなり、将来的に地元にとどまり貢献しようという機運が薄れるのではないかと考える。子どもたちが身近な地域を知り、愛着や誇りを持つことで人口流出を防ぎ、過疎化を回避することにつながるのかもしれない。将来の稲沢市を担う子どもたちがどのような選択をするのかを見据え、逆算して現在の教育環境を整える必要があるのではないかと考える。</p>
2 3	<p>稲沢市の人口が5年計画では650人程度増やしますという計画があったのに、600人程度減っています。行政として何か対策をしたかどうか聞きたい。</p>
2 4	<p>人口問題として、市の東部では人口が増えているが、西側は減少している。特に合併してから減り始めているが、人口減少対策は何か行ったのか。</p>
2 5	<p>将来人口が減っていくから学校も減らさなければならぬ、そのことが前提でこの計画ができていると思うが、今まで市は人口が増えるといってきたことと違うのではないか。</p>

26	<p>今回の計画案については、再編すると良い点ばかりを挙げ、アピールしているものと思われれます。しかし、再編を行うと問題点が必ずあります。これらの問題にどう対処していくかが最大の課題であります。具体的な問題として、小学校の数を再編すれば、過疎化が促進されます。ところで、稲沢市のヴィジョンは何ですか？小学校の再編計画は、この稲沢市のヴィジョンの一部です。この過疎化という問題と小学校の再編は同時進行で取り組まなければいけないと思います。</p>
27	<p>児童生徒数を増やす施策をするべきです。</p>
28	<p>別表2 標準規模化に向けた対応策 市の示す標準規模に満たない学校は祖父江、平和、千代田、明治地区とそのほとんどが尾張中央道の西部に位置する。これは、650人の社会増を目指しながら結果は661人の社会減となったことが大きな要因である。第2期の総合戦略も失敗してこれ以上社会減が進めば、2029年度の児童数はこの表以下になることも危惧される。「子育て・教育は稲沢で」という市の方針はどうなってしまったのか残念でならない。</p>
29	<p>6ページ 県内市別の小・中学校数及び児童・生徒数の状況 この表には現れていないが市の人口に対する児童数の割合である。稲沢市、小牧市は約5.1%に対して安城市、豊川市、西尾市、刈谷市は約5.7%である。この0.6ポイントの差は大きく人口10万人につき600人の児童数の差があることになる。この要因は、三河地区の中核都市は開発を積極的に進めて子育て世代の呼び込み、社会増を図ってきたからと考える。</p>

30	<p>近隣の一宮市は、出生率向上を図るための子育て支援策を実施してきた。また、一宮市に住みたくくなるような環境づくりを実施してきた。その結果、平成27年からの5年間で約1800人の社会増という成果を上げてきた。</p> <p>一方の稲沢市では、「まち・ひと・しごと創世総合戦略」の計画を策定はしたものの具体的な方策に欠け、1期目の目標は650人の社会増を目指したが結果は661人の減という悲惨な結果を招いた。つまり、稲沢市の人口の減少は自然減だけでなく社会減がそれに拍車をかけている。</p> <p>現在2期目の「まち・ひと・しごと創世総合戦略」に取り組んでいるが、特に周辺地域、具体的には尾張中央道西側地域の市街化調整区域のインフラ整備、空き家対策、企業誘致による雇用促進、区画整理や住宅環境整備などにより子育て世代を呼び込むことである。改正都市計画法により、市街化調整区域における相当程度の開発行為が可能になった。稲沢市も早期に市街化調整区域内地区計画運用指針を策定し、具体的な方策を用いて社会増になるように、市の最重要課題として取り組んでほしい。</p> <p>小学校の統廃合はその結果を受けてからでも遅くはない。当面は長寿命化工事で学校を存続すべきである。</p>
31	<p>再編・統合の理由の中で、①現状の学校ごとの児童数と②学校の老朽化による建替費用負担が、大きな問題となっているのは理解できる。しかし、①について、地域における児童数の増減は、団地や新興住宅地の発生とその後の年数経過によって必然的に生じるものであり、学校の老朽化が生じるサイクルよりも短いスパンで起きる問題である。また、学校の老朽化は主に教育行政の問題になろうが、団地や新興住宅地の発生は市行政の影響力が大きい問題であり、対応を教育行政主体で解決しようとするには無理があると考え。つまり、学校の再編・統合は現在の問題の解決にしかならず、将来再び起きてくる問題といえる。この点をもっと考慮されたい。</p>
32	<p>30～40年前から進められていた国の農業地の維持・振興策は、効果の上がない地域がほとんどであり、農業離れが一段と加速しているのが現状である。このためもあり農家を継ぎたいと思う若年層が極端な減少を続けている。周辺地域における児童減少は、この若年層の流出が引き起こしていると言っても過言でないと考える。</p> <p>地目上で農地となっているだけで実質的に耕作放棄地となっている農地の集約化は、以前より格段に現実味があると考え、市は独自にこの施策をもっと積極的に押し進めることによって周辺地域への人の流れを取り戻すことも学校の再編・統合を進める上で重要なことと考えるが、そのような方策と切り離されて学校の統廃合が検討されているように見え、納得できない。</p>

33	地域における児童数の増減問題を解消していくには、市行政による積極的な若年層引き留め・呼び込み施策、商業施設・事業所・住宅を誘導するための土地規制の緩和、市内交通網の整備などを、対象とする地域を見据えながら、複合的に推進していかなければコントロールし難いもので、学校教育という単独の場の上で考えられるものではなく、市の発展全体の中に位置づけられるべきものであり、市行政との連動が必要である。	
34	長岡地区は高齢化が進んでおり、保育園に続き、万が一小学校までなくなれば、人口減少に拍車がかかると心配でなりません。その点も十分に考え、計画、対処をお願いしたい。そして十分な説明もお願いします。	
35	人口減が一番の問題で、今後30年、50年後の状況を考えて対策を作らないといけない。目先の対策ではダメ、人口増に対する行政の対策が必要。	
36	近くに学校がないとこの稲沢に住みたい人は減少する。	
37	P. 39～40 学校がなくなるのではないかという不安から、祖父江町の人口は急速に少子化が進んでいる。学校再編・統合で人口減少が加速するのではないか。学校再編・統合が人口減少を鈍化させる＝少子化に歯止めをかける根拠はあるか。	<p>学校再編・統合は人口減少に歯止めをかけることを目的としたものではありません。</p> <p>ただ、瀬戸市では、令和2年度に市内の小学校5校、中学校2校を統廃合し、小中一貫校として開校しましたが、施設が新しくなり魅力的な学校ができたことも一因となり、子育て世代の転入が相次いだことで、令和2年度の開校時点よりも令和5年度には児童生徒数が約250人増加し、学校や地域が活性化した事例があります。</p> <p>本市においても、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつ</p>
38	3ページ 児童生徒数の推移と小規模校の増加 今後の児童数が中学生徒数より減り方が激しいのはどういうことか説明がほしい。 2029年度の児童数は2023年度に比べて1205人の減少、17.4%でこれは異常な減少率である。この予測は、自然減だけでなく過去5年間の稲沢市の「まち・ひと・しごと総合戦略」の明らかな失敗に他ならない。第2期の総合戦略により、国府宮周辺のみでなく尾張中央道西側の市街化調整区域の再開発を積極的に進めて子育て世代の呼び込み、稲沢市も社会増に移行することが強く望まれる。	<p>中学校生徒数は、2029（令和11）年度は3,448人で、2023（令和5）年度と比べてほぼ同数となる見込みですが、稲沢市外の中学校に通う生徒が例年200人程いることを考えると、推計よりも減少することが予想されます。</p> <p>出生数の減少により、児童数は減少する推計となっています。</p>
39	計画の推計児童数の数字自体が信じられない。	児童数の推計値は、昨年度までに生まれた子どもが、そのまま小学校に進学されとした場合の児童数となります。今後児童の転入・転出があった場合は、推計値から増減することになりますが、特段の事情がない限り、推計値から大きく乖離することはないと考えます。

「地域の声」に関するご意見

15件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>それぞれの地域の発展を考えるのであれば「該当地区住民の意見」を尊重するべきだと思います。</p>	<p>本計画案は教育委員会としての基本方針の位置付けであり、実際に学校再編・統合を進めるにあたっては、地域との合意を得ながら、地区毎に個別で基本構想を定めていく必要があります。</p>
2	<p>名古屋で育ちました。結婚して春日井市に引っ越し、その後清須市を経て祖父江町で今、生活しています。都会育ちの私が今この地に引っ越して心から感じているのは、地域の方々の温かみです。田舎だから少人数だから大人も子どもも一緒になって親戚のようなお付き合いが出来ているのではないかと思います。子ども達が学校に行くにあたり沢山の親御さんとも仲良くなれました。</p> <p>長岡周辺は確かに校舎も含め古い家屋も沢山あり、子ども達も少なくなっているようですが、この古い家屋はずっと壊すだけでしょうか？私のように新しい住まいを求め若い人達がまた子どもを育てれば、この地は生きていくと思っております。いずれ過疎化になればなくなるであろう学校だとしても、子ども達の通学距離、親達の負担等、将来を見据えればまだまだ地域住民の方々の意見、要望等を出し合い決めていただきたいと思っております。2月4日に計画の出前講座で長岡小学校に行きました。子ども達の学校を長岡を是非残していきたい方が沢山おられました。もっともっと沢山話し合いをしていき 今後の施設整備を進めていただきたく思います。我々の世代よりもとりあえずは沢山の子ども達の意見も是非尊重して欲しいです。私は長岡に来て本当に良かったなと思いません。</p>	<p>そのため、計画が承認されましたら、来年度以降、計画に基づき学校施設整備を進めるとともに、再編・統合の第1期対象地区を中心に、必要性をご理解いただくための説明会を開催し、再編・統合に向けたスケジュールや場所、跡地利用、通学の安全確保策等について協議を行う（仮称）地域協議会の設置に向けて、地元との合意形成ができるよう進めてまいります。</p> <p>計画案策定までの期間が短いのではないかとこの意見について、計画案は策定委員会で審議、検討し、了承を得られたものであり、学校再編・統合の方向性についても、保護者アンケートでは8割以上の保護者が一定の理解を示しています。したがって、学校施設の老朽化が待ったなしの状況で、地域と十分協議しながら、地域の理解や納得を得た上で学校再編・統合を進めていくためにも、地域における個別の協議や検討に十分な時間を割くことができるよう、計画案の今年度中の策定を目標とするものです。</p>
3	<p>計画案に反対です。統廃合を計画している地区すべての方に計画案を見ていただき、意見をいただくべきです。説明会に参加した一部の者のみ意見を募って、多くの市民の意見を確認したとしているならばやり方が間違っています。なぜ広報と一緒に計画案と意見書を配らないのか疑問に思います。2月9日提出期限というの納得できません。なぜ、もっと多くの方の目に止まるような公表にしないのか、市のやり方に怒りを覚えます。統廃合対象地区全員の方に意見を求めてから計画案を練り直すよう強く求めます。</p>	
4	<p>2月4日の長岡小での出前講座に参加しました。そこで出た質問を理解してもらい、みんなが納得して、良い施設づくりをして欲しい。</p>	

5	<p>わずか半年の策定委員会の論議で、計画が作成されている。小5、小2、年中にアンケートを取ったというものの、統廃合が実施される時にはすでに卒業しており、住民の声を聴いたことにならない。20年30年先と統廃合の結果が子どもたち・住民を縛ることになる。形式的なアンケートではなく、住民との合意が必要である。アンケートそのものも統廃合を誘導する中身になっている。「小規模でクラス替えができない小学校が増えても現状のままがいい」と否定的な文言を前提にしての設問になっている。「現状の学校配置が望ましいが、老朽化した学校施設の建て替えが必要になった場合は、小学校の再編・統合を進めるのは仕方がない」―「現状の学校配置が望ましい」と「統廃合」という矛盾する事柄を曖昧な言葉で結びつけ、統廃合も仕方がない、と誘導していく。説明会やパブコメの案内が市広報に載ったとしても、統廃合がその中身であるとの文言は一言もない。しかも説明会はパブコメの説明であって、意見交換はしないとの限定をしつつ、平日の昼間開催という設定は本気で住民の意見を聞くという姿勢がない。田代地区でのアンケートでは「隣に小学校があるとの魅力で引っ越ししてきた。廃校と聞いて驚いた。そうであれば引っ越ししてこなかった。学校が遠くなれば若い世代は住まなくなる。『子育て、教育は稲沢で』というスローガンに矛盾するのではないか」との声が出されていた。こうした住民の声こそ聴くべきだ。</p>
6	<p>統廃合する地区への説明会を土日に開催する。オンラインで開催する。夕方に開催するなど稲沢市民への説明を徹底すべきである。</p>
7	<p>「案」の決定に至る期間が短すぎる。策定委員会の設置からわずか半年で「案」が決められたことも大きな問題だ。このパブコメの期間を入れても10ヶ月に過ぎない。学校統廃合には問題点が多く、学校だけでなく地域の問題でもある。私は「案」には反対の立場だが、市教委があくまで統廃合の必要性を言うなら、市民との十分な話し合いの上での合意が必要のはずだ。確かに「案」40Pの「(4)対象地域との合意形成」なる項目があるが、そこに書かれているのは、統廃合が前提の「合意形成」に過ぎない。統廃合をするかしないかから話し合いを進めるべきだ。学校は単に市の財産であるだけでなく、市民(住民)にとっても大切な財産であり、地域の将来を考えれば地域の財産でもあるからだ。</p>
8	<p>どういう町に住みたいか、子どもたちがどんな町で育ててほしいのか？ 私たち自身が自分事として考えて行きたいと思えます。話し合いを重ねていただけたらありがたいです。</p>

9	<p>・住民説明会について 1/18開催の説明会と2/4開催の出前講座に参加して、市が説明したい内容と住民が知りたい内容にズレがあり、双方の主張が噛み合わず平行線をたどる場面が多々あった。市側の説明は大変わかりやすく質疑にも真摯に対応していたが、住民側は願望や感情論を中心に若干高圧的な発言が多かった。しかし、それは自分たちの生活に直結する議題だからだ。自分も感情論を言えば「母校が廃校になって欲しくない」と思うが、一方で児童数が著しく減少していく状況で何が子どもたちの教育環境として適切なのかと考えると学校再編・統合は仕方がないとも思う。自分自身の意見でさえ立場や状況で変わるのだから、住民の数だけ様々な意見や課題があるのは当然だ。仮に3月に計画案が決まったら、(仮称)地域協議会等だけでなく、地域住民への丁寧な説明と議論の場を設けてほしい。また、住民は庶務課など個別の部署に意見を出している訳ではなく、「稲沢市」に意見を出している。今後の説明会では関係部署の職員を同席させてほしい。学校が教育だけではなく地域住民にとって防災、歴史、誇り、繋がりなど多様な関わりを持つ場であることを認識して丁寧な対応をお願いしたい。宮城県女川町では震災復興に際し200回を超える住民説明会を実施した。稲沢市も可能な限り広く市民の意見を聞いて、未来を担う子どもたちに最適な環境を整えてほしい。</p>	
10	<p>説明会に参加した際にこの計画案は「たたき台」だと言われました。またp40～41では、地域協議会等を設置し地域住民とも協議するとありますが、それらの話し合いの期間が1年というのは短いと感じます。小学校の統廃合は災害時の避難場所の問題も考えていかなければいけないと思います。今後人口の増加が見込めないという数字が見えているのなら、高齢化問題もあります。自分たちの住んでいる場所の未来を総合的に考えていく必要があるのではないのでしょうか。 また、学校教育課の稲沢市教育方針「ふるさとに学び、ふるさとを愛する心を育む」を実現するためにも、子どもたちの考えも聞きたいです。</p>	
11	<p>学校統廃合の一番の当事者は子ども達です。日本国は子どもの権利条約を批准しています。愛知県内では名古屋市、豊田市など相次いで子どもの権利擁護機関が出来ており、子どもの権利条例も制定されています。子どもの権利条約に基づいて子どもには意見表明権があります。稲沢市の学校統廃合についても、子どもが意見表明をするシステムを保証した上で進めて頂きたい。それが出来るかどうかは、誰のための学校統廃合か、子どもが当事者だと考えて学校統廃合を考えているかが問われることです。</p>	<p>子どもの意見を聞くことは大切だと思いますが、子どもにとっては、自分が通っている学校がすべてであり、学校規模ごとのメリット、デメリットがある中で、その意見でもって将来の学校のあり方を判断することは、適切ではないと考えます。 このため、施設整備については、保護者に対してアンケートを行ったものです。なお、子どもたちの意見については、校名や校歌、あるいは、特色ある教育活動など、新しい学校を具現化する際に、取り入れることを考えています。</p>
12	<p>当事者である小学生と中学生にも意見を聞き、計画に反映すべきである。</p>	

13	<p>学校の規模、児童生徒数が、大きなマンション建設などの影響によっても増減することを目の当たりにしました。</p> <p>学校編成は、教育の問題だけで切り取れるものではなく、持続的な都市開発計画として長期的また包括的視野から立案されているものと思えますが、学校再編によってどのような町がそこに生まれるのでしょうか。</p> <p>そこに住んで学校に通わせたいと思う人がどれくらい期待できる学校なのか、子どもだけでなく、大人にとってもどれほど利用できるのか、公共施設としてどのような利用価値があるのか、町づくりの貴重な意見交換の機会にもなり得る計画だと思えます。</p> <p>地域住民と共に、明るいビジョンを持てる計画が今後整備されていくことを期待しております。</p>	<p>学校は教育施設であるのと同時に地域コミュニティの拠点であり、学校再編・統合は、まちづくりの在り方にも影響を与えることは認識しております。このため、計画案でも地域との合意形成を図ることとしています。施設が新しくなり魅力的な学校ができたことも一因となり、子育て世代の転入が増加した自治体もあることから、本市においても、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつくっていきたいと考えています。</p>
14	<p>・住民投票について</p> <p>再編該当地域においてですが、住民投票をしてはいかがでしょうか。非常に費用対効果の悪い方法となりますが、そのような手順を踏めば、民意を知ることができます。</p> <p>間違っても稲沢市全域で住民投票は行わないでください。それでは正確な民意は反映できません。あくまで再編該当地域に限定してなされるべきです。そうすれば、「再編該当地域では、このような結果だった」と明示することができ、住民も納得できます。</p> <p>稲沢市に住民投票に関する条例がない場合は、住民投票制定運動から始まりますので、時間がかかる方法です。</p>	<p>本計画案はあくまでも教育委員会としての基本方針の位置付けであり、基本方針の策定に関して住民投票を行う考えはありません。</p>
15	<p>児童生徒数の推移、小規模校の増加、施設の老朽化、借地料等の課題に対応するため学校再編を検討する必要があることが分かりました。長期的視野が必要とされるこの大きな課題に対して、計画（案）をご提案頂きありがとうございます。また、パブリックコメント募集という、市民にとって貴重な機会を提供頂いたことにも感謝いたします。</p> <p>厳しい条件下で、のんびりと考えていられるような課題ではないのですが、地域によって抱える課題が多様で、それぞれの地域で丁寧な対話を重ねる必要があるように思われます。</p> <p>（案）の内容については、今後どのような予定で検討されていくのでしょうか。</p> <p>別表3の整備スケジュール目標などは先に挙げられた課題の元となる数字の面から綿密に検討されているようで、統合が唯一の解決策であるようにも見受けられます。市民から他の可能性について意見が出るような場合、それが少数であってもきちんと議論されるのか、この資料からは読み取りにくいように感じました。</p>	<p>意見にありますように、地域によって抱えている課題は多様ですので、（仮称）地域協議会等の場で、地域住民との協議を重ね、その地域にとって最適な施設整備に関する基本構想を策定できればと考えています。</p> <p>また、地域住民から提案があった場合は、その提案についても議論し、計画を変更する必要が生じれば、適切に計画の変更を行っていく考えです。</p>

「賛成・反対・提案」に関するご意見

59件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>坂田小を廃校にする場合は、千代田小は借地率が54.4%（資料P12）と高いので、梅須賀や井堀の通学距離が短くなるように今より北側の土地を買い取り、そこにICT環境が整いZEB化を推進した統合後の千代田小の新校舎を建てただけきたく思います。千代田小の借地は返却し、千代田小の現市有地も小学校統合後は千代田中の敷地として活用できるのではないのでしょうか？</p> <p>統合後は、現坂田小の児童は朝、徒歩通学も必要なため坂田小へ徒歩通学させて、そこからスクールバスで運ぶという形が好ましいと思います。</p> <p>（南麻積が遠くなるなら坂田小学校へ来てもらい、一緒にスクールバスで運ぶという方法もあろうかと思えます。）</p> <p>「遅刻した児童の対応」や「帰りは学年で時間が異なる」という点については、コミュニティバスが千代田地区では有効に使われていないとの市の報告がありますので、その経路と時間を調整することでコミュニティバスを活用するか、スクールバスの柔軟な運用を検討していただきたく思います。</p>	<p>学校再編・統合の際の新校舎の立地や通学手段等については、（仮称）地域協議会で検討することとしています。意見にあります提案も含め、地域の方から様々な意見をいただきながら、検討してまいります。</p>
2	<p>p12に借地料が167,451,868円とありますが、借地率の高い学校を統廃合して、借地料を削減し、残す学校の修繕費や新しい学校の建設費に充てれば良いと思います。</p> <p>長岡小学校は、借地料0%です。</p>	
3	<p>坂田小学校は分校という形で存続させてはどうでしょうか？</p>	<p>本計画案における再編の考え方として、1学年2学級以上とする標準規模化を図ることを目的としています。分校にした場合は標準規模とならない見通しですので、分校については考えておりません。</p>
4	<p>千代田小学校区の中で千代田小学校までの距離が遠い地区を坂田小学校区に変更することで、坂田小学校の児童数増を図れるのではないのでしょうか。</p>	<p>通学区域の見直しにより、両校が標準規模を満たすことが可能であれば、選択肢の一つだと考えますが、現状の児童数推計上では、標準規模を満たすことは困難と思われれます。</p>

5	<p>小学校については現在の23校から12校程度に削減すべきと思います。祖父江地区が6→1、その他も地域ごとに統合すれば可能だと思います。</p> <p>子供にとっても人数が集まれば多様な友達とふれあい学校行事も賑やかになり遠足、修学旅行もより楽しくなるだろうし校舎建替えて耐震性能、断熱性能も格段に上がり安心、快適に過ごせます。教員不足も解消できるのではないのでしょうか？通学距離が長くなってもスクールバスを手配すれば全く問題なく、むしろ子供達にとっても楽しいと思います。近くにある学校がなくなると寂しく感じる気持ちも分かりますが、今後も大幅な児童数減少が確実な状況では進めるしかありません。中学校についても2校程度は統合したほうが良いと思います。</p>	<p>意見のとおり、計画案は、児童が多様な意見に触れる機会や集団での学びの機会を保障するためには、一定の学校規模が必要との考えに立ち、学校施設の建替えを機に標準規模化を図っていくものです。新しい学校施設が、子どもたちにとって「明日また行きたい学校」となるように、また、そこに集う人々にとっても「いきいきと輝く学校」になるように、魅力ある学び舎を整備していくことで、子育て世代にとって魅力ある学校施設、魅力ある地域となればと考えています。</p> <p>施設が新しくなり魅力的な学校ができたことも一因となり、子育て世代の転入が増加した自治体もあることから、本市においても、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつくっていきたいと考えています。</p>
6	<p>早く小学校の統合をしてほしい。その後は中学も見直してほしい。</p>	<p>中学校も再編・統合をとの御意見については、生徒数の推計では中学校において令和11年度時点で標準規模を下回る学校がない見通しであること、また、本市では中学校区単位でまちづくりを進めていることから、中学校の再編・統合については現時点で考えておりません。将来的に中学校においても標準規模を下回るようになった際には、計画の変更も含めて検討すべきと考えます。</p>
7	<p>単学級によるクラス替えが無いこと、教職員が少人数しか配置されないことによるデメリット解消のため統合には賛成。</p>	
8	<p>祖父江町においては、小学校6校を1つにすべきだと思う。子供が少ない。増える見込みがない。電気代など節約できるだろうし。先生の質もよくなる。</p> <p>一つの学校にして、先生があまるなら、一クラス三人でも良いのでは。先生の負担も少なくなるだろうし、残業問題も解決できるだろう。</p> <p>通学に関しては、親の負担がないよう、バスを走らせる。6校を運営するのと1校を運営するのと、試算してみても、どうだろうか。</p>	

9	<p>人口減はある意味では自然現象でもあると思うので仕方がないことだと思います。</p> <p>統廃合はやむを得ないのではと考えますが、統廃合をきっかけに子育て世代が住みたいと思うような街づくりが進んでいくといいなと思います。私は地域で助産師として働いているので、子育て世代の方と話をすることが多いのですが、市内でも学区によって教育レベルに差があるという話や、教育レベルが高いらしい(?)一宮に引っ越そうと思うとかいろんなお話を聞きます。今の子育て世代は昔ほど地元への帰属意識は高くないのではと思います。地元で周りの人に支えられながら育てていく、というよりも、夫婦間で選択して自分たちに合う場所を決めている方が多いと思います。そのために、魅力ある小学校や街づくりを行うことで、稲沢に住みたいと思ってくれる人が増える可能性は十分にあるのではと思いました。</p> <p>地元の小学校は色々な家庭や経済状況のお子さんがミックスするところに良さがありますし、純粋な感覚で友達と関われるのが小学生時代の良さだとは思いますが、人同士なので、児童数が多くても少なくても人間関係の問題はつきものだと思いますが、それを未来への糧にしていけるかは関わる大人の影響が大きいと思います。建物などのハード面はもちろん大事ですが、様々な価値観や背景を持つ子どもたちを大人が温かくおおらかに包み込んで、子どもたちが自分らしく学習のスタートを切れるような小学校環境が整えられたら、稲沢市の未来への明るい希望が見えるような気がします。</p>
10	<p>祖父江中学校区の6小学校について、今後の児童数の推移は、人口統計データや稲沢市の出生数から見ても減少していくことが推察できる。</p> <p>未来の子どもたちの活力ある学校教育を展開していくため、早期に標準規模に整備していくべきと思います。</p> <p>稲沢市の年少人口及び生産年齢人口が減少する一方で、老年人口は増加します。</p> <p>稲沢市の財政状況は、社会保障費の増加や公共施設の老朽化に伴う更新経費の増加、その他の様々な要因により財源を確保することが困難な状況になっていくと思います。</p> <p>学校施設についても人口規模に見合う統合により、新しい時代の学びを実現できる施設を整備するとともに、財政の健全化に努めてほしいです。</p>

1 1	<p>基本計画（案）に賛成します。 （理由）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校用地の借地率（小学校で25.3%）及び借地料（年間約1億6700万円）が県内最上位であり、その解消につながるため。 ・特に祖父江町の5小学校の生徒数の減少でほぼ1学年1学級であり、学校施設の維持や教職員の適切な配置等で非効率になっている。 ・学校施設の老朽化が進み、耐震性不足や建物劣化でこのままでは児童の安全確保に支障が出てくる。 ・保護者アンケートでも「再編・統合を進めるのは仕方がない」と「再編・統合を進めるべきである」で83%の多数が理解を示している。
1 2	<p>長岡学区だけの話ではなく、毎年人数の減少になります。人数が少ないという良い面もありますが、この先は複式学級が発生し、場合によっては6学年合同になるなんて事も考えられる中で、合併もやもえないし、子供の教育を考えるならばやるべきだと考えます。</p>
1 3	<p>今後、小中学校へ進学する子を養育する身としては、統合を進める前提でお話だけ安心していきます。反対の意見（廃校や予算等）があるのは承知していますが、反対、賛成の意見を聞き、慎重に進めていただければと思います。今後を担っていく子どもたちの未来を最優先に考えていただき、より良い環境を作り上げていただければと思います。</p>
1 4	<p>私は過疎地域に住み、子育て世代の市民です。1学級の人数が10名下回る勢いと聞いたとき（4,5年前）、子ども達に集団での経験がこの町にいてさせてあげられるのか?という不安を頂きました。そのような事実を知ってから学区統合による見直しの賛成派です。</p> <p>基本計画の数値データを見て抱いた印象は、施設老朽化や子供の人口減が分かっているにも関わらず、統合化への初動、議論が遅いのではないかと思います。</p> <p>また、これから先も話が進んでいくのかなという不安も感じています。</p> <p>よく街頭では統廃合STOPや、市の暴走により公共施設が失われる等々のポスターや、チラシを拝見します。過剰な表現だとは思いますが、見る度に、どの世代の声なのだろうかという疑問に持ちつつ、気分を害します。子育て現役世代の方々やこれから子育てを稲沢で考えている方はどう考えているのか？</p> <p>市民全体の意見は大切に尊重すべきなのは前提に、将来を描く子ども中心で考えていただきたいと思っています。</p>

15	<p>別表3では祖父江地区の小学校統合数を「2校もしくは1校」としているが、仮に2校とすると近い将来には再度1校への集約作業を行なう可能性が高い。故に当初から「1校に統合」として(案)を見直して欲しい。</p>	<p>祖父江地区の6小学校を2校とした場合、遠くない将来に再度標準規模を下回る可能性があります。ただ、早期に再編・統合が進んだ場合、6校を1校に再編・統合すると、1学年の学級数が4学級となる可能性があります。保護者アンケート結果では、祖父江地区は「2学級以上を望むものの、4学級以上は望まない」という結果が出ておりますので、計画案ではその点も考慮し、標準規模の確保を前提に、2校での選択肢も提示しているものです。</p>
16	<p>祖父江町の小学校の数は多いと思う。各校の老朽化に伴い避難場所としての機能を果たすのか疑問。保護者の数が少なくPTA活動が円滑にできない。(領内小学校) 主要の通学路が狭く、児童が登下校する際は通行している車と接触しそうな場面が多々見える。(領内小学校) 上記の理由により統合には賛成。 しかし統廃合についての認知度の低さや費用に関しての不透明さ、完成後運営していくコストの不透明さなどが目立つためまずは認知の徹底と費用、運営コストの不透明さの改善が急務と思う。</p>	<p>計画案は学校施設整備に関する教育委員会の基本方針であり、地区ごとの個別の基本構想は、(仮称)地域協議会等での検討を経た後に決定されることとなります。現時点では学校再編・統合の時期や学校規模、通学支援の内容等、未確定な要素が大きいため、正確な試算はできません。地区ごとの個別の基本構想が固まった段階で、ある程度精査されたコストが示せればと考えています。 学校再編・統合を含め、計画の周知については、令和6年度以降も地区説明会や市広報の活用等により、引き続き取り組む考えです。</p>
17	<p>三宅小と坂田小を統合することは考えておりませんか(合わせて200人弱にはなりますが)。廃校になった場合、千代田小までは自宅から大人の足で30分以上かかりますし、途中歩道がない、トラックが通るような細い道もあり薄暗く雨の日も心配です。 三宅小の方が歩道があり見通しがよく通学しやすいと思いますのでご検討いただけたらと思います。</p>	<p>三宅小と坂田小は地理的に近く、提案の趣旨は理解します。ただ、両校を統合した場合でも、令和11年度推計時点で標準規模を満たしておらず、計画案の学校再編・統合の考え方に沿いません。また、小学校卒業後に別々の中学校に通う形となることに対する保護者等の理解も必要です。 通学上の課題については、(仮称)地域協議会等の場で検討したいと考えています。</p>
18	<p>正式な統合化は10年以上先の話だと思えますが、それまでに何か打ち手はないか。 校舎を新設することなく、統合化で前倒し。学区選択できる、合同授業や体験など。</p>	<p>一定の学校規模を確保するための一時的な対応策として、既存校舎を活用した統廃合なども選択肢の一つになると考えますが、この場合においても、地域との合意形成が必要です。仮に地域の合意が得られたとしても、既存校舎の活用は、あくまでも一時的な対策であり、学校施設の建替えの時期までには、改めて学校再編・統合を検討する必要があります。</p>
19	<p>P.40 第4章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方 2.学校再編・統合 (4) 対象地域との合意形成について、対象地域の小学校合同で行事(修学旅行・野外研修を合同で実施する)を進めてはどうか? 現時点であまりにも他校との交流が少なすぎるため、ぜひ実施してほしい。</p>	<p>保護者アンケートでも、小学校を再編・統合する場合に配慮すべき点として、「新しい環境での人間関係づくりや心身のケア」を選択された方が58.4%となっており、(仮称)地域協議会や学校開校準備委員会の場で、対象校での事前の合同行事を検討していく考えです。 また、意見にもありますように、対象地域での合意形成の過程でも事前の合同行事を実施することは、保護者や児童の不安解消につながるものと考えますので、学校や地域と協議しながら検討していきます。</p>

20	<p>計画(案)に反対します。長岡小学校は、長岡地区にはなくてはならない大切なものです。学童の教育はもちろんのこと、高齢者の地域との繋がりに大きく貢献しています。たとえば、高齢者の方の見守り隊は、児童と登下校をともにして、児童の安全を守るとともに、高齢者の運動の機会であり、子どもと触れ合う精神の活性化、生きがい、やりがいの機会でもあり、高齢者の心身の健康増進に役立っています。長岡小学校がなくなって、通学距離が長くなれば今のような見守り隊を維持することは困難になります。児童にとっては、他世代と触れ合う機会が失われ、高齢者にとっても運動、精神の活性化、いきがい、やりがいの機会を失うことにもなります。こうなれば、医療費や介護保険の財政的負担が増大することになります。小学校はコミュニティの結束の中核です。一度失われたら再構築は不可能です。また、長岡小学校は借地率が0%です。これは地域住民や歴代の教職員の方、旧祖父江町の町会議員の方がより良い教育環境を作ろうと努力されたからです。歴史の古い学校で借地率が0%の学校は他にありません。長岡地区の住民が、他地区以上に小学校を大切にしてきたことの証です。地域住民にとってかけがえのない大切な学校です。長岡小学校の統廃合に反対します。</p>	<p>学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。学校再編によって地域に学校がなくなった場合、これまで学校が果たしていた教育以外の役割をどのように継承するかということについては、大きな課題だと考えています。そうした中で、(仮称)地域協議会などの場で、地域の団体とも協議しながら、新しい学校づくりが新たな交流を生み、魅力ある学校づくりにつながるように進めてまいりたいと考えております。例といたしまして、教育活動の継承やモニメントの移設、また、子どもたちの学びの時間や安全性を確保しつつ、地域開放可能な多目的室や会議室、学校図書館などを新しい学校施設に整備するなど、新しい地域の核としての機能についても検討してまいります。</p>
21	<p>今や「子ども家庭庁」ができるくらい10年前とは環境が大きく変化し、地域で子どもを育て、子どものことを一番に考える時代ではないでしょうか。現在「学校を核にした地域づくり」を目指して地域コーディネーターを各学校に配置する中、国が言っていることと、稲沢市がやろうとしていることが矛盾している。地域コミュニティが存続できるかどうか何も考えていない。時期尚早である。緊急事態がおきたとき、最終的には地域でのお互いに助け合うことが必要である。本当にコミュニティを壊して市が率先してできるのでしょうか。</p>	
22	<p>地域とのつながりを大切にすれば統廃合はあり得ない。学校があるから地域につながりがあると思う。</p>	
23	<p>小学生が歩いて通学できるよう2.5km以内に1校は設置が望ましい。避難場所として、少なくしたら災害時の生命の維持が不安になる(能登半島地震の推移を注目してください)。今回のような計画が具体化されると、「大都市に近くて住みやすい稲沢」のイメージが半減し、衰退する将来を迎えることになりそうです。再考してください。</p>	
24	<p>学校が遠ければ若い人の転入はないと思います。益々人口減少になる。</p>	

25	孫二人が通う稲沢市長岡小学校は、小規模校なりの良いところも沢山あるようで楽しく通っているようです。出来れば残して欲しいです。	小規模校にもメリットとデメリットがある中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのため、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。学校再編・統合については、地区説明会のほか、対象小学校区の学校運営協議会やPTA、まちづくりなどの会議で説明し、地域との合意形成が図れるよう取り組んでまいります。避難所等の跡地利用については、通学支援等と同様に学校再編・統合対象地区との合意形成を図るための協議事項の一つとして検討してまいります。
26	私達が、今までたくさんの思い出がつまった長岡小学校を統廃合されて嬉しいわけではない。長縄大会、運動会、ドッジボール大会、授業参観、すべてが私達の思い出。統廃合反対。これが私達の本当の気持ち!!!!!!だからぜったいに反対。	
27	私は、祖父江町の小学校6校を1校にするのは反対です。災害時の避難所のこともありますし、このまま6校をのこしてほしいです。祖父江地区に住んでいます、1クラスしかなく、少ないですが、子どもたちはとても伸び伸びしていて地域の方との交流もあり、とてもいい環境で育てて、素直な子どもたちばかりです。そんなよさをのこしてきたいです。	
28	学校は子供にとって大切なところです。稲沢を子育てしやすい町というならば学区を減らすのではなく、稲沢に住んでよかったと思える学校（少人数学級）にしてほしいです。災害の時にも学校は必要な場所です。計画を中止してください。	
29	P.40 対象地域との合意形成。これが一番大切なので、丁寧に説明し、理解を得る努力をしてほしい。説明会が実績づくりの一環であってはならない。地域にとっては大変重要な問題ですので、一部の人間ではなく、多くの人の意見を聞ける場を積極的につくり、聞いてほしい。（資料等ももう少し工夫し、入りやすい、例えばイラスト等で分かりやすく統廃合の先にはこんな学校を考えていますと織り込めたら）	
30	少人数学級で目の行き届いた教育を望みます。住みやすい町、住みたくなる町として、若い人たちにきてもらおうと考えなければいけないのに、統廃合を強行しようとしています。市民の声をもっと聞くべきです。	
31	子どもの学びの視点が抜けている。人数の問題ではない。	
32	第5章 学校施設整備の基本方針 について第2章で述べられている、学校施設の老朽化と借地料の財政負担が大きな問題であるなら、築年数が新しく借地が無い場所を残し、そこへ新たな学校を建設するのが妥当ではないか。通学距離が問題となるが、再編・統合によりスクールバスを通学手段とするなら、5～6kmの範囲ならどの場所に有っても通学時間が極端に長くなることはない。	

33	<p>統合に際し、施設の面からも、校舎・体育館ともに古いので、断熱・保温がより効いた建物で学習させてあげたいと願います。きれいな机・椅子、きれいなトイレ等、計画案に掲載されているような設備の整った校舎であるのならば、子どもも喜ぶし、学習意欲、登校意欲もより湧いてくるのではないかと思います。長寿命化により引き続き現在の校舎を使う方法、全面建替という方法もありますが、児童の数が少なくなるなか、1校当たりにかかる維持費等を考慮すると、やはり無駄に経費がかかってしまうのではないかという印象を抱いてしまいます。であれば、建設費用は多額を要しますが、1校に集約したほうが、小学校における将来的な財政状況は効率的であると思います。また、国の補助がより多く得られるのが統合であるので、統合を選択すべきです。</p>	<p>本計画案は、学校施設整備に係る建築コストや維持管理費の削減を主目的としたものではありませんが、意見にあるとおり、施設整備に係る国庫補助の割合など、財政面で有利となることは確かです。</p> <p>計画案に掲載している瀬戸市立にじの丘学園や小牧市立小牧南小学校のように、空調や洋式トイレが完備され、ゆとりのある校舎で学べることは、意見にありますように、子どもたちの学習意欲につながるものと考えます。</p>
34	<p>教育委員会が実施した説明会の場で、統廃合により長岡の歴史などが継承されないことを危惧する意見がありましたが、学校が統廃合されるだけで、郷土が失われるわけではないので、それは学習内容次第だと思います。また、防災についても意見が出ていましたが、そもそも木曽川という一級河川の側に避難所が設けられていること自体、疑問・不安に思うところです。統廃合を機に避難所を見直すのも一案だと思います。</p> <p>学校の統廃合については賛成で、着実に計画を進めていただきたいと思います。ただし、通学距離について、事前のアンケート調査により、徒歩よる通学は「2.5キロまで」という案が示されていますが、近年の気候などを踏まえて、通学について慎重に協議していただき、最適解を導いていただきますようお願いいたします。</p>	<p>意見のとおり、学校の再編・統合により地域の歴史が失われることはないものと考えます。地域の歴史は学校施設に依拠するものではなく、地域住民の間で長年受け継がれているものであり、新しい学校においても地域の伝統の継承や交流により地域の歴史をつなぎ、コミュニティを活性化していくことは可能だと考えます。</p> <p>防災拠点として、木曽川の近傍に避難所があることの是非については、(仮称)地域協議会等の場で防災担当者も含めて検討すべき課題だと考えます。</p> <p>通学支援の実施にあたっては、通学路事情(交通量や歩道等の整備状況)や同じ行政区内で不公平感が生じることがないように柔軟に検討する必要があると考えます。</p>

<p>35</p>	<p>私は市内に住む2歳の子を持つ親です。 稲沢市は年々少子化が進んでおり、標準規模に満たない学校が何十年も前から複数あるのにも関わらず、この計画はこれから30年を目安にされています。容易に少子化の進行や建物の老朽化の想像ができたはずなのに、なぜもっと早くから地域や保護者を巻き込んだ動きができなかったのかと疑問に思いました。この計画案は、現在の子育て世代に直接的な関係があるのでしょうか。実行される時期が遠い未来なので、身近に感じる事ができませんでした。この計画と同時進行で、今の子どもたちにできることを考えて頂きたいです。その案として、小学校を自由に選択できるようにお願いしたいです。</p> <p>私が住む地域の小学校は全学年一学級しかありません。5年後、自分の子供をこの小学校に入学させることがとても不安です。十分な教育ができるのか、人間関係が偏ってしまう、多様な意見に接することができない等、不安要素がたくさんありますが、特にいじめがあった場合が1番不安です。</p> <p>稲沢市では特別な対応が認められる場合には指定校変更も可能だそうですが、その前にまずは自分の通う小学校でこの問題が解決できるようクラス替えが可能な環境に身を置きたいと考えます。不登校になり転校しても、転校した先でまた同じようなことが起きるかもしれません。</p> <p>もし反対されている方がいるのなら、これからの子供のことを1番に考えて動いていただきたいです。ご検討よろしく申し上げます。</p>	<p>教育委員会としても、学校施設は「まずは子ども達のための施設」という考えに立ち、子ども達にとってより良い教育環境を整えられるように、計画に沿って施設整備を進めていく考えです。</p> <p>学校再編・統合により1学年2学級以上のクラス替えできる学校規模とする目的は、いじめ対策だけではありませんが、保護者アンケートや策定委員会でも、クラス替えはいじめへの有効な対策の一つであるとの意見がありました。</p> <p>子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があると考えています。</p> <p>なお、学校選択制については、希望する学校が集中した場合、教室数の問題があるため、考えていません。</p>
-----------	--	---

36	<p>長岡小での出前講座に参加しました。その後、参加していた市議会議員のInstagramも拝見しました。その投稿で「質問に対して的外れな回答」とありましたが、そもそも質問自体が的外れのように感じました。今回の統廃合について、児童生徒数の減少、学校施設の老朽化をあげているにも関わらず人口増加が先だろうや明石市を見習え等の意見、避難所等の質問でした。</p> <p>まず第一に学校という教育の場を使っているのは子供たちです。意見や質問をされている方々、参加された市議会議員は本当に子供たちの事を考えているのか…</p> <p>「少人数クラスではいじめはありません」や「クラス替えがいじめを解決する訳では無い。いじめっ子は相手を変えてまたいじめをする。だからクラス替えは必要ない」等と仰っている方もいました。実際の長岡小学校ではいじめもあれば不登校になっている子供もいます。学校、保護者等で対処をした上でクラス替えをし物理的に距離を置くことで安心感を得られ登校出来るようになる例もあります。</p> <p>祖父江地区の場合は小学校で少人数クラス、中学校では6つの小学校が集まり、いきなり大規模になるため、登校出来なくなる生徒も毎年のようにいると聞きます。この統廃合で小学校の時点でたくさんの児童数に慣れておければ中学校での不登校も軽減されるのではと思います。</p> <p>何よりもそこに通う子供たちの事を第一に考えていただき、早期に統廃合を進めていただきたいと切に願っております。</p>	
37	<p>小学校の再編統合ということですが、それぞれの地域の事情、要望によって考えられているのではなく、単に国の定める基準に従ってやっていこうというように思えます。平和町の3つの小学校のすべてについて知っているわけではありませんが、学校ができたのにはそれぞれの歴史、いきさつがあり、極めて長い歴史をもっています。それを無視して一つにするというのは、本当に子どものためになる事とも思えません。地域の中で生まれ育ち、息づいている小学校、それが大切に守られてこそ、地域の存続・成長もあるのではないのでしょうか。それに万が一、大きな災害が起こった時、各小学校は避難する人たちの受け皿として大切な役目を果たすことでしょうか。災害は起こらないほうがいいに決まっていますが、誰にも予測はできません。最悪の事態を想定して様々な施策は考えておかれるべきだと思います。目前の経済的な利害だけではなく、50年、100年、それ以上の先の見通しをもって判断していただきたいと考えます。</p>	<p>「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」では、「稲沢市には100年以上の歴史と伝統を有する学校が多く存在する。学校教育法が求めている「我が国の歴史、伝統と文化の尊重と、我が国と郷土を愛する態度を養う」という精神を重く受け止め、これらの学校の存在意義を考えなければならない。しかしながら、どの学校も永久に現在の場所で存続するという保証はなく、時代の流れや社会状況により変わっていくことはやむを得ない」と記されています。</p> <p>2100年には人口が今よりも半減するとの推計がある中で、学校再編・統合を行うことなく、過少規模となった学校をそのまま維持し建て替えることは、子どもたちにとって十分な教育活動が行えないばかりか、その費用を将来の子どもたちに負担させることとなります。</p> <p>教育委員会としては、将来の児童生徒数の減少に備え、教育の公平性の観点からも、老朽化した学校施設の建替えを機に学校再編・統合を進めることで、一定の学校規模を確保し標準規模化を図り、子どもたちにとってより良い教育環境を整える必要があると考えています。</p>
38	<p>統廃合は絶対やめてほしい。</p>	
39	<p>孫が長岡小学校に通っています。のんびりと歩いて通っています。長岡小学校が大好きだと言っています。小学校をなくさないでください。</p>	

40	学校の統廃合に反対します。地域に根差した学校を残してください。	
41	小学校統廃合は認められない。稲沢市の子育て支援教育の考えが理解できない。P.4 2029年に子どもが減少するからとの理由もあるようですが、市において子供が減少することをよしとしているようにも思われる。若い方や子どもが増加していく事で市の将来があるのではないですか。学校統廃合の考えは稲沢市の未来をも暗いものにすると考える。	
42	まず最初に市長が掲げている「子育ては稲沢で」とおっしゃっているのに反するのは。住まいの近くに保育園、学校があり、地域の人たちのつながりができるのではと思います。それをないがしろにして、ただ生徒数の減少とか老朽化等の理由をつけ、子供たちの気持ち、先生たちの想い等全く無視した内容を押し付け進めていく事に反対します。少人数のクラスで行き届く教育が大事だと。統廃合には反対。税金の正しい使い方をお願いします。	
43	それぞれ「おらが村」で「おらが学校」を作り上げてきた歴史を何だと思っているのか。寂しい限りです。	
44	歴史伝統がある小学校は、地域とのつながりが深い。地域を破壊するような計画は見直してほしい。	
45	財政面で教育の場を困難にしないで。	学校の建替えには、多額の財源が必要となることは事実であり、検討材料として重要な要素の一つではありますが、本計画案は経費削減が目的ではありません。 施設整備の目的は、子どもたちの教育環境を整備し、さらなる教育の充実を図るもので、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進していくために学校の標準規模化が必要であり、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。
46	子供たちの大事な教育より財政を重んじた計画だと思います。	

47	<p>こんな大事な小学校統廃合計画（小学校半減計画）を決定された前提としてことを進めていることがそもそも問題だと思えます。</p>	<p>本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場としての学校施設を整備するにあたって、市内全体の学校の整備方針とスケジュール目標を示しています。</p>
48	<p>「学校施設整備基本計画」とありますが、内容は小学校を半数に減らす「学校統廃合計画」です。どのような学校が「整備」されるのかは示されていません。それは、全て今後「計画します」と表現されています。たくさんの綺麗な写真がありますが、たんなるイメージでそのような学校が整備されるのではありません。</p> <p>2023年12月議会で、市長は「すべての学校をより良い環境にすることは、財政上難しい。」と発言しています。つまり、この計画は、子ども達や地域の住民の願いに答えるものではありません。「小学校を半減する」ものです。再考すべきです。</p>	<p>そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考え、再編・統合を包含する形で策定しています。</p> <p>なお、計画案がどのような学校の整備を目指しているのかは、計画案の第4章に記載しております。</p>
49	<p>この計画は、校舎の建替えと新築の両方があり、密かに統廃合して建て替えるようなところがあるのではないかと。</p>	
50	<p>P.38～「第5章 学校施設整備の基本方針」では少人数学級について一言も触れていないのはおかしいと思えます。学校教育の最大の課題の一つは、少人数教育だと思えます。自治体の裁量で教員を増やし、少人数学級を行う事ができるのではないのでしょうか。</p>	<p>「第4章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の「(5) 多様な教育的ニーズへの対応に資する施設」に「個別最適な学びや学校の多様性と包摂性を高めるため、個別学習や少人数学習など多様な学習形態に対応できる多目的な空間、日本語教室、相談室、不登校対応教室等についても計画します。」と記載しています。また、「第5章 学校施設整備の基本方針」の「(2) 新しい時代の学びを実現する学校施設の整備」として、「学校施設を新たに建築する場合は、新しい時代の学びを実現する学校施設を基本として整備します。」と記載しています。</p>
51	<p>子育てのしやすい町づくりをするためには、「どんな子どもでも」、「どんな状況でも」預けられる安心できる環境づくりが必要だと思うので、不登校の子のための学校や外国の子の学級をつくったりするのが大切だと思う。また、その子たちが人とのコミュニケーションを練習するためにも、たくさんの人と関わりを持つのは大切だと思うので、統合するのはいいと思う。また、小規模でいいので、不登校の子たちの学校が必要だと思った。</p>	
52	<p>現存の学校を改修、建て直しをして使用することはできないのでしょうか。</p>	<p>建物の耐力度の観点から、長寿命化改修を施した場合でも安全に使用できるのは築80年までとなっており、長寿命化改修後10年～15年を見据えて、建替えを検討する必要があります。</p> <p>こうした将来的な建替えを視野に、引き続き子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります、そのために、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。</p>

53	<p>稲沢市西部に、今の地域で「夢のある学校」を建設すれば、稲沢市民の皆様、いや愛知県の皆様、各地域から稲沢市西部に子供たちを通わせたいと思われるし、しかも住んでいただけるようになると思います。人口が増えれば活気ある稲沢市になっていくでしょう。（家がたやすく建てられる稲沢市の条例を作成する）</p>	<p>意見にもありますように、子育て世代にとって魅力ある学校施設を整備することは、人口の流入につながるものと考えます。瀬戸市では、令和2年度に市内の小学校5校、中学校2校を統廃合し、小中一貫校として開校しましたが、施設が新しくなり魅力的な学校ができたことも一因となり、子育て世代の転入が相次いだことで、令和2年度の開校時点よりも令和5年度には児童生徒数が約250人増加し、学校や地域が活性化した事例があります。</p> <p>本市においても、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつくっていきたいと考えています。</p>
54	<p>P.34 9年間を見通した義務教育を支える施設環境について 教育格差が生じないように、学校の統廃合があろうがなかろうが、市内の全校を対象に小中連携の教育活動を実施してください。</p>	<p>学校施設の建替えや再編・統合の機会を活かし、地域の実情等に応じて、小中連携や小中一貫教育といった9年間の系統性・連続性のある教育活動をより効果的に実施できる施設も選択できるよう計画します。</p>
55	<p>P.34 多様な教育的ニーズへの対応に資する施設について エレベーター等のバリアフリーへの対応は、児童はもちろん教師にとっても必要です。車椅子の児童や教師の方が利用できる環境を整備してください。</p>	<p>ユニバーサルデザインの採用やバリアフリー化を行い、利用者全てにやさしい学校施設として計画します。</p>
56	<p>P.37 脱炭素社会を実現する施設について 行政が率先して脱炭素化に取り組むことが重要です。学校施設へのZEBの導入を是非実現してください。</p>	<p>ゼロカーボンシティ宣言（2021（令和3）年9月2日）都市にふさわしい施設として、環境教育での活用や地域の先導的な役割を果たすという観点からも、学校施設において、ZEB（ゼブ）化を推進します。</p>
57	<p>令和6年2月4日 計画（案）出前講座に参加しました。多くの意見がありましたが、その意見に対するご回答か、結論ありきの回答にしか聞こえませんでした。子供達には、教育を受ける権利があります。それを数の論理で一方的に小学校を統廃合するには、あまりにも身勝手すぎます。</p> <p>（案）の中の39ページ2学校再編・統廃合の考え方 の1行に「現状、標準規模に満たない学校であっても、地域住民・保護者・学校が一丸となって、特色ある教育が行われていることに留意し、これまでの教育成果を大切にしながら、子どもたちにとってさらなる教育環境の充実を図ることを優先的に進めて参ります」と明記してあります。統廃合される学校は今まで特色ある教育を行われず、教育成果を大切にしなかったのでしょうか。市政方針を疑いたくなります。もっと魅力のある稲沢市になるために注力することがあると考えます。統廃合の考え方には反対します。</p>	<p>子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのために、再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。</p> <p>学校再編・統合を行うにあたっては、現状、標準規模に満たない学校であっても、地域住民・保護者・学校が一丸となって、特色ある教育が行われていることに留意し、これまでの教育成果を大切にしながら、子どもたちにとってさらなる教育環境の充実を図ることを最優先に進めてまいります。</p>

58	<p>小規模校であろうと中規模校であろうと子どもたちの教育がなされているかどうかが大切である。もっとも地域の方を含めて策定委員会や定例教育委員会でしっかり子どもたちの立場で議論を深めて、稲沢市の方向性を考えるべきである。</p>	<p>本計画案は教育委員会の学校施設整備に向けての「基本方針」としての位置づけであり、具体的な個別施設計画を含むものではありません。</p> <p>学校再編・統合を含む計画案ですので、計画案に対して賛成の声もあれば、反対の声があるのは承知しています。</p> <p>ただ、計画案については策定委員会で審議、検討し、了承を得られたものであり、学校再編・統合の方向性についても、保護者アンケートでは8割以上の保護者が一定の理解を示していることから、計画案の基本的な方向性については、市民の理解を得られているものと考えています。</p> <p>教育委員会といたしましては、学校施設の老朽化が待ったなしの状況で、地域と十分協議しながら、地域の理解や納得を得た上で学校再編・統合を進めていくためにも、地域における個別の協議や検討に十分に時間を割くことができるよう、計画案の今年度中の策定を目標とするものです。</p>
59	<p>計画の中に、新しい学校の写真が掲載されているが、このような学校になるのか。</p>	<p>今後目指すべき学校の姿として、参考に掲載していますが、現在、建替えの設計に入っている大里東小学校でも、この計画案の考えを取り入れて設計を進めています。</p>

「その他」に関するご意見

89件

NO.	意見の要旨	意見に対する教育委員会の考え方
1	<p>計画の骨子案から 「小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っている。」及び「学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、まちづくりの在り方と密接不可分であるという性格ももっている。」という記述がパブリックコメントの段階で削除されています。</p> <p>本来、学校統廃合は教育委員会だけで扱う問題ではなく、あらゆる部局で横断的に議論しなくてはならないはずです。</p> <p>行政にありがちな縦割りではいけないのです。計画案からこの部分を削除したということは、それを分かっているで敢えて教育委員会だけで強行しようという意味表示ととれます。こんな横暴なやり方を見せつけておいて、子供たちが稲沢市に未来を見出せると思いますか？将来稲沢市から出ていってしまっても当然ではないですか？</p>	<p>学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。学校再編によって地域に学校がなくなった場合、これまで学校が果たしていた教育以外の役割をどのように継承するかということについては、大きな課題だと考えています。そうした中で、（仮称）地域協議会などの場で、地域の団体とも協議しながら、新しい学校づくりが新たな交流を生み、魅力ある学校づくりにつながるよう進めてまいりたいと考えております。例といたしまして、教育活動の継承やモニメントの移設、また、子どもたちの学びの時間や安全性を確保しつつ、地域開放可能な多目的室や会議室、学校図書館などを新しい学校施設に整備するなど、新しい地域の核としての機能についても検討してまいります。</p> <p>なお、意見にある資料は計画の骨子案ではなく、第2回策定委員会において、小規模校のメリット・デメリットを策定委員に説明するための資料として、文部科学省の資料を基に作成したものですので、骨子案の段階では記載しておりません。</p>
2	<p>骨子案から「少人数学級」という文言が削除されているが、小規模校が結果的に「少人数学級」を実現しており、そのメリットを享受していると考えられることから、教育委員会が恣意的に削除したのではないですか？</p>	<p>骨子案における「少人数学級」の文言は、文部科学省の有識者会議が取りまとめた「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」等の最終報告を踏まえ、文部科学省が公表した「今後の学校施設の在り方に関する報告書」を基に記載したものです。報告書では、「GIGAスクール構想」や「ICTの活用」と並んで「少人数による指導体制の整備」が挙げられています。これは、習熟度別学習やグループ別学習等を指した文言ですが、骨子案ではこれを「少人数学級」と表現していました。しかし、「少人数学級」と記載すると、意見にもあるように学級定員を引き下げるという意味での「少人数学級」と誤解を招く恐れがあることから、表現を改めたものです。</p>
3	<p>P1・4の計画期間で「必要に応じて計画の見直しを行いません」及びP40(4)で「地域協議会や学校開校準備委員会で対象地域との合意形成を図ります」とあるので、この基本計画(案)を基に十分な論議を重ねて、真に「これからの稲沢を背負っていく子を育てる」ために安全・安心な学校施設を整えていただくように望みます。</p>	<p>計画案は概ね30年の計画期間となっておりますので、社会情勢等の変化や（仮称）地域協議会での協議の内容等を踏まえながら、子どもたちにとってより良い教育環境を整備できるよう、柔軟に計画の見直しを図ってまいります。</p>
4	<p>計画案はどの部署が担当していますか？</p>	<p>計画案は、教育委員会事務局庶務課が主体となって策定しています。</p>

5	<p>本計画案に対し、教育内容を所管する学校教育課はどのような意見を持って臨んでいますか？また、地区説明会に学校教育課が出席していないのはなぜですか？市の企画部局や地域振興担当部局なども出席すべきではないでしょうか？</p>	<p>計画案は庶務課を事務局としていますが、教育委員会という組織で策定しているものであり、学校教育課と庶務課で計画案に対する意見が異なるものではありません。</p> <p>地区説明会はパブリックコメントの一環として計画案について周知・説明する目的で開催したものであり、一般的な住民説明会と異なり、その場で意見交換し、議論を深める目的で開催したものではありませんので、事務局である庶務課職員が説明したものです。</p> <p>計画策定後に地域での説明を実施する際には、必要に応じて関連した部署にも参加を要請することになります。</p>
6	<p>今後、人口が増えた場合に元の学校が復活することはありますか？</p>	<p>標準規模を上回る規模の学級数が長期間継続する見通しとなれば、新たな学校施設の整備を検討することになります。</p>
7	<p>経費削減の面から「職員の給与」についても述べていますが、教員の給与は県の負担であり市の予算ではないことから、市民に誤解を与えるのではないですか。また、学校再編・統合により市職員の削減はどの程度可能と考えますか。</p>	<p>本計画案は職員の削減を目的にしたものではありませんので、計画案に「職員の給与」についての記述や、それに関連した経費削減の記述はありません。</p>
8	<p>最上位計画の「稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）」との整合性のある具体的な検証内容を教えてください。</p>	<p>「稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）」には、「学校施設・設備の適正な維持管理」として、「建替えの必要性が生じた際は、本市の小中学校標準規模を定めた「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」に基づき、学校再編や校区再編も視野に入れて検討します。」と記載しており、整合性がとれたものとなっています。</p>

9	<p>計画策定期期について、令和5年12月23（土）に開催された第5回策定委員会で示されたスケジュールによると、3月の第6回策定委員会で「パブコメ結果、最終計画案検討」を経て、3月21日（木）開催の教育委員会に議案として提出され、決議されることが示されております。この3月に議決しなければいけない理由を教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・150年以上の歴史がある小学校もある中、地域の「核」ともいえる小学校の統廃合の課題検証をわずか1年で、しかも数回の「策定委員会」で協議の上、教育委員会で決議することは適切な対応なのですか。なぜ、急ぐのですか。 ・小学校が廃校になった地区が30年後まで存続できるかが問われる課題を、わずか1年で決めるのですか。 ・「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」地区の「理解と納得を得」て、進めるべき課題である。 	<p>本計画案は教育委員会の学校施設整備に向けての「基本方針」としての位置づけであり、具体的な個別施設計画を含むものではありません。</p> <p>計画案について、いろいろな意見があることは承知していますが、策定委員会で審議、検討し、了承を得られたものであり、学校再編・統合の方向性についても、保護者アンケートでは8割以上の保護者が一定の理解を示していることから、計画案の基本的な方向性については、理解を得られているものと考えています。</p> <p>出生数が減って、1クラス数人という推計もあり、また、施設が老朽化し、一時的には長寿命化改修を行いますが、その後10年から15年先には建替えることとなります。こうした将来的な建替えを見据えて、どういった学校施設、教育環境を整備するのかということについて、地域との合意形成には、今から議論する必要があります。そういった意味で、学校再編・統合も含めた将来の学校施設の方向性を、まずは、きちんと示した上で、理解を得ることが必要だと考えています。</p>
10	<p>計画案の決定時期について本年3月がうわさされる。昨年6月に第1回策定委員会がスタートし、本年3月の議会に計画最終案が提出されることは、性急すぎて理解できない。こうした道筋が可能な理由、また、どのようにして決められたのか、説明が欲しい。策定委員会第1回の議事録には「……会はあと5回しかないわけですね。……」とある。</p>	<p>先述のとおり計画案の基本的方向性については理解を得られているものと考えていますので、今後は地域と十分協議しながら、地域の理解や納得を得た上で学校再編・統合を進めていくためにも、地域における個別の協議や検討に十分に時間を割くことができるよう、計画案の今年度中の策定を目標とするものです。</p>
11	<p>私の所へ寄せられる意見は、圧倒的に統廃合に反対する内容が多い。市教育委員会事務局はなぜ結論を急ぐのか。基本計画策定委員会ができてわずか1年である。第5回の基本計画修正案に対して質問がわずか3件出たのみで、本質的な問題には触れられず、会議は1時間で終わってしまった。会の終了後30人近くいた傍聴者からは怒りの声が飛び交っていた。会を重ねるごとに傍聴者が増えるのはそれだけこの問題に大きな関心をもっているからである。傍聴者は、施設整備基本計画ではなく統廃合基本計画という認識でこの会を傍聴しているのである。</p>	
12	<p>市教育委員会を対象地域の住民の意向がわからないまま、この計画案を可決するのは時期尚早であり、教育委員の本務である地域住民の意向の反映を逸脱している。いわゆる、職権の濫用にあたると思う。</p>	

13	<p>計画案第1章1の最後から2行目に「本市教育委員会は・・・学校施設整備基本計画策定委員会を設置し、子どもたちの教育環境を整備し、さらなる教育の充実を図るという視点で検討を行い、将来的な学校施設の建替えを視野に、学校再編の具体的な構想を加えた学校施設の整備に関する基本計画を策定します。」とありますが、「学校再編の具体的な構想を加えた」という表現が入った理由を教えてください。</p> <p>学校再編の課題は、学校施設整備の視点だけでなく、地域の将来に向かっての視点を加えて議論すべきだと考えます。</p> <p>計画の名称から「学校再編の具体的な構想を加えた」内容であるとは認識できません。「学校再編基本計画策定委員会」など学校再編という目的を明確にして議論すべきではないですか。</p>	<p>本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場としての学校施設を整備するにあたって、学校再編・統合の有無に関わらず、市内全体の学校の整備方針とスケジュール目標を示しています。そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考え、再編・統合を包含する形で策定しています。</p>
14	<p>計画案は、『「稲沢市ステージアッププラン（第6次稲沢市総合計画）と「稲沢市公共施設等総合管理計画（2022（令和4）年3月改訂）を上位計画とし、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」及び「稲沢市教育施設長寿命化計画」（個別施設計画）を補完する関連計画として位置づけます。』とあります。ここにある「補完する関連計画」とは、具体的にどのような意味ですか。具体的に教えてください。</p>	<p>計画案別表1にありますように、学校施設等に関する方針等はこれまでも策定されており、施設の維持管理や修繕の方針のほか、学級数による標準規模や学校再編・校区再編に関する方針等が示されています。本計画案では、学校施設老朽化による建替えや長寿命化改修が本格化する中で、文部科学省から新たに示された「令和の日本型学校教育」に対応した「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」など、既存方針にはない視点や保護者アンケートの結果も取り入れながら、既存方針に示されている方向性をより具現化し補完するために策定するものです。</p>
15	<p>計画案第1章の4に「学校施設の老朽化等の状況を踏まえ、概ね30年間を計画期間とします。本計画は、長期間にわたる計画であるため児童生徒数の推移や社会情勢の変化、計画の進捗状況等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行います。」とありますが、「必要に応じて計画の見直しを行います。」とは、具体的にどのように理解すればよろしいですか？</p> <p>30年にわたる長期計画なので、示されているとおり児童生徒数の推移、社会情勢の変化、計画の進捗状況等を考慮し、必要がある場合は計画の見直しをするという理解でいいですか。</p> <p>また、見直しをする場合のプロセスと決議はどのようにするのですか。</p>	<p>計画案は概ね30年の計画期間となっておりますので、社会情勢等の変化や（仮称）地域協議会での協議の内容等を踏まえながら、子どもたちにとってより良い教育環境を整備できるよう、柔軟に計画の見直しを図ってまいります。</p> <p>具体的なプロセスについては、変更することとなった内容により判断することになると考えます。例えば、方針の見直しに関するものは、教育委員会での協議を、推計や国の動向の変化については報告を考えています。</p>

16	<p>別表2の対応案は教育委員会で決議されれば、決まったものとして扱われるのですか。「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」「2-ウ-②」などによる、合意形成がされているという認識ですか。</p>	<p>教育委員会で議決されれば、計画としては正式なものになります。</p> <p>計画が承認されましたら、来年度以降、計画に基づき学校施設整備を進めるとともに、再編・統合の第1期対象地区を中心に、再編・統合の必要性をご理解いただくための説明会を開催し、再編・統合に向けたスケジュールや学校設置場所、跡地利用、通学の安全確保策等について協議を行う（仮称）地域協議会の設置に向けて、地元との合意形成ができるよう進めてまいります。</p>
17	<p>4.P 小規模校の増加傾向の実、P.9 学校施設の老朽化状況、P.12、13 学校敷地の借地状況について、現実の状況を見ると特に平和地区に当てはまることを痛感します。将来的に学校再編・統合を前向きに検討しなければならぬと思います。その為には児童はもちろん、地域住民の方への十分な説明と、様々な問題を解決、クリアしていく話し合いの場が重要になると思います。</p>	
18	<p>これからは、子ども達の声（小学生・中学生・高校生・大学生など）、地域住民の声（まちづくり協議会・区長会・PTA・子ども会・老人会など）をよく聞いて時間かけてみんなが納得できる「整備計画」を再度立案する必要があります。遠回りでもその過程で（子育て・教育は稲沢で）が本物になると思います。</p>	
19	<p>子供たちのことを考えた対策をお願いしたいです。統合する場合、下の学年の子たちは現状の学校に通ってから一気に統合する学校へ行くのか？入学の時点で統合先へ入学するのか？等。先々の事を見据えて早めに説明会等を開催していただきたいです。子育て世代が参加できる時間に開催してほしいです。</p>	
20	<p>策定委員の中には1年では決められない10年とか20年のスパンでという意見もあったと記録されてる。20年は長いかもしれないけど1年では地域の人たちの思いも何も聞かず住民を馬鹿にしているませんか？</p>	
21	<p>集団登下校している現在、大勢の子が一度に登校する朝の混雑、下校時はどう考えていますか？夏の暑い時期冬の寒い時期、廊下で待たせるのですか？放課後、身体全体を使って遊びたい盛りの子供たちが自由に遊べますか？800人近くいたら無理です。どうしますか？</p>	
22	<p>策定計画では住民との話し合いを持つとしている、と言われるかもしれない。だがそこでの話し合いは、統廃合を決めたあと、どう具体化するかというものであって、統廃合の是非を問うものではない。もともと今回の統廃合は住民から求めたものではない。行政主導であればあるほど、丁寧な説明と住民との合意が求められる。</p>	

23	<p>統廃合の4つの対象地区はほとんどが100年以上続く伝統ある学校である。そして、それぞれ小学生の徒歩通学の妥当な距離を計算して現在の場所に建てられた。つまり、それ以上歩かせることはできないとして、ほぼ校区の中央に造られている。また地域の行事や文化の中心として小学校が活用されてきた。したがって、対象地区の住民と市や教育委員会との合意形成には様々な課題があることを認識しておく必要がある。</p>	
24	<p>P.6(3) 県内市別の小・中学校数及び児童生徒数の比較は必要あるのか(何のための比較か)。学校数や児童生徒数は自治体別の人口に関係しているので、自治体の人口と比較すべきだ。平成の合併をした自治体とそうでない自治体、また平成の合併を前後して小中学校を統廃合した自治体とそうでない自治体があり、それらを混在して比較することに意味はないと思うが。</p> <p>平成の合併自治体：豊田市、岡崎市、一宮市、豊川市、西尾市、稲沢市、田原市 小学校を統廃合した自治体：豊田市、岡崎市、春日井市、西尾市、田原市、瀬戸市</p>	<p>地理的条件等に関係なく、県内の市の児童生徒数と学校数を小中学校別に比較し、本市の児童生徒数と学校数の現状を表したものです。</p>
25	<p>小規模校のメリットとして、多様な子への対応(特別支援級や外国にルーツのある子どもなど)が可能なのがあるが、統合した場合どういった対応になるのか不安がある。</p> <p>統合して標準規模校になった場合、別室登校やスクールカウンセラーの配置などは小規模校より改善されるのか。現在の月一回のカウンセラー配置では小規模校でも間に合っていない。児童数が増えれば対応する不登校児も比例して増えると思うので、人員も増やして欲しい。</p>	<p>計画案P34の(5)「多様な教育的ニーズへの対応に資する施設」に記載のとおり、障がい、性別、国籍など多様な教育的ニーズに対応した施設とする計画で、日本語教室や相談室、不登校対応教室等についても計画します。</p>
26	<p>瀬戸の例が出ていたが壁が少ない構造は全館空調と感染対策が必要かと思うが小学校の様なクラスターが起りやすい環境下での使用は疑問が残る。</p>	<p>教室の間仕切りは開放可能な造りとする計画ですが、間仕切りを閉めて、通常の教室のように使用することも可能です。</p> <p>また、計画案P35の2(2)「衛生環境改善や生活スタイルの変化等に対応した施設」の記載のとおり、保健室で休養する児童生徒の処置のために、柔軟に対応できる面積を確保したり、手洗い設備の非接触化を計画するなど、既存の学校施設よりも感染症対策が整った施設とする計画です。</p>
27	<p>防災拠点として位置づけられている学校が、これまで借地で放置されていたのは問題です。借地で中長期的なビジョンが可能なのかということです。子供達が、公正な行政サービスを受けれるのであれば、問題ないと思います。</p>	<p>意見のとおり、借地は敷地を所有している場合と比べて権利関係が不安定なものになります。教育委員会といたしましても、市の借地解消基本方針(計画案P13に一部抜粋)に基づき、借地解消に努めてまいります。</p>

28	<p>「学校施設整備基本計画」が、①行政の執行機関に過ぎない「教委決定のみ」で、これを「市全体の最終決定にできるとする法的根拠」が明示・説明されていない上に、②「議会を決定に参加せなくて良い」とする正当性根拠が説明すらされないのは重大な「行政権の濫用」で正すべき。これは、議会の果たす責務にある【市全体として①地区に重大な影響②財政に多大な影響を及ぼす事案】でありながら教委側の決定手法は、行政執行の専決権限を専横した行為である</p>	<p>本計画案は、子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかという、「教育施設としての学校」を主眼に、学識経験者や保護者代表、公募市民等で構成する策定委員会を設置して、教育委員会で策定しているものです。教育委員会は首長から独立した合議制の執行機関であり、教育行政における重要事項や基本方針を決定する責務を負っています。</p> <p>市議会については、計画案に係る議会での質疑や、関連予算の審議を通じて適正にチェックを受けることになります。</p>
29	<p>16・17ページ 学校施設の整備費用 学校整備費用960億円、長寿命化工事費用72億5000万円。このような莫大な費用の算出問題がかかるにも関わらず市議会に諮られないのはどうしてか。市の教育委員会の単独で決められる問題ではない。議会での議決が必要不可欠である。</p>	
30	<p>私は稲沢市施設整備基本計画案には曖昧な部分が多く、議論が十分でなく議決するには時期尚早で現段階では議決するのは反対である。教育委員会で審議して諮るなら、地域との合意形成ができた後にすべきである。もし、このまま3月の教育委員会に諮り議決することがあれば、必ず議会でも十分に議論して議決すべきである。このような重要な事案を教育委員会だけで決定することはあり得ない。</p>	
31	<p>今後の学校施設の整備費用は、約1,032億円の予算が必要となり、約80%は市民の皆さんの借金によるという説明ですが、民意を反映し、行政監視をする議会の決定を取らないというのが教育委員会の方針です。単なる執行機関に過ぎない教育委員会が専決権限だけで行使するという事は、行政権の乱用に当たると思うが、どうして教育委員会だけで全体決定ができて、議会決定が不要であるのか。</p>	
32	<p>稲沢市の総合計画条例では、長期計画は3つのステップがあります。基本構想10年、基本計画5年、推進計画3年という形で進めていきます。そして内容に変更があった場合は、市議会を通して議会議決を得るという形になっているが、どのように理解されているか。</p>	

3 3	<p>40ページ 学校の設置場所</p> <p>学校の設置場所は市有地を第一候補とする。この考えには反対で到底納得できるものではない。市内で新たに学校用地を確保することは用地取得等の費用や取得に一定の期間を要するというのが理由である。この考えを聞いて愕然とすると同時に呆れてしまった。仮に千代田小と坂田小が統合した場合は、この考えからすれば市有地である坂田小に新設することになる。そうなれば、北部の井堀地区はさらに通学距離が長くなり住民の猛反対に遭うことになる。学校統合は、互いの学校の中心に新設するのが大原則であり、市がその土地を確保するのが大前提である。既存の学校敷地又は適当な市有地が見当たらない場合は新たな用地を検討するという弱腰の市の考え方には、統合を必ずやり遂げるといった強い意志や本気度が感じられず憤りさえ覚える。</p>	<p>学校施設整備は借地解消を目的として行うものではありませんが、市の借地解消の考え方に基づき、施設整備等に合わせて、土地所有者に対し譲渡を積極的に働きかけるとともに、特に学校再編・統合によって新たに学校を建設する場合は、借地解消のよい機会ですので、現在ある市有地を活用するなど、借地の解消を図ってまいります。</p> <p>ただし、通学距離や敷地面積等の条件において既存の学校敷地又は適当な市有地が見当たらない場合は、新たな用地を検討します。</p>
3 4	<p>12ページ 学校敷地の借地状況</p> <p>もっと大きな問題は新たな学校を建築する場合は現在ある市有地を活用するということである。委員からの意見にもあったが、仮に千代田小と坂田小を統合するとなれば借地料ゼロの坂田小に新設することになる。これは、校区の中心から明らかに南にずれている。統合する場合は校区の中心に市が新たに土地を購入し確保して、そこに新設するのが当然と思われる。統合しようとする強い思いがあるのなら新たな建設地の選定、そして建設候補地の土地購入からスタートするのが至極当然のことである。</p>	
3 5	<p>「学校再編計画の法的決定」に教委決定のみを根拠に学校統廃合する事は、①「決定できる迄の詳細内容不足」+②行使権限逸脱」なので十分な時間を取った再検討が必要。</p> <p>【根拠】</p> <p>(1) 偏った一部の機能(教育)のみの決定で全体決定として先行してしまう事は、片手落ちで施設面を見ても後段で検討する予算執行に禍根を残す。</p> <p>学校施設に関わる全体計画・予算としては、①地域住民の防災等のコミュニティ機能に関わる予算、②生徒への教育機能の予算の合計で成り立っている。「学校再編計画」は、上記の2つの機能が十分に検討された後、複合機能の最適解を同時に計画決定されねばならない。③しかし、今回の計画案は、片方の機能(教育)のみで、全体を先行決定してしまうのは、財政上の不条理を発生させ「合理性が全くない」。</p> <p>(2) 「市長部局」担当の「地域住民の防災等のコミュニティ機能」に関する「計画確定と予算検討」は、現時点で全く進められておらず、検討「スピードがちぐはぐ」なのに、教委担当の「教育機能の施設計画、予算」のみを、先行的に決定して良い合理性は全くなし。</p> <p>○双方の機能を十分検討し、合一した計画・予算とすべし⇒現計画の再検討が必要。</p>	<p>本計画案は、子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかという、「教育施設としての学校」を主眼に、学識経験者や保護者代表、公募市民等で構成する策定委員会を設置して、教育委員会で策定しているものです。防災やまちづくりなど、「市長部局」が担当する施策については、(仮称)地域協議会など、学校施設整備に関する地域との協議の場において、市長部局と教育委員会で連携しながら、市全体で取り組んでいく考えです。</p>

36	<p>稲沢市は、学校の問題を教育委員会を中心に話が進められていると知りました。これからの時代、市全体のこととして学校の問題を考えていくのがよいのではと思いました。学校、福祉、空き家問題など、別々に話し合いがされていても新しい解決策は見つけるのは難しいかなと思いました。例えば、最近は古民家カフェなどが増え、素敵でお洒落なお店が増えておりますが、空き家活用として、フリースクールや、子供からお年寄りまで誰でも気軽に立ち寄れる場所があったら素敵だなと思います。学校に通えていないお子さんが増え続け、さらに学校が遠くなってしまったら、ますます学校に通うことが難しくなってしまう子がでてくるのではないのでしょうか。学校は行って当たり前、行かないと困る、不登校のお子さんが増え続ける現実ではありますが、絶対数で言えば、もちろん学校に通っているってお子さんのほうが多いわけですが、少数派のお子さんに対しても理解のある市であってほしいと思います。</p>	
37	<p>学校は教育機関であると同時に、地域コミュニティの場、防災拠点としての役割も兼ねています。学校統廃合は児童生徒・保護者の考えが尊重されるべきだと思います。ただ、地域住民としては、地域コミュニティの場、避難所等がどうなるかもセットで市の考え方を提案していただけないと学校再編に対する個人の判断もできません。特に長岡地区は市の公共機関が小学校しかありません。その点、しっかりと認識していただきたい。</p>	
38	<p>計画案は、表記上、学校の「統廃合」を加えたものとして伝わらない。同案のはじめに「学校再編」と「統廃合」の意義について示した上で、「統廃合」を使用した方がより伝わりやすいと考える。ついては、市民に意図が伝わりやすく関心が集まる計画案の表記は、「稲沢市学校施設整備及び統廃合検討に関する基本計画(案)」等と「統廃合」を入れるべきであった。その上で、今回の計画案は、施設整備の計画と統廃合の計画は区別して資料を作成し、それぞれ決定までの道筋を示すべきであった。なぜ、今回の計画案の表記について、わかりやすく「統廃合」の文言を使用しなかった理由、及び資料を分けて作成しそれぞれ決定までの道筋を示さなかったか、その理由を示していただきたい。また、当市における「学校再編」と「統廃合」の使い方の違いを含めて説明してください。今後、No.118からNo.122を実施したのちの当該委員会の資料は、名称を分けるとともに決定までの道筋を示していただきたい。</p>	<p>本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場としての学校施設を整備するにあたって、市内全体の学校の整備方針とスケジュール目標を示しています。そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があり、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考え、学校再編・統合を包含する形で策定しています。</p> <p>学校再編・統合については、地区説明会のほか、対象小学校区の学校運営協議会やPTA、まちづくりなどの会議で説明し、地域との合意形成が図れるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、本計画案が学校再編・統合を含む内容であることは、市広報や保護者アンケート、今回のパブリックコメント等で明記しております。</p> <p>また、「学校再編」は、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」等、本計画案に先立って策定されている他の計画や指針に沿って使用しているもので、「学校再編」はそれぞれの学校の歴史や文化を引き継いだ「新しい学校」を整備すること、「統合」は一つの学校に吸収することを示しています。</p>

39	<p>策定委員会の委員について市HPの同策定委員会議事録に、策定委員の氏名は掲載されているところですが、どういう基準で選定いただいているのかがありません。また校区について公開がありません。示してください。その上で、必要があれば、策定委員を増減すべきである。なお、毎回、市HPの同策定委員会議事録が整っていることはよいことである。</p> <p>議員は、地域住民が選挙にて選んだ地域の代表である。策定委員は、地域住民が選挙で選んだ地域の代表でない。説明会で、「今回のことは、議会への提案権がない」と言われたが理解できない。このような重要な計画案が議会に提案できないとしたルールは改正すべきである。</p>	<p>策定委員会議事録の委員名簿に、推薦団体・役職等を記載しています。</p> <p>また、市議会への議案提出は市長の専権事項であり、教育委員会には議会への議案提出権がありません。ただし、市議会における教育関連予算の審議や一般質問を通して、住民の代表者である市議会議員のチェックを受けることとなります。</p>
40	<p>小中一貫の義務教育学校は、小学校から中学校へ進学する際のギャップ対策や幅広い年齢と接する機会の増加につながり、学校設備稼働効率も上がることになるメリットがあり進めるべきと考えますが、計画案P34「第4章新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」1(4)に大まかな記述はあるが、どの学区に導入するかの具体的な計画はないのでしょうか。ないのであれば、このことも含めて施設整備計画を立てるべきではないでしょうか。</p>	<p>文部科学省が示す「令和の日本型学校教育」の中でも、義務教育9年間を一体的に見据えた学校教育が求められています。ただ、その方法は様々であり、意見にあるような義務教育学校のほか、同一敷地・建物内に小学校と中学校がそれぞれ設置される小中一貫校、更には、地理的に近接している場合に、既存校舎を利用して小中連携を行うなど、それぞれの地域事情に合った導入の検討が必要となります。そのため、本計画案では、(仮称)地域協議会等の場で、地域の声を聴きながらどのように小中連携を行っていくのか、検討していく考えです。</p>
41	<p>小中一貫校など、新しい教育は未来の稲沢市にとっては魅力ある取り組みだと思うので、是非とも祖父江地区で取り組んでいただけたらと思う。</p>	
42	<p>全体を通して「地域住民・コミュニティに配慮・考慮」という言葉が散見されるが、あまりにも(特に高齢者を中心とした)地域住民へ過剰な配慮(遠慮)をしているように感じる。統廃合というのはやむを得ない選択なのかもしれないが、もし、統廃合を通して本当に子どもたちが学校が楽しめる・市の教育環境が良くなると考えているなら自信をもって計画を進めていただきたいし、その意志を本計画案で示していただきたい。</p>	<p>学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。</p> <p>本計画案は、まずは教育施設としての学校を整備することを目的としていますが、実際の学校施設整備にあたっては、地域住民の理解と協力なしに進めることはできないと考えています。</p> <p>教育委員会では、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつくっていききたいと考えています。</p>
43	<p>教育委員の中に「本計画案を3月までに決めるという話を11月に聞いた。」と吹聴している者がいるが、少なくとも令和5年度教育委員会第6回定例会(2023/6/21)にて「今年度中に策定する」と庶務課長が説明した記録が残っております。教育委員が事実と異なることを吹聴するのは問題と考えますが、簡単に止められないと思います。せめて執行部側としては教育委員にはそれ以前に説明済みである旨、改めて強く外部に発信されたほうが良いと思います。</p>	<p>教育委員に対する説明といたしましては、意見にあります令和5年度教育委員会第6回定例会のほか、令和4年度第2回総合教育会議など、機会がある毎に説明してまいりましたが、定例教育委員会の場で議決するという手続き面において、教育委員会事務局と教育委員との間で十分な意思疎通が出来ていなかったことが原因と考えています。今後、教育委員と事務局との間で一層の連携に努めてまいります。</p>

4 4	<p>・稲沢市内の個性による教育環境の差異 「個別最適な学び」と言いますが、それは子ども一人一人についてだけ語られるものではなく、その地域においても「個別最適な学び」は存在するのではないのでしょうか。稲沢市にも様々な地域差が存在します。鉄道本線沿線を居住地に選ばれている方は、その利便性を選択してそこに住んでいるという方もいます。また、西部農村地域を居住地に選ばれている方は、そののどかさや教育環境の良さを選択して住まわれている方もいます。住宅購入などに関連するそのような自由意思による決定に、水を差すようなことは慎むべきだと思います。住宅購入は人生を賭ける大きな買い物である場合がほとんどです。「〇〇小学校まで何分」と言う情報は、住宅販売の広告では必ず載ります。稲沢市を居住地と選ばれた方に、「こんなはずじゃなかった」と思わせては、稲沢市の評判は下がります。</p>	<p>本計画案でも、市内の地域差による教育環境の差異を否定するものではありません。 「標準規模」において、「地区によっては24学級（各学年4学級）規模の学校は望まない方が多い」というアンケート結果もあることから、学校再編・統合にあたっては、対象となる地区の意見を聴取しながら、標準規模の範囲内で適正な学校規模を検討していきます。」としています。 また、「学校再編・統合の考え方」でも、「現状、標準規模に満たない学校であっても、地域住民・保護者・学校が一丸となつて、特色ある教育が行われていることに留意し、これまでの教育成果を大切にしながら」としています。</p>
4 5	<p>・学校統廃合＝昭和以前の自然村の解体 今回の計画案を住民に提示する上で最も立ちはだかる壁は、その土地に住む人々の“村民意識”ではないのでしょうか。小学校区域イコール昭和以前の自然村という構造を持っている以上、仮に9割の人が理性ではこの計画案について反対でないとしても、「反対」の気持ちが拭えないのは、この根深い村民意識が理由であると思います。私は長岡地区に住んでいますが、長岡村はかつて川に囲まれた“輪中”でした。輪中に住む人々はたびたび起こる水害を乗り越えてきたがゆえに村人同士の結束が強いという特徴があります。村への思い入れは、稲沢市東部の方が思うよりもずっと強いです。 学校統廃合＝この団結力の強い村の解体を意味するわけですから、住民からの反発は必至でしょう。この計画案ではサラリと、子どもの数が少なくなったから学校を統廃合しましょう、後のことは地域協議会へ回しましょう、と書いてある。しかし、住んで人間は、“命懸けで”このコミュニティを守ってきた。言葉だけで「子どものより良い教育環境のため…」などと言われて、本気で生きてる人間が納得すると思いますか。私たちは歴史の上に成り立ち、今を生き、そして未来があります。歴史を軽視しては、人の心の奥深くにある気持ちという最大の壁にぶつかる結果になるでしょう。心の奥深くにある気持ちを読み取る感受性なくして、この計画はうまくいきません。</p>	<p>各学校にはそれぞれの歴史があり、それぞれの地域住民の思いがあることは承知しています。しかし、子どもたちの教育環境をよりよくしていくという考えは、地域の方々も共有していただいていると考えており、本計画案は、まずは、学校は子どもたちの学びの場であるという視点に立って策定しています。そうした中で、まずは教育委員会としてどのような学校をつくっていきたいのか、スケジュールはどのように考えているのかなど基本方針をお示しし、その上で地域の方々との協議を行っていく必要があると考えています。</p>
4 6	<p>長岡小学校がなくなると「長岡」という地名がなくなってしまう。長岡小学校区内には、字名などでは「長岡」という地名は存在しないからです。長岡にとっては、小学校の統廃合問題はまさしく自分たちのアイデンティティの危機なのです。長岡小学校がなくなったら、私は先祖に顔向けができません。</p>	

47	<p>統廃合は仕方のないことなのかもしれませんが、これからの時代、個性の時代とも言われます。今までの「学校」という縛りにとらわれることなく、柔軟に色々取り入れて福祉と一体化させた学校など、空き家を活用させて学校と繋がるコミュニティができれば素敵だと思います。</p> <p>稲沢市がさらに住みやすい街となり、稲沢に引っ越したいなと思ってもらえる街になることを願います。小学校の統廃合問題は、将来の稲沢市に関わるとても重要なことだと思います。将来の子どもたちのために、是非有意義に稲沢市の予算を使っていただきたいです。もっと将来のために学校に予算が増えてもいいのではと思いました。予算の割り振りに関しても、学校、福祉と分けるのも疑問です。学校のことは市全体で考えることではと思います。</p>	<p>学校施設と福祉施設等との複合化施設については、地域の状況や要望も踏まえながら、(仮称)地域協議会などの場で検討してまいります。</p> <p>学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であると同時に、地域交流や災害時には避難所として防災拠点の役割を担うなど、地域コミュニティの拠点でもあります。(仮称)地域協議会などの場で、地域の団体とも協議しながら、新しい学校づくりが新たな交流を生み、魅力ある学校づくりにつながるように進めてまいりたいと考えております。</p>
48	<p>少子化による児童数減少、学校施設老朽化で時間が限られること、借地のこと、整備費用の財源のしぼり、と様々な要因が重なっており、大変な衝撃と驚きをもって拝読いたしました。それらの要因が重なったが故に、小学校統廃合やむをえず、との印象が否めません。</p> <p>今後長きに亘って教育の拠点、まちづくりの拠点となる小学校のあり方を検討するのであれば、新しい未来を皆で創造するという希望や期待や理想の下で進んでいくことを、切に願います。</p>	

49	<p>42ページ 対象地域との合意形成 この項目が追記されたことは評価できる。ただし、この文面には主語（主体）が欠けている。対象地域との合意形成を図るのは誰なのか。市と教育委員会とはっきり明記すべきである。対象地域の地域協議会（仮称）の人はどのように行うのか、対象地域との合意形成はどのように図られるのかが一番大きな課題である。策定委員会の委員からも発言があったようにここが一番難しいと思われる。愛西市では、立田地区と八開地区の統合による計画の住民説明会が何度も繰り返し開催されたが、結局地域からの理解は得られず、かえって反発を招き暗礁に乗り上げたと聞いている。</p>	<p>子どもたちの教育環境をよりよくしていくという考えは、地域の方々も共有していただいていると考えており、本計画案は、まずは、学校は子どもたちの学びの場であるという視点に立って策定しています。そうした中で、教育委員会としてどのようなプラン、スケジュールを考えているのかという計画をもって、地域との協議を行っていく必要があると考えています。</p> <p>また、学校再編・統合について、保護者アンケートでは、8割以上の方が一定の理解を示しています。計画策定後は、子どもたちの教育環境をよりよくしていくために、再編・統合は避けて通ることができないことを地区説明会のほか、対象小学校区の学校運営協議会やPTA、まちづくりなどの会議で説明し、理解を得られるように努めます。そうした中で、課題はあるが、新しい学校整備について考えてみようといった機運がある程度醸成された地域から、教育委員会が主体となって、PTAや地域住民、学校の教職員等で構成する（仮称）地域協議会を立ち上げ、協議を進めてまいります。</p>
50	<p>地域協議会（仮称）のメンバーから教育委員会が外れたのはなぜか。主体が市や教育委員会であればそうした事務局のメンバーが明記されるべきである。教育委員会に諮り承認を得るのは、対象地域との合意形成が成立した後にするべきである。また、その後に必ず議会の承認を得るべきである。</p>	
51	<p>その他1 他の市町の情報 豊田市は、小規模特認校制度を実施している。市内の児童であれば、保護者からの申請により小規模校へ通学させることができる制度である。条件はその学校に1年以上在学すること。保護者が送迎することである。隣の美濃加茂市もこの制度を採用している。豊田市と違うところは卒業まで通う点である。稲沢市もさらに小規模化が進むようであれば、このような制度も使えるのではないかと。</p>	<p>小規模特任校制度は、自然環境の活用や地域住民との交流など小規模校の特色を生かした教育を展開し、一定の条件のもとで、他の通学区域からの通学を許可する学校選択制の一つであると認識しています。</p> <p>本制度の導入により一定の児童数増加が見込まれますが、標準規模化を目的とするものではありませんので、本計画案とは別に議論する内容であると考えます。</p>
52	<p>P.6 (3) 県内の市別の小・中学校数及び児童生徒の状況 何を比較しているのかわからない。</p>	<p>県内市の児童生徒数に対する学校数を小中学校別に比較したものです。</p>
53	<p>学童保育の施設整備、内容の拡充は多く寄せられているが、学校施設の活用ではなく独立した施設を求めます。学童保育は放課後、夏休みなど学校休業日に必要とする生活の場。子どもたちの発達を保障するにふさわしい施設、施策の拡充を求めます。</p>	<p>放課後児童クラブについては、現状における施設の整備状況や学校敷地の状況にもよりますが、学びの時間の確保や安全性を確保しつつ、子どもたちと関連性の高い施設として複合化を計画します。</p>
54	<p>P.38 第5章 学校施設整備の基本方針 学校の老朽化対策で、学校プールの民間施設利用・給食施設のセンター化など、教育論を抜きにした計画になっています。学校の学び保障としての施設として整備を望みます。</p>	<p>学校プール、屋内運動場、給食施設についても、学校における学びの場として必要な施設を整備します。</p>

55	<p>第2回策定委員会で小規模校のメリット、デメリットが抜粋の形で資料としてあるが、その件についての議論が1点であり、しかもへき地（複式学級）の話であった。小規模校に関する統廃合の問題であるのにこれを簡単にすませているのは本当に残念である。それは、事務局が文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」をそのまま出さずに検討をさせなかったからである。</p> <p>小規模校を存続するための方策の内容も欠落されている。すべての内容を策定委員に出さないのはいかがなものでしょうか。</p>	<p>本計画案は、将来的な学校の建替えを見据えて、標準規模化を含め、子どもたちにとってより良い教育環境を整備することを目的とするものです。</p> <p>このため、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」から、学校が小規模化することの影響を記載したものです。</p>	
56	<p>P8</p> <p>「現状の教員配置数では、育児休業や療養休暇、病休退職などが生じた場合、教頭など管理職まで担任を担う状況が生じている。」とあるが、教員が長期休む場合は、必ず替わりの教員があてられるので、小規模、大規模は関係ありません。誤った内容を載せるのはいかがなものか。しかも、この内容は、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」には書いてありません。</p>	<p>留意すべきこととして書いてある点は、文部科学省の資料に記載されているものではなく、策定委員会の中で委員からの意見も踏まえ、本市の現状として掲載したものです。そのことがわかるような表記に改めます。</p>	
57	<p>市長は、子育ては稲沢で、きめ細かな子育てをすることを必ず言っているが、この基本計画は市長が言っていることとずれがあるのではないか。</p>	<p>本計画案は、子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかという「教育施設としての学校」に主眼を置き、策定しているものですので、「子育て、教育は稲沢で！」のスローガンに合致したものと考えています。</p>	
58	<p>稲沢市では、子育て・教育は稲沢であります。この計画案との関連はどのようになっているのか。</p>		
59	<p>「子育ては稲沢で」ということならば、子育て事業を充実させてほしい。統合されない学校との教育環境の差が生じることが考えられます。統合されない学校の改修、設備の見直しは計画されているのでしょうか。</p>	<p>本計画案は、子どもの数の減少や施設の老朽化といった課題がある中で、将来的な建替えを視野に、これからの時代にふさわしい学びの場として学校施設を整備するにあたり、市内の学校全体の整備方針とスケジュール目標を示しています。そうした中で、子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのため、再編・統合は避けて通ることができない課題であるため、包含する形で策定しています。</p>	
60	<p>地区の多様性を無視して、一律に標準規模が示されている事に非常に疑問を感じます。</p>		
61	<p>稲沢市学校施設整備基本計画という名称から学校統廃合ということは分からないのではないか。</p>		
62	<p>学校施設整備基本計画に統廃合を入れるという事に非常に違和感がある。本当に統廃合を真正面に掲げて、統廃合検討委員会とかやるべき事案だと思っています。</p>		
63	<p>千代田小、領内小、法立小は改修工事を行っているが、ここに集約する計画ではないのか。</p>		<p>学校施設の安全を確保するために、老朽化した外壁改修、屋上防水、給排水設備等のライフラインの長寿命化改修を行うもので、再編後の施設として活用することを目的としたものではありません。</p>
64	<p>（仮称）地域協議会は、まちづくり協議会が母体になるのか、教育委員会が設置していくことになるのか。</p>		<p>教育委員会が主体となって、PTAや地域住民、学校の教職員等で構成する（仮称）地域協議会を立ち上げ、協議を進めてまいります。</p>

65	計画の中で、小中一貫した教育課程に対応した施設環境とあるが、どのようなビジョンを考えているのか。	文部科学省が示す「令和の日本型学校教育」の中でも、義務教育9年間を一体的に見据えた学校教育が求められています。ただ、その方法は様々であり、意見にあるような義務教育学校のほか、同一敷地・建物内に小学校と中学校がそれぞれ設置される小中一貫校、更には、地理的に近接している場合に、既存校舎を利用して小中連携を行うなど、それぞれの地域事情に合った導入の検討が必要となります。そのため、本計画案では、(仮称)地域協議会等の場で、地域の声を聴きながらどのように小中連携を行っていくのか、検討していく考えです。
66	整備スケジュールについて、別表3のとおり進んでいくのか。	スケジュールはあくまで目標であり、決定事項ではありません。本計画策定後、地域の方と合意形成を図りながら進めていきたいと考えています。
67	千代田小学校の改修工事を2年前に行ったと記載があるが、耐震工事は行わなかったのか。	校舎棟・屋内運動場の耐震補強工事については、2007(平成19)～2011(平成23)にかけて、全校で実施済みです。
68	P.38 学校給食は自校方式を望みます。大量調理になればなるほど安全性と給食内容が低下します。	安心・安全に配慮しつつ、栄養バランスの取れた給食を安定して提供していくためには、老朽化し、衛生環境の改善が必要な自校調理方式の調理場を建替える必要がありますが、そのための用地の確保が困難であることなどから、親子・センター方式への移行が必要となります。 このため、令和3年3月に策定しました稲沢市給食基本計画におきまして、将来的には稲沢東部・平和町学校給食調理場、祖父江町学校給食センター及び現在整備中の(仮称)井之口調理場の4つの給食施設により効率的な給食の提供を可能とすべく、施設整備を推進することとしています。
69	学校給食は自校方式を望みます。大量調理になれば安全性、給食内容が低下します。私は学校に勤めていたので、自校方式の学校給食を43年間食べてきました。出来立ての温かい給食はとてもおいしく、楽しみでもありました。作り立てが食べられなくなるのがとても残念です。	
70	計画案について、人口減少、少子化が進む中整備は必要であるが、校舎の建て替えと再編は別のもので、特に再編は教育委員会で担うのは無理があるのではないかと。各地区それぞれの地域性もあり歴史もあるので、幅広い市民の皆さんの意見を聞いて策定すべきだと思います。画一的でなく、最大公約数を見つけてじっくり検討すべきだと思います。	「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」では、「稲沢市には100年以上の歴史と伝統を有する学校が多く存在する。学校教育法が求めている「我が国の歴史、伝統と文化の尊重と、我が国と郷土を愛する態度を養う」という精神を重く受け止め、これらの学校の存在意義を考えなければならない。しかしながら、どの学校も永久に現在の場所で存続するという保証はなく、時代の流れや社会状況により変わっていくことはやむを得ない」と記されています。 子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があります。そのため、学校再編・統合は避けて通ることができない課題であると考えています。このため、本計画案は、子どもたちにとってより良い教育環境はどうあるべきかという、「教育施設としての学校」を主眼に、学識経験者や保護者代表、公募市民等で構成する策定委員会を設置して、教育委員会で策定しているものです。

7 1	この1年で5回の稲沢市学校施設整備基本計画策定委員が12人の委員で、1回がたった90分（トータルで90×5；60分）で検討されているが、その短い期間でもう案として出して実施するつもりですか？	計画策定に向けて、必要に応じて策定委員会を開催しているところであり、今年度中の策定を目標に進めてまいります。
7 2	パブリックコメントで見直しをしていくとなると、3月まで2か月しかない中で計画の見直しができるのか。大きな見直しがあれば、もう少し柔軟性を持って、策定委員会を何回か開いて見直していくのが筋ではないか。	
7 3	策定委員はどのような基準で選ばれたか？学校の先生をしていた方が立候補したけど、却下されたと聞きました。それはどういう理由だったのか？地域の人たちは知っていたのですか？	策定委員会の構成については、設置要綱で次のとおり規定しています。公募委員については、5月号広報と市ホームページで周知し、応募動機や学校施設の老朽化、標準規模に満たない学校の増加に対する作文内容を、関心度、知識度、公平性の基準により教育委員会事務局で審査、選考しています。 (1) 学識経験者 (2) 保護者 (3) まちづくり関係団体代表者 (4) 稲沢市小中学校長代表者 (5) 公募による者
7 4	P.4・7・8・38 ・児童減少に伴い統廃合ということですが、祖父江町では現在6校を1校にすると児童の数は800人弱です。それは子供を育てる観点からどうなのか？策定委員会ではいじめがあった時、クラス替えもできないで6年間という意見もあったけど、学校は学年クラスだけではない。教師もいれば異年齢もある。兄弟姉妹もいる。工夫次第でクラスの壁を取り払う可能性や少ない人数だからよく見えることもあり丁寧に対応できる。地域の見守りも忘れないように。	学校は、未来を担う子どもを育む場所として、教職員や保護者だけでなく、登下校時の見守りや環境整備、あるいは特色ある教育の推進等地域の方々に支えられている教育施設であることは認識しています。 本市の児童生徒数は減少しており、その傾向に歯止めが掛からない状況です。施設も老朽化が進んでおり、今後、計画的に施設を建て替える必要がありますが、その際には、平成26年5月に策定した「義務教育と学校のあるべき姿」を指針として、学校規模の標準規模化を図るため、学校再編・校区再編も視野に検討することとしています。本計画は、こうしたことも踏まえ、「令和の日本型学校教育」に対応した新しい時代の学びの場にふさわしい施設として学校を整備する方向性を示すため策定するものです。
7 5	P4・7・8・38 ・約800人の子どもを1校に閉じ込め雨が降ったら遊ぶ場所がない、集団登下校の混雑はどうする、トイレを待っている間に授業が始まり、余分なことで叱ったり叱られたり、それこそどっちもつらいではないですか。だいたい待つ、並ぶ時間が多くなる。教育は稲沢でと言っどんな子ども像を狙っているのか。不必要な持ち時間、並ぶ、叱る、叱られる、号令で管理されるっていつの時代の教育ですか？人数が多ければどうしても指示することが多くなり画一化、管理したくなる。煩雑で大変な教師に押し付けて何かあれば、その責任を教師に押し付ける。それで子どもの主体性や個性、協調性や広く物事を見て考える力が育ちますか？全く考えていないのではないですか？児童減少を機会に少人数学級を実現させるといふ考えはなかったのか？教師も余裕をもって子ども達と向き合えるし稲沢の子育て、教育のスローガンに合致するのではないですか。	計画案が承認されましたら、計画に基づき学校施設整備を進めるとともに、再編・統合の第1期対象地区を中心に、再編・統合の必要性をご理解いただくための説明会を開催し、再編・統合に向けたスケジュールや学校設置場所、跡地利用、通学の安全確保策等について協議を行う（仮称）地域協議会の設置に向けて、地元との合意形成ができるよう進めてまいります。

76	<p>全体にもものすごく雑で乱暴な稲沢市学校施設整備基本計画（案）です。もっとじっくり、ゆっくり市民の声を聴いて話し合い練り直してください。</p>
77	<p>現在の学校と地域住民（通学時が家族にいない方を含む。）との結びつきは、避難所とか運動会だけではなく、学校公開日（保護者の都合に合わせてスクールバスを運行してくれるのか？）学童保育、PTA活動、おやじの会、子ども守り隊（子どもと大人の触れ合いの場・大人の姿を子どもに見せる場）、清掃奉仕、まち探検（子どもに行ける範囲による制約）、教育支援ボランティア（活動しやすい距離など）などなど、と数え上げられないほど様々な要素があるが、配慮を欠いた学校の統廃合は、地域社会性を備えた子どもを育てる方向に反するものとなる。</p>
78	<p>P.39～(3) 標準規模 小学校の標準規模は12学級から24学級とし、について なぜ12学級とするのか、「標準規模」の根拠、教育学的な根拠はあるのか、世界では20人学級以下、100人規模以下が流れとなっている。“学校の規模は住民が決める”犬山市では、全校児童13人、21人の学校が守られている。子ども一人一人に目が行き届き、どの子ども大切にされる学校を求めます。</p>
79	<p>P.1 文部科学省の「令和の日本型教育」や「新しい学びを実現する学校施設のあり方」の説明文を本当に理解してスタートされたのか。</p>
80	<p>P.39～40(1) 学校再編・統合の考え方 学校再編は別表3の通りか。 祖父江中学校内の6小学校を2校もしくは1校にするというが、なぜ2校もしくは1校なのか。2校もしくは1校にする条件は何か。 (2) 学校の設置場所(P.40)を考えると、6校を1校にし、「祖父江の森」に整備することになるのではないかと。そうでないというのであれば、その根拠は何か。 2校の場合、P.40(2) 学校の設置場所としての候補地はあるか。 平和中学校内で3小学校を1校に統廃合し、P.40の学校の設置場所を考えると、学校の設置場所は必然的に決まるのではないかと。平和工業団地の近隣で問題ないのか。</p>
81	<p>少人数学級について稲沢市の見解はないですか？ 少人数学級や教職員の多忙化解消は全然考えていないのはなぜですか？ P.2で「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方（5つの方向性）」をいい、P.32～37で他の自治体の取り組み事例を紹介しているけど、P.38からでは老朽化対策、学校再編統合にしか触れていない。どういう学校を目指していくのですか。</p> <p>「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、新しい時代の学びに対応する学校施設を作っていくことを目指しています。少人数や多忙化解消については、「第4章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の「(3) 学校における働き方改革を推進するための執務空間」及び「(5) 多様な教育的ニーズへの対応に資する施設」で記載しております。</p>

8 2	<p>祖父江中学校区内の6小学校を2～1校にする根拠は何ですか？どこに建てるのか？その候補地はあるのですか？</p>	<p>子どもたちの学びや育ちを保障し、活力ある学校教育を推進するため、また、市全体として大局的に考えたときに、教育の公平性の観点からも学校の標準規模化を図る必要があると考えており、学級数を標準規模にする場合の学校数です。学校の設置場所については、原則として既存の学校敷地又は市有地を第一候補地として、検討していきます。</p>
8 3	<p>P. 39 今の子どもたちが大きくなってその地域に残りたいと思う魅力ある地域作りが不可欠。学校難民が生じるような地域に若年層は魅力を感じないだろうから、その流出により再び再編・統合問題が生じかねない。</p>	<p>瀬戸市では、令和2年度に市内の小学校5校、中学校2校を統廃合し、小中一貫校として開校しましたが、施設が新しくなり魅力的な学校ができたことも一因となり、子育て世代の転入が相次いだことで、令和2年度の開校時点よりも令和5年度には児童生徒数が約250人増加し、学校や地域が活性化した事例があります。 本市においても、子どもたちのために、将来を見据えて、新しい学校を地域とともにつくっていきたくと考えています。</p>
8 4	<p>学校再編（統廃合）で平和町が1校、祖父江町1校～2校、坂田小学校が廃止。明治地域が1校、高御堂小学校の廃止は、結局は学校がなくなれば住み続けることが出来なくなり、人口減少につながり少子化を止めることはできない。</p>	
8 5	<p>P. 5 本文下段の「本市の中学校においては、…推計となっています。」は、上段とダブっているので、必要ない。</p>	<p>表の下の記述を削除します。</p>
8 6	<p>P10 学校施設維持管理について記述しているが、2012年度から2022年度の比較では短すぎる。もっと長い期間でみる必要があるのではないか。</p>	<p>学校施設維持管理修繕料の推移は、施設の老朽化によって直近10年で5年ごとの比較でも増加している資料として掲載しています。</p>
8 7	<p>P. 38～「第5章 学校施設整備の基本方針」では少人数学級について一言も触れていないが、なぜか（学校教育のありかた・原則に触れないで学校統廃合だけを問題にするのは本末転倒だ）。学校教育の最大の課題の一つは少人数教育の実現だ。現在は自治体の裁量で教員を増やし少人数学級を行うことができるようになったにもかかわらず、少人数教育に一切ふれていないことは問題だ。 「第5章 学校施設整備の基本方針」といながら、どのような学校づくりをめざすのか、一切記述していないのはなぜか。P2で「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方(5つの方向性)」(文部科学省)をいい、P32～37で他自治体の取組事例を紹介しているが、P38からでは老朽化対策、学校再編・統合にしかふれず、どういう学校を目指していくのか全くふれていない。市全体でどのような教育を目指し、そのためにどのような学校にしていくのかを明確にするべきだ。</p>	<p>「第4章 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」の「(5) 多様な教育的ニーズへの対応に資する施設」に「個別最適な学びや学校の多様性と包摂性を高めるため、個別学習や少人数学習など多様な学習形態に対応できる多目的な空間、日本語教室、相談室、不登校対応教室等についても計画します。」と記載しています。 また、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方(5つの方向性)」は、「令和の日本型学校教育」に対応した施設であることを、「計画の趣旨」に記載しています。</p>

88	<p>稲沢市としてはどういう教育をしていきたいのか、教育をすることによってどういう人材を輩出したいのかなどの方向性はあるのか。</p>	<p>「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、新しい時代の学びに対応する学校施設をつくっていくことを目指しています。</p>
89	<p>1ページ 計画策定の基本的な考え方 「稲沢市ステージアッププラン」と「稲沢市公共施設等総合管理計画」を国からの要請により上位計画としているが、それ以前に国からの要請により「まち・ひと・しごと創世総合戦略」が示されている。各市町村は来る急激な人口減少に対する危機感を持ち最重要課題としてこの「まち・ひと・しごと創世総合戦略」の計画を策定し取り組んでいる。すでに2期目も終盤にさしかかっている。まずは、この「まち・ひと・しごと創世総合戦略」が上位計画として位置づけられるべきである。</p>	<p>本計画は、地方創生戦略である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて策定するものではありません。したがって、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を上位計画とすることは考えておりません。</p>

回答するもの以外のご意見

22件

NO.	意見の要旨
1	平日の昼間に説明会をして、誰が参加するのか。土日に説明会を開催することはできないですか？
2	ソブエルでの説明会に参加しましたが、説明会での質疑を聞いて、まだまだ市民の声が届いていないと感じました。子育て世代の若い方達をもっと意見交換できる場を設けてほしいです。
3	計画策定スケジュールが不自然ではないか。計画案ができ、説明会やパブリックコメントを実施して、すぐに策定は拙速にすぎます。市民の意見を取り入れて議論する段階がないのはなぜでしょうか。本来、まだ策定スケジュールのせいぜい中盤というところでしょう。
4	<p>1. パブリックコメント説明会での疑問・意見への回答義務を忌避する権限がないのに拒否する手法の撤回を要求し、「説明会での丁寧な回答の義務化」を求めます。</p> <p>(1) 稲沢市側の回答拒否理由の非合理性</p> <p>①現地参加した出席者のみに回答権を与えるのは、「出席できなかった人に対し機会平等の原則に反する」との理由で教委は回答</p> <p>②市側は、事前に「詳しい説明をする説明会を持ち、質問等も聴取する」ことをHPで広報済みで、地域住民に機会提供しており平等性に配慮済 →機会貰ったのに出席できなかったのは、原因は別の理由でありこれを根拠にするのは問題である</p> <p>③現地説明会にわざわざ参加した人に、平等性原理を持ち出し「個別回答拒否」するルールを提示するのは、あたかも市側に正当性があるかの如く「回答を受け理解を深める権利を制限」するのは、「法の精神逸脱」にあたる。 ⇒①そもそも、出席者が多くならなかった原因は、「市民が基本計画の深い理解を得れるよう」に、より広範な対象の市民参加が得られるような日程・時間等の環境設定する義務を負う行政（教委）側が「説明会を、最も難しい平日昼間で通知」した事が根本原因</p> <p>②一方、せっかく時間割いてきたのに、計画理解の深化のための教委回答を期待して来たら、「個別回答拒否の仕打ち」</p> <p>③自分で参加者数を下げる環境設定しておきながら、それを「不参加者の権利擁護」と称して参加してきた人迄個別回答拒否は「極めて非合理」 ⇒このルール設定そのものが、教委側の「自作自演で姑息な悪意ある」手段の行使</p> <p>④パブコメ集約後の最終計画案への繁栄スケジュールが全く不明 ⇒HPに如何にも反映可能な期間が余裕をもってあるかの説明をしているが、全く時間が取れていない。</p> <p>⑤HPでの集約表記形態も未記載 ⇒参加者の熱意に答える形で、態度を改め「誠意ある回答」を要求します。</p>
5	<p>パブコメ集約後、教委の最終決定（3/21）を得る迄の期間が、余りに少なすぎ到底「納得できる住民意見反映が望めない、現実日程設定では不可能」 ⇒「教委の当初設定スケジュールありきでの決定方法」プロセスは理不尽 ⇒決定時期を再検討すべき</p> <p>【根拠】</p> <p>(1) 最終の教委決定日（3/21）を意図的に住民側から隠蔽している⇒住民無視の態度は非難されるべき</p> <p>(2) 教委説明は、常にその場限りで、住民への丁寧な説明になっていない。 →住民参加の説明会といいながら、住民を小ばかにした不信感を増大させる説明に終始している態度、進行手法を取っており、この説明では誠実な説明とみなせない「パブコメ失格」と判断する。慎重、丁寧で十分な検討時間の確保が必要で「最終決定日の変更」を要求</p>

6	<p>市教委が説明会でも言葉に出す「策定委員会の学識経験者」とはどのような学識をもった方なのか、基本計画策定にふさわしい専門性を持った方なのかはなはだ疑問です。基本計画策定にふさわしいそれぞれの分野の専門家に参加していただき、基本計画策定委員会を再編成・再出発して頂きたい。また、関連事項の多いこのような計画について、もっと何年も時間をかけて計画案を練って頂きたい。拙速な学校統廃合は裏に地元政治家の関わる工事などの利権があり、政治的圧力があるのではないかと推察せざるを得ません。</p>
7	<p>この計画案が作成されるに至ったこれまでの年度ごとの予算計画・明細及び執行状況(もちろん、計画案32ページから37ページの学校施設見学費用等を含め)、今後必要な予算計画について、計画案に示すべきであった。ぜひ、公開していただきたい。</p>
8	<p>今回の計画案及びその進め方についていろいろな声がきこえてくる。については、説明会の出席者や市民等から、行政文書開示請求⇒住民監査請求⇒訴訟といったことに発展しないように、丁寧に対応していただきたい。</p>
9	<p>・パブリックコメントの適切な扱いについて パブリックコメントは原則公開します、とありましたが、説明会では、同じ意見はまとめるなどの説明がありました。しかし、「同一意見」が「何件」あるのかが重要なのです。まず、パブリックコメントが何件寄せられたのかを必ず公表し、同一意見はまとめたとしてもそれが何件寄せられたのかを明示してください。パブリックコメントは大切なことを決める前に市民に意見を聞きましたという「アリバイ作り」だとよく言われます。このような学校統廃合に関わる重要な案件のパブリックコメントは、アリバイ作りであってはならないと思います。わざわざパブリックコメントを書いて提出すると言うことは、それなりの気持ちを持って臨んでいます。その気持ちを損ねるようなことをしては、住民の理解は得られないと思います。私としましては市役所業務を煩雑化させることは不本意ではありますが、今回の件に関してはそういうわけにはいきません。まずは3月21日までに捌くおつもりだと思いますが、日数が足りない判断した場合は、3月21日の策定は延期してください。ちなみに、私も年中の子がおり、保護者アンケートに答えました。私は単学級育ちですので小規模校に何も問題を感じないし、むしろ固定化した人間関係のおかげで生涯にわたる友情が育めているという旨を記載したのですが、アンケート結果には反映されませんでした。そのように「都合の悪い意見は掲載しない」ということが、パブリックコメントでもゆめゆめ起こらないよう、しっかりと見守らせていただきます。</p>
10	<p>・学識経験者の選定を正しいものに 稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会にも学識経験者は2名いらっしゃったかと思うのですが、できれば学校統廃合問題に詳しい学識経験者を入れて検討すべきだと思います。具体的には愛西市の学校統廃合にも関わった山本由美氏、また、平岡和久氏、進藤兵氏ら、学校統廃合問題の著書のある学識経験者を登用すべきだと思います。稲沢市がぶつかるであろう壁を解決する糸口は、このような経験のある学識経験者の選定から始まります。</p>
11	<p>ほとんどの住民がこの計画を知らない。小学校区で保護者にすべて案内を配付し、2月25日(日)の夕方開催したい旨を依頼したが、パブコメ期間中しかできないと断られた。住民からの要望があれば出前講座はいつであれ開かれるべきである。</p>
12	<p>学校の統廃合を含める重要な事業の計画及び実施方針を定める場合は、教育委員会で協議しなければならない。これは教育長の専決事項ではない。それが教育委員には事後報告で、教育長決裁で許されるものではない。教育長は教育委員の決裁権を侵食していると言わざるを得ない。</p>
13	<p>パブコメはもっと早い時期に取り組んでほしい。</p>
14	<p>若い人にも老人にも住みやすい町(市)にしてほしいです。都心から15分という立地にあるのにもったいないです。</p>

15	最初に住民のみんなが集まりにくい日、時間になぜ説明会をするのか不明（何か「問題があるのか）。住民の意見を広く聞くのであれば、日、時間を考えるべき。※説明会をする以前の問題だと思います。
16	市民ひとりひとは、ある程度具体的な資料が提示され、それを十分に読み込んでからしかコメントできないのであり、パブリックコメントの受付期間が短すぎる。
17	稲沢市に限ってみると、一般会計の伸びに対し教育費の伸びは低い。この大本にあるのが「行政需要に対する国の財政措置が十分ではない」(P14)ことにある。教育を重視する施策への転換が必要だ。国にその責任を果たすことを強く求めるべきだ。国の責任を問題にしないと、学校統廃合（教職員の定数減）による国の負担削減にならざるを得なくなる。P.16~17のように、各学校の全面改築より学校統廃合の方が国の実質補助率を高くしていることに現れている。
18	別図 1・2 小学校区域図・中学校区域図 この図を追加したことはとても良い。しかし、第5回基本計画策定委員会ではこの図についての説明が一切なかったのはなぜか。この2つの図を有効に活用して説明をしてほしかった。
19	P7 平成26年5月に策定した「義務教育と学校あるべき姿」の後、平成27年1月の文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に関する議論が定例教育委員会でされていないのはいかがなものか。
20	教育委員さんが策定委員会を傍聴されないのはなぜでしょうか。議事録からは真の内容をとらえるのは難しいと思います。しかも12月の定例教育委員会で初めて策定委員会の内容を知らされ、3月21日の定例教育委員会で採決するとはいかがなものでしょうか。策定委員会を傍聴された教育委員はお一人と聞いています。決められる教育委員さんにも内容的なことを十分考えられる時間を与えてもいいと思います。平成27年1月の文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」を基本とするなら、もう一度原点に戻って、基本計画案の箇所を修正し、策定委員の方や教育委員の方に理解していただくことが時間をかけてすべきだと考えます。
21	基本計画案の説明会に教育委員さんは何人出られたでしょうか。教育長さんは出られたのでしょうか。やはり雰囲気肌で確かめなければならないと思います。
22	資料2 稲沢市学校施設整備基本計画策定スケジュール 突然この資料が提示されたのはなぜか。いつから、このスケジュール表が作成されていたのか。第6回の最後の策定委員会では、最終計画案を委員に諮り議決するのか。 3月21日の教育委員会では、議案の提出とあるが市議会と同じように中間報告に止めてほしい。議案として提出するのは、対象地域との合意形成ができた後にすべきである。教育は地域住民にとって身近で関心の高い行政分野であり、専門家のみが担うのではなく、広く住民の意向を踏まえて行われることが必要だからである。この時点で学校の統廃合について教育委員の議決を諮るのは、住民が専門的な行政官で構成される事務局を監督する、いわゆるレイマンコントロールに反することになる。つまり教育委員としての職務権限の濫用にあたると思う。

保護者アンケートの「その他自由記述欄」でいただいた御意見

番号	その他自由記述欄でいただいた御意見（原則、原文ままとしています）
1	統合を望みます。子どもたちが少ない人数での交流しかできず、かわいそうです。
2	老朽化した学校は危険なのですぐにでも対策はすべきだと思います。また最近学校に不審者が侵入したというニュースもあるので防犯面はしっかりしてほしいです。通学に1時間ぐらいかかる学校に行ってる子達もいるみたいなので、そこはもう少し何か対策すべきだと思う（学校をもう少し近くに作るのなど）。いろんな学校であることだと思いますが、先生がすごく厳しい（昭和の時みたいな考えの人ややり方の人）がいるみたいですが、そこらへんの考え方、教育の仕方などをもう少し改善していてもいいと思います。勉強も大切ですが、もっともっと自然とふれあえたり身体を動かすのもいいと思います。
3	再編、統合するのではなく、今ある小学校を再建築かりフォームしてほしい。子供をこれ以上、遠い場所に通わせるのは心配につながる。
4	統合により学校までの距離が遠くなった場合、登下校時の子どもたちへの負担が懸念されます。十二分な話し合いが必要だと考えます。また、教員不足が深刻な今、教師1人にかかる負担が大きくなるよう配慮をお願いしたいです。1クラスの人数が多すぎることや、生徒と向き合うこと以外の仕事内容について見直しを考えてほしいです。
5	国道など、交通量の多い道も多いので（しかもトラックなどもよく走っている）、こどもの交通安全に対する意識向上と配慮をお願いしたい。通学への不安が、統廃合で遠くなってしまった場合により感じる。地域の歴史等風土を知れる機会も程よくほしい（市外から来た親も知る機会になる）。学校施設は学童、児童館等こどもに関する施設がまとまっているとよいと思う。まだ未就学のため小学校の状況はわからないが、学校の中でのこどもの様子を知る機会、先生方へこどものことを相談しやすい環境づくりをしてもらいたいと思う。
6	小学生の頃、通っていた小学校のトイレがあまり綺麗ではなかったもので、トイレは清潔な方が良いです。勉強も大切ですが、クラブ活動やクラス会などの活動でより経験を積んで欲しいです。人間力がつくような活動をしてもらえると、大人になった時に、少しでも助けになるといいです。大変だと思いますが宜しくお願いします。
7	学校の老朽化がすすんでいる中、校舎の耐震性はどうか。
8	子どもたちのことを第一に考えた学校施設や教育活動を希望します。
9	へいわこども園に在園していますが、統合されたことで先生や自由な遊び時間が減り、子供らしい保育園時代が過ごせなくなったように思います。六輪保育園では楽しそうに先生と密に関わっていたので、小学校もまとめられてしまうと心配です。お友達が増えることはいいと思いますが、田畑が広がる平和町で、のびのびと大人になっていく過程を過ごせると思い転居してきましたが、どんどんその良さが失われている気がします。保育園も小学校も移行期で環境が変わることは反対です。どれだけ環境と建物が良くなっても教育の内容が悪化してしまうのは嫌です。保育園の統合で本当に残念に思っているの、これ以上残念な思いはしたくありません。
10	法立保育園から合併により平和こども園に通っている年中の親です。まず、こども園になってよかったことは、人数が多くなり子供には刺激があり、さまざまな体験ができることです。よくないことは、どこの地区から来られているかわからない、あまりしゃべる機会がない（教室の前までお迎えに行かないので、学年もわからない）ので、親としては交流がない。もし、小学校も合併したら、こんな感じだとまどうこともあるのかと思いますが、子供が楽しく元気に通える学校がどの状況でも1番だと思います。
11	再編・統合した場合、通学距離が遠くなってしまった児童については、バス通学を導入して下さい。
12	近年、様々な事件・事故が増えており、セキュリティに配慮した施設が望ましいと思います。出次の確認、登下校の確認を親がスマホを通じて知ることが出来たり、災害時の連絡など、安全にすごせる環境を希望します。
13	小学校によって教育内容や施設、設備に差が出ないようにしてほしい。現状は小学校によってかなり取り組みなど異なっている現状を実感している。
14	いじめほどの学校でも発生していると思われる。潜在しているいじめを表面化して、いじめた人（加害者）を他の学校に移す処置を設けて欲しい。また、部活などは、外部業者に委託するなど雇用を促したい。職業の早期選択を促す為、勉強会などを多く実施して欲しいです。

15	学校の設備がとにかく古くて不便を感じる。特にトイレは和式で、子どもはとても不安がっていた。建て替えは大変だと思いがリフォーム等してほしい。給食を学校内で作っているのはとても良いと思う。毎日給食を楽しみにしています。学童保育は設備と人数と人員配置が足りあいていないと思う（特に夏休みなど）。地区のスポーツ大会に先生が参加しているのは気の毒なのでやめてほしい。休日はしっかり休んでほしいです。
16	子ども達や先生方へのご配慮、何卒よろしく願いいたします。
17	現状の学校施設整備がどこまですすんでいるのかわかりませんが、親世代の学校施設整備と現在の多くの施設を比較した際に、洋式トイレが充実していると良いなと思います。また、メンタルケア、小1の壁、小4の壁と、学童期は心の成長にも影手響があると思うので、SCの充実がなされると親としては安心です。
18	現在の制度ではないが、小中一貫校の導入（特に再編・統合に際して検討）、トワイライトスクールの導入、スクールバスの導入（徒歩の距離に合わせて）、トイレの改修。施設の建替等にあたっては、国庫補助金の活用や県の補助を要望するなど、出来る限り短期間で一般財源が過度な負担にならないように取り組んでいただきたい。（世代間で負担が不公平とならないよう配慮すること。）
19	学校に障がいのある子が居ると思うが、専門家の先生も学校に配置したほうがいいと思います。教室が余っているなら、保健室登校ではなく、フリースワールの様にクラスに行けない子を受け入れる場所があってもいいと思う。全体的に教員が少ないと思う。35人に対して教員1人ではなく、1クラスの生徒数を減してクラスを増やせたらいいと思う。0～6才の幼児期は稲沢市はとても良いが、小学生からは子育てしにくい市だと思える。教育現場がいろいろな意味で改善される事を願います。
20	1クラスだと気の合わない友だちやいじめがあった場合に、学校へ行きたくなくなるように思う。子どもたちのコミュニティも広がるよう、ある程度の生徒数があり、クラス数があるのが理想です。1クラスあたりも30人程で教室のスペースや先生の目が行き届くような人数にして頂きたい。統合により通学範囲が広がるので、スクールバスの運営を希望。学童の夏期休暇・冬期休暇（特に夏）お弁当持参を有料での配食サービスなどに対応して欲しい。稲沢市は子育てしやすいなと感じているので、子どもたちの学校生活が楽しくより良い方向になるよう願っています。
21	小規模な学校同士でタブレットでオンライン交流を行ったり、音楽（合奏など）や体育などの授業を一緒に行えるようにしたらいいと思う。
22	学校の役員PTA、体育振興会など、無くなればいいと思う。仕事で忙しいので、負担が大きい。
23	小中の統合について、瀬戸市の取組は先進的で参考になると思います。瀬戸市小中一貫校にじの丘学園にある「大階段」は、生徒たちが自由に過ごせるともいい空間づくりができてるように思います。ぜひ視察していただき、将来の稲沢市の教育に役立ててもらえたらいいです。（私は回し者ではありません…）
24	国の基準が4Km60分だろうが、遠ければ遠い程、安全確保が難しいものです。私は1.4km、30分の小学校に通っていて大変だったので、結婚し、家を購入するときに、小学校の近い所を購入条件の1つにしていました。こう考える方は少なからずいると思うので、統合するのは、5～6年は前もって周知してほしいです。不審者が多い世の中になってきたので門の管理をしっかりしてほしいと思います
25	明治地区も子どもが減ってきているのは、現状だと知ってますが、建て替えるとなってもどこに建てるの？明中のとなり？でも、小1年生の子が明中のところまで遠い子は歩けませんよ。そういう場合、バスとか動いてもらわないと…安心して通わせられない、そういうところも考えてほしい。
26	近頃、子供の減少と共に、学校に行けていない不登校になってしまっている子供たちが増えていると聞きます。我が子にも只今中学に通う娘がいます。娘も学校に行きづらいつと思う時もあり、学校をお休みしていた時期もありました（中学時）。実際その思いを経験した事と思うのは、その子達が学校に行きやすい環境づくりに…、授業が遅れてしまっている子の為の自習室や、心のケアの部屋、保健室とは別に…。もっともっと子供達が学校に通いやすい体制を望みます。今後、未来の子供達の為に、この思いが届き、少しでも取り入れて頂けたらと願うばかりです。どうぞ宜しくお願い致します。
27	現状、学童保育の施設が遠く、かなりの距離を移動することに問題を感じている。改善の必要性を強く感じる。
28	学校内や登校、下校等とにかく子供達が安全である事が第一だといいなと思う。安心して通わせたい。
29	家庭環境が悪い子への配慮・ケア。インターネット犯罪や薬物・反社への対応の教育
30	小学校の再編、統合にあたって、通学時間が増える地域の子にはなるべく負担を減らすように配慮していただきたいです（例えばスクールバスを検討するなど）。以上

31	<p>小学校の再編や統合はいろいろな面で必要なことだと思います。ただ徒歩で小学生がこの異常な暑さの中、30分以上歩いて通うのは大変。市でスクールバスを用意する、親が送迎しやすいよう校内の車の通り道を確保するなどお願いしたい。また、遠い子ほど朝の集合、出発がより早くなるのが予想されるので、朝のスタート時間を遅くして、見直しが必要だと思う。そうすると共働きで親が朝早く出る家庭は子どもを見送れないので学校での朝の学童も（7:30～8:15くらいで）市で検討してほしい。</p>
32	<p>子供が少ない、校舎がきたない。放課後のあそぶスペースがない！みんなが集まる場がほしい。</p>
33	<p>低学年児童に対しては、スクールバスを設けるなど、ハード面での安全対策を考えてほしい。温暖化等に伴う気候変動に合わせた、校則・ルールの改善。通学路で危険な箇所が各地区あると思うので、安全に通学できるよう整備してほしい。共働き家庭が増えているため、児童を学校に居残りさせておけるなどの工夫をしてほしい。ランドセルの廃止、通学かばんの統一はしない。タブレットを使用し、教科書の数を減らす。</p>
34	<p>学校施設内に学童をつくってほしい、働いている人が多いので旗当番のやり方を見直してほしい。学校が終わってから学校施設内で習い事ができるとありがたい。</p>
35	<p>今は保育園児なので、実際にどのような活動をしているのか具体的には分かりませんが、最近は共働きや土、日も両親どちらかが働いている家庭が増えています。そういった観点から、PTAを外注したり、旗当番は地域の現役引退をして時間がある年配の方を中心とした組織を今より大規模に編成したりと、親の負担が軽減出来る取り組みをしてもらえると良いのかなと思います。（数か月前、下津保育園に通っている子どもが、小学校のじゃがいも掘りのお声がかかり、たくさんじゃがいもが掘れたと喜んで帰って来ました。このような取り組みはとてもありがたいです。協力して下さい皆様、ありがとうございました。）</p>
36	<p>クラブ活動のバリエーションを増やすためにも外部講師やボランティア講師などの指導者を招いてもよいのではないかと。プラスワンの時間の使い方がもう少し融通あってもよい気がする。宿題をやりたい子は宿題をやってもよいのではないかと。</p>
37	<p>クラス替えする事がいじめの対応であったり、人間関係を広げる力を養う事と直結するものではないと思いますので、もっと別の観点から、再編、統合について考えていけたらと思います。</p>
38	<p>子どもたちの安心・安全を守るために、教員数の増員及び学校事務員増強をご検討頂きますと幸いです。よろしくお願い致します。</p>
39	<p>「教育」は何よりも優先されるべきである。それは目には見えづらいが、疎かにすることはできない。騒音問題や駐車場問題などのハード面、教員不足などのソフト面、課題は山積みであるが、未来の為にどうかがんばって欲しい。</p>
40	<p>担任の先生の負担軽減と、子どもたちの学びの為に専門性を持った先生の指導をしてもらえるといいと思います。水泳等も専門の先生や外部の指導を受けられたら良いと思います。</p>
41	<p>バリアフリーといっても、スロープやエレベーターの設置にとどまらず、トイレの性別表記や更衣の配慮、大人用オムツ替えベッド、一目でわかるピクトグラム、刺激に弱い子やパニックになる前に利用するクールダウン部屋（または、簡易パーテーション）、他にも視覚障害のある子への配慮など挙げればきりがありませんが、箱ものを作っただけにならないよう、子ども課、福祉課と連携してすすめてほしいです。</p>
42	<p>小学校は子どものためのものなので、跡地活用や地域コミュニティ活用はあとで考えるものとして、子どもの目線と将来を第一とした選択をおねがいします。</p>
43	<p>私自身が小学生だった30年程前と変わらない学校の施設に、とても怖く感じた。この30年で、経済や環境、グローバル化、IT化が道んだにもかかわらず、何を今までしてきたのか…と不安と、不信感しかない。1960年頃～1980年頃までに将来のことも考えずに計画なしで建築したツケが今の世代にきている。今後は、計画的に改修を行い、「子育て・教育は稲沢で」をアピールできる都市になってほしい。今のままでは、子育て、教育をしたい世代は、居なくなると感じている。</p>
44	<p>私の実家の小学校は30年以上前から1学年1クラスで特に問題なく、兄弟などとの年が近く年上の学年の人たちと遊ぶことも多く、その中で育ってきて中学へ入り自分の校区だけ1クラスだったと初めて知りました。1学年1クラスに問題はないけれど、少子化対策の方が問題。学校老朽化に対し予算がないのであれば、以前小中学校を同一敷地内に設けるといった考えがあったように思うのでそれを推します。その際の小学校低学年等通学距離に対し体力がない子供達をコミュニティバスでの送迎等で対応してもらいたい</p>

45	<p>学校施設の老朽化は子どもたちの安全確保、避難所としての機能保全のためにも早急に対策を講じねばならない問題であるのは明白です。また、空調設備の徹底も喫緊の課題です。国府宮駅周辺の再整備より早期に着手すべきです。これらが整えば、子育て世帯の流入にもつながり将来的な若年層の人口増加が期待できると考えます。学校の再編・統合も、35人学級を見直すことにより対応可能です。再編・統合により通学に時間がかかってしまう子が増えるのは大きなデメリットですが、30人学級などさらなる少人数学習は教員への負担軽減、1人1人の生徒へのサポート向上などメリットとなります。</p>
46	<p>医域外就学の選択肢があってもいいと思う。登下校時の父母による旗当番をボランティアなどに依頼できないのか。</p>
47	<p>教員不足による先生達の忙しさが子どもたちの教育活動を制限したり、個別の対応が十分にできなかつたりすると非常に残念です。講師の先生たちを何とか確保していただいたり、統合等して、施設だけでなく、先生も子どもたちも笑顔で過ごせる環境整備を進めていただけると大変嬉しいです。</p>
48	<p>祖父江に来て2年になりますが、学区ごとのヒエラルキーにおどろきました（ある学校はカッコイイ、ある学校はバカにされるetc.）。統合は致しかたなしと考えますが、学区名を一新するなどしてほしい。また人数が少ない所をなくすのではなく、多いところをなくし、他に分散させる様なやり方が望ましい。</p>
49	<p>学校統合は反対。児童数が多くて、先生の目が行き届かず、授業の理解が遅れたり、いじめにつながったりするより、児童数が少なく手厚く見てもらえている方が親としては安心する。</p>
50	<p>いじめなどがあった場合、1クラスしかクラスがないと子供が行きづらいので統合をすすめて欲しいです。その場合、きよりがある児童は保護者の車送迎、又は4～5年生の高学年になったら目転車通学などの通学の選択があると良いと思う。共働きの家庭もどんどんふえているので、学校併設だったり近くに児童がある学校を統合と共にたててほしいです。PTAも廃止する流れがあると助かる家庭はたくさんあると思うので、切に願っております。</p>
51	<p>障害のある児童（発達・知的など）が学びやすい環境、安心して通わせることのできる教育体制がもっとととのうと子育てしやすくなると思いました。仕事をしながら子供を育てるにあたり、子供が大きくなる事にうれしさと、今後の不安が大きくなります。保育園では加配保育でみて頂けていても、小学校ではそういった訳にはいかず、また学校終わりの児童へも障害があるとあずけることは困難です。放課後デイサービスを使えば良いですが、自力で色々な所へ見学にうかがい、決めていくことも、仕事をしながらだとスムーズにできないこともあります。まとまった見学会や、加配保育児のその後どうしていくと良いのかなど何かわかりやすい資料などがあると良いと思いました。</p>
52	<p>新しい校舎を望みます。通学に時間がかかるようならスクールバスetc.の導入をしてほしい。教員の労働時間是正をしてあげて欲しい。先生がなるべくストレスetc.から解放されていたほうが子供にとってもメリットが大きいのは当たり前だろうから。[事務作業を減らして教育に時間をさくとか出来ないのでしょうか？事務員を増やすとか…。簡単ではないでしょうけど、少しでも働きやすい職場になることを願います。]</p>
53	<p>まだ娘が年中のため、領内小学校の様子も何もわからない状態でのアンケートになりましたが、稲沢市に引越しをして1年半ですが、今後がとも不安になりました。やはり子供には近くの小学校にたくさんのお友達と安全な学校に通ってほしいというのが希望だったからです。厳しい状況であることは今回のアンケートで知ることが出来ました。学校施設や教育活動の問題と合わせて、多くの方が稲沢市で出産したい、子供を育てたいと思えるサポート強化もしていくことで、子供の人数を増やす政策ももっと必要なのではないかと強く思いました。稲沢市の子育て支援を強化していただき、子供もお年寄りも心豊かに過ごせる場所にしてほしいです。近くの小学校で小規模のままで教育してもらうのか、遠い小学校でクラス替えが出来るくらいの多人数を集めて教育してもらうのか、どちらもメリット・デメリットがあるため、まだ明確な希望はありませんが、市民として今後しっかり考えていこうと思います。</p>
54	<p>今年の夏は暑く、熱中症警戒アラートが発令される事が多かったので、体育の授業（特にプール）が中止になる事が多く感じました。体育館の空調設備を整えたり、プールに屋根を付けるか、市や、町が運営するプールを利用する等検討できるのではないかと思います。体育館に空調設備があれば、休み時間等も子供達の体を動かす機会も増えて運動機能向上に繋がるのではないかと思います。</p>
55	<p>新しい試みをするタイミングかと思えます。ぜひ色々模索してほしいですが、同規模の同じような自治体の取組みを勉強したり、専門家の意見を取り入れたりしてほしいです。子どもたちの学習・教育環境を第一に考えた結果、また試行錯誤するものかと思えます。</p>

56	<p>毎年の校則の見直しや、教員がその校則がある意味を理解していること。どうしてこの様な規則、校則があるのか理解していない方に、決まりだからと言われるのは違うと思う。担任の先生と、合う、合わないがあると思う。選んだり、変えたり選択できると良いなどと思う。希望を出したり。専門的な教材に関してはどんどん新しい人と（月に一度講師を招くなど）関わる時間があれば刺激になって良いと思う。温度湿度の整った過ごしやすい施設。事件など何かあった時のために、具体的に分かりやすく、こんな時はこうする！という様なことをこまめに教えておいてほしい（ルートの確認など）。</p>
57	<p>学級数の数よりも1クラス当たりのクラスの人数を少なくし、先生が一人ひとりの子どもへ注意が行き届く環境にして欲しい。だから、現状の小学校の配置によって1学級になりクラス人数が多人数になるなら、再編、統合してクラス人数を少人数にした方が望ましいし、再編・統合されて多人数になるようなら、学級数が少なくても現状の学校配置にして欲しい。</p>
58	<p>暑さが年々厳しくなるので、子ども達が学校で快適に過ごせるようにして欲しい。いじめを隠ぺいしたりせず、加害生徒・被害生徒ともにスワールカウンセラーさんや医療機関などのカウンセリングを受け、早期解決してほしい。昨今生徒を性的な目で見ると大人が教育現場に紛れこむニュースが多いので、教師・非常勤の講師の方の人間性のチェックを厳しくしてほしい。とにかく子どもには学校で安全に楽しく過ごしてほしい。</p>
59	<p>現在は保育園に登園中で、まだ先の事ではありますが、小学校へ上がる前の年長頃に「オープン学校」のようなことをして、お兄さん・お姉さん・先生方などの日頃の様子などを見て体感出来るような事をしてほしい。保育園でのお友達との関係にも大事な事なので学区にこだわることはしたくないので、子どもが行きたい学校を決めてそこから進んで成長していくのもありかと思えます。最近のニュースなど見ると怖い事も多々あり、送迎を我が家ではするつもりでいます。</p>
60	<p>現代社会ではIT文化が身近になったため、幼少期からパソコンに馴れさせ、高学年になるにつれ高度な学習ができるようにしてほしい。学校が安全で安心して通える場所であってほしい。</p>
61	<p>小学校の再編・統合について考えているが、では、なぜ皆が子供を産みたがらないか、産みひかえるのか、子供がいらないと考える大人が増えてしまったのかも考え、対策すべきだと思う。稲沢市は特に古い習慣や風習にとらわれ、新しく他から来た者にも、古い考えのまま押しつけ窮屈さを与えていることに気づきながらも目を向けていない。性の多様化など言われている今の世の中、様々な子育ての選択も自由でなければいけないと思う。PTAに法的拘束力がないにもかかわらず、当然のように強制加入させられている。家庭・仕事の多様化のこの現代に合わないのである。考え方を変えなければ、ではいつその考え方を変えていくキッカケになるのか。昭和の考え、決まり事を令和になってもまだ変えないのですか？そんなに昔の考え方が正しいのか。だから、今子供を産む価値なんて、苦しみの方が増えているから子供の数が減るんですよ。</p>
62	<p>学校が遠くなった場合、登下校が心配。道路状況、交通量、不審者対策など安全性を確保してほしい。今後、校舎を建て替える時に、多様性に配慮して造るのは良いのですが、少数に配慮しすぎて、多数が犠牲になるような造りはやめてほしいです。多目的トイレを造るのは良いのですが、全てを男女一緒の共同トイレだけにしたり、共同更衣室だけにするのはやめてほしいです。</p>
63	<p>公立保育園も古い園がいくつかあるので、公立保育園と小学校はもし建替えるのなら、一緒に敷地内や一緒に舎に併設する等してもよいのではないかと思います。</p>
64	<p>小学校周辺の歩道が狭いことが気になっています。もし再編・統合されて別の小学校に通うことになった場合も、通学路の安全が確保できるルートがとれるのか、とても重要と考えております。トラックが多く心配です。いじめや不登校の問題で、必ずしも学区に捉われない教育の場があると親子共に心の余裕ができるのではないのでしょうか。、市内で悠々と遊ぶことのできる広い場所が少ないと思います。廃校になる学校の跡地を子供たちのための施設として活用してもらえたらうれしく思います。</p>
65	<p>まだ入学していないので状況が分かりません。</p>
66	<p>学校への入学と共に新しい生活が始まる子ども達にとって、どこの学校でも環境でも、柔軟性があり、馴染んでくれると思います。また、様々な友達と過ごし、多様な考え方や関わり方など人との関わりの中で育ち、生きていく力をつけていくことが大切だと思います。きれいで過ごしやすい環境作りより、子ども達が未来を生きやすくする力をつける環境になって欲しいです。※児童数の減少、施設の老朽化の資料を見て、我が子だけでなく、これからの子ども達の為に…と考えることが出来ました。又、子ども達の為に働いて下さる先生方の負担が少しでも少なくなる施設作りをして頂きたいです。</p>

67	使用する教室にはエアコンが必須。特に夏場は熱中症・脱水のリスクが上がる。また集中しづらい。ウォーターサーバーで水分補給ができると良い。学校の先生は時間外労働が多いと聞きました。先生にとっても働きやすい環境が心のゆとりを生み、子供にとっても良いのではないかと。共働き世帯が半数以上となっているため学校併設した学童があると助かる。交通ルール、自転車の乗り方を教育に取り入れてほしい。
68	子供の登下校の安全が心配です。スクールバスの導入なども検討して頂きたいです。いじめ等に関しては、田舎で3クラスで育った私は逃げ場がない状況でした。7クラスあったという職場の方に聞くと、学年全員を卒業までにおぼえられなかったというので、そのくらい大人数の方が良いのかなと思います。学校内学童は全国でもかなり広がってきているので、ぜひ早急を実現してほしいです。時代がこの50年でとてつもなく変わってきているのに、その人間を育てる教育現場が変わっていないことの方が、子供を入学させてからショックを受けました。今後夏の暑さも長引いてとても登下校できる気温ではない日が多くなる中、設備の整った学校の建設やスクールバスの導入、稲沢は子供が安全に遊べる公園や憩いの場が少ないので、学校跡地にぜひ利用できるようにしてほしいです。
69	子どもたちの安全のためにもまず、校舎の建て直しや補強を徹底的に行なって欲しい。昔とは違って夏はとても暑く、冬は寒いので環境設備はきちんと見直して頂きたい。学校によっては、校内に児童館があったり等の話も聞くが、登下校の際の安全面もこのようなご時世なので配慮する必要があると思う。
70	学童保育は、必要な家庭が不便なく安全に利用できるようにしていただきたいです。
71	地域によっては統合はやむをえないかと思っています。そうすると、徒歩通学が厳しい児童も出てくるかと思うので、スクールバスがあれば安全や防犯面でも安心できるかと思っています。たださえ、真夏の登下校は熱中症が心配なので、個人的には統合など関係なくスクールバスがあれば良いかと思っています。
72	親として、学校での人間関係がうまくいくか心配です。夫婦共働きで、学童での人間関係も心配です。親も、もちろん子供の様子を気にかけますが、先生、指導員の方々に相談した時、対応して頂けると助かります。
73	トイレはきれいにしてほしい。今でも和式だとしたら、使いづらい子供は多いと思うし、汚いのが無理な子だとかまんして、体にも良くない。いじめられた子や、学校へ行きたくない子への支援強化もしてほしい。いじめられた子が授業を受けづらくなったり、教室に行きたくない子もいる。学校とは別で、スクールなどあるといいと思う。気軽に通えて、また学校へ行けるようになったら行けばいいし、行けなければずっとスクールへ通うなど。学校が全てではないし、無理に来させようとしたりせず、その子その子での対応は変わるべきだし、今の時代にあった教育、学業、対応をしてほしい。
74	現在、運動会などでも競争することが少なくなっている。運動会では赤白etc. 決めて、やってほしい。競争と協力することを教えるため
75	親自身が子供だった頃よりもさらに共働きの家庭が増加しているように見受けられます。そんな中、学校行事の運営等、保護者の負担は以前のままのように見受けられます。今はパートでもフルタイム、正社員で働く女性が多いため、以前と同様の負担は今後ますます出来なくなっていくと思います。時代に応じた学校運営の方法を探す必要があると思います。
76	旗当番を地域に任せるのは限界です。外注、又は任意とし、教育委員会にて通達を希望します。保護者による逆迎でいいと思います。
77	共働きで頼れる親族も近くにおりません。放課後児童クラブをいずれ利用することになるとは思いますが、児童センターの規模を見ると、せますぎるんじゃないかとも思います。小学校の教室などを利用した児童クラブの運営はできないのでしょうか？また、下校時の保護者の旗当番も、こなせるのかすごく心配です。通学路の安全を確保して、少しでも負担が減るようになったらいいなと思います。
78	施設を建設する上で、重要なのは第一に子どもに関することです。付属する施設や有効利用などは優先順位は高める必要はない（予算があればもちろんOK）。子どもが学校生活で安全に快適に過ごせることが一番だと思います。教育については、授業の質を高めること、授業中に子どもたちに集中させる（ひきつける）力のある教員を育てて欲しいです。先生達にその時間を作ってあげて欲しいです。事務作業を外注できるようにするなど予算もさいて、質の高い授業を求めます。授業に集中できる学校は、非行も少ないと先生たちからもよく聞きます。よろしくお願ひします。
79	子供へのよりよい教育のために、教師の働き方改革が必要。教師の負担が大きい現状では、教師のなりてがいない。教師不足だとそもそも、子供へよりよい教育はできない。引越してでも、通わせたいと思われるような、モデル校を目指した教育を行って欲しい。性に対して恥かしさなどが芽生える前の年齢(小1などから)から、少しずつ性教育をすすめてほしい。

80	統廃合が進んでいく場合、必然的に教員も不安になってくる事が想定できますが、雇用については、そこを見据えて採用していくのでしょうか。もし、教員の採用が変わらないのであれば、その分、手厚い子どもへの支援を期待したいです。
81	各教室及び体育館にエアコン設置を望む。全教員の不審者対応能力の向上を望む。全トイレにエアタオルの設置を望む。
82	不登校児にもっと学ぶ機会を与えて欲しいです。そして、教員も不登校児に対する対応の仕方を学んでいただきたいです。
83	夏が年々暑くなっているので、各教室にクーラーを設置することはもろろんのこと、通学中への暑さ対策も必要だと思います。日傘やハンディファンなど長時間歩くことを考えるといろんなものを認めていくことも大切だと思います。真夏だと水筒だけでは飲み物がたりないこともあると思うので、ペットボトルの購入やお茶、水の補給など先生のできる範囲でなにか実施してもらえると安心します。
84	ないです。まだ学校に通わせていないので、またこのようなアンケートをどこかに設置してあったりしたら利用したいと思いました。
85	たとえ建物が古くても（もちろん改革されていくことを望みますが）、教育内容が充実することを求めます。1クラスの人数を制限し、20~25人程度にできるように、教職員を増やしたり、備品や教具、図書などが充実するといいなと思います。子どもは未来を担う宝です。ぜひ、前向きに様々な改革に取り組んでいただきたいです。
86	現在、発達障害のこともよく言われていますが、支援策などの整備もお願いしたいです。登下校が再偏により大変になる児童が今後出てくるかもしれないので、その際は登下校の見守りボランティアや家庭の負担にならない程度の旗当番（現在、小さいと子供を連れていけないなどあり、核家族化の現代にはあまりふさわしくないかとも思います。おじいちゃんおばあちゃんと住まわれている方ばかりではないという現実、実家や親を頼れない方も見えるという現実、シングルマザー・シングルファザーがいるという現実をきちんと理解し、やさしい環境になればと思っています。現在、タブレットを1人1台支給されていますが、今後、スマートフォンのアプリも活用し、保護者と連絡がアプリ内で行けるといいなと思います。
87	小学校のトイレそうじを子ども達がやっていると思います。子どもの手だけでは限界があると思います。年内に数回だけでも業者の方にさせていただきだけでも清潔感が保たれていくのでは？と思います。子ども達が使いやすいトイレになるといいと思います。
88	1クラス2人担人制にして、子供1人1人の学習をみてもらいたい。1クラス2人担人にする事で先生の負担も軽減するのではないだろうか。水泳はラッシュガード許可、水泳の選択制で参加は自由にしてほしい。日光も今の環境状況では皮フへの負担も大きいと思う。中学校は距離関係なくすべての生徒が自転車通学にすべき。帰りが遅かったりすると夜道は暗くて危険だから。そのために駐輪場をつくってもらいたい。
89	共働きなので、学童保育の機能を良くしてほしい。子供の能力に合った教育や加配担当を各学年に付けていただくと安心
90	登校する際、ボランティアの方達がいるが、みんなお年寄りが多いので何かあった場合、対応できるのかが心配。授業等、見えない部分を、オンラインでリアルタイムで見られるようにしてほしい。
91	長期休暇時の昼食提供があると助かります（奈良市でやってます）。名古屋市ですでにあるトワイライトスクールを実施してほしいです。授業がない日でもランドセルで登校という考え方を改めてほしいです。ランドセル、ナップサック、個人の自由にして頂けると助かります。（授業ないのに何でランドセルなの？と子供に聞かれた事がありました。）
92	国分保育園が廃園になった後の放課後児童クラブを国分小学校で行って欲しい。または、そのまま国分保育園で行って欲しい。まだ少し先の話ですが、安全面を考慮していただき遠くまで歩かせるのはやめて頂きたい。
93	学校施設は人間関係を広げる場でもあるが、1番は知識の定着と考えるので統合により大規模になるのは好ましくないと思う。現在の稲沢市の教育活動はとても充実していると思う。
94	現在の画一的な教育で、AI時代を生きていく子どもたちは健全にすごしていけるのでしょうか。稲沢市の教育に関わる方、みなさんに『夢みる小学校』（文科省選定映画）をみていただきたいです。苦手を克服し、我まんして勉強するよりも、一人ひとりが好きなこと、興味をもったことに取りくめる体験学習に取りくめたらいいなと思います。長野県の公立、伊那小学校はすてきな取りくみをしています。

95	校舎というハードが新しく変われば、子ども達の学ぶ意欲というソフト面は大きく変わると思う。タブレットを配布して、ICT化を進めると同時にそれに対応し得る建物の準備は必要だと思う。ただ単に「環境を整える」だけではなく、減ってゆくコミュニケーションや心のつながりを自然に補ってゆけるような仕掛けが満たされるような校舎を望みます。ex. 日立市立日高小学校とか、福島県の矢祭小学校とか、素敵です。
96	長期休み時の学童でお弁当を用意してほしい。子育て世帯が流入し、子どもの数が減らない様に教育では先進的な取組をしてほしい。道路を歩く練習にもなるので小学校は統廃合しても歩ける距離に学校がほしい。共働きで両親が近くにいらない世帯でも子育てしやすい環境を整えてほしい(学童の充実)。UVカットガラスを採用、災害時の避難場所として2~3日はプライバシーを守って生活できるスペース、備蓄の確保。統廃合の際は住人との十分な話し合いが必要。
97	老朽化している学校は早く改修をしてもらいたい。教育のレベルを統一する努力をしてもらいたい。クラスによって採点基準が違いすぎる。
98	過疎化になりつつある地域で統合するという話を聞き、家を建てて引越そうと思っても迷ってしまいます。現在社宅に住んでいるため、いつかは現在住んでいる場所を出る予定ですが、現状駅前以外での子育ては厳しいのかなと思っています。実家(親不在)が西島にあります。小学校の統合に、最寄りの保育園(山崎?)が遠方で16:00までしか開園していないため、子育てしながらの生活は無理だと思っています。子育ての稲沢とは言えないと思います。子どもが少ないからなくすを続けると子どもは増えません。減ってるから減らそう。増えないのは不便になっているから当たり前です。考えて欲しいです。
99	あまりにも遠い学校へ通う事になった場合、子供、親ともに負担が大きいと思う。塾など違う子供と触れ合う機会は別でも得られるので、統合してまで遠いところに通うのは現実的でない。いじめ→クラス替えで対応も必要な措置かも知れないが、今の学校の体制だといじめられた側が休んだり(←学校に行けなくなったり)引越したり負担を強いられていて、いじめた側がのうのうとしている様に見受けられ、本来ならいじめた側が登校を禁じられたりペナルティを課されるべきであり、クラスを変えれば良いと言う考えが今の学校の事なかれ主義をよく表していると思う。いじめがあるクラス=問題のあるクラスという評価でなく、それを発見し解決する事こそを評価する体制に変えていくべきだと思う。そういう意味では、小規模の目の届くクラスは別に忌避していない。
100	安全の確保をどうするかの問題はあるだろうが、どれだけ地域に開いた存在になるのかなのかだと思います。
101	高御堂中央保育園に通っている子供が、今現時点で、トイレが汚くて使いたくない、〇〇が古くていやだと言っているのが現状。経済成長期に造られた建て物の問題は全国どこでも課題。一番は子供が安心して使える、楽しんで通える場所であってほしい。教科ごとに教える先生をかえるなら、教えることのプロの講師のリモート授業が受けられるなど、今までの概念を外して決めた方がいいと思う。身内に教職員がいますが、本当に社会・世の中のことを知らなさすぎて、教わっている生徒さんがかわいそうに思う。そんな教員が少なくなってほしい。生徒が成長し、社会に出たときに、自分の意志を持って進んでいけるような人になれる教育であってほしいと感じます。
102	児童数が少なすぎることで起こる問題が増えるのであれば統合には賛成です。通学時間が問題ですが、そこがクリアになれば大人数の方が子どもにとっては良いと思います。
103	和式のトイレは全てなくしてほしい。不衛生です。男女は、1年生から別で着替えた方がいい。
104	私自身小規模の小学校出身ですが、小規模ならではの良い部分もあり、クラス替えがないと子供たちの絆が深まったり、1人が何個も意見や考えを持つ事が出来たり、先生も1人1人にしっかりと向き合う事が出来ると思います。大規模な小学校がどうか分かりませんが、小規模なら1人1人の個性を大切にしやすいのではないのでしょうか。我が子は、発達障害(LD)があり、大規模なところだと周りにかき消されてしまいましたが、小規模なところだとすぐに気づく事が出来、すぐに我が子に合った対応をしてくれています。大規模が悪いわけではありませんが、小規模も小規模の良いところがあり、小規模の方が良いと希望する親もいると思います。少ないからとなくすのではなく、残す方法も考えていただきたいです。
105	近年、夏は危険な暑さとなり、今後異常気象が進むと予想されます。体育館を含め、子供達が過ごしやすい環境が整うといいなと思います
106	学校や学級の小規模化の弊害としてPTA活動があると思います。上の子で役員をやったのに、何回かやらなくてはいけない状況がでてきたりして、ますますPTAに対して嫌悪感を抱き、加入しない人が出てくると思います。加入を希望制にしたり、役員も仕事や家庭の事情で無理な人もいますので考えてもらいたいです。(中学校でも)

107	学校のトイレの清潔さが欠けているのが原因で、学校のトイレで排便が出来ないでいる。生徒だけの掃除に頼らず、先生又は、業者が月に何度か掃除をしてほしい。
108	子どもたちが通える学校を自分で選んだり、学校以外の学びの場や居場所作りをもっと進めてほしい。
109	今回、このように保護者の声を聞いてもらえてうれしく思う。そして、今回のアンケート結果がどのようなものになるのか興味もある。回答結果を教えてもらえる機会を作ってほしい。ICT化・グローバル化等は、当然のことであって、現在懸念されていることは、人とのつながりが希薄化されつつあることであると思う。AIなどでは補えない人と人との関係性が育まれる、地域の方、社会全体でのつながりが重要視される教育活動に力を注いでほしいと思う。保護者として、そこを私も大事にしていきたい。この一市民の声を大切にさせていただけることを願います。
110	一人ひとりに目がいきとどく環境が必要。いじめなどにすぐに気づける体制をとってほしい。
111	小学校が統合された際には、教員の数も増員していただき、子どもの人数に対応して、細かい指導、目がいき届くようにしてもらいたいと思います。
112	クラス替えができないことを問題視しているようですが、私は1999年に長岡小学校卒で、私の学年から下はずっと1学年1学級でした。それで何か問題があったとは私は思いません。夫は他府県の小学校ですが、1学年200人以上、6クラスほどだったそうですが、せっかく仲の良くなった友だちとクラス替えにより疎遠になることも多々あったそうです。クラス替えにはメリットとデメリットの両方があるはずですので、デメリットのみ取り上げて議論を進めるのは望ましい在り方ではありません。長岡校区は駅からも遠く不便なので、新規移住者はかなり少ない印象です。小学校が無くなると子育て世代の敬遠は加速し、更に人口減少に拍車がかかるのは目に見えています。過疎地を見捨てるような施策は考え直して頂きたいです。
113	教育、児童のスペースをある程度分けることも必要だと思うが、自宅でいうリビング学習のように“見える化”できる、職員室の横を通らないと帰宅できないといったようなお互いの姿が見えて、いじめや児童の様子の変化に気付けないということがないようにしてほしいと考えます。
114	運動会の開催時期の再考（例えば5月や10月末など）。夏休みの宿題（読書感想やポスターなど）の再考（選択制にするなど）。見守り隊ボランティアの募集方法の再考（市で募集、学生や老人会等に広く募るなど）。
115	旗当番はできないことが多いかもしれないので、できなくてもなんとかできるようにしてほしい
116	昨今の異常気象に対応できるようにすべきだと思います。（ex. 熱中症のリスクを減らして体育ができるなど。）
117	旗当番は、朝と帰りに横断歩道に立たないといけませんが、フルで仕事をしている方にとってはその日は休みを取らないといけなくなってしまいます。祖父母にお願いするのも難しいことも多いと思う。シルバーさんをお願いしようと考えてはいるが、そこにお金を出すのはどうなんだろうという気持ちになる。市外では市からシルバーさんなどをお願いして旗当番を行ってもらっている所もたくさんあるので、旗当番の負担を保護者からなくして欲しい。
118	再編・統合は少子化のため、仕方ないと思う。個人的には一学年1クラスで育つため、1クラスでもかまわないが、施設の老朽化には適切なメンテナンスが必要と思う。丁度TVで他県の中学校が雨もりで学校がカビだらけになり、使用できない教室・健康にたいする懸念が取りあげられていた。3年間も予算がないため、少ししか補修できないと。そこまでいかなくても老朽化については色々不安がある。またいじめなどの問題が起こった時に、教職員だけの対応では不十分だと思うので専門のケアチームがあったらいいと思う。教職員の負担を減らすためにも、外部の人間をもっと取り入れることも必要と思うし、全部でなくても専門教科の教員の授業があると刺激になるし、いいことと思う（すでに取り入れている所もあると思いますが…）。また、バス通学になった時、児童・生徒が少なくなっても通いやすいようにバスの本数は減らさないことが大事と思う。
119	地区に一つ小学校は残してほしい。
120	給食費について、給食の内容と値段ですが、給食費が上がっても良いので質と量の確保をしてほしいです。子どもの成長と健康の為なら月に千円以上の上乗せがあっても気にしません。稲沢西小学校ですが、夜になると外灯の少なさが気になります。
121	トイレ・大塚山の老朽化を早急に対応してほしい。また、稲沢西小学校はプール授業をNASスイミングスクールに委託しているとのこと。学校によって差があるのはおかしい。市内では同様に教育環境、内容を提供されるべき。なぜこのような差が生まれるのか保護者に説明はないのでしょうか。

122	不審者が多い世の中なのでパトロールを強化するなど地域で取り組んでもらいたい。いじめは早く対処できるように日頃から配慮をしてほしい。
123	1学年に何学級あるかということよりも、1クラスあたり何人の学級とするのかの方が、より検討していただきたいと感じています。兄弟が昨年まで小学校に通っていましたが、低学年のうちには3クラスだったのが、途中から2クラスになりました。子どもたちの身体も大きくなると、教室の大きさは変わらないのに、40名くらいの児童が机を並べ、すごく窮屈そうでした。授業前後のあいさつ時に立とうにも、十分にイスを引くことができないと子どもから伺ったこともあります。
124	市内の学校施設の老朽化がこんなにも進んでいる事に大変驚きました。少子化が進んでいるとはいえ、財政的な制約がある中でも、未来ある子ども達が整った環境で安心して学校生活を送れるように、優先的に財源を回して頂きたいと切に願います。よろしく願います。
125	検討にあたっては今を重視するのではなく、是非とも将来を見据えた議論を進めてほしい。多様性やICTの議論は、今話題性が高いので深掘したい気持ちは理解出来るものの30年後を予想する事は出来ないで、そこに偏重するのではなく、自由度を残した将来設計で良いと考えます。又、統合は必須と考えており、通学は当面バスでよいのではと思います。
126	クラス替えができる、できないはそれほど問題ではないと思います。小規模でなければ学べないこともあると思うので。近郊の名古屋市や他の市と比べて、稲沢市は子ども・教育・保育園や学校に対してのサービスが悪いと感じています（給食の質が低い、祖父江の保育園の統合、児童クラブの定員超えなど）。財政的な制約とよく言われますが、子どもや子育て世代が住みづらく感じて他の地域に移ってしまったら、もっと財政的に厳しくなるのではないのでしょうか。もっと予算とって力入れてほしいです。
127	トイレが暗く、汚い。未だに和式が半数以上を占めているので早く洋式に統一するべきだと思う（男子トイレは個室にした方がいい）。夏のプールはいくら水に入るからと言っても屋外だと暑すぎる。最近の気温の上昇からみても屋外でのプールは危険だと思う。屋内のプールを借りて水泳の授業をすれば、天候、気温に関係なく安心してプールに入れると思う。
128	この少子化を止めるどころか再編、統合するに至って少子化を悪化させていくのではないのでしょうか？子どもがせまい教室に入れられ、教員が1人で手をこまねく状況では子どもも教員もかわいそうです。少人数でもクラス替えができなくても、のびのびと教育ができる環境が一番ではないのでしょうか？クラス替えがないと、いじめ等があった場合困ると聞きますが、根本的な解決はクラス替えではないですよね。再編、統合があった場合、遠くなったりして通学時に大変な思いをするのは子どもです。子どもを一番に思うのなら、再編、統合はない方がいいと思います。このアンケートは再編、統合を考えて作られた物にしか思えません。レ点を付けてくださいとありますが、どれにも付けられなくてとても困りました。お願いします。子どもと教員の為にしっかりと判断して下さい。
129	学校指定の服やIT用品などについて、かなり高額なものが多いので適正価格にしてほしい。
130	空き教室がたくさんある小学校もたくさんあり、そうした教室を学童に利用してはどうかと考えます。大里西小は学童まで遠く、夏は到着までに汗だくになってしまいます。学童そのものもせまく、学校が利用できれば税金もかからず良いのではと考えます。
131	“同じタブレット端末を小1から中3まで使う”と聞いたことがあるが、PCなどのハードウェアはどんどん新しいバージョンにしないと全然学習に使えないと思います。3年毎くらいに買い替えの予算を確保して欲しいです。稲沢からIT人材がどんどん育つと嬉しいです。これからはITの時代！海外では小学生くらいから将来自分のなりたいたいもののイメージを子どもにある程度もたせて勉強させるそうです。ぜひそういう将来を考える時間を増やしてください。日本人は議論する力がとても弱いです。自分の意見を堂々と話す練習の授業をぜひお願いします。せっかく英語の授業が小学校から始まり、話せるようになってでも自分の意見を言えないようでは、海外勢とは戦えません。いろいろ書きましたが、子どもが楽しくのびのび学習できることが1番です。素敵な教育柱を掲げて、市外から人を確保しましょう。教育熱心な方は、いいなーと思ったら絶対に“わざわざ”稲沢へ来ると思います。よろしくお願いします。
132	学校統合をすることで子どもたちへの教育がおろそかになってはいけないと思うし、特別支援等の子どもたちへの教室や教員の配置などは考慮しないとけないと思う。

133	多様化している世の中なので、みな同じ、ではなく、似ているところ、同じところもあれば、違うところもある。それを理解して認め合うことを大切にする教育であってほしいと思います。教員の方々の待遇改善を望みます。それが教育の質の向上、子ども達のためになると思います。種々ご調整大変かと思いますが、子ども達のためにできる最良の環境となるよう願っています。よろしく願います。
134	小学校区を選ぶために居住地を検討したり引越しをする家庭もあるようですが、どの学校でも子どもたちが安心して楽しく学べるように、施設や人員を配置していただきたいです。今の子どもたちが、どう子ども時代をすごすかが、20～30年後の稲沢市をつくっていくと思います。クラス替えがあるメリットと生徒数が多いデメリット両方あると思います。設備は子どもたちの健康と学びやすさに配慮したつくりであってほしいです。
135	夏の暑い時期、教科書等を学校に置いていっても大丈夫にしてほしい。毎日顔を真っ赤にして暑い中片道30分も重たいランドセルを背負わせて登下校させるのはかわいそう。ランドセルではなく、リュックなど、もう少し軽いものにしてほしい。
136	親の意見を聞いて頂ける機会を設けて下さりありがとうございます。問1の選択肢では、建て替えが必要な考朽化が問題点のため、当り前で選択肢に入れる必要がないと思うものはチェックを入れませんでした。また、グローバル化や様々な立場の人々が社会進出できる世の中であるため、それに対する当然の選択肢も選びませんでした。学校では、ハード面の整備は子供の学ぶ気持ちに影響すると思いますので、こうして真剣に考えて頂きありがたいです。しかしながら、やはり指導して下さる教育者の心身の健康は子供に大きな影響を与えたいと思います。教員だけではなく外部から面白い講演をして下さる方をお招きするなどの機会を増やす、机上で学んだことを子供の興味別に社会で実際に学ぶ体験をするなど「面白い」と子供達が自発的に学べる学校に通わせたいと思っております。
137	タブレットをもう少し軽いものにして欲しいです。(小学生の荷物のおもさについて、1年生ではつらいものがあります。)
138	国分小学校は長女の学年は1クラスになり、人数が多いこと、もしいじめが起きた際に6年間ずっとクラス替えができないことを不安に思っていました。稲沢市の教育が良い方向に進むことを期待しています。国分小学校は私の母校でもあり、国分小学校の雰囲気、のどかなところは残ってってくれたら嬉しいなと思います。
139	財源がないから全ての学校が整備できないとのことだが、教育部門や子育て関係に予算が回せないのであれば、「子育てするなら稲沢で」なんてスローガンは止めるべきだと思う、学校は古い、公園も他市に比べると遊具や規模もかなり劣っている。子どもの数が減るのも当然でしょう。少子化を止めることは難しいのだから、他市との子育て世代の奪い合いに稲沢市はもっと本気を出してほしい。子どもが減ったから学校に使うお金減らします、ではなく子どもを増やすために整った設備を有する学校作ります(=お金使います)という発想になってほしいと思います。
140	現在年中児の長男ですが、発達グレーの自閉症うたがい、言語遅延があります。知的障害がないので普通学級に通うだろうと思っています。ですが、現在の状況を見てみるとおそらく学級内で授業についていけない、クラスになじめないなど出てくるのではないかと感じています。そういった状況がクラス内で出た際の対応やケアをしていただける環境があるととても安心です。
141	小学校が遠くなる場合はバス登校など通学方法を増やしてほしい。親族が近くに住んでいないので、仕事で朝早い帰りが遅い人向けの登降園補助があると助かる。PTA活動、旗当番などの負担をなくしてほしい。学童のお弁当持ちこみをやめて業者に昼食を依頼してほしい。ランドセルの購入補助がほしい。小学生にも自転車ルールを守ってほしいし、危ないので道路で遊ぶのをやめるよう先生からも言ってほしい。小学校の図書館や調理室を地域の人でも使えるとよい。校則をゆるくしてほしい(高校生のメイクOKなど)。子供を安心して歩かせられないので、警察による見回り(一旦停止、横断歩道など)を強化してほしい。
142	より子どもたちの安全と健康がまもられる学校であってほしい。
143	なぜ稲西小の南門が閉められているのか?(南門から入ったら近いのに東門までいって入っている。)
144	学校施設や教育活動とは異なるかもしれませんが、昨今の酷暑より、夏季の通学の安全性を心配しています。長時間の徒歩通学に対し、学校側でも熱中症対策をしていただいております。帰宅時の保冷グッズ貸し出しや経口補水薬の配布など?もし何もしておられないのであれば、早急に対策を考えていただきたく思います。
145	プールの授業を民間施設へ委託を希望しています。(老朽化したプールを使用するより民間の温水プールの方が長い期間使用できるのでは?※6月のプールは寒いです。)スクールバスがあると通学が安心できるのでは?(せまくて見通しが悪い道があったり、不審者も心配)

146	地域の子どもの数の減少や、教員の担い手不足といった、将来（というか既に）表面化している課題に対して、既存の仕組みにとられず、柔軟に、合理的に考えて対応策を考えて頂けたらと思う、スピード感を持って！人手が足りない、ICTなどと言いながら、今だに手書き、手作業でアンケートを行っている状況を恥じるくらいになって欲しい。あまりにも無駄なことをしている。
147	小学6年間、ずっと同じメンバーで学ぶことも有意義だと思うが、多様性の時代、たくさんの方の人間がいる所で学べるのはとても大きな意味を持つと思う。
148	スクールバスの導入など検討いただけると、遠い学校でも統合は可能だと思う。
149	ひとり親家庭でも安心して預けられる環境を整えてほしい。
150	門の開閉時に道路で停車にならないような作りになってほしい。
151	子どもの安心・安全を第一に、協議して下さい。
152	問6には現状のままと記入しましたが、配置は現状のまま一刻も早く建て直ししてほしいです。大地震が来たらあっさり潰れてしまいそうなほど老朽化していると思います。初めて伺ったときあまりにも古くてびっくりしました。子供を通わせるのが不安な小学校では「子育て・教育は稲沢で！」とは言えないと思います。もっと設備を整えてから言うべきです。ICT化もとても中途半端に感じます。
153	以下内容を求めます。 子どもが一方的に教えられることなく、自ら考え、答えを見つけ発展させていけること（ $1+5=6$ ではなく、 $口+口=6$ のような考え方）。子ども同士がためらうことなく自分の意見を発信でき、その多様性を認め合えること。均一化された教育内容でなく、子どもの特性や興味を活かし、得意なものや学びたいものを追求できるよう考えられた教育内容であること。非認知能力を伸ばせる教育内容・教育方針・教育環境であること。グローバルコミュニケーションを充実させること（海外の小学校程度の児童とメールやビデオレター等オンライン交流でも良いから日本以外の文化や言語に親しめるようになること）。尚、耐震化や不審者対策など安心・安全な環境が確保された施設であることは大前提と考えます。
154	ベビーブームから少子化へ。いろいろな弊害が発生していますが、逃げずに対応していきたい。行政も対応をお願いします。
155	学校の登下校、スクールバスが運用されると安心です。地区の集合場所までは自力で行き帰りでも良いと思うので、地区ごとにバスを出せたらなと思います。夏の暑い中下校していくのを見てるととてもかわいそうです。我が子だけ車で迎えに行くこともできますが、毎日となると他のお母さん達も良い気がしないと思うので…。
156	トイレの洋式化、体育館の空調(特に冷房)の整備は早急に進めてほしいです。子どもたちの健康管理や、避難所としての機能を果たすのに必要だと思います
157	「問3」に書かせていただきましたので一読下さい。（※北欧のように保育園（幼稚園）からその子の性格や得意なことなどの情報を小学・中学校でも引き継いで共有できるようになると、より子供に寄り添った教育ができるので良いなと思います。）学校の連絡事項が子ども経由だと不確かなことがあり困っていると聞きますので、保護者とも共有できる仕組みがあるといいなと思います。
158	建て替えを進めるとした場合の児童の教室、学習の場の環境などについては何も書かれてなかったのでそこも知りたい。現状困っていることは早急に直してほしい。千代田小は断水していて1、2年生は困ってます。
159	ニュースなどで先生方の労働環境についても最近聞く機会が増えました。大規模な学校のほうが、先生方のやりくり（配置）もしやすいのではないかと、とも思います。先生方への負担軽減が子どもたちへの教育の質につながるいいと思います。そして、先生方にも、ワークライフ・バランスをとっていただきたいです。小規模校には小規模校のメリット（例えば、人数が少くない分、みんなのことがわかるなど）もあるかもしれませんが、1学年1クラスだとクラス替えができないため、いじめやいじめまではいかなくてもクラスの中で合わない友達やなじめないなどがあつたときに転校を考慮することにもなり、子どもにとっても保護者にとっても負担が大きいのではないかと、とも思います。
160	学校によってきまりはないのかもしれないが、ランドセルは絶対なのか、リュックでもいいのか、ランドセルを決める時期に連絡があるとうれしい（早いと年中で決めるのと、入学前だとギリギリで買えなかったりする）。施設についてはなくすみません。個人的には移動教室がある場合は、だいたい同じ時間で行ける距離、又は同じ階にかたまっているといいなと思います。
161	特に大塚小と高御堂小のように一般的に考えてあり得ない距高感にある施設は即時に何とかすべき。そのうえで、統廃合同時に校舎新設を行っていくべきではないか。あと、こういった情報開示を積極的に行っていくべき。（今も開示しているのかもしれないが、市民が気づかないのであればそれは無意味株。）

162	<p>体育館にもエアコンの設置。夏休みなどの長期休みでも教室の一部を開放し、勉強や交流ができる場所作り。夏休みに期間を決めてでもいいので自分の学校のプールの開放。旗当番は朝のみ。</p>
163	<p>小学校の統合に関しては、我が子が在学中はやめてほしいというのが、ほとんどの保護者の本音であるように感じる（仕方がないというのは重々承知している）。市内の小学校でも、宿題の量や、支援が必要な子供に対する体制に差があると思うので、どうにかならないか？児童の少ない小学校は特に、支援が必要な児童に対する体制が充分ではないのか、担任の先王や周りの児童が世話を追われてしまうことが。色々な子がいて皆で協力する事は大切だが、地域の学力レベルアップの為に先生の負担減の為に、普通クラス、特別支援クラスの他に何かあったらと感じている。</p>
164	<p>学校という施設にとらわれず、図書館であったり、本人が行きやすい場所で学べる体制があればいいと思います。オンラインでの授業が進んでほしいです。</p>
165	<p>いつも子どもたちのために御尽力いただきありがとうございます。大変だと思いますが、よりよい教育環境づくりをよろしくお願いします。</p>
166	<p>児童数の減少にとまらぬ、学校数も減少することは避けられないと思います。それにより、1学区の範囲が広がってしまい、徒歩での通学が安全面・体力面で困難な生徒も考えられます。また、夏期の気温上昇も年々進んでおり、徒歩での登下校に不安を感じる日がとても多くあります。そのため登下校用のスクールバス導入を検討すべきだと思います。</p>
167	<p>稲東から治中や稲中に行く子がいるのはどうしてでしょうか。同じ中学校に行けたらいいのと思いました。治中は素行が悪いとうわさが広まっている学校もあります。対応されているかもしれませんが不安です。子供の人数が減る事は少子化もあり致し方ない部分はありますが、勉強、教育にその分力を入れていただくと親としても協力したいし頑張りたいと思います。夫婦共に結婚後稲沢に転居し、仕事も稲沢でしています。名古屋にも近く利便性も高いし、それに教育も力をいれているとなるともっとたくさんの人が住んでくれると思います。</p>
168	<p>教職員の数が多くの学校で足りていないこと。老朽化した学校施設の延命と思えるような工事に莫大な予算が使われていて無駄なこと。以上のことから、早急に学校の統廃合を望みます。</p>
169	<p>建て替えるとしたら、従来の1学級ごとに教室の仕切りとドアがある学校でなく、それぞれの教室が見渡せるような、オープンな空間がいいと思います。「学校！」って感じより、デザインも重視すると子どもの感性が磨かれるのかなとったりします。また、人不足で大変なことも承知の上で、先生方の負担を減らす、かつ子ども達も分からないところを聞きやすいなどのメリットがあると思うので1クラス少人数にするか、補助の先生などいるといいなと思います。いつもありがとうございます！</p>
170	<p>老朽化の放置により、大切な子どもの命が危険に晒される事に関してとても心配に感じます。未来ある子どもたちが安全に過ごせるように、早急にこの問題に取り組んで子どもたちの安全を守って欲しいです。正直、このアンケートを受け取り、こんなに多くの学校の老朽化が放置されていたことに驚きました。衛生上の観点からも子どもたちが安心して利用できる学校であって欲しいと思います。</p>
171	<p>小学校周辺に保護者の送迎（特に迎え）の車がたくさん停まっており、道路が渋滞している。低学年は高学年と共に降下校するので、高学年の授業が終わるまで校内で過ごすと言いました。保護者の駐車場を整備して欲しい。豊橋の小学校のように英語教育に力を入れて欲しい。</p>
172	<p>まず何より大切なのは、子どもが安全に通学（登校）できること、勉強できること、だと考えます。最寄の小学校は外観からして非常に古く、耐震は大丈夫なのかなと心配していました。カリキュウムや人間関係など、他に気になることもたくさんありますが、子どもの「安全」を一番に考え、今後の検討をしていただきたいです。</p>
173	<p>子供の小学校入学に合わせるため、市街地から郊外に引越したが、児童の人数の差が大きすぎる。人数が少なくなり、昔の鼓笛（小学校）もなく、部活動（小学、中学）も種別が少なく、限られるため、子供の選択肢が狭まり残念に思う。かたや、市街地では人数が多すぎて、先生が大変だからと行事（遠足など）が減ったりとしており、同じ市内で、格差ができるのは子供の学ぶ機会を減らすことにつながり、良くないと思う。市街地ばかりに目を向けず、郊外にも目を向け、環境を整えることで子供の数の均一化につながり、学びの場を減らすことが少しでもなくなる様にしてほしい。</p>

174	2025年より北小学校に通う子供を持っていますが、自身も北小出身で、その時に比べると校内の中庭や裏庭、生き物を飼う飼育小屋などの整備が非常に疎かになっているように感じます、自身の記憶では、休み時間に走り回ったり、生き物に触れたりすることができる貴重な場所だったと思っているため、北小のみならず、校内をきれいに保つ事、それによって子供たちが育む感性をもって大事にしていけるような整備により注力していただきたい。
175	子どもたちが安全に楽しく学べる場をこれからも提供して頂けると幸いです。
176	子どもの命を守るためにも、安全確保を第一に考えて欲しい
177	過疎地域で公共施設を維持することは限界であるのが当然です。跡地を民間へ譲渡し、広大な再開発または農地（法人化）転用検討も進めるべきだ。稲沢全地区が液状化危険地区に指定されている以上、大規模な、堅牢かつ高額なハコモノは望まない。稲沢北小学校の体育館は雨天時、渡り廊下が浸水し体育館が使えない。北館⇄南館へも渡れない。以上から、小・中学校の統合は進めていくべきだ。
178	老朽化が進む学校の多さに驚きました。なぜこの15年で2校しか改修が進んでないのですか?! 今後は速やかに計画を進めて子ども達が安心安全に学びができる環境整備をお願いしたいです。公園も少ないと思うのでその整備も進めてほしいです。
179	P T Aをなくしてほしい。P T Aをライオンズクラブなどボランティアに依頼して。
180	小学校に入った途端、人間関係はより複雑化し、集団での自分の立ち位置を気にするようになりますよね。子どもたちの中の基準となる考えができあがった時、それに合わないものは、少しずつ距離ができていくものだと思います。クラス替えがなく、同じ人間関係を続けていかなければならないことに追い込まれてしまう子どももいるでしょう。少しでもそういう雰囲気にならないように、大人が環境を作っていくことが大切なんだろうなと私は考えます。少し失敗をしても、もう一度やり直しができる環境を子どもたちには用意してあげるべきだと思いました。少しずつ子どもたちが安心できる場所が増えていけるような学校が私の理想です。
181	働く人が多いので、夏休みなどの長期休暇の際、小学校を開放するなどしてほしい。児童クラブにつめつめに人を入れるのは子供がかわいそう。又、給食センターも併設しているので、夏休み中、有料でいいので作ってほしい。
182	P. 1の一番下記載内容が思いです。（教育委員会補記：安全が確保された状態がベースにあり、その上でその他の対策がなされるものと考えます。）
183	〔問5〕に関しては数より生徒数上限を優先して頂きたい。（1クラスにおける担任の受けもつ児童数の一定化）
184	学ぶことが主となる場である場所ですが、子供が長時間過ごす所となるので、楽しみながら過ごせる場所であってほしいです。
185	日本において全体に言えることですが、日本の治安も海外ほどではないが悪くなって来ているので、送迎バスや送り迎えのしやすい駐車場があると良いと最近思っています。送迎バスがあれば学校が統合などで遠くなくても安心ですし、近年問題になっているランドセルが重すぎる問題も重要度はかなり低くなります。送迎バスが受け入れられない背景には、バスそのものの経費や人件費・雇用問題以外にも古い考えへの固執があるでしょうが、子供が減っていく今変わるべきは概念の方だと思います。これからA Iの進歩は一足飛びで起こると予想できるのに、教育はなかなか変わっていきたくないと思います。新時代を生きる子供達には新しい教育が必要です。教育する側は新時代を予測しながら指導するという大変で重要な仕事です。子供達の未来を想うことのできる施設、教育をどうかよろしくお願い致します。
186	仕事の面でも、親の負担が大きいP T Aは参加方法を見直したり、アプリやインターネットを活用して仕事量を減らすなど、検討していただきたいです。小学校に上がっても、ひきつづきよろしくお願ひいたします。
187	通学の際の安全の確保。夏は歩くのも一苦労なので、学校までの道のりが体力面で心配です。
188	気温が高い時期に45分以上も歩いて通学するのはあぶないと思います。スクールバスを検討していただきたいです。
189	災害が起こってからでは遅いので、統合や建て替えはスピード感を持ってやって欲しい。一部の学校（西小・東小・下津など）に児童がかたよっていて、西小も建て替えて7年というのに、多目的スペースを教室にせざるを得なかったため、先の児童数の変化を見極めて、建て替えや再編をしてもらいたい。
190	小・中一体化してもいいと思う。統合して小学生で遠い子はバス導入!!
191	親としては、小さな娘をあまり遠い学校へ通わせるのは心配である。
192	P T Aは今の時代に合わない、負担が多すぎる→外注できることはする。通学バスを導入してほしい→熱中症、事故、誘拐など心配。

193	通学路で危ない場所がなかなか改善しない。一応通学時間の車の通行禁止とあるが平気で車が通るし、旗当番をしていても車が強気でどんどんスピード出したり寄せたりしないで通っているので、毎日気が気でない。しかし、どこに声をあげたらいいのかわからないでいる。どうしたらいいのでしょうか。
194	担任の目が生徒1人1人にしっかり向く様に1クラス20名~25名程が望ましい。月に1、2回など、学年全体でシャッフルをして、例えば1組は〇〇を学ぶ、2組は□□を学ぶ、3組は△△を学ぶと課題の教室を設け、子供がそれぞれ興味がある部屋へ行き、いろいろな友達と共有する事や、自主性を大切にできる機会があってもいいなと思います。
195	楽しく安全に通える学校であって欲しいと考えています。ランドセルの統一をお考えの場合には早めに周知して欲しいと思います。
196	米国のようにスクールバスを導入する(集合場所は市民センターetc.)。愛知県でも、地元ではすでに再編・統合(大規模)はされていて、スクールバスが導入されている(スクールバスに先生が乗車することはない)。又、スクールカウンセラーによる新しい環境での子供達の人間関係づくりのケアはあたりまえである(県内小中学校では既にされている)。先生が、教育以外で生活指導まで行うというのは限界もあり(教師の負担が子供達の教育の低下を招く)、日本独特(今は体罰と保護者から言われるケースもあり先生達のメンタルがもたない)。民間のセキュリティ会社の警備員が授業中や放課後の規律を正す。
197	生徒1人ずつにノートパソコンが配付されて、タイピングしたり、スクラッチで遊んだり、よりパソコンが身短なツールとして活用されていることにとっても嬉しく思います。通学時間が長く、体も小さい低学年には、もう少し軽いタブレットを支給して頂けたら嬉しいです。テトルを導入し、他家族との共有可能となったり、ペーパーレス化で先生方にも環境にも優しいものだと感じています。再編や統合により通学時間がさらに長くなるようであれば、スクールバスなどで通学負担を軽減頂くような処置があればいいと思う。
198	児童館とは別に学校の中に家に帰っても親がいない子などが立ち寄れる場所や、通学班はなしにして地域で子供達を守れるようどこの子供かわかるように、年寄ボランティアみまもり隊をつくってもらってPTAなどの旗当番をなしにして、朝と夕方通学路をまもってもらえたらと思います。
199	真夏の通学が心配です。昨今の気温の上昇により、夏は熱中症の危険度が年々あがっていると感じます。登園時も下校時も高い気温の中、重いランドセルを背負い長距離歩くのはリスクが高いと思います。通学に30分以上かかる距離の児童にはバスなどの送迎があると安心です。
200	学校が遠い場合、スクールバスを整備してはどうか?老朽化、少子化問題から小中一貫校をつくる、学校プールはスイミングスクール授業(水泳を外部委託、民間委託する)とこころもつくる(人数の少ない学校)。
201	児童数は減少するが、共働き世帯の割合は増えると思うので、引き続き学童保育などの環境支援、学校敷地内に併設するなど、拡充してほしい。また、学校の小規模化については、通学(距離・時間)できる範囲内であれば、学校設立時と比べて児童数が減少し、過疎化するのとは明らかなので、統合してもよいと思う。距離や時間の問題が解決できるものではないのなら、スクールバスの設置をコスト面含めて検討すべきだと思う。(追記)夏休み、冬休みなどの長期休暇中のみ利用する場合に、定員があふれると市内の学区外の学童に預かってもらったという話を聞いたので、できればどこの学区でも、自分の学区の児童センターで預かってほしい。
202	現時点でも学校まで子供の足だと遠い。統合等すすめるなら子供の移動手段(バス等)整備してほしい。
203	地震や防犯など安全面に力を入れてほしいと思います。朝元気に送り出し、元気に帰ってきてくれるのが一番と考えています(授業中の熱中症で死亡等も心配です)。数年後に小学校に入学をしますが、小1プロブレムが心配です。入学前に年長さんを対象とした見学会等があると親子で不安が少し減らせるのではないかと思います。もし、行われていたら情報不足で申し訳ありません。日頃の教育活動で大変だと思いますが一つの意見として知っていただけると幸いです。よろしくお願いたします。
204	1クラスの子どもの人数をもっと減らすべき。学習面でも、人間関係の面でも、先生の目ももっといき届くようにしてほしい。子どもの登下校時の熱中症が心配。希望者だけでもバスの利用できるようにしてほしい。校舎の建て替えの前に、体育館だけでも新しくできないのか。体育の授業も心配だが、避難所になったときに、エアコンのない体育館で大丈夫か。財政的に厳しくても、もっと子ども第一で、未来ある子どもたちお金を使うべき。他の市の教育より、環境面でもずいぶん遅れていると思う。“子育ては稲沢市で”と言うのであれば、もっと教育に子どもたちのためにお金をかけ、保護者や地域の声を大切にしてほしい。

205	<p>子どもの通学が（距離的に）本当に大変です。小正小では持ち運ぶことは少ないですが、重たいタブレットを毎日持ち歩く学校があると聞きました。たくさんの距離を歩く上、教科書＋タブレットと荷物が増えていく事が親としてとても不安です。自宅で使う場合は、家にある端末で出来るようにして頂けるとありがたいです。小正小学校は新しくはありませんが、広々としていて子どもも施設には不満は無さそうです。老朽化し、小学校の再編統合がある場合は、とにかく子供たちの心身負担のケアを第一に行って頂きたいと思えます。</p>
206	<p>近年、共働きが増え、主に帰りの旗当番を行うことが困難なご家庭が増えています。稲沢市全体で帰りの旗当番をボランティアさんに変えて頂くことは出来ないのでしょうか？放課後預かりが、児童館だけではなく名古屋市のトワイライトスクールの様なものがあると良いなと思えます。</p>
207	<p>時代の流れに合った教育を行ってほしい。タブレット学習等以外にも、資産運用や今後生きていくために役立つ知識等。</p>
208	<p>兄が小学校に通学していますが、年々夏の気温が高くなっており通学中の熱中症がとても心配です。実際、同じ通学団の児童が帰宅後熱中症になってしまっています。懇談会の4時間授業が7月中旬の一番暑い時期、帰宅時間が13:30頃と一番暑い時間に帰宅で、真っ赤な顔でぐったりで帰ってきます。とてもとても心配です。小学校をもし統合する場合は、小学校の位置をすべての児童の中間に置いて通学時間を短く出来るようにしてほしいです。夏の通学1時間は絶対にありえません。よろしくお願い致します。</p>
209	<p>中学校区でまちづくり推進協議会があるため、中学校の統廃合は現実的ではないと思えます。その反面、市内の小学校では、単学級の学校も少なくないため、そういった小学校では、今後の維持管理費や建て替え費用の圧縮のために統廃合はやむをえないと思えます。小規模校の良さもあるかとは思いますが、そこで働く先生方の校務分掌の多さ、通学する子どもたちの人間関係の固定化など、問題点なども丁寧に地域住民に説明すれば、理解は得られるのではないのでしょうか。統合後は、瀬戸市のにじの丘学園のような小中一貫校で地域住民や子どもたちにとって魅力ある学校にし、「統合して良かった」と思ってもらえるようにすること、通学時間が長くなってしまう場合は、スクールバス等も検討すること、廃校は地域の防災拠点などとし、活用していくことも考えていただきたいです。</p>
210	<p>大里東小に通っている娘が、トイレが不衛生で行きたくないの、1日中トイレに行かないよう、水分も控えていると言っていて、トイレだけでも、在学中にきれいにして頂きたい切に願っております。小学校の担任の先生方は、普通の授業で体育の授業もみているようですが、不得意な方もいらっしやったり、他の授業の準備もある中でとても負担になっていると思うので、体育は、専門の方にみて頂いた方が親としても安心かと思えます。部活動が一切ない（スポ少ではあるようですが、）とのことですが、運動力部以外の音楽活動部がないのもさみしく思っています。部活動コーチの外部委託もあるといいなと思えます。</p>
211	<p>全ての部屋にクーラーの設置をお願いしたい（特別教室にはついていないと聞いたため）。子どもの命を最優先にしてほしいです。</p>
212	<p>自分が学生だった頃とは遥かに環境が違う為、現代に合ったものを取り入れるべきだと思う。子供が今、幼稚園なので、小学校の設備の事は全く知らないのでは通わないと分からない事（空調があるのかなのか、日傘はOKなのか…etc.）を1年生になる前に知っておきたい部分がある。通える範囲にいくつか学校があるので、高校を選ぶみたいに内部を公開して選択できたらいいのと思う。新しい建物の方がいい部分が多いと思うので、老朽化しているなら統合化を進めてまとめてしまえば全然いいと思う。</p>
213	<p>（1学年の）学級数を増やして1クラス当たりの人数を少なくして、先生が生徒1人1人に目が行き届く様にしてほしい。</p>
214	<p>統合をすすめることで生徒数が増える為、いじめや人間関係での絶対数も増加すると想像され、現状は余り積極的ではない。しかし建物の構造問題などによる致し方ない理由での統合化の際にスクールバスの配置や、学校自体が保有する駐車スペース（行事の際にかけつける保護者の足がない為）を確保する事など実施願いたいものへの意見を無視した計画をされるのは避けてほしいと思う。生徒達の心身や学びの場所としての第一の有り方に付随して発生する周辺の問題もとりにこぼさずに納得いく計画案を、まず図って頂きたい。</p>
215	<p>何年かかるのかが心配です。スピード感をもって、予算を割り当てながら進めてほしいです。</p>

216	<p>小学校を再編・統合をするにあたり、地域住民とその学校へ子供を通わせる保護者との考えの違いというものを明確に挙げ、地域住民に理解してもらい取り組みが必要だと思う（保護者は統合に賛成でも、地域の昔ながらの住人は反対ということが多くあるため）。途中で新学校へ通う子供たちは、最初は慣れないかもしれないが、みんなで新しい学校の規則をつくるということも大切だと思う。どちらかがどちらかに合わせるのではなく、学校のことを地域や小学校に通う子供たちと一緒に考え、再編するといったスタンスの方がよい。クラス数が増えると体育館や特別教室の利用に制限が出て十分な活動ができないということも考えられるため、フリースペース（広場）のようなものが屋内にあると、雨の日など屋内施設の利用ができて便利だと思う。</p>
217	<p>校区内の保育園に通えない未就学児がいる中で、小学校は校区で区切る必要はないと思います。少人数に特化した学校、複数学級の学校と、公立でもそれぞれの強みが各学校にあってもいいだろうし、保護者には学校を選択することができたらいいなと思います。</p>
218	<p>少しでもにぎやかで様々な子とふれあいが出来る学校生活を望むので、学校の統合は進めるべきだと思います。しかし、通学時間に差が出てくるとは思うので、出来ればスクールバスの整備も同時に行って頂きたいです。校区も自宅からの道のりで一番近い学校に皆が行くことが出来るのが理想だと思います。</p>
219	<p>スクールバスの導入。学童保育における夏休みなどの長期休業期間の昼食提供。</p>
220	<p>名古屋市のような学校教育（トワイライト）。将来的に子供たちは名古屋や他都市の大学や、高等学校に通うので、それになれるように教育するのが良いと思います。</p>
221	<p>公共施設との複合化はとても良い案だと思います。小規模でも良いのでそのような施設をつくって欲しい。</p>
222	<p>荷物が重たすぎて身体への悪影響が心配。現在タブレットが1人1台配布されているが、充電が自宅ではできないということで度々持ち帰ってくる。通常の教科書に加えてタブレットもあるので、これまで以上にランドセルが重たい。各教室もしくはパソコン室等で充電して持ち帰り不要にしてほしい。また、タブレットが有効活用できていないように思う。授業中の使用方法までは把握していないが、朝タブレットを見て連絡帳に写して両方持ち帰ってきているのはムダに思える。重たいタブレットを持ち帰っても、欠席した時にオンラインで授業を受けることができなくて、本当に、何のためにタブレットがあるのだろうと残念な気持ちになった。形式的に取り入れるのではなく、利用目的を明確にして、子供にとって負担なく、有意義に活用できるように整備してほしい。</p>
223	<p>地球環境が惑星の高温期に入った事から、今後は夏場の高温化が一層酷くなる事が予想されるので、それに対応する施設、教育現場づくりをして欲しいです。学び舎としての機能があれば学校の体を成すので多くは望みませんが、学童一体などで親の負担が減る事は家庭教育の時間の確保にもつながるので賛成です。</p>
224	<p>受験や就職にも大切な英語の授業を強化して欲しいです。自分と他人の身を守る為にも他国のように小学校低学年から性教育をスタートさせて欲しいです。</p>
225	<p>新しい施設を小学校の機能だけではなく、地域のコミュニティの場になる様な複合化を図ってほしいです。立地の関係で遠方になる可能性がある場合は、優先的に、引越しの補助や、住居の確保ができる様な仕組みもセットだと助かります。</p>
226	<p>子どもたちだけで通学するので遠くなると心配。夏、登校中に吐いてしまい（熱中症？）、高学年の子にお世話になりましたが、子どもが子どもの面どうを見るのも何かあった時に申し訳ないです…。</p>
227	<p>学校施設の老朽化の資料を見て、古いことにとてもおどろきました。子どもを預ける親としては古すぎると安全面で心配です。</p>
228	<p>片道徒歩50分で登校しているので、できれば30分程度が良い。真夏の熱中症が心配なのでスクールバスなどの選択があると助かります</p>
229	<p>最近の異常気象を考え、運動会の時期を変更するべき。9月後半の涼しくなってきた頃から練習を始め、運動会は10月、11月にするべき。我が子も今年、運動会の練習で熱中症になり早退しましたが、39.7度も熱がありました。子供にとって危険なので、時期を変更しないと、保護者としても心配です。</p>
230	<p>子供達を熱心に指導してくださる先生方の労働条件や環境をしっかりと整備、改善し、質の高い教育、保育を提供していただきたいです。</p>
231	<p>私は大塚小出身です。何度か統合の話聞いた事がありますが、地域や卒業生の反対を受けて存続していると聞きました（ウワサ程度ですが）。個人的には近くに高御堂小もありますし、中学校も3つに分かれてしまうし、存続の必要性をあまり感じていません。反対意見が目立つとは思いますが何よりも今学校に通っている子ども達の事を優先し判断していただきたいと思っています。個人的な体感ですが、4クラス程度の学校より2クラス程度の学校の方がいじめが継続的に発生する印象です。多くの子どもや教員と触れる事ができる環境の方が個人的には良いと思っています。</p>

232	女子児童のトイレの数が少ない。教室内のせんぷう機が突然落ちてきて危険だった（2クラスであった）。関係者以外でも簡単に校内に入ることができるので不安。
233	小中一貫校があってもいいと思う。
234	このアンケートでは学級数にのみ焦点を当てた質問になっていますが、1学年あたりのクラス数だけでなく、1クラスあたりの人数も重要であると考えます。（例えば、本来4クラス編成になる予定が、1人児童が減ったことで3クラスになり、1クラスあたりの人数が40人近くになるのは先生への負担や児童に目が届きにくくなるのでは、と思います。）
235	9月に運動会の練習を行うことは、最近のきびしい残暑が心配です。運動会の時期を10月下旬や11月にできないでしょうか。また、7月や9月の体育の授業も、熱中症が心配です。7月と9月は体育を他の科目にして、すずしくなったらその分を体育に戻してもらえないでしょうか。ご検討の程、よろしく願いいたします。
236	校舎はまだ新しいと思うので、それは安心です。心の悩みがあるなら先生にも話せる雰囲気は必要。
237	子供にも、保護者にもよりよい環境になって頂けると嬉しいです。あと、学童保育の施策が行きあたりばったりな感じがあるので保育・学校で連携してほしいです。長野児童館は徒歩圏なのに稲沢東第2児童クラブに割り当てられ、不満です。
238	施設は、建物の安全以外特にのぞむ事はない。ランドセルの廃止を希望。毎日重すぎ。先生たちはとても子どもの事をよく見ていてくれていて感謝しています。PTAはたとえ行事が全てなくなったとしても、本当に時代おくれというか、今の共働きの時に、ありえないので、外部に委託（もちろん金はらいます）などの方法を考えてほしいです。
239	人数の少ない小学校は通学距離を考えつつ統合するべきだと思う。その分先生の数もいるので、人手不足の解消になると思う。まとまりのないクラスには補助の先生を導入するべきだと思う。授業を妨害する子は違う教室で勉強するようにしてもらいたい。他のクラスよりかなり遅れていて迷惑をしています。タブレットも古く感じるので、買い換えを検討して頂きたいです。その際は軽量タイプが希望です。ランドセルがかなり重くなり、子供への負担がある為。
240	ICT化を充実させたいのなら最新のPCを子どもたちに持たせ、数年単位で更新する必要がある。初期段階で、スペックの低いPCを持たせた教育では、全く意味がない。性能の低いPCを持たせるぐらいなら、家庭のPCを使って、オンライン授業を増やしたり、余計なソフトウェアの入っていないシステムが軽いPCを使ってほしい。今のPCは全く使えません。iPadの方がマシです。
241	下校時、児童館へ移動する子供達が多い為なのか、列の間が開いていたり、交差点の横断（小さな路地）が危ないなと感じる事がある。利用する児童は低学年が多く、人数の少ない高学年児童だけで下校を見守る事は負担が大きいと思うので、もう少し先生や、児童館（クラブ）の先生達が連携して見守って頂けるとありがたいなと思います。先生達も一度自分の目で見てほしいです。
242	現在の学校は、低学年と高学年によって利用できる図書室が別なのだと聞きました。だれでも利用できる大きな1つの図書室の方が良いのではないかと。小学校によって（担任の先生かもしれませんが）宿題の量が違うようです。勉強の好き嫌いなどあると思いますが、自主学習が出来ない子もいるので、学力の差ができてしまうのではないかと。給食の時間、まだ1人1人の席で静かに食事をしているようです。以前のように友達と楽しく給食時間と過ごしても良いのではないかと。
243	将来、社会に出て自分の力で生きていけるタフな心身を育てることが子育ての目標と考えています。現状の教育現場はとても親切で、配慮が行き届いていますがナイーブな子にきめ細かな対応をすることはさらにナイーブな子を育てることになりかねないと思います。広い環境で多くの人にもまれ、イヤなことがあっても乗り越えられる、消化できる、明るく希望に満ちた将来を描くことができる子を育てたいと思います。少人数の学校は統合するなどしてなるべく多くの生徒数にした方が良くと思います。
244	旗当番など登下校でのボランティアの方々を増やしてほしい。
245	担任をローテーションする制度を取り入れてほしい。例えば3クラスを5人の先生で担当することによって先生の長時間勤務を解消でき、先生にもゆとりができるため、子どもたちの事をしっかり見てくれるようになると思いました。また、先生と合う合わないがあった場合も解消できるし、親としても相談できる先生が増えることは、とても心強いです。
246	必ずしも、新しいものが良いものでもないと思います。限りのある財政、資源を、子供たちに残していくのも大人の役割りだと思っております。いろいろな考え方、意見があると思いますが、子供達の笑顔のためによりしくお願いいたします。
247	校舎が新しいと安心。

248	子供が松葉杖を使用することがあり、エレベーターやバリアフリーが必要だと思いました。教室ももう少し広さがあれば良いと思いました。（狭いため、松葉杖が使いづらかった。）
249	現在小学2年生の娘は片道25分かかり登下校しています。この夏も猛暑が続き、毎日季節問わず水筒を持たせていますが、持参するにも限度があります。2Lの水筒は低学年の子には重たく、別の水筒やペットボトル等で2本持たせても飲みきり、下校中水分を摂ることができず帰宅することが続きました。学校にウォーターサーバー等、設置して欲しいです。
250	教師の業務負荷にばかり配慮しており、子供たちへの配慮が欠如している。学校を休む際の連絡がデジタル化されたのはよいとしても、休んだ子供への連絡がなにもないのはいかかなものか。クラス替え後に、なじめない子供に対しても2週間経過後は、他クラスの友人と会話してはいけないといった学校の運用ルールも理解できません。学校とは何か？を見失っていると感じます。
251	校舎が新しい方なので安心。
252	日本の人口減少は決まっていること。その状況で先生の負担を軽減すべく地域で支えることができると思うのではと思います。
253	学校施設、教育活動については、学校生活をしている先生方や、子どもたちにもこのようなアンケートを行い、意見を聞いてもらいたいと思います。
254	大人の足で15分以内程度で通える学校が望ましいと考えています。タブレットの持ち帰りで、ランドセルはまた重たくなっています。熱中症は年々危険になっているので、小さな身体の子どもたちがランドセルや荷物を持って長い距離を歩くのは心配です。稲沢市内で通学時間が一番長いところはどこかわかりませんが、教育委員会の方々に一度、児童と同じ重さの荷物を背負って一緒に歩いてみてくださいと良いと思いました。時々子どもたちに付き添って歩くだけでも、荷物がなくても遠い通学は大変だと痛感します。
255	老朽化した施設の建て替えは必要だと思う。また、それに伴う再編・統合はやむをえないと思いますが、子供の毎日の通学の様子をみると、ものすごく重いランドセルを背負い両手に荷物は、近年の気候状況の下では、あまりにも酷です。再編・統合とならば、スクールバスの連行、荷物を保管できる場所の確保と中学生なら、自転車通学の許可など、あらゆる場面での配慮をお願いしたいです。
256	現在、小学校と学童が別々にあり、雨の日など子どもは学校→学童、学童→自宅と移動が多く、荷物が多い日などは特に大変そうです。親のお迎えも個人的には学童よりも小学校へのほうが迎えに行きやすく、小学校と学童が一体化するとありがたいと思います。
257	先日、テレビで化学物質過敏症で学校に通うことができない小学生の子が取り上げられていました。その子は学校側が換気や教室の外の部分に授業を受けられるスペースを確保したり、工夫をしてまた通えるようになったそうです。これからの世の中、今までとは違ったイレギュラーなケースなども出てくるかと思えます。そうした時に学校が対応できるような余裕のある施設作りを心がけて頂けたら嬉しいと思いました。身体的、精神的な理由で学校に通う事ができない子が、少しでも心が軽くなるような場所であってくれたらと願います。
258	旗当番が、保護者の方々にとって負担になっているようです。働いていらっしゃる保護者の方々が多い中、登下校の旗当番での見守りは、大変だとおっしゃっている声をよくききます
259	人数の多い学校では、休み時間のトイレまちがあります。トイレが少ないので時間内にトイレに行けずにごまんしていたりします。子供達がトイレにこまらないように数を増やしてほしい。校舎と校舎をつなぐ1階ではない廊下について。渡り廊下は雨が入ってくるので窓をつけて校舎にしてほしい。
260	稲沢東小学校は他の学校に比べて学校施設がキレイだと思います。現状が維持できるような子どもたちや周りの大人たちで掃除や環境整備ができれば良いと思います。生徒数が多いので仕方がないとは思いますが、1人1台のタブレットがとても重いので一部の教科書が学校に置いておいてもあまり意味がないというか、以前より重くて子どもたちがかわいそうだと思います。

261	『ランドセル他選択の啓蒙して』 重いランドセルは子供の発育に良くないし、良い事など1つもない。私は子どもが未就学時に稲沢市役所に「ランドセルは市からの指定か？」と問い合わせたところ、違うと返答を受けました。次に学校に問い合わせたところ「指定はしてないがみなさんランドセルですよ。」と返答を受け、1人だけ違うといじめなどに遭うのが嫌で仕方なくランドセルを購入しました。誰も指定していないのにみなさんランドセルじゃないといけないと親が勝手に思い込んでいます。今はランドセルの代用品で軽い物が売られています。禁止までいかなくとも、ランドセルじゃなくても良い事を啓蒙するべきです。又、いくつか、ランドセルの代用品として適切と思われる物を保護者にご案内するのいいと思います。教科書や水筒に加えてタブレットも重いです。再編・統合などで通学時間が伸びる可能性が将来的にある事も考慮し、すぐに動いて頂きたい案件です。ちなみに私自身はランドセルは学校より買わないと言われ、ランドセルではありませんでした（北海道）。兄も兵庫でランドセルではありませんでした。
262	築年数が古い学校は、耐震強化と建て替えは必要だと考えます。学校を地域の避難所と考えている方々は少なからずいると思います。いずれ生徒数の減少により2校→1校に統合せざるをえない状況になると思います。その場合、学区が拡大するので、スクールバス導入するなど遠方な子も安心できる通学路の確保は必要だと思います。民間バス（名鉄バス等）が近く通っているなら、その利用できるのもいいです。また、統合により新校舎を建てるなら、公共交通機関からアクセスしやすい立地の確保を検討していくのいいと思います。（私立小の子は、自分で通えているので）公立小の子も交通機関があれば通えることは可能かと思えます。
263	アンケート調査の実施ありがとうございます。様々な意見、お考えがあり、方向性をご決断される側は大変かと思えます。普段の子どもたちを様子を見てみると、子どもたちは柔軟性が高く、困難なことにも対応していこうとする前向きな姿が見受けられます。全てがそうだとは言えませんが、変化に順応するのに時間がかかるのは私たち大人側のようです。社会に取り残されないよう努めたいものです。
264	プールは民間委託したほうが良いと思う。
265	学習および生活環境は子どもにとって重要であると考えます。毎日長時間を過ごす学校施設の老朽化は問題であり安全面の確保からも、早急に建て替えを進めていただきたいです
266	タブレット学習について、持ち帰りの必要を感じられない日も持ち帰り、通学の負担になっている。また、学校、クラスによって持ち帰りを必要とするクラス、そうでないクラスがバラバラである。タブレットの活用について、学校・教員も協議を重ね、理解を深め、合理的な活用ができるようにしてほしい。
267	道路整備が大事。
268	猛暑の中、重いランドセルを背負い、30分歩いて登下校することは、かなりしんどそうです。クラスにはもっと遠い子もいるそうで「まだマシ」とがんばっていますが…。今後、統合等で通学距離が遠くなる場合はスクールバス等を検討していただけたらと思います。
269	稲東小は築14年とのことですが、教室の一面にあるTVに教材を写していました。教室の後ろからは見にくく、TVがある意図がわかりませんでした。教室の環境、設備は十分熟慮していただきたいです。下津校区から稲東校区へ異動がありました。異動の2年程前から保護者や住民への説明会がありましたが、協議や質疑応答が十分だったとは思いませんでした。人事異動で今までの経緯を知らない方が説明会にみえたり、ながら作業のように感じました。親身に真摯に対応していただきたかったです。私の小学校は1学年30人未満の全学年1クラス編成でした。子どもの足で40から45分程歩いて登校してた子も少なかつたです。小学校は6年あるので2クラス以上あったほうが、多様性にふれられると思います。通学の安全確保も同等に大事なことだと思うので十分考慮していただきたいです。稲沢市民としてこれからも十分な調査、協議、考慮、情報の開示を望みます。期待しています。
270	スペックの低いPCを子どもに使わせないで下さい。iPadの方が動作が早く使いやすいです。動作も軽いので変更してほしいです。
271	いじめや不登校で授業を受けられないときにリモート授業などで対応してもらえるようになると安心できる親子が増えるのではないかと思います。

272	稲沢東小学校に通っています。通学路の個人宅にスズメバチの巣があり（一週間前から、その家の目の前を通らず）、歩道ではなく、車道を通して通学している様です。昨日確認しに行きましたら、前を通っただけで、5～6匹のハチが出てきました。市役所や学校、その区長は知っているという話でしたが、特に何もできないとのこと。何かあってからでは遅いと思いますので、対策（通学路を変更する）もしくは、駆除するなどお願いします。教頭先生はこの件、ご存知です。
273	学校内の先生や児童の数でできる事できない事色々あると思いますが、少なすぎるのはさびしいしきっとお金もかかるのではと思います。スクールバス等が一般的になればいいなと思います。
274	1クラスの学校に通わせたくないと思ってるので、家をたてるのも学校とか気にしてしまう。統合してほしいと思う。スクールバスとかいいと思います。
275	体育館の夜間・休日の外部利用について、団体だけではなく、ルールと制限のもとに個人でも利用できるようなになると良い。
276	その地域に住む子どもが、あたり前に地域の学校に行けること。それが可能となる職員配置と専門性の高い職員の採用。
277	徒歩での登校ではなく、遠い（30分以上）場所からの場合は地域バスなどの利用でスクールバスとして利用しては？
278	現在、4年生（3クラス）と2年生（4クラス）の子どもが西小学校に通学していますが、2年生の教室（授業）を見た後に4年生の教室へ行くと、非常に人数差（4年生の方が多）があり、ぎゅうぎゅう詰めになっている印象が強く、担任の先生も他の保護者に「1人につき1分の時間しか取れません」というような事をおっしゃっていたようだ。これはいかがなものかと思う。であれば1クラスあたりの人数をへらし、学級数を増やした方が教室も広く感じ、教員も、もっと、生徒1人に対する時間を取る事が出来るのではないのでしょうか。人数が少なくなった学校を統合するのもよいが、1クラスに詰め込まれる人数が増え、生徒に対する時間が取れなくなるのでは、本末転倒である。その辺を考慮した上で統合された方がよいかと思います。
279	子どもの数の減少が今後更に進んでいくのであればPTAなども考え直しが必要だと思う。外部委託や、OBでもやりたいと思う方、学校ごとではなく、大きな地域として考えてとりまとめるなど、何十年も昔のあたりまえを今の時代に合ったように変化していくことも必要だと思います。
280	稲西小プールの跡地の活用はどうするのでしょうか？跡地に児童クラブ等子ども用の施設等にはできないのでしょうか？
281	学童クラブは、他県のように学校の敷地内にあるとよいと思います。学校で購入するもので無駄なものが多い。40～30年前からかわってないのはおかしい。必要さいていげんにしてほしい。不要なもの（給食エプロン、算数セット、体育館シューズ、通学帽（体育の帽子と兼用すべき）など）
282	スクールバスを導入してでも学校を統合し、跡地を売却したお金を古い校舎の建て替えにあてる。タブレットPCが重たい、機能より軽量重視のモデルでもよいのでは。
283	平和中学校の築年数が39年というのはおかしい（間違い？）のではないのでしょうか？（教育委員会注：校舎棟によっては築39年となっています）
284	他県では体育に専門の教員を取り入れたりしている学校もある様なので、可能な教科では取り入れてほしいです。英語の授業も同じで、回数も少ないので増やしてもっと身に付けられる教科にしてほしいです。PTAの廃止、又は外部委託や縮小すべきだと思います。
285	稲沢西小に子どもが通っており、隣接する市で小学校教員をしています。今回のアンケートで保護者の意見に耳を傾けていただき、有難く思います。西小1階の教室から出られるベランダは、防災・防犯上とても良い構造だと思います。水やりもしやすく利便性もよさそうだと感じます。2階は、両側に教室があり、廊下がさほど広くないため参観日には大変混み合い、不便に感じる場合があります。また、各教室がもう少し広いとよいのではないかと思います。一番後ろの席からロッカーまで手が届きそうな距離です。他校建て替えの際、校舎が新しい西小の職員の方々や保護者の方々の意見を参考に、さらに良い校舎を建てていただきたいです。
286	統合はとても良いと思います。コミュニティーバスの利用などを活用できると、良いのかもかもしれません。通学時、夏など、今でも大変なので、統合して遠くなる場合のサポート（親は働いてるので、市などでやる）があれば、良いと思う。

287	P T A活動という負担をへらしてほしい。子ども、保護者のことを最優先に考えてくださってありがとうございます。その中で、先生方（職員）が働きやすい環境となることも期待しています。子ども達は先生方からたくさん影響を受けます。先生方が楽しい職場環境になることも、子ども達の為と思っております。（私はただの会社員で教育関係者ではありません。）
288	教育現場、関係者の皆さま、いつもありがとうございます。私共、家族よりも、平日の日中、子と長く過ごす先生方の働き方を懸念しております。働き方改革という言葉が定着している今、学校現場だけは、とりのこされている印象です。先生方、定時であがれておりますか？残業があたりまえではないですか？（私は、先生方の定時を存じあげませんが…。）休憩、ありませんよね？ひどすぎる労働環境かと思えます。また先日、産休に入られた先生の代わりは補充されず（できず？）、校務の先生が担われているときいています。こうした現場環境の改善をふまえても再編統合をやってほしい、と思っております。つたない文章で申し訳ありません。子にも教職員にも、よりよい環境である事を願います。
289	①通学の安全を確保する為に、スクールバスや路線バスの活用を検討して頂きたいです。②教育活動について、早めに正しい性教育を取り入れて下さい。情報社会で習う前に色々な情報に触れています。それが本当に正しいのか、疑問を持てるような人格形成が、必要と思っております。
290	P T Aは外部委託にしてほしい。（現代の親世代は忙しすぎる）
291	今回のアンケートは2つの課題があると思っております。ひとつは施設の老朽化、もうひとつは少子化による教育のあり方です。老朽化については、地域の避難所や集合所としての役割もあるので、優先度に応じて進めるべきです。地域によっては、小学校と中学校を隣同士同じ敷地にして、異学年交流を盛んにやるのもいいと思います。少子化でクラス替えができず、人間関係が広がらない点においては、音楽や体育の授業を1つの学校でしてみたり、少しずつ工夫はできると思っています。稲沢西小学校では水泳の授業時はバスに乗ってスポーツクラブで練習をします。市が管理してスクールバスを運用すれば、部活動なども他校と一緒に練習ができたり、交流の場は増えるのではないのでしょうか。ゆくゆく学校の統合時には、スクールバスの活用は必要だと思います。実際に通う小・中学生にもアンケートしてみしてほしいです。
292	学校施設の老朽化が心配。できるなら、安全で学校生活を送れる環境が良いなあと思います。また、熱中症アラートが出て体育が行えるよう、体育館に空調を整備して頂きたいです。ありがとうございます。よろしくお願いします。
293	西小地区の児童館の人数が多すぎて夏休みに遠くの児童館へ行く人も出ているので、高学年と低学年で分けて児童館を新しく作ってほしいです。西小のプールがあった場所に作るのが良いと思います。
294	小学校での学童の実施をして欲しいです。西町の1クラスは多く、いつも人であふれている事と移動がないからです。帰りの旗当番だけでもシルバーや警察の人をお願いして欲しいです。大府市では朝の旗当番もボランティアのみで運営されています。プールの授業をもう少し増やして欲しい。今年は年5回のみでした。外部プールをお借りしていますが、プールの併設がなくなり水に対する教育が不十分だと思います。P Cをもう少し丈夫なものにして欲しい。修理待ちが長い。せっかくだから、ソニーに協力して欲しい。小学校で使う物（図工、生活）を学校で用意して欲しい。（明石市は自宅用意ゼロです。）
295	小学校の体育館は避難所の役割もあるので、できればエアコンをつけてほしいです。
296	老朽化が進んでいる学校施設の大規模改修は、子供達の安全の為にも何とか進めていくべきだと思います。児童数の減少の見通しに伴い、1学年に1学級しかない場合は、学校を減らして、1学年に2学級以上の状態にできるようにすべきだと思います。通学時間が徒歩で30分以上かかる所は、バス通学などの導入などできるといいと思います。
297	学校によって教員や生徒の環境、負担が偏らないような改革をしてほしいなと思う。
298	統合するべき!!
299	私の子どもは稲沢西地区なので何も問題ないが、子どもの少ないところを統合しても遠くなるとかわいそうだし、熱中症で死亡事故などもふえてしまうかもしれない。通学時間が遠くなる子どもたちにはコミュニティバスのようなスクールバスの運用を考えてあげるべきだと思います。過保護ではなく時代の変化、地球環境の変化。私立小学校でないため国などのきまりがあるのかもしれませんが、全国初のモデルケースになるよう稲沢市は動いてもいいと思います。それくらいの経済力はあると思うし、寄附などよびかけたらあつまるのではないのでしょうか。この制度があるから稲沢に子育てするために引っ越してくるということもあると思います。学童などへの送迎もまとめてやっている地域がある（個人の学童かも知れませんが…）とTVで見ている魅力的でした。大変かと思いますが、変える時は必ず反対・賛成分かれるものです。より良い稲沢市になりますように。

300	夏の暑さが昔とは違うので、学校生活や通学にもその点を考慮してほしい。
301	建て替えをする際は、生徒やクラスの数に合わせてレイアウトの変更ができるような、フレキシブルなつくりにするとういなどと思います。小学校の再編・統合についてですが、現状とてもすぐ近くの距離に2つの学校があります（高御堂小と大塚小）。まずはここを統合するべきでは？
302	毎日タブレットの持ち帰りがあり、勉強面では充実できているのですが通学の行き来が荷物が多くなり、さらには夏の猛暑もとても厳しく、これ以上通学の時間が長くなると子供たちの体調面はとても心配に思います。ぜひ子供たちが有意義に学校生活を送れるような施設整備を願います。
303	オンラインで授業が受けられる環境を作って欲しい。
304	市内23小学校、9中学校の児童生徒の減少による再編・統合は、施設維持費、各種人件費などを鑑みるとしかたないと思う。子供達の教育については必要不可欠であるが、かくれたところに潜む「いじめ」対策も必要。今問題となっている再編・統合については、反対する親からすれば、学校までの通学時間が少々長くなるうが、それは問題と思わない。再編・統合し、経費が少なくなれば、今以上に子供に使う一人あたりの金額が増え、充実した教育が可能となると考える。
305	地域住民への周知徹底を図った上で再編・統合。場合によっては住民投票などすべきだと思う。とは言え、こどもファースト（大人の意見だけで進むことがないよう）で進めて欲しい。
306	少子化、教員不足、学校の老朽化による建て替え費用の問題を、これ以上先送りはできないと思います。稲沢市内全ての小学校で、現状2クラス以下の小学校は統廃合を進めるべきだと思います。通学時間と手段の問題をクリアし、将来の子供たちへ良い学びの環境を作っていただきたいです。ただ先生方への負担は少しでも減らし、先生方にとって働きやすい、やりがい搾取にならないような環境にさせていただけたらと思います。自分たちの事ではなく、子供と先生方の事を第一に考えなくてはいけないと思いました。
307	体育館のエアコンは、設置してほしいです。
308	小学生はとにかくランドセルが重く、荷物が多いので教科書を学校に置けるようにした方が良くと思う。通学時間が長いとつらいと思います。
309	1クラス30人程度の学級経営を望みます。40人近く着席している教室を見ていると息苦しく思います。先生方も目を配るのが大変ではないでしょうか。基礎学力定着のために、もっと家庭での協力が必要ではないかと思ひます。先生方の負担が大きすぎるように思ひます。家庭で協力ができないようであれば、放課後の個別での療育施設や補習を行える施設につなげられるよう、公的機関から案内やサポートがあればよいのではないのでしょうか。
310	通学時の荷物が多く、とても重くて小学生には負担が大きいです（特にタブレットPC）。置き勉やタブレットの軽量化等検討をお願いします。
311	ICTの推進が行なわれているものと感じているが、1台配備されている端末が古く、立ち上げに5分以上かかり、操作性も悪く、授業の妨げになっている。
312	P T Aを外部に委託するか廃止してほしい。大切なお金をどうでもいいような活動に使ってほしくない。リコーダー等、口をつける物は衛生的に難しいが、彫刻刀や裁縫セット等は皆、学校の備品にして貸し出しにしてほしい。制服等サイズアップや卒業生で不要になった物を格安でゆずりうけられるようにしてほしい。希望者は置き勉OKにしてほしい。給食費や学年費等の費用を稲沢市の税金からまかなってほしい。
313	空き教室で行われている学童では、広さが十分ではないので設備を整えて利用しやすくしてほしい。小学校高学年におけるクラブ活動がもっと力を注げるように盛んになっていくとういなどと思ひます。
314	清水小学校のトイレが古いし臭う。せめてトイレだけでも早急に新しいものにしてほしい。なぜ外壁工事の時に一緒にしてくれなかったのでしょうか？
315	清水小学校、片原一色小学校、国分小学校が統合し、明治中学校の横に…という話を耳にしたことがあります。老朽化で統合となった場合は仕方がないと思ひますが、生出や横野から低学年の子が歩いていくのは難しいと思ひます。特に夏は熱中症などが心配です。スクールバスがあれば良いと思ひますが、中学生でも自転車を通学するぐらいの距離を歩いていくのは考えられないので、場所が重要になってくると思ひます。児童数が少なくなっても、建て替えだけだとういんです。運動会等観覧場所問題なども出てきてしまうとういので。また、現在どのような案があるのかや、どのくらい話が進んでいるのか等あれば、とても不安に思っているのて統合について知りたひです。

316	子供の数が減っていく事がわかっているのであればスピード感を持って進めてほしい。現時点でアケートに答えても、実際校舎の建て替え、小学校の再編が10年後ではあまり意味がない。地域住民の意見も必要かもしれないが、老人の意見ばかり取り入れられても困るし、子育て世代の意見をしっかり反映してほしい。ある程度の生徒数を確保する為に現在の小学校より距離が遠くなれば、それは仕方のない事なので、スクールバス等で対応してもらえれば良いと思う。老朽化した昔の校舎で過ごすより、遠くてもきれいで新しい校舎の方がよっぽど良い。
317	統合する場合の通学時間が延びてしまう事が不安。清水小学校は子供たちのお気に入りでもとても良いと思うが毎年整備されているのか？安全チェック等が気になってます。
318	通学時間が長い子のためにもスクールバスを検討して欲しいです。
319	水泳授業ほ近隣のスイミングスクールに委託しても良いと思う。子ども達が学校で使っているタブレットはタブレットというよりはノートパソコン。片道45分の通学地域の児童には負担が大きい。
320	統合する場合、これからの子供達は遠くまでかようのは大変で、地域との密着も少なくなってしまうか心配です。避難所としても近くにあると安心なので、このままでいられることを希望します。
321	運動会が9月で、熱中症などが心配。運動会の練習の時期が暑すぎる。
322	外壁の塗り替えより、1ヶ所でもトイレの温水便座やウォシュレット化を推進してほしい。保護者や児童の切実な要望が後回しにされているように感じる。冬場は寒さに耐えながら冷えきった便座を使わざるをえない状況を早急に改善して頂きたい。
323	バスでの通学（10～15人程度ずつ）。防犯の観点から、自由に出入りできるのは良くないと思う。インターホンを押して中からカギを開けるなどしないと入れない方が良くないと思う。
324	現在5年生は33人1クラスなので小学校に入学してから一度もクラス替えがありませんでした。少人数学級でもいいのでせめて2クラスにしてほしい。
325	トイレの設備をきれいに使いやすいようにして欲しい。
326	小規模は小規模のよさがあり、先生が生徒の事をよく見て把握してくれています。避難所としても近くにあるのは安心で、今のままでいてほしいです。
327	現在の小、中学校の駐車場が少な過ぎ、ないに等しいので駐車場を多く確保して欲しい。小学校は新たな土地での建設になると思いますが、児童の通学手段を安全に、そして通学にかかる時間が長くなり負担にならないようにして欲しい。
328	防犯対策を早急に進めて頂きたいです。
329	通学時間が長く、夏場の通学大変。通学路の安全確保（水路、たんぼに落ちる）、信号ない場所渡る。はた当番が仕事をしている保護者の負担となっている。
330	子供達の学ぶ環境や設備はもちろん大事で整備されるべきですが、教員やそれに関わる方々の負担ももっと考慮されるべき。教員の方の労働時間や労働環境が改善されるようにもなってほしいです。小学校・中学校の部活動には、地域住民の方のサークル活動（ボランティア）などと交流させたり、参加してもらい指導をしてもらうなどの手段を取っていけば、教員の負担軽減、また生徒は充実した活動や経験を得ることができるのではと思います。
331	学校に通う距離があまり変わらないなら、違う学校もありかも。でも、娘の大的仲良しの子は片原一色小学校のすぐ近くに住んでいるので、その娘と学校が違うとなると心が心配です。やっぱり仲の良い友達と離れなくてはならないとなると今のままを望みます。
332	教科ごと、専門性を備えた先生に指導していただきたいです。
333	子どもにとってクラス替えが出来る環境は良いと思いますが、小学校の再編・統合は反対です。現在の「なかよし学級」は、とても良い取り組みだと思います。学校全体の人数が増え、一学年（同学年）だけで学校生活を送るより、今のように、学校全体が仲の良い雰囲気の中で生活出来る環境が好きです。通学に時間がかかるのも反対です。
334	小中学校を統合すると、通学時間が増え、ますます若者が住みたがらない、子育てしにくい街になってしまい、少子化が加速する街になってしまうと思います。現在、1学級の小学校に子どもを通わせていますが、小規模学校だからこそできる、異学年との交流、きめ細かい指導など、小さな学校で良い所はたくさんあり、子どもも豊かな心や良い人間関係が育まれていると思います。財源不足のために統合するのは反対です。子どもたちの未来のため、稲沢のために一番にお金を使わないといけないことが教育の充実であると思います。
335	小規模でクラス替えができないことが悪いとは思いません。お友だちとじっくりかかわれて良いこともあります。再編や統合が今後必要になってくることは仕方ありませんが、毎日通うので、子どもたちの通学に負担がない方法を考えてもらいたいです。

336	タブレットの使用に関して、子供任せの管理には不安を感じています。全ての時間で大人が携わって管理できるわけではない為、学習や学校関係以外でのサイト等の使用が懸念されます。もう少しセキュリティの強化や使用制限を設けて頂ける等の措置をしていただけたらと思います。
337	小学校の再編・統合については何年も前から出ている話だと他の保護者さんから聞きました。少子化が進む中、親の私からすると、いったい、いつになったら稲沢市は子供の少子化に対して本気になるんだらうというのが想いです。間に合わなくなる前に、本気でこの地域の子供達と向き合い、考えていただきたい。保護者も共働き世代ばかりなのに、デジタル化への移行があまりにも遅く、負担にしかかってない時間も多いため、若い人に是非指導権を持たせて進めていただきたいです。
338	今、子どもが通っている小学校は一学年一学級で、私の母校でもあり、私もその環境で小学校生活を送ってきました。一学級でも不便と思った事はなく、ずっと一緒なので友達との絆が深まったり、年上年下の子と関わる機会も多く、今でもその状況は続いているようです。先生もゆったりと関わって下さっていて、人数が少ない分、時間も作れると思います。担任でなくても他の先生も児童の様子を理解して下さっていて、よく見てくれています。統合をしてしまうと、通学時間も増え、新しく稲沢に来たいと思う人が減ってしまうのではないかと私は思っています。
339	子供の通う学校は人数が少ないので、6年間クラス替えがないことは初めはとても不安でした。幸いメンバーに恵まれ楽しそうですし、教育面でも生活面でも先生方の指導が手厚いので、今となってはとてもよかったですと感じています。設備面での統合はやむを得ない事だと思いますが、小学校に関しては安全面から距離を優先してほしいと、個人的には考えます。現学校には、学童保育の施設がないので、移動のリスクを減らすため、学校敷地内であってほしかったです。
340	児童や保護者に寄りそった教育の出来る教師が必要。
341	世代を超えて祖父の代、創立の世代から稲沢の学校を知っていますが、変化とともに自ら変わる勇気や改革が不可欠な事も確かです。稲沢新モデルとして、今の現役職員の手で、プロジェクトをまっとうしても良いのではないのでしょうか。こころ一つ大仕事をたちあげるの有りです！稲沢市中央集権の学校を一つどんと大きくおつくりになられてはいかがでしょうか、バス通学→有りです!!他市のモデリングになるようなモノを今の世代の人が意思をもち、つくりあげていくということは全面的に大賛成です。
342	どこか他の市町村などで学校統合をした実例を私たち住民にも見せて頂きたい。どのような点がよくて、どのような点に不満が出ているのか知りたいです。
343	子供たちがより良い環境で育っていけたら、何でも良いです。
344	毎日、タブレット持ち帰りは、重たい。親が見れない。
345	校舎が再編された場合は、スクールバスの整備を考えてほしい。
346	子供の運動不足が気になります。毎日、公園などで元気に遊べるような環境ではなくなったため（ボール禁止の公園が増えている）。放課後に学校で遊べるような、現在の取り組みを続けてほしいと思う。跡地（学校再編による）でも遊べるように。
347	とにかく子供たちの安全確保を第一に考えていただきたいです。
348	体育館を有効活用する為にも、エアコンの設置を早急をお願いしたいです。
349	明治中学校が老朽化していると感じるので、予算があるようでしたら建て替えを検討に入れていただきたい。
350	今の学校のトイレが暗く怖いと子供達がよく言っている（臭いもくさい）、明るくしてあげて欲しい。使いたくないとガマンしている子もいるようです。教室なども明るく、楽しい雰囲気がいいです。参観日に行っても暗い印象です。小学校が統合する場合、人数が増え、不安になる子が多くなると思うので、先生の数を増やすなどの対応をして頂きたいです。どのクラスも補助の先生についてもらおうとか、大人の目が届くようにしてほしい。統合して、通学に時間がかかる場合、保護者の皆さんが送迎できるわけではないので、スクールバスがあると安心です。通学路の所々に見回りの方が立っていらったり。現在は見回りの方が一緒に歩いてもらっていますが、人数も少なく限られたグループだけで、子供達だけで歩いているグループもあるので心配です。（ひと気の悪いところも歩いています。）
351	統合作で、学校が遠くなるのは断固反対です。遠いと子どもが学校へ行く気もちがつかないそうです。
352	夏のプールの授業についてですが、以前、テレビでどこかの地域では学校でプールの授業をするのではなく、市内にあるスポーツクラブにバスで行き、そこでインストラクターの方に教えてもらうというやり方でやっているのを放送していました。それだと天気にも左右されず、プロの方に教えてもらえるというので良いなと思いました。
353	先生と生徒の信頼関係がもっと尊重されればなと思います。

354	<p>学校施設の老朽化が進んでいて、ほとんどの学校が古いことに驚きました。児童も年々、減少しているため、再編・統合することには賛成です。それに伴い、通学方法など子どもたちの安全確保は第一に考えてもらいたいです。入学してから、登校時子どもたちと一緒に歩いていますが、近年、異常気象で暑かったりゲリラ豪雨など環境が変わってきていることもあり、登下校時、バスでの送迎があるといいと思います。</p>
355	<p>少子化に伴う学校の統合は世の流れで仕方のないことだと思います。ただ、通学手段をどうするか、というのが一番の課題なのではないかと感じます。スクールバスや有料の個別送迎など設定すれば、保護者による送迎も含めて、どのような世帯でも通学手段として対応できるのではないかと思います。その学校の周辺道路や乗り入れ場所、駐車場の確保も合わせて検討いただきたいです。特別支援教育への理解がある先生の育成にも力を入れていただきたいです。</p>
356	<p>安心安全に通学できて勉強できる環境。今の時代に合った学習（タブレット学習など）や自発的に学習できたり、発言できたり学ぶ事が楽しいと思える時間が少しでも多く取り入れられる事を希望します。</p>
357	<p>1校の児童数が増えることがいいことばかりとは思えません。児童数が少ないことを逆に利点とした教育活動を考えてみてはどうでしょうか。例えば、30人しかいないから1クラスしかできないではなく、15人ずつの2クラスにして教員の目や教育がしっかりと1人1人に行き届く方が親として嬉しいです。先生方も人数が少ない方が負担が軽減するのではないのでしょうか。ただ、老朽化については、子供達の安全の為早急に対処していただきたいです。その為の統合は仕方のないかと思えます。その際も最低限の統合ですませてください。登下校30分以上は、年々猛暑日が多くなっている中、危険だと思います。（教育現場や財政への知識が少なく、理解できていない意見を述べていたら申し訳ありません。）</p>
358	<p>1学級の上限人数をもっと引き下げてほしいです（35人でも多いと思います）。トイレについて、ウォッシュブル機能付きも良いと思いますが、もう少し高頻度で改修してあげてほしいです。臭い、水漏れがないトイレにしてほしいです。給食の匂いがすると吐き気がする子もいます。給食の匂いがもれないような配慮をしていただけるとありがたいです。</p>
359	<p>近年、感染症ごとで世間が騒しくなりましたが、子供たちにとってマスク強制の雰囲気やソーシャルディスタンスというウィルスに対して何の意味もない対策、声を出さない指示等の中で本当に奪われた3年間と思いました。どれほどの教育関係者や親達が情報に振り回されずにエビデンスを追求したのでしょうか。どれほどの大人が免疫について調べたのでしょうか。今では顔を見せるのが怖い恥ずかしい、マスクしていない人と近くで話す事の恐れ、何より人の目に恐れを感じる風習が、元々強い日本人が更に、特に子ども達し染みついてしまったのを肌で感じ、この大切な心の発達の時期にとんでもない教育を世間でしてしまったと思います。今年もまた従来又は新しいウィルスの話題があるかも知れませんが、この3年間の過ちを見直し、未来ある子ども達を宝とした教育、指導がある事を願います。こちらの知る限りでも、毎日のように感染者数の新聞記事を映して、子どもたちに離れろ、話すなどと言う担任。筆談をし出す担任。体育で軍隊教育のように“お前ら”“水の飲むときに話をしたらどうなるかわかっているよな”と大声で生徒に聞かせているところも見聞きしています。非常に悲しかったです。感染者数の分母は？例年の肺炎の致死率や重症・死者数の年齢別での比は？世界一マスクを徹底した日本ですが、コロナ、風邪減りましたか（世界と比べても）？マスクをする事での身体影響は？消毒の作用は？理解できての発言、行動ではないと思いました。いつから人は風邪を引いちゃだめになったのか。人をばい菌扱いするようになったのか。どうして現代人は免疫が低いのか。人として人間として自然な状態から遠ざかる現代、色々奇妙な視点を感じます。何かの参考になればと思います。長文失礼しました。</p>
360	<p>小学校内に児童クラブがあると助かります。</p>
361	<p>サッカーゴールがグラウンドのすみにずっとおいやられているので、子供たちが使えるようにしてほしい。</p>
362	<p>1学年が少人数でも2クラスにし児童1人1人に教育が行き届くようお願いしたい。先生への負担も減ると思っています。</p>
363	<p>少子化の流れから、統合は避けられないが、少人数クラス（30人）を増やし、教員の目が届きやすい環境を作ってもらいたい。</p>
364	<p>子供たちが安心して通える学校であってほしいと思います。</p>
365	<p>先生方の働き方改革も分かりますが、子供達が、部活動制限や、行事の縮小による友人との交流の場が少なくなってしまうようにしてほしい。自主性を伸ばせるように関わってほしい。</p>

366	年配の女性の先生が、子どもに「おばかさん」と言います（うちの子ではありませんが…）。子どもが子どもながらに不思議に思ったようで、私に教えてくれました。「お」を付ければ良いものではないと思います。設備としては、体育館や他教室にもエアコンがあるといいなと思います。
367	夏はとても暑くなっています。体育館にも冷房が必要になると思っていますので、今後設置していただくと、安心して学校に送り出せます。トイレが和式で、におうのが気になります。トイレが汚くて、学校はいやだという時があるので、整備してほしいです。トイレ問題にも同じことがいえるのですが、学校全体が清潔でないと思います。老朽化が原因か、そうじが子供だけでやるのが原因かわかりませんが、学校を清潔にしたら、子供もいきいたいと思う学校になるのではないのでしょうか。
368	学校にエレベーターやスロープの設置は必須だと思う。体が不自由な児童が利用できるようにするのはもちろん、車イス利用の保護者なども学校へ来やすい環境を作るべきだと思う。学校行事への参加のしやすさにもつながると思う。発達障害などで見た目からはわからないが、小さなことが不安でできないことなどがあると思うので、アンケートなどで小さな改善点などを定期的に意見としてひろっていく。
369	老朽化した校舎での教育、正直不安です。和式トイレは今ほとんど使用されなくなりました。環境整備はできるだけ早くやっていただきたいです。学校へ行きたがらない原因の1つが、教育環境ともいわれています。心のケアなどは先生方が一生懸命していただいています。環境はどれだけ教職員が努力しても改善できません。是非このアンケートをもとにして迅速な対応をお願いしたいです。
370	外部委託をすすめるなどで先生の業務を軽減して、子供たちに向き合えるようにしてほしい。
371	P T Aをなくしてほしいです。
372	学童を学校の敷地内にしてほしい。学童を日割利用できるようにしてほしい。低学年下校の時だけ利用したい人もいます。月1、月2回ぐらいしかないので学校をプラスワンにするか学童を日割利用できるとありがたいです。
373	学校が統合されると通学時間が長くなると思います。スクールバスがあると良いように思います。水害についてですが、木曽川が切れたら伊勢湾台風の時より水面が2m上昇すると聞きました。木曽川の方にある千代田小学校や中学校も水没すると思うので、どこに避難したらよいかわかりません。（小学校の東にあるわが家も、かなり水が来たと聞きました。）
374	施設について。授業中にももし巨大地震が起こったらと思うと、とにかく学校はどこよりも頑丈で安全であってほしいと思います。勉強も大事ですが、他者への思いやり、100人いれば100通りの考えがある事、それを尊重し合えるような人間関係を学んでほしいです。
375	①小学校の再編、統合により、通学時間が長くなるのは、子供たちにとって負担が増えると思う。ここ数年の猛暑の事を考えると、この先、スクールバスの導入を検討してはどうか。②下校時の親の迎えについて、門と運動場の一部を一方通行でドライブスルー方式で子どもをピックアップできないか。学校周辺が駐車場所を探す車でとても危険だと思った。
376	身体の不自由な方についての障がいだけでなく発達障がいも含む心について、先生方の理解すらあやしい、おざなりな現状もあわせて改革をすすめて頂きたい何卒よろしくお願い致します。
377	担任の先生の違いで、学力の差ができたりしている。スクールカウンセラーと担任の先生との連携が希薄だと感じるし、スクールカウンセラーの意味をもう少し考えてほしい。ちゃんと対応できているのか、きちんと評価されていない様に感じる。
378	小・中学校の老朽化が進み、災害時子供を預ける身としては不安に思う部分大きい。財源の問題もあると思うが、早急に進めた方が良くと思う（再建）。稲沢市遅いと思う、何に対しても。
379	教科指導の専門性を持った教員による指導の実施を小学校でも取り組むべきだと思います。教科ごとに先生がかわることで子ども達もめりはりをもって、よりよく学べるのではないかと思います。教師の教材研究も充実し、子どもにとって刺激となる教育が期待できると思います。
380	1クラスの人数を20人程度にし、クラス替えが行えるようにしてほしい。20人程度であれば担任の先生の日も届きやすく、児それぞれの個性に応じた指導ができると思う。プールの老朽化も心配で、西小のようにスイミングスクールを利用した水泳の授業が行えるよう工夫してほしい。天候に左右されない水泳の授業を市内で平等に受けさせてほしい。60年を超える学校があることは耐震性の面でとても心配である。学校は地域住民の避難所も担っているためバリアフリー、トイレの整備も早急をお願いしたい。

381	1クラスに先生ともう一人先生がいると良いなと思います。理由は、先生達の負担もへるだろうし、子どもたちも分からないこととか話したいことが1人の先生だけではなく、もう一人先生がいることで話を聞いてもらえるタイミングが2つあるのは、いい事だと思います。
382	全てのトイレを洋式に替えて欲しい。社会情勢や環境の変化に対応した学校づくりをして欲しい。
383	どうしてもトイレが封鎖的で「暗くて汚い」というイメージが強い。LED照明や壁の色などで明るいといいなと思う。名古屋市と比較してしまうが、管理が行き届かない部分があるので、トイレそうじや除草などを担ってもらって専門の事務員さんを雇うといいのではと考えます。老朽化し建物が古いのはしょうがないが、耐久に問題なければ無理に建て替えは必要でない。クラスが少なくクラス替えができないのは問題がなくても、中学校に入っていくと人数が増えると心身に負担がかかるので、ケアしてくれればいいなと思う。
384	千代田小学校・中学校については古い学校にも関わらず他の学校の建て替えや運動場整備が優先され不公平感を感じます。またエアコンの設置もとても遅い印象です。どこも一斉にというのは予算や業者の都合でむずかしいとは思いますが公平性の見直しをお願いします。学校行事についても稲沢市内で差があるように感じます。また現中一の子がいますが、耐震などで卒業式前後に校舎が足場がくまれている非常に残念でした。一生に一度のことなので時期の配慮をすべきだと思います。
385	何十年と施設が古いままです。子どもたちだけでは限界があるため、新しくしたのち、外の業者にそうじなどを依頼するなどしては？プラスワンは本当に低学年にとって良いことなのでしょう？上級生がいるほうが危ないことが多いです。ケンカがおきたり、暴言を下級生に吐いたり…。集団登校も良いのか分かりません。他人に迷惑かけても何も思わない家も増えています。登下校はトラブルだらけ。夏休みの課題が30年くらい前とほぼかわっていません。他の市では自主的にやる宿題やタブレットでの宿題があります。古いことがすべてダメとは言いませんが、時代の流れに合わせてみては？小学校を統合するにあたり、今までの保護者と色が違う人が出てくる。そうするとトラブルも起きやすくなる。千代田は稲沢の中でも田舎なので安心な土地だったのに…。
386	P T A活動をなくして欲しいです。今は昔と違って働く親（母親）は増えています。核家族も増えて母親って本当に忙しい。外部に委託してお金が発生したとしても、そのほうがいいです。クラス替えてそんなに必要ですか？密に仲良くなれて私はいいと思います。ずっと稲沢に住んでますが、私が子供の頃は1クラスがあたりまえでした。小規模になることよりも、もっと考え直す点がたくさんあると思いますが…。
387	財政的な制約により、再編・統合は致し方ないが、比較、検討するために建設費用、教員等に係る人件費、統合した際のスクールバス経費など定量的なデータを示して、住民の理解を得るようにしていただきたい。
388	学費が高い。算数セットは中学年から必要ない。色々なキットを使って授業をするのもよいと思うが、兄弟、姉妹がいる場合かぶってしまう。おもちゃの様なキットがあるが必要なのか？保護者でよく話題にあがる。名古屋に比べても高すぎると思う。
389	不登校児童への対応の充実。担任の先生だけは、手一杯な気がします。
390	今後は保護者の協力も必要になってくると思います。状況に合わせて柔軟な対応ができれば嬉しく思います。日頃から子供達のために尽力していただきありがとうございます。
391	今は学校や通学路の安全が、きちんと守られているようにはおもわない。学校の方ではセキュリティが甘く、学校内（敷地内）に入ると誰とも会わず教室まで行ける。通学路の方も、朝は車の行き所（通る所）をよく見掛け（スピードあり）、下校時は、全く車が通らず、何かあった時に対処できない。何かあってから変えていくのではなく、何か起こる前に安全面をみなおしてほしい。親としては、安全に学校生活をおくってほしい。鳥のフンや虫など、そのままにしている所があり不衛生な場所が数ヶ所ある。虫は、ランドセルや体操服に入っている事があるので、何とかしてほしい。英語やITの事など、これから必要になる事を専門の先生をよんで、教えてほしい（お金の話など）。
392	学童保育の環境に差が出る（センターか、校内か）のは気の毒だと思う。利用料は変わらないので。人との関わりによって成長する部分は大きいと思うので、できたら人数は多い方がいいと思う。ただ、通学が安全であること（時間、キョリ、方法）はゆずれないので、そちらにも知恵とお金をしっかりかけてもらいたい。稲沢が子育てしやすい町を目指してくれることを信じています!! よろしくお願いします!!
393	徒歩での通学時間が長い場合、スクールバスなど地域などで使用できる環境を整えると良い。

394	異常気象により、夏や雨季の通学に不安があるので、通学時間についてはなんとかして欲しいと思います。そもそもコロナウィルスの大流行により、既存のものが機能しているように思わないので、又、子どもファーストの社会でもなく、様々な事が後手感はいなめない。
395	トイレが和式のところがあり、改善すべきである。ゴキブリが出たり、砂だらけのろうかなど、衛生的にひどいと感じる。小学校のプールより、民間のプールを利用した指導に変えるべきである。音楽や体育等、専門性の高い先生による指導を行なってほしい(泳ぎ方の指導で疑問に感じた為)。他の予算を教育にまわして、子育てしたい街づくりをすすめていかないと若い世代のいない街になってしまうと思います。若い人が住みたい街にするよう、教育施設の整備は大切だと思う。
396	市内学校の築年数を知り、驚いています。40年こえても放置していたから今になって慌てているのでしょうか。60年越えの学校だけ太字になっていますが、40年越えの学校まで太字にしたらほぼ全てですよね。目をそむけている現状がよく分かります。昔の教育委員会の責任ではあると思いますが、もっと現場の学校に目を配るべきです。建て替えへの計画や資金計画はどうなっていたのでしょうか。そこらへんもしっかり出して頂けたらと思います。何もなく「お金がないから学校再編、統合しまーす」では納得できません。また、「お金ないから汚ないしあぶないし暗いけどこのままで一す」はもっと納得できません。子どもと一緒に生活してみて、不便な部分を感じていただけたらと思います。子どもが行きたくなる学校、この学区に通いたいと思える環境が大切だと思います。長文乱文失礼いたしました。よろしくお願いします。
397	小中学校では、クラブ、部活動の時間が働き方改革で減ってきています。そのため運動する時間が減ってきてしまっているの、外部のコーチ、指導者をまねいて活動する時間を増やしてほしいです。
398	転任される方が急にいなくなり感謝を伝えられない状況(親・子ども)
399	今でも通学時の安全確保や時間がかかる為、不安はある(特に夏)。体調不良になる児童もいるのでそういう点を考えてほしい。施設等はトイレが古く汚い。
400	担任の先生が病気で長期の不在ということを繰り返されると、子供たちの精神状態がとても不安定になってしまいます。子供たちの為にも、先生の為にも、安定して勤務できる見込がある先生を担任の先生にさせていただけるように人員の確保をしていただきたいと切に願います。
401	「子育ては稲沢で」とどの口が言っているのか、聞いてあきれます。稲沢市は他市に比べて、教育にかける財源が少なすぎます。設備にしろ、教材にしろ、いつまでも昭和で県下、最低ぐらい遅れていると思います。他市はもっと充実しており、時代の流れにスピーディーに対応しています。このままでは、どんどん取り残されていくでしょう。財源確保のためにも、小規模校の乱立を見直し、無駄をなくすべきです。広く浅い教育ではなく、濃い教育をしていただきたいです。この遅れた環境が、全国学カテスト、スポーツテストにも影響しているのではないのでしょうか。稲沢市の子ども達の未来を考えるのであれば、他市からも学び、早急に検討すべきだと思います。
402	稲沢の道路は歩道の無い道が多く、通学時に危検だと思う場面をよく目にします。通学路の安全確保はぜひお願いしたいです。自分も含めて、学校施設の近くに引っ越しをして来る人は多いと思います。新しく市民となる人が、こんなはずではなかった…という事にならない様に早めにアナウンス、告知をしてほしいです。財源が無い中で、再編等を実行するのは、やむをえない事である事は理解です。
403	一学年一クラスだと人間関係づくりに不安がある為、最低でも2クラスあるといいと思う。一人一人性格などがちがうので接し方など一クラスだと同じになってくる為、考え方が広がらない。いろんな子たちと接しているいろんな考え方をみにつけてほしいので、やっぱり統合して一学年あたりの人数を増してほしい。
404	学校に多くの児童が存在した場合、先生の生徒への目が行き届かない状態だと困る。一人一人に合う対応や、働き方改革による教育活動の減少に今できえ、少し足りなさを感じております。先生の言葉使いや、昔とは違う現在の子供たちへの対応が第一です。

405	大規模改修が40年目安なのに小学校23校中21校がそれをこえているというのは、そもそも行政の怠慢ではないのか。老朽化に対して、建て替え以外に修復、改修で費用をおさえることができないかどうかの検討が必要と考える。選択肢が学校数をへらすことありきで適切な選択肢があると思えない。少人数、小規模学校のメリットが書かれておらず。公平性に欠ける。気温の上昇がつついている最近において、国の基準60分未満とあるが、統合した場合真夏に小学校低学年を60分歩かせることで熱中症死亡するリスクを冷静にみつもってほしい。学校規模だけでなく、通学時間延長により、より登校がおっくうになり不登校がふえる可能性もあると思う。歴史的に児童数が一時的に増え、新設された小学校を廃校にするのはわかるが、児童数減少のみを理由に広範囲の小学校を統合することには反対である。
406	統合には、もし、今の小学校より遠くなるのであれば、通学路が安全でなければ、特に小学低学年の保護者は、不安でしかないと思います。もし、統合された後も、跡地でいろいろ充実して、とりこわしだけはしないでほしいです。母校が無くなるのは子供達がかわいそうです。
407	通学中の事故・事件など、今の世の中でも心配に思うことがあるので、例えば50年後、新しい校舎に通う子どもたちにとって、安心・安全に登下校できるような形であってほしいと思います。今よりも危ない世の中になっていると思うので、徒歩通学であればできるだけ近くで通わせてあげたいものです。先生方のご負担を考えればやむを得ない判断とは存じますが、運動会で、表現（ボンボンを持ってダンスなど）があるといいなと感じました。
408	私は、小学校は少人数クラスの方がメリットが多いと考えます。全学生の子が多学年の子と触れる機会が多く、高学年になると、自分たちが先輩にしてもらったことを下の子にもしてあげようとする心が育つからです。先生方に全校児童、全員のことを知っていただけると、教育に対するサポートが濃くなること、目が届きやすいことなどです。少人数だと、個々が埋もれず、活躍する場にも恵まれます。行事も子どもたちの声を聞いて、行えることが多いのではないのでしょうか。私は、大人数の小学校ではなく、坂田小学校子どもたちが通うことができ、安心でしたし、良かったと思っています。学校を残して欲しいです。
409	すでに今ある学校施設が、再編・統合でなくなるのは困ります（併設児童クラブ、ランチルームなど…）。人数が増えてクラスが増えるのは良いことだと思うが、教員の質が下がるのは困る。
410	統合反対
411	子供も少なく遊ぶ子が限られている。ここでトラブルがあると放課後あそんだりしなくなる。学校で遊んで、そこに行けば誰かいて安心できるスペースの確保をしてほしい。クラブ、部活動をさかんにしてほしい！外部にお願いなどして！この地区の運動（特に）レベルが低すぎて高校へ行ってからの他地区との差を感じる!!可能性をのばしたい！
412	トイレの整備だけは早急に行われてほしいです。
413	特別教室や体育館を含む、すべての教室にエアコン設置を望みます。
414	夏休みにタブレットを持ち帰った際に感じたが、文字が小さい（画面も小さい）。毎日のように利用しているようだが、表示を見やすくする。（低学年のうち）利用回数を少なめにするなど、目に負担にならないようにしてほしい。統合することで通学距離が長くなると、ランドセルが重く負担になる。すでに他の市町では行っているが、リュックでの通学を認めてほしい。中学のように市指定のものを作ってはどうか（今でも、夏の時季には認めてほしい）。統合して遠くなる地域の子、線路を渡る等の子のは、市・家庭折半の通学バスを用意するなど、安全確保してほしい。
415	同じ稲沢市内の公立小学校であれば宿題量に差をつけず、一律の学習内容を得られるようにしてほしいです。
416	大里西小学校に通っていますが、学童が遠く道も危ないので学校と一体化したら安心して子供の負担が少なく通わせられます。
417	最新の…とは特に求めていないが、最低限のきれいさを保ったトイレだと良いと思う。（高学年のトイレは古くて汚いと聞いたので。）
418	トイレを快適な環境づくりに（そうじを）して頂きたいです。子供がトイレをがまんする事が多いと聞いた事があります。そして、学校の老朽化で、耐震性が大変気になるところです。対応しているのであれば、保護者への連絡をして頂きたいと思います。
419	公共施設やショッピングセンター、家庭では洋式トイレが主流かと思われます。子どもたちも和式トイレはほとんど体験することなく育ってしまっています。学校のトイレも洋式に変更して欲しいです。

420	築年数が長い大里東小、大里西小、大里中学校を統合し9年間の義務教育学校を設立してはどうか。他の学校区も長いところから順に統合していくようにすれば良いかと思えます。知るかぎりでは、特に大里中学校の老朽化がすすんで、壁等のひび割れや建具のサビなど安全な環境とは言えない。放課後の過ごし方が変化し、外遊びをする機会が減ってしまっていますので、積極的に体操や運動の時間をとるようにして頂きたい。
421	学校の施設や設備は現代社会において、不便が多いと感じています。子どもたちが安心・安全に生活、活動できるよう、校舎を建て替えることには賛成です。そのための再編、統合は仕方がないとおもいますが、少人数学級など生徒に対する細かい指導を期待しています。
422	人口減少による学校統合は仕方無い事と思います。通学距離を懸念する部分はありますが、市財政への負担も考慮頂ければと思います。
423	再編などで学校への距離がかわることは通学団（子ども会）にも大きく影響してきます。様々な成長段階、学年が一緒に登下校する中で、危ないことや児童どうしの学校から見えないトラブルも多く、児童だけで解決がむずかしいことも起きています。子ども会や保護者、地域のサポートもありますが、それぞれの仕事や家庭の状況から対応に悩むこともあり、学校や地域ともしっかり話しあえる機会が定常的にあると良いなと思います。
424	他市より引っ越して来て、小学、中学の古さにびっくりしました。トイレになれるまで子供達困ったようで今でも難しいようです。後は、いじめ教師からの理不尽に言われることすごく悩んでおります（子供達が）。これが当たり前になってしまふ事が日々怖いなあと思っております。いじめは絶対駄目なこと、もっと教えていきたいしお願いしたいです。
425	空調整備（教室以外にも）をして欲しい。トイレが清潔であり続ける（洋式が良い）。教育指導について指導が行き届かず、分からずのまま放置されているのは良くない。先生の生徒の好き嫌いによって態度を変えることがないようにして欲しい。建物に関して3階建ではなく2階建が良い。
426	学校までが遠すぎるし信号待ちが長すぎる。歩道橋を設置して欲しい。
427	休日の学校施設（特に運動場）の利用をもう少し簡単にしてほしい。管理する団体の考えを新しくしてほしい。市での管理を!!
428	資料を見ましたが、ほとんどの校舎が何らかの改修をしないとイケない現状であるのは理解できました。とはいえ安易に近くの校舎への統合をしても数年後には、その校舎も老朽という流れになってしまわないかが心配です。今後の事をしっかり考えたうえで、決断していただきたいと思えます。
429	大里西小学校の学童（オリーブ）が小学校に近い場所になってほしいです。低学年が利用するには距離がありすぎだと感じます。大里西小学校の北門から西側にある交差点を横断道路にしてほしいです。自転車が安全に渡れる様にしてほしいです。
430	大里西小は現在、1、2年生のみ校舎がちがい、また、女性の先生が多く、不審者等の侵入があったら、他クラスから先生がかけつける、というのが間に合うのか?等、防犯の面で不安だと思う点があります。校舎のたてかえ時に配慮するのもそうですが、現在の時点から、児童と、先生の安全に力を入れていただきたいと思っています。
431	いじめがあっても隠すとか、いじめられた方（被害者）を無理に納得させる。加害者を守る、っていう行動を直してほしい。先生の質が悪すぎる。教育委員会の対応も、不信感しかない。先生方の楽を通す教育じゃなく、子供を守る事にもっともっと考えてほしい。
432	夏休みなどの長期休みの期間は学校を開放し、給食を用意してもらいたい（その場合は、希望をとり、有料として）。働くママが多い中、長期休み中の児童館の送り迎えやお弁当づくりは大変だと思います。
433	小学校の数は多いと思われます。また、設備が古い学校が目立つ状況です。稲沢に住む子供たちが設備的に差のない小学校づくりをお願いしたいです。
434	中学校も小学校も古く、部分的に新しくするよりも、建て替えたほうが、子供達も清潔な環境で気持ち良く、授業を受けられると思う。少子化もあるので統合をきに、新設するのが好ましい。
435	問6の小規模でクラス替えができない…は、いじめがあったり、学力の差、障害の有無で、1クラスしかないのは、6年十3年は長く、つらくなると思う。
436	タブレットを連絡帳代わりに毎日持ち帰っていますが、教科書やノートも一緒に持ち帰ってきており、荷物が大変重たいです。タブレットも、タブレット型PCで重たいので、選定の際に持ち運ぶことも考えていただきたいです。教科書やノートについては、学校に置いておいてよいそうですが、子どもによっては心配だったり、置いておく物を持ち帰るものが分からなかったりで、全て持ち帰っている子も多いそうです。タブレットを持ち帰る必要性について、また子どもの荷物を軽量化する方法について検討いただきたいです。

437	現在使用している学校のタブレットが重すぎて子供たちの負担が大きくなっている。教科書を学校に置いてくるにも限界があり、忘れ物（学校に宿題の教科書を忘れてくる）等も多くなり困っている。
438	労働力不足、経済縮小、地域活性の低下など、少子化がひきおこす問題は大きい。そのため、安全に安心して子育てのできる社会、地域作りはとても重要だと感じます。都市部と地方の教育格差も深刻と言われており、地方自治は教育活動には積極的に取り組んでほしいと願っております。住民として、子供のためにできること、稲沢の発展のために協力させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
439	タブレットの毎日持ち帰り、反対です。とにかく重い。体の大きな子ならまだしも、体の小さな子には、ただでさえランドセル自体が重たいのに、かなりの負担。家では、テレビなどあまり見せておらず（時間を決めて）、兄弟で遊んだり、本を読んだり、公園で遊んだりと子どものときにしかできないことをやってもらいたいのに、タブレット持ち帰りになってから、連絡帳を開くついでにスクラッチをやっていたり、タブレットの画面をよく見るようになってしまった。とにかく開くのに時間がかかるほどおもたい。連絡帳を開くのでさえ数分かかるため、とても不便。今まで通り、連絡帳はタブレットでなく、ノートに書いてもらいたい。（親も時間割や持ち物の確認がしやすい。）
440	最近、夏の気温が高くなってきており、登下校時の熱中症がとても心配です。実際に同じ通学団の子が、帰宅後熱中症（何度も吐き戻す）になってしまっています。小学校の再編・統合は少子化で仕方ないとは思いますが、通学時間が30分以上にならないように通学範囲の中心に小学校を位置してほしいです。家から一番近い小学校に通えるようにしてほしいです。よろしくお願いいたします。
441	小学校が新しく建て替えられると聞いているが、工事の建て替え期間中、子どもたちが今までと同じように、不便や不自由なく学校生活が行えるのか、どういった環境で授業などを行うのか、その際にはしっかりと説明を聞きたい。最近、アプリで学校からのお知らせを見ることができるようになったのが、便利でペーパレスなのでよいと思う。
442	学校施設は、木の素材で自然と共に学べる施設。教育活動は、国際社会にはばたける英語や他の言語が学べるようにして下さい。
443	特別教室や体育館にも冷暖房の完備をお願い致します。駐車場をロータリー化して、下校の子どもたちとの動線が重ならないようにしていただきたい。
444	他市に比較しても老朽化が進んでいると思います。過ごしやすい環境でのびのび学校生活を送れるように尽力して頂きたいです。また、学校の統合や小規模化で不安な子も増えると思うので、ケアができるような体制を整えて頂きたいです。
445	先生方がゆとりをもって授業や子どもと向きあえる配置等を是非検討して頂きたいです（1クラスあたりの人数や休暇の取り方等）。年間カリキュラムの見える化。または、すでにどこかHP等で公表しているようであれば、1年1回程度見方を教えてほしい
446	学校内の夏場のクーラー、冬場の暖房など、施設環境がしっかりしていれば、行事などにはそこまで重要視はしていないので、体調面のケアに力をいれてほしい。運動会なども学年ごとに分けてもらった方が人ごみで起こる色々なリスクも減ったりするので、コロナ対策を今後もいろんな場面で活かしてほしいと思いました。
447	とにかく不審者対策を強化して頂きたいです。
448	猛暑の中、重い荷物を持って20分以上歩くことは、やはり保護者の立場からすると、熱中症の心配があります。スクールバスの導入を検討してほしいです。
449	教育環境の充実や学習内容の向上も大切ですが、こどもたちの命が安心、安全に守られる環境を最優先に配慮してほしい。外部の人間が簡単に校内に入れたり、性的障害（小児性愛等）をもった人物が入れたりしないように身元調査等しっかりしたい。
450	子どもの個性（発達障害など）に柔軟に対応することができる教育を行ってほしい。
451	自習時間を設けて、学校の宿題をできるようにしてほしいです。プレゼン、ディスカッション、発表の機会を増やし、受動的ではない授業スタイルの確立。
452	子どもの教育環境が充実することはもちろんですが、先生方がゆとりをもって子どもと接することができるようクラスの人数を少なくしたり、教員が増えたりすることが望ましいです。
453	習熟度別の宿題にしていきたい。
454	児童数が減っているので再編、統合は仕方ないかもしれませんが、通学時間の配慮はしてほしいです。例えばバスの利用が可能になるなど…。施設としては、耐震化、不審者が侵入できないような環境整備をお願いしたいです。開放感のあるキレイな学校だと子供達のモチベーションも上がる気がします。教育活動としては、個人の得意なことを伸ばしてほしいです。集団活動も大切だと思いますが、みんな同じでなければいけないという考え方は今の時代に合わないと思います。

455	学校のトイレが汚ないので清潔なトイレ・機能性のあるトイレにしてほしい。体育館にエアコンを早くつけて欲しい。学校施設そのものが暗い色合いなので、もっと明るい内装、外観にしてほしい。学校の登下校の時間を見直してほしい。登校時間をもう少しおそくすることで、通勤で混み合ったり急ぐ車との事故のリスクを減らせるし、睡眠時間を確保できる。校内の清掃は子どもや先生のみではなく、年に数回でも（理想は毎週）清掃業者に行ってもらうなどして、清潔にしていってほしい。
456	児童数の減少のため、再編・統合はしかたがないと思います。その場合、通学距離が遠くなってしまう地域には、いなっピーバスをスクールバスとして出したりして、児童の安全確保をしていって欲しいと思います。また児童減少していくので、学校をもっと地域の人たちが利用しやすいコミュニティの拠点となるようにして欲しいです。
457	エアコンの過度な使用をやめてほしいです（夏の寒すぎ、冬の暑すぎ）。持ち帰る荷物を減らしてほしいです（クラスや学年によって違う時がありました）。算数セットや中学の技術の道具など、学校の貸し出しで使わせてほしいです。（そんなに使用していないのに捨てるのはもったいないです。）
458	避難所にも指定される場所なので、空調設備がある体育館（もしくはエアコン等を設置する）になって欲しいと思います。
459	現在、小・中計3人の子供がいます。子供の人数の減少により、クラスの男女の人数の片よりや、各地域の子ども会の人数も減り、地域の方々との交流の場も以前より減少し、周りの大人とのコミュニケーションも少なくなっています。それにより、家の中で過ごす生活も増え、この先将来の子供達の姿に不安をもっています。又、中学校も1つの校区の為、他の学校との交流も少なく、又、教員不足と教員の働き方改革の為、子供達の授業や部活にも影響がでています。部活の時間も減り、部活の種類も減り、運動できない子が増え、家の中での生活が増えてきています。学校の統合により、教員の数の確保、子供達の間人関係をいろんな形で見直し対応できる、幅が広がると思うので、統合に関して早めに対応していただけるとありがたいです。
460	不登校が年々過去最多を更新しています。現状は、在籍している小・中・高校に行くか市が認めたフリースクールに行かないと「出席」扱いにはなりません。欠席日数が多いことで、特に中・高校生はその後の進路が狭くなってしまうこともあると思います。学校に行きたくても行けない子もいるので、オンライン授業も導入して、オンラインでも受けたら出席扱いになるという方法も出来たら良いと思います。
461	体育館にも空調設備をつけるべし!!夏の暑さをなめてはいけないと思う。せん風きだけじゃマジ無理。会議等で大人が決めると思うが、自分達も、夏の体育館でせん風きだけの状況の中で会議すべきだと思う。自分達が子どもの頃は～とか、ぜいたくだ!とか考えが古い。子どもの事をきちんと考える大人が決めてほしい。
462	不登校で学校（クラス）に行けない子の居場所を作ってほしい。カウンセラーがいつもいてくれると良い。複数人いると良い。
463	必要な状況にあるのならば、小学校の建て替えが完了する前でも、他校との合同行事やオンライン授業などで、交流や切磋琢磨する機会を与えられる様、工夫してもらえたらと思う（全ての行事を合同という訳ではない）。設備の新しさだけでなく、工夫や生徒に寄り添う姿勢で魅力的な教育になって欲しいと思います。
464	現行の学校配置のまま、すべての小学校を建て替えることは現実的ではない。再開発によって児童数が一時的に増加する地域があることを踏まえて、再編統合を検討する際には、ある程度の範囲（中学校単位）で柔軟に対応できるような配置を望みます。それによって通学距離が長くなるようであればスクールバスの導入もアリ。また、従来の学校の概念に捉われないことなく、市民センター・公民館、図書館等の他の公共施設と共有することで市全体の建物コストを削減してください。放課後児童クラブは小学校の敷地内で実施することが理想的だと思います。
465	再編・統合を行わない学校であっても、バリアフリー、スロープ、エレベーターetc. 多様性に配慮した環境は必要であると思います。
466	小学校、中学校とも古いので新築していただきたいのですが、市内にはもっと築年数の古い学校があって驚きました。トイレをきれいにしてほしいです。
467	少子化が世の流れなのは理解しています。だからこそ、子供に国がお金を出すようにできないものかとも考えています。子供の数、質こそが国力の元。連日ニュースで子供がぎせいになったり、教員の方の切ないさげびを聞いていると、国、教育の根本を変えないといけないと思います。

468	息子が学校で便意を感じても、洋式トイレに入るのが恥ずかしいからと、便をがまんすることがあるようです。老朽化とは関係なく、トイレをすべて個室トイレにしてほしい。通学路の横断歩道で児童の保護者が交通当番で見守っているが、親の負担が大きいのでなんとかしてほしい。幼児がいる親は親と一緒に交通当番に来るのでとてもあぶないことがある。
469	体操服で登下校できる様にしてほしい。ヘアゴムを黒などの色で統一して欲しい。
470	とにかく施設が古くて耐震性や衛生面でも心配です。
471	下校時の旗当番をやる意味がないと思います。稲沢市だけ下校時に旗当番をやっています。他の市はやっていません。そのせいで旗当番のたった数十分のために有休取得しなければいけません。そのかわりに土日出勤していて、家族と過ごす時間が減っています。下校時だけ会社を抜ける事はできないので、どうか下校時の旗当番を廃止して下さい。よろしくお願いします。
472	小学校の再編・統合はやむをえないですが、気温が30度を超えるような日に、徒歩30分以上の通学が発生しないよう対策していただきたい（例えばスクールバスの導入）。子供が安全に通える環境づくりを第一にしていきたい。
473	教育活動について、子どもたちが活発に、発言や議論できるような授業をとりいれてほしい。授業参観では生き活きとした姿をみたい。
474	通学路で細くて遠回りの道（車も通るけどたまに）を安全重視なのか？逆に危険です。変な人も現れやすいし、たまにの車が危険すぎる。集合場所までの道が通勤車と重なり危険→集合場所をもっとこまかくするべき。もしくは、道路を通学時間は通行禁止にしてほしい（抜け道で使う道の為）。下町西（公会堂あたり）の抜け道です。
475	子どものことを1番に考えていただければと思います。
476	その場しのぎの増築や改築ではなく、将来をしっかりと見据えたうえで対応してもらいたい。子どもたちにとって何が一番かを常に考えてほしい。地域住民のためという役割りも大切だが、学校は子どもたちの居場所、子どもが主役であることを忘れないでほしい。
477	いつも先生方にはお世話になっております、これからもよろしく願いいたします。
478	空調やトイレの設備を早めに検討して頂きたいです。
479	小学校にも子どもが学校に着いたかという確認メールがほしい。トイレを直してほしい。
480	グローバル化やICT化など社会情勢の変化に応じた教育や多様性を尊重し、自発的、自主的な学びを支援できる教育環境になるとよいと思います。施設整備に当たっては、特に空調やトイレの洋式化は必須だと思います。また、地域への開放、拠点とするよりも、児童の教育環境の充実を優先していただきたいです。
481	学校施設、教育活動を考えると同時に、稲沢市内に住んでもらい。生活しやすい環境も考えるべきだと思います（子育ての充実感をメイン）。
482	P T A、子供会の廃止。夏（暑い時期）のスクールバスの運行。夏休みの短縮化。ランドセル以外の通学カバンを認めてほしい。低学年には重いので、身体の成長への影響が心配。運動会を涼しい時期に。（9月の練習は今後の気候を考えると暑すぎるので。）
483	子どもたちに、「しょうがない」とか「がまんすれば」とか「がんばれば」思わせるのではなく「〇〇すればできるようになる」とか「〇〇があればうまくいく」と、大人が工夫やアイデアをだして子どもにとってよい環境をつくってほしいです。全国にほこれるような学校、モデルになるような特色ある学校を作ってほしいです。スクールバスの検討もお願いします。
484	P T A、子供会を廃止、または外部委託して下さい。そういうものが煩わしいから子供つくらないと話している人たちがいました。そして今がんばっている保護者も苦しめられています。保護者も子供ものびのび過ごせる環境をつくって下さい。施設もなくすのではなく、いずれ子供が増えたときは、また小学校として復活させられるような、活用の仕方をして頂けたら、少子化を助長させるような形にならなくていいのではないかと思います。
485	今後少子化はますます進むと思いますが、マイナス面をプラスに考えたらどうでしょうか。クラス替えができないなら、他学年との関わりも増え（増やしたり）その地域性を活かせることもあると思います。
486	古い校舎について、建て替えの費用が用意できないとのことですが、せめて外壁塗装をして、校舎を明るい雰囲気にするのはいかがでしょうか。熱中症警戒アラートが発令されている時は、体育の授業を行わないように、市が取り決めをしてほしいです。

487	登下校は、私服ではなく、体操服が良いと思います。学校生活をおくる上で私服での学校生活は、いじめにつながることもあるかと思います。社会見学や修学旅行とイベントの時のみ私服登校をOKにするなどしてほしいです。ヘアゴムは、アクセサリがついていない黒か紺でお願いしたいです。私服でもですが、あの子はダサイ!!だから嫌だ!!など、そのようなこともおきています。また、ヘアゴムに関しては、「なんでいつも黒いゴムなの?」、「かわいくない」など、実際に我が子が言われることがありました。私服とヘアゴムは、学校へ遊びに行っているのではなく、学習の場なのでオシャレは必要ないと思います。よろしくお願い致します。
488	学校施設→現在、子どもが通っている小学校のトイレは老朽化が進み、前を通ると悪臭がします。もちろん子ども達が掃除しているのも原因かと思いますが、子どももトイレが汚いと言っています。また、和式しかないトイレもあり、洋式を増やした方がいいかなと思います。毎年アンケート結果でも出ていますが、改善されません。 教育活動→支援級があり、クラスにも支援が必要な子どもがいるのは理解しています(保育園から同様な環境なので子どもも理解しています)。ただ、トラブルになった事があり、手を出され、子どもは我慢しました。先生方とお話しして、十分に対応していただけていますが、先生方の人数の限界はあります。そもそもの対応される先生の数を増やして、子どもが安全・安心して通えるようにして下さい。
489	何にしる、もう少し先を見越していろいろ早めに対策をして欲しい。
490	東海地震や南海トラフ地震は30年以内に起きると言われているので、耐震性のある校舎を望みます。その際は、地域の人の避難場所になるので、安心できる場所がいいです。トイレは早急に洋式化・綺麗にしていきたいです。
491	トイレの改善をお願いしたい。学級文庫の種類、冊数を増やしてほしい。
492	体育館は子供達にとってとても大切な施設であるので、冷房は入れて欲しい。夏でも運動ができるように。教育活動ではいくら専門性のある教師だとしても、複雑で専門用語ばかり。高いものを求められても、子供はついていけずその教科を嫌いになったりするので、人間性も見ていただいて配置(教師の)をしていただきたいです。
493	クラス替えができない、担任の先生があまり替わらないよりも、色々な生徒と関われるよう、クラス替えが問題なくできる4クラスぐらいがベストだと思われる。上の子が、5クラス規模(低学年は6クラス)だったので、運動会などの行事が大変でした。学区の変更などで、転校したり、上の子が在籍している為に残るなど、兄弟で、稲東、下津と別れてしまった方もいたので、統合などは、計画的に進めて頂きたいと思う。
494	我が子が入学のタイミングで下津と稲東に分かれる事が決まり、いろいろな議論がされた中で、教育委員会の対応は、正直中途半端な事が多かった気がします。学校が分かれたり、統合する事は仕方のない事だと思いますが、それに付随するものについて、もう少し責任を持って頂きたいです。子供が最優先なのは当然ですが、それ以外の部分での親の負担もかなり多いと思いますので、よろしくお願いします。
495	年々、危険な暑さになってきたため、学校までの距離が長いと、熱中症が心配なため、その際は気軽に迎えなど行けると嬉しいです。熱中症アラートが発令されている時などの体育が心配です。体育館にエアコンがついたら嬉しいです。
496	下津校区ですが、3マンションがたち、子どもがあふれたことで同じマンションなのに違う学校に通っています。校区が変わるとい話がでたときに、市の担当部署の人は子どもがふえる見込みが予想以上だった、計算をミスったと言っていました。結局ギセイになるのは子どもです。そして親です。今回はしっかり数も築年数もでているので、できる限り子どもの負担なく進めて頂きたいです。丁寧な説明もお願いします。決まってからではなく、途中途中も知りたいです。途中で校区が変わる、と分かっていたらここに住んでなかった位のできごとでした。
497	年々気温が高くなり、またコロナ等で制約がある中、大変ですが楽しく登校できています。ありがとうございます。時代に合った環境設備(エアコンなど)があると安心して生活できるかと思います。ルールづくりや換気、感染症対策など問題は多々あると思いますが、様々な点で検討して頂けると嬉しいです。またウォッシュブル機能付きのトイレや多目的トイレなどの設置についても、子どもたちだけの手で掃除には限度があります。外部からの業者などして子どもや先生方の負担とならない方法を希望します。同業種の私としては、責任がある職業であるがゆえ膨大な仕事、親対応でとにかく大変なことが分かります。先生方の負担が少しでも軽くなるような環境、子ども達と一緒に心から楽しめるような社会になるといいと切に願います。

498	ある程度の人数がいる環境で、学校生活を送れる方が、私は良いと思っている。そして、老朽化も考えると、再編、統合も考えて良いと思う。子ども的人数が少ないのに、改修するのは、予算が潤沢でないのであれば難しいと思う。良い環境の中で、学生生活を送って欲しいと思うので、再編、統合もいたしかたないと思う。学校施設数が減れば、教員不足も、少しは解消すると思う。そして教育活動が、充実していくのではないだろうかと思う。
499	年に数回しかないクラブ活動をもっと積極的に行ったり、運動会での金管バンドもなくなってしまったので、授業以外の活動をもっと増やして欲しいです。子供達にも良い経験になると思います
500	災害が多いため、学校の老朽化は児童のみならず地域住民にも影響がある問題ということが改めて分かりました。しかし、学校を運営するには、人にも物にも予算が必要ですし、世間で言われているように教員の負担軽減や教員の専門性別授業を推進していくには、人にも限りがあることと思います。今後の小学校再編・統合は仕方のないことだと考えますが、現在通学されている児童と養育者に丁寧な説明をして頂きたいです。下津地区・稲沢東地区の再編の際も何度もご説明を頂きました。そのような対応を含めて検討していただきたいです。
501	和式トイレを洋式に変更してもらいたい。
502	大人よりも熱中症になりやすい子供に配慮した活動であって欲しいです。下津小学校は毎年7月下旬にキャンプを行います。何故真夏に行く必要があるのだろうかと思います。
503	小中学校の体育館へ冷暖房設備を設置してください。和式トイレを洋式化してください。中学の部活時間を確保してほしい。先生方の負担は軽減してほしいので、各部のコーチを地域の大人や保護者から募る。スポーツ少年団の形式。
504	雨もりや鍵のかけづらい体育館をきちんと修理又は、建て替えをお願いします。今年のような猛暑を考えると体育館にエアコン設置してもらいたいです。教員不足を対策して、教員のレベルアップをはかり、子供たちのよりきめ細かな教育、環境がととのうことを期待します。子供たちが学校に行くのが楽しみになる教育をお願いします。又、先生たちの仕事量が多すぎるとよく耳にします。今一度精査し、先生方の意欲が失なわれない様、お願いしたいです
505	1人1台タブレットが配られているのに活用されている感じは全然しません。教室環境が悪すぎると思います。各教室にインターホン設置、プロジェクタースクリーン、教員タブレットと児童タブレットのつながり、家でも学校とつながるICT（名古屋では全部当たり前です）。何でこんなに違うのか疑問です。毎日全校一斉下校も必然なのでしょう。先生たちの働き方改革も含めて、再検討すべきだと思います。下校時刻遅過ぎます。校舎のトイレが汚なすぎで子どもたちがかわいそうです。
506	施設がとにかく古くて汚ない。
507	教育委員会へお話しする事ではありませんが、人口の減少を考えるべきかと思います。稲沢に住みたい、（家を建築できるよう）努め、住みたい街づくりにすれば、税金も増え、古い、汚い学校の建て替え費用も捻出できるのでは？学校教育もオリジナル、今の時代に合った教育に取り組む、取り入れるべきです。改革しなければ。皆があこがれるような何かをするべきです！
508	教員の指導を受動的に受ける学びから、子ども自身がテーマを決めて探求的に学ぶ教育へと転換して行ってほしいです。また、ICTを活用した学びを進めていくためには、タブレット端末での各自の学習状況（意見・考えのまとめ）と共有できる大型提示装置が必要であることから、プロジェクターの名教室への設置も進めてほしいと考えます。
509	トイレはきれいにしてくれたらうれしいです（洋式）。
510	トイレの衛生面整備を最優先していただきたいです。清そうスタッフ導入の検討、「音姫」などを活用しプライバシーの確保もいじめを防止するために必要かと考えます。通学問題は通学バスを導入してもいいのではないのでしょうか。
511	トイレが常にくさい。
512	和室トイレの改修を急いでほしい。和室で用を足すことができず、洋式トイレまで行き放課時間が終わってしまうという不便を強いられてきました。6年間要望しましたが、もう小学校を卒業する学年です。時代に合った環境整備をしてほしいです。この後の子供達の為にも、よろしくお願いします。
513	下津小学校の南校舎のトイレにスリッパありますが？まだないのなら、不衛生です。中学校の校舎において、教室で夏に寒いほどエアコンをきかせているとのこと。生徒の多くが夏なのに上着をはおっているとか。おかしいですよね。先生、授業して下さっている時、そんなに暑いのですか？外との気温差で体調悪くしませんか？
514	子供達、トイレが汚いと言っています。清潔なトイレへ。

515	運動会、キャンプは、確実かつ早急に（来年には）時期を10月下旬又は11月にずらす必要がある！教員、児童共にどれだけ負担かご存知か?! キャンプについては、真夏に長袖でやらされる。危うく熱中症で倒れるところであった！運動会については、他県ではあるが死者も出ている！「変わる」勇気を持つ事に期待する。この実態を変えない限り、設備をどれだけ変えようが何も変わらない。
516	老人ホームと小学校を一体化すると、避難所として高度になる。また、コミュニティ活性化にも役立つと思う。
517	建て替えまでいかない学校も、せめてトイレはキレイにしてあげてほしい。稲沢市内の全この学校のトイレをウォッシュャブル機能付きトイレにしてあげてほしいです。
518	プールの管理・維持、教員の負担等を考えると、プールは不要。送迎等の問題はありますが、1時間の授業ではなく、2時間の授業にし、民間のスイミング施設で専門の方の指導で授業を行うなどできると良いと思います。また、着衣水泳も授業内で行い、水難事故の危険も学ぶ機会があれば良いです。
519	子どもたちが安心して遊べる場所が少ないと感じています。児童館をもっと充実させてほしいです（子どもたちが行きたいと思えるような場所にしてほしい）。子どもたちがボール遊びしたり、走りまわれる場所がほとんどないです。
520	今年、プールの授業が、施設の老きゆう化により故障をし、何度か授業が中止になった事がありました。子供が少なくなる事により、校舎について考える事も必要ですが、同様にプールの授業の方法についても考える必要があるのではないかと思います。TVでは、スイミングスクールに委託授業をしている所もある事を見た事があります。管理費より、委託料のほうが安いとか…。又、いつのまにか、皆が泳げる事になっているのがあたりまえ（特に中学校）のような指導が気になります。それで成績がつけられるので、親は小学生のうちにスイミングスクールに入れ、泳げるようにと通わせます。中には金銭的に負担ができず、通えない子もいると思います。英語も同様です。もう少し子供が心にゆとりをもって授業に取り組めるようにして欲しいです。
521	通学の安全確保という考えの中に、「通学路の整備」も一緒に考えていただきたいです。雑草が生い茂り、道路や歩道を半分以上覆っている場所が通学路に指定されていたり、大雨で冠水してしまう所があり、通学路であるにもかかわらず迂回していたり。街灯がなく、夜にはどこからが側溝なのかかわからないという場所も通学路になっています。学校施設が充実する事だけを目的とせず、幅広い視野で周りとの連携を取り合い、地域全体で教育環境を整えていく事が、稲沢の未来につながると思います。子ども達の未来を真剣に考えて下さい。いつもありがとうございます。よろしくお願い致します。
522	統合がすすんだ場合、通学バス等必要になるのでしょうか。不登校の児がふえているので、適応教室の充実をお願いしたいです。利用時間が短い（10時～14時）ため、送迎がむずかしい方もいるかもしれないので。
523	
524	体育館にクーラーを付けて下さい。学校内のトイレがきたない様で、なかなかトイレに行けない時がある。がまんすることがある。
525	空調整備とトイレの設備だけでも古い所を優先で整えないと子供達がかわいそうです。
526	現状の学校トイレは、暗くて狭い、汚い・臭う等の問題があり、子どもが安心して使用することができず我慢してしまうこともあるようです。今後、児童・生徒の健康向上の為に是非、便器の取り替えのみにとどまらず、デザインやプライバシーも考慮した令和の最新仕様の学校トイレ、手洗いを考えて頂きたいです。エレベーターの設置が必要だと思います。
527	トイレ清掃に業者をお願いしていくことを検討してほしい。子どもだけの清掃では限りがある。また教員に清掃の負担をかけると、本来の教育活動が蔑ろにされてしまいます。先生方の負担にならず、子どもが安心して使用できるきれいなトイレが必要だと思います。夏季の体育館で、体育の授業をすることに不安があります。先生方は風通しのことを気にかけて指導をしてくださいますが、体育の授業での運動自体への安全配慮にも気を配り、大変負担が大きいと思われる。子ども達の充実した教育活動を保障するために、体育館のエアコンの設置を早急にしていただきたい。予算の関係もあると思いますが、現場の教育活動を支える先生方への負担を減らして、子どものために力を発揮できるようにしていただきたい。
528	通学にスクールバスがあると良いと思います。学校まで遠い為。
529	旗当番は共働き世帯が多い中、負担が大きいため、市の費用にてシルバー人材の方などで行って頂きたい！

530	名古屋から、10分程の通勤圏にある稲沢市の立地メリットを生かして、稲沢に住めば、子供がITに強くなる、英語が得意になる、プログラムが得意になる等何か強い特色を出していけば、人口が増え、税収も増え、相乗効果が起こせると思う。教育委員会の中で革新的な発想をもってチャレンジしてほしい。
531	先生方の負担が大きすぎるのであれば、丸つけやそうじなどの作業は外部の方に依頼し、子供と向き合う時間をもっと作ってほしい。部活動もなくなっていく方向のようだが、外部コーチを導入してでも、様々な体験ができるような学校であってほしいと思う。エアコンの温度調節がもっとしやすくしてほしい。寒かったりしてもどうにもできないと言っている
532	下校時の旗当番は必要ですか？他の市はやっていないのに稲沢だけやっているのはなぜですか？旗当番のたった数十分のために有休取得しなければいけません。そのせいで土日の休みが取れず家族と過ごす時間が減っています。下校時だけ会社を抜ける事はできません。どうか下校時の旗当番を廃止して下さい。よろしくお願いします。
533	もし老朽化した学校を再編・統合するならスクールバスなど運行してくれると良いと思う。
534	建て替えをするなら、子どもたち一人一人にスペースを確保してください。荷物が重過ぎます。習字道具、タブレット、上ぐつ（金曜日など）を雨の日に、炎天下にランドセルを持ってさらに両手で持って…、大人でも大変なことをさせています。学校に荷物を置いておくスペースがないから仕方がないのだと思いますが、一刻も早く改善をお願いしたいです。一度、炎天下で、子どもと同じ条件で登下校をしてみただけであれば、早急に改善が必要と分かっていただけだと思います。
535	トイレがきちんとそうじできているか不安です。ろう下も汚いし。清掃業者にたまに来てそうじしてもらってもいいかなと思います。下津小の体育館建て直しを望んでいます。コロナ禍の時のオンライン授業を休んだ時にもしたい。PTA役員がとても苦で、やりたくなくて生きるのつらい。稲沢市の一斉下校システムとても良いです。一宮市の友人からうらやましがられます。いじめがあった場合、いじめた子を他の学校へ転校させてほしい。いじめがあったら親が、教室で監視してもいい。一宮市みたいに学校公開をしてほしい。
536	統合になる場合の通学手段は、スクールバスを活用できると良い。
537	トイレの悪具がひどい。衛生的にも良くないのでなんとかしてほしい。
538	学校の和式トイレを洋式にして欲しい。プールの老朽化がある。民間スポーツクラブに委託してはどうか（指導も）。大塚山の改修は市から補助で行えないか？子供がずっと待っています。5・6年生の校外学習がない。校外学習も2回→1回になったが、他の学校は年2回、5・6年生も行っているところもあるようです。コロナ流行後なくなったまま、減ったままになっている行事等の見直しはされているのでしょうか。「なぜ稲沢市はお金がないの？」と子供に聞かれます。限りはあると思いますが教育・子供の安全は優先順位は低くないはずです。皆の声が届くことを願います。よろしくお願いします。
539	クラス替えができない小規模な学校は、子供同士や親同士の間関係が一度崩れてしまうと、その後とても辛い、我慢をしなくてはいけない数年間が続くと聞きました。学校の在り方によって、子供や親が楽しい生活を送れなくなってしまうのはよくないと思います。どの学校も2クラス以上必要だと思います。
540	同じ稲沢市内でも、トイレや学校施設にとっても差がある様に感じます。また、現状は小学校の体育館が災害時の避難場所に指定してあると思いますが、空調設備が無いのに、暑い夏、寒い冬はとても過ごせる場所では無いのではないかと思います。高齢化の進む現状ですが、もっと市の予算を教育に回して欲しいと切に思います。宜しくをお願いします。
541	現況では、4年生、5年生、6年生のトイレが和式だと子供から聞いております。和式トイレを利用したことがなく、その学年になったらと子供が不安に思っています。洋式トイレに変更される予定はありますでしょうか。
542	学年が上がってゆくと、通学時間は多少長くても大丈夫と思えるけれど、低学年の時は近い方が良く、保護者の負担も大きくなってしまっているので困る事が多くなると感じます。大里中学校は、私も通学していましたが、ほぼ当時のままでとても古く感じ、災害時は大丈夫なのだろうかと不安に感じました。もし統合など行っていくのであれば、地域住民の声を聞いた上で決めて行ってほしいです。学校の近くだと思って引越して来る方もいると思うので。
543	学校行事の時に使えるトイレが和式のトイレしかなく、小さい子をトイレさせるのが大変。子どももトイレしたくないとガマンをさせてしまうため、洋式のトイレにしてほしいです。

544	<p>稲沢西小学校では、水泳の授業をNASスイミングスクールに委託していると聞きました。市内でこのような教育格差が生まれるのはなぜでしょうか。同じような環境、内容を受けるとは思います。また保護者にそのような説明がないのもおかしいと思いました。子供たちからは体育館横（プール横）のトイレと高学年校舎のトイレの老朽化が激しいので、使用したくないとのこと。大塚山の遊具が老朽化により、使用不可になっているのも残念がっています。事前に予算内に組み込むよう（数年前から）もっと早く計画的に取り組みをしてほしい。この老朽化問題に対しての対策も遅すぎると思います。</p>
545	<p>高御堂小学区は数十年前から教育環境や家庭での考え方が全く違う為、統合は絶対に反対です。</p>
546	<p>今後ICT教育を推進するにあたり、今の稲沢のオリジナルシステムでは限界を感じる。近隣市町村（清須、あま、北名古屋など）とコンテンツの共有化を行うべきである。大塚地区においては現状の小学校を残したまま、農地（田んぼ）に新たに敷地を設け新築し移行していくのがベストであると考え。なお、現在の大里地区への中学校越境通学は、通学路整備されていない問題があり、危険箇所が多い。国府宮～文化フォーラム沿線開発に合わせ、小・中一体型の学校施設の整備を行っていただきたい。</p>
547	<p>私は数年前に稲沢市に引越してきました。その時思ったのは、どの学校も古くて老朽化がひどいなあとということでした。今回学校施設の築年数を知り、納得しました。また、学校（小学校）が多い印象でした。そして子供が小学校に行くようになり、学級数の少なさが気になっていました。再編・統合はいたしかたないのかなとも思います。ただそれにより、アンケート内にもありましたが、通学が大変になったりしてしまう心配もぬぐいきれません。全国の同じような状況の市や県などがあるはずですので、そういった色々な例や案なども調べ上げ、取り入れて良いものを残し、子供たちの学びを支えたいと強く思います。引越してきて良かったと思える環境になればいいなと思います。</p>
548	<p>現状、2学級しかなく、人間関係（いじわるをされたり）に悩んでいる姿を見ているので、3学級以上あればいいのと思うことがよくあります。建て替え等で統合する場合は、学級面では少しいいかもしれませんが、通学時間が長くなったり、それによる旗番の負担を考えるとスクールバスを導入してはどうかと考えます。海外では、送り迎えが基本とあたりします。新しい設備で学びの機会を与えられるのであれば、新常職で取り組んでいくのいいのかもしれませんが。インフルエンザでのオンライン授業等、今後の教育の向上を期待しています。</p>
549	<p>下校後も学校で宿題などできる開放を行っているといい。友だちと集まれる場所がなく困っている。外で遊ばせるのは今の社会だと心配なため。</p>
550	<p>学校内のトイレ、和式になっているので、洋式に替えてほしい。学校によって、遠足がある所とない所があるが、なぜなのか、不思議。他の学校は、遠足あるのに大塚は、春の遠足がないのは、子供達が不平を言っている。</p>
551	<p>現状に不満ないので、現状のままを望みます。</p>
552	<p>トイレの古さ（和式）が原因でトイレに行く事を嫌がり、極力水分を摂らないなど弊害が出ています。トイレは大人が考えている以上に子供にとってのストレスとなるため早急に解決すべき点だと思う。プールは各学校に必要ではなく、どこかの施設に行けば良いと思う。気温が高い日が続く、過酷な環境だと思うので運動する場所についても冷房できる環境を整えるべきだと思う。登下校も、（体育館等）日かげのない田んぼの真ん中を、必死に歩いている所を見ると、本当に命にかかわるのではないかと思う日が多かったです。ランドセル登校ではなく、リュックなど各自選べるようにしてほしい。お茶も家から持っていくものだけでは絶対的に不足、水を飲んでいるようです。学校の蛇口から出る水は安全ですか？その点も心配です。最低限命を守れる施設であるよう考えて欲しいです。</p>
553	<p>個々の学力がもう少し上るよう、きめ細やかな指導があると良い。（例）理解できない部分があるまま新しい事（部分）を始めるとどんどん遅れていく。体育館のトイレをキレイに建て替えて欲しい。学校の児童以外も地域の方も使用するのに、気持ち良く利用できるトイレとは、とても言えない。</p>
554	<p>小学校のトイレの老朽化がひどく（特に高学年）、あまりトイレに行きたくない和我慢することも多いようで、早くトイレを新しいものにしてほしいです。</p>
555	<p>大塚小のトイレを全部洋式にしてほしい。</p>
556	<p>夏場の気温が年々上昇しているので、登下校時に熱中症にならないか不安です（特に下校時）。夏場の下校時だけでも、送迎バス等の対策を考えていただきたいです。</p>

557	タブレットを入れたランドセル、水筒に上ぐつ、習字道具などを持って大雨の中、夏場の暑い中、片道最大60分を歩く、国の基準をどう思われますか？小さな体でありえません。老朽化した校舎を建て替えるついでに再編・統合は仕方ないですが、長時間歩き続ける生徒が出る事は問題だと思います。今年は部活帰りの中学生も亡くなりました。この事を重く受けとめてほしいです。校舎を新しくすればいいではありません。設備が新しくなる事は大変良い事だと思います。環境が良くなれば子供もよるこびますが、登下校で疲れ果て、授業を受けても身につかなくなるのでは本末転倒です。大変むずかしい問題ではあると思いますが、「通学」に関して最大限の配慮をお願いしたいと思います。せめて「町名」と「学校名」を結びつける、「中学校区に合わせる」ような安易な決め方はやめていただきたいです。
558	体育館に冷暖房設備。通学時、ランドセル以外のかばんで登下校。浄水機・水飲み場の設置。3階建てまでの校舎。長ぐつの入るげた箱（高学年になると高さが足りない為）。
559	問2のバリアフリートイレやスロープに関しては、今の時代新しく建て替えるのであれば当然あるべきものだと思います。そして、それらは障害の人だけの配慮ではなく、健常者においても骨折などで、一定の期間車イスの時があるのでバリアフリー、スロープに関してはオプションではないです。
560	通学に30分以上かかる場合は、真夏だけでもスクールバスを準備するなど何か対策をとってほしいです。廃校になる学校にまだ児童がいる状態で次の施設の工事をやるような事はしないようにお願いします。
561	大塚小学校のトイレ（高学年用）をきれいに整備して頂きたいです。オンライン化が進む中で、毎年新学期に家庭環境に関するシートを手書きで作成しなければならないのは、大変不便です。時代に見合う、楽な方法で入力・提出させて頂きたいです。
562	施設の老朽化によって教室などの安全面の不安もあるが、特に衛生面において、トイレの環境は早め早めに対応をして頂きたいと感じます。老朽化などこの学校も同様の状況で、予算に組みこむ制限や限度があるのならば、小規模の小学校を継続していくよりは、建て替え、再編・統合していく方が、安心、安全な学びの環境を子供たちに提供できると思います。学童保育も室内になるが、1日室内で勉強、読書、遊びで過ごすより室外で過ごせる環境があると良いと思います。学校敷地内にあると良いと思います。
563	子供の減少によって小学校数が減るのは仕方がない事だと考えます。しかし必然的に通学距離が増える子供が出てきます。その時の子供の負担、保護者の負担を考えると、徒歩での通学一択ではなく、スクールバス等の選択があれば良いかと考えます。夏の暑い時期に子供が60分も歩くのにはリスクが多すぎます。何卒ご検討下さいますようよろしくお願い致します。
564	高学年のトイレが和式で、古く、さびているようで、トイレをがまんして下校する時もあります。全学年、洋式のトイレに変更していただくと幸いです。
565	学校の中のトイレをきれいになおしてほしい。子供が極力学校でトイレに入らないでがまんして帰ってくることもある。
566	トイレの老朽化…やっぱりトイレは新しい方が気持ちがいいです。さすがに古すぎて。算数などわからないままにならないように担任の先生以外にみていただける先生が授業の時に毎回いるといい。カウンセラーの先生はどこの小学校にも必ず1人はいてほしい。※子供の事で相談したいことがあった時に、他の小学校まで行かなくてはいけなかった。なんだか???)と思い、相談する意味があるのか…とってしまった。
567	稲沢北小のトイレは古くて汚く（校舎による）、娘が低学年の時はトイレに行くのが嫌で、1日1度も学校でトイレをせず帰宅していました。健やかな学校生活を送り、心穏やかに楽しく学習するためには、トイレなど学習環境を整えていただきたい。
568	校舎老朽化、少子化に伴い、児童、園児の学習環境は日を追って悪くなるばかりである。稲沢市として、何が一番の対策となるか、専門家、地域住民、保護者と早急に協議を始めていただきたい。
569	公立保育園の再編を経験しましたが、事前の説明が十分でなかったため混乱が生じました。もし、再編等になった場合、市職員の方同席の上、説明頂きたい。
570	両親共働きは増えていると思います。登下校のハタ当番のために有給、児童が減れば回数が増えます。病気の迎えはしかたないですが、急な雨や番などの引き渡し下校も年に1回あるかないかではありますが、無理な事もあります。5年、6年のキャンプや修学旅行の次の日の時差登校も通学団の人数が少なければ1人で行くか親が送るかです。早帰りではダメなんですか。
571	稲沢北児童クラブの建物が、狭く、小さすぎます。児童にも、職員の方にも、大変ストレスがある様に感じます。共働き世帯も多く、利用を希望する方も多にように感じる為、建て替え等を検討して欲しいです。

572	今後、学校施設の老朽化が進まないよう、10年、20年に一度、小規模でも良いので改修する点をチェックし、実行するように決まりをつくると思います。
573	再編は時代の流れで必然だと思いますが、これを機にプラスαとなるような学校機能の見直しに期待しています。
574	稲沢市に大規模改修の目安となる築40年を経過した小・中学校がこんなに多いことに驚きました。正直未来の日本を支える人材を育てる教育を、国も地方都市もおざなりにしすぎだと思います。給与水準が何十年も変わらず、少子高齢化につき進んでいく日本を活性化させていく担い手になる子ども達が学ぶ場所に、もっと資金を、教育にあたる人間を増やしていくことは、すぐにでも果たすべき責務だと思います。とにかくどこに優先的に限られた予算をさくべきか？子ども達の充実した教育現場の実現を早急に叶えていくことを願います。
575	稲北小のグラウンドは大変広く、子どもたちは、伸び伸びと活動することができています。しかし、特に冬場の伊吹おろしが吹き荒れる季節になると、グラウンドの砂が舞い上がり、目を開けていられない状況です。そんな中でもスポ少の野球の練習で1日中グラウンドで過ごすことがあります。目に砂が入り真っ赤に充血することもあります。最近では、グラウンドの「くぎ」が問題となりましたが、それと同様に砂ぼこりも子どもたちの体に害を与える問題であると考えています。広いグラウンドで子どもたちが安全に楽しく活動できることを願っています。本アンケートとは直接は関係ありませんが、せっかくの機会なので書かせていただきました。宜しくお願い致します。
576	学校のプールの件をニュースで見て、膨大な維持費や先生方の負担、また生徒達が野外のプールを使う事を考えると（熱中症のおそれ）、なくしても良いのかと感じます。
577	P T A、子ども会をなくしてほしい。時間のムダ。月の集金が高くなってもいいので民間へいたくして下さい。
578	少人数でほぼ同じメンバーで学年が上がっていくことに不安を感じる。世の中にはとても多くの人がいて、社会人・大学生になった時知らない人と交流できるのか心配である。学校施設が古いことは仕方ないとしても安全は絶対だと思う。
579	少子化が進む、かつ老朽化の中、建てかえも一つの案として有効だと思いますが、公共施設のため、耐震条件がクリアになるのであれば、現在の建物は避難所とし有効だと考えます。経費をおさえ、かつ住民に活用されることを望みます。※ICTが進む校区に居住しているのは、とてもありがたいです
580	屋内プール又はプール、運動場に屋根やサンシェード等日陰になる場所を作って欲しい。地域の方と連携しての体験学習（田植え等）は続けて欲しい。
581	学校の統合により、徒歩での通学時間がネックになる（特に低学年への負担大）。その場合は、スワールバスの検討もした方がよいのでは。
582	通学の手段としてスクールバスの検討を要望します。夏の暑さの異常さ、車から危険、風の強い土地柄、1人歩きなど様々な問題に対応できると思います。
583	再編・統合により通学に30分以上かかってしまう児童のためにスクールバスの導入が検討できればいいのではないかと思います。乗車、降車場所やルート、予算など課題はたくさんあると思いますが…。
584	いつもありがとうございます。先生方の頑張りにもいつもありがたく思っています。施設等については、最先端にするという希望はありませんが、防犯、防災はもちろん子どもの健やかな成長を意識しています。毎日持ち運ぶことになっているタブレットの重さや、草木がおおい茂っている箇所等はやはり不安になります。又、学校生活で大人数が使うトイレなども同じく気になりましたのでコメントさせていただきます。少しずつでも改善されると良いと思っております。以上、よろしく申し上げます。
585	木のぬくもりが感じられる校舎ができると嬉しいです。
586	部活動を行ってほしい。名古屋市では、学校の先生が部活の指導を行うのではなく、運動・文化活動をしている事業の指導者が部活動をしている。子供たちの運動不足の心配だけでなく、色んなスポーツや楽器などに触れたり出来て、とてもいいと思うので、やってほしい。
587	小学校のトイレは洋式トイレが少なく、カギが壊れていたり虫がでたりするというところで、1年生の時は度々トイレを我慢し帰ってきていました。トイレの改修工事だけでもして頂けると安心して利用できると思います。
588	将来的に小学校の再編は仕方ないとは思いますが、通学時間が長くなってしまふのが心配です。近ごろは6月でも猛暑日になる日もあり、下校時間には35℃超えもめずらしくありません。その中を子ども達が30分も歩いて帰るのは親として心配です。通学時間が子どもの負担にならないよう、配慮をお願いします。また、北小は学校内に児童館があり、大変ありがたいです。名古屋市のトワイライトルームのように、学校施設を利用した児童館が適切だと思います。

589	P T Aをなくしてほしい
590	通学に30分以上かかるなら小規模でも統合しない方がいい。
591	学校の老朽化が顕著であり、今後予想される大地震を考えると、学校が安全な場所ではないように思う。早急に検討する必要があるのではないかと感じる。
592	学校によって施設・設備の差が大きいため、市内の小学校間では差が出ないようにしてもらえたらと思います。
593	稲沢北小の建物は老朽化が激しく、すぐにでも稲沢西小に縮入・統合しても良いと考える。少なくとも、現在和式しかないトイレは、早急に洋式化を進めるべきです（学校の統廃合の問題とは関係なく）。また、1学年1クラスのみ为学校は、教育環境として非常に好ましくないため、廃校になった学校からスクールバスで通学させるなど、柔軟な対応をお願いしたい。おそらく、統廃合に反対するのは、古くから住んでいる年寄りの人が中心だと思うが、その反対意見によって被害を受けるのは、現在の児童・生徒や子育て世代の親である。統廃合は地元協議が大変だと思うが、このアンケートのように子育て世代の声を重視して、計画を推し進めてください。応援しています。
594	稲沢市は児童数の少ない学校が多いので、統合して、学校数を減らし、その分補助の教員を増やす方が、子どもが育つ環境としてよいのではないかと思います。また、トイレの洋式化を進めてほしい。今の学校の和式便所はくさい、怖いと子どもたちが言っており、少ない洋式トイレの順番待ちで、放課が終わってしまうと子どもから聞いたこともある。また、ケガや車イス通学の子もいるので、エレベーターは必須ではないかと思う。
595	児童数が少ない高御堂小は、先生の目がいきとどき、いじめを未然にふせぐこともできているとおもいます。再編は行わないといけなとおもいますが、児童数が多くなった時にも先生が子どもの気持ちにきめ細かく対応できるとありがたいです。児童数が多い地域ではスクールガードさんのなりてがいなく、低学年では本当にヒヤッとすることがあります。事実、親が帰るころに近くまで迎えに行っているところもあります。班がバラバラになり低学年でも2、3人で歩いたりすることもあります。家に帰るまでの安全を気にかけていただけたらありがたいです。高御堂小のスクールガードさんは、朝帰り家の前までみていただき、子供の様子でいけないことには注意もしていただきます。大変感謝しています。また将来の職業について考える時間、情報をたくさん子どもたちに与えていただけたらと思います。
596	問題が起きたら次はないようにしてほしい！
597	トイレにスリッパを置いてほしい。トイレとその他の場所を上ぐつのみで使用するのは不衛生だと思う。特に低学年は床に軽がって遊んだりするのでなんとなく嫌です。区別してほしいです。
598	夏場・冬場は冷暖房の活用を求めます。年々夏はあつくなってきているため、早めの対応をお願いします。水筒だけでは足りない日があり、学校側でお茶を作っただけだと助かります。これに関わる費用は必要だと思うので可能なら応相談と。
599	小規模でクラス替えができない、先生が不足等の問題を改善すべく早期再編・統合を進めるべき。再編・統合後、先生が確保でき、高品質の教育もできるようになると思うので、早期進めることがよいと思う。
600	児童数が減っているのは知っていますが、他の学校に統合となった場合、通学時間がすごく児童に負担がかかると思います。夏場の気温なども考えて下さい。
601	児童数の減少により小学校の統合は賛成です。特に児童数の少ない小学校は隣接された小学校と統合し、建て替えるべきだと思います。通学時間が長くなる場合、スクールバスの導入など子供達の負担軽減策も検討するべきです。統合に反対する地域もありますが、少しでも理解していただけるように周知する必要を求めます。
602	私自身もそうでしたが、何のために勉強をしているか深く考えず小学校時代をすごして来ました。しかし、小さなころからなりたい自分を想像し、職業体験を通じその選択肢について触れることが出来れば、そのタイミングが早いほどその回数が多いほど、より自分で考えそのために行動出来るようになると考えます。また、希望どおりにならなくても次の選択もしやすくなるのではと思います。何のために学ぶのかをちゃんと理解できるような人間を育くむ施設、教育活動になっていくことを望みます。
603	発達障害児に対し、適切な個々に応じた教育、学習方法の充実、敏感な子どもに対する正しい知識を職員の方にも、もっと持って欲しい。
604	運動会の時期を考えてほしいです。9月末は暑いですが、練習もありますので、涼しい時期にしてほしいです。子供たちが楽しんで学校に通える環境にして下さい。

605	小正小学校の運動会に参加しました。てつぼう。ブランコや藤棚付近など、子供たちが遊ぶ、もしくは体育の授業をする場所が、草だらけで運動できる状態ではありませんでした。草刈機を導入し、全ての小中学校の草がたくさんある場所を、刈った方がよいのではないのでしょうか？遊具も一部ずいぶん前からこわれていて遊べない箇所があるそうです。草刈りがてら、全小中学校を調べてはどうでしょうか？
606	ITを朝の出欠連絡に導入されたことは、たがいにとってとても良いと思います。母校を意識して家を買われる方もいるので、地元の学校へできるだけ通わせたいという思いはある。昔からいる方だと親と一緒に学校に通わせたいと思う気持ちは、強いと思います。
607	中学校までの距離が遠く、自転車通学できないのが不安。また、学校（小・中）までの道に外灯がなく、冬の登下校がとても危いと思っています。
608	和式のトイレは必要ないので全てきれいなトイレにしてほしい。
609	オーストラリアでは、2学年教育が多くみられます（1+2、3+4、5+6）。そうすると、先生達は、その子達にあったレベルの教育内容を教えている（皆同じレベルの問題をするのではなく、それぞれ上がって行く形）ようです。そういう形も、日本は見なっていないのでは？と思います。
610	中学のように、教科によって、専門の先生が教える教科が増えるといいと思います。学校公開日など学校に出向く行事をへらしてほしい。仕事をしていると負担だし先生も大変。
611	子供達の登下校につきまして、不審者や交通安全等、思った以上に不安が多いのが現状です。親世代も共働きが多く、昔とは近所のお付きあいや見守の目も少なく、多忙な親ではカバーしきれないところがあります。親同士ではよく、スクールバスなど、お金を払ってでもあったらいいのという意見が多いです。又、昔の気候や社会情勢のままの学校施設では気になる所が大変多いです。感染症が流行って、衛生観念もアップデートされねばならないはずが、今だに素手でトイレ掃除をしたり、冷暖房がない部屋があったり、換気が不十分であったり、真冬に冷水しか出ない水道で子供はじめ職員にも苦労が絶えない古い環境だと思います。特にトイレ掃除などは、家庭で親が教えるので、衛生面からも早急に外注すべきものだと思います。又、最近よく問題になっている運動場での古いクギでのケガなど、稲沢市では何か対策をとっているのか不安です。
612	熱中症の心配があるのは分かるが、昔の様な運動会を子供に味わって欲しいと思います。徒競走も順位をつけたり、学年をとびこえて協力しあって戦ったり、字別リレー等があるとよいと思いました。
613	児童は1人1人個性があり、違います。生徒から目をそらさないで、目を見て教育、指導をして頂きたいです。授業の出来もそれぞれちがいます。分からない生徒をそのままにしないで、分からない子にそっと手をさしのべてあげられる先生方が増えるとうれしいです。
614	漢字の書きとりの宿題で、書いた文字を何度も繰返し書き直しておりました。理由を聞くと、きれいに書かないとほめられないと。読めれば問題ないと考えます。無意味な結果を評価するのではなく、過程や主体性を伸ばす取り組みに期待しております。
615	校庭の水はけが悪く、雨が降るとなかなか流れないと子どもが言っています。くつをドロドロにして帰ってくることもよくあるので、砂と土を混ぜたり層にするなど水はけを良くして乾きやすくなるといいです。プログラミング、英会話の授業をもっとしてほしいです。真夏に体そう服の素材がとても暑いのではないかと思います。
616	昨今の気候環境の変化は著しくなっており、子供達の通学は特に夏の時期に対する不安が大きくなってきている。ゲリラ豪雨や異常な酷暑があり、再編・統合によって通学することが困難になってしまった場合の対策をしっかりとしていただきたい。また傷害事案も増えてきており、安心して通学できる環境も続けて確保していただきたいと思っています。更には不登校児の多さが問題になっており、一人でも出さないように、発生させないように外部機関との連携、ケア体制を強固なものとし、日本の今後を担う子供達の安全・安心を確保していただきたい、議論を尽くしていただきたいと願います。
617	スポーツ少年団や他運動に関する活動を大切にしてほしい。少子化と縮小ばかりでは子供達の運動する場をなくすだけ。具体的に考えてほしいです。
618	学校を再編・統合する場合、通学に時間がそれまで以上にかかるようになった場合、昨今の夏の気温上昇を考慮した通学方法を選択できるようにしてほしい。
619	子ども達にとって何が1番良い事なのかをふまえながら、難しい案件かと思いますが良い方向へすすんでいくことを願っています。よろしくお願い致します。
620	安全・安心できる教育環境が第一と考えています。
621	校舎の外壁塗そうをあまりぬりかえていない為か、どの小中学校を見ても古く見える（新しい小中学校以外）。耐久性に影響がないのかもしれないが、予算があればぬりかえてほしいと思う。

622	学校のトイレのにおいが気になり、子供達が家までトイレを我慢して帰ってきます。体にもよくないのでどうにかしてほしいです。お願いします。
623	物価高、増税のために共働きである家庭は今後ますます増えると思います。今年の夏休みに放課後児童クラブを利用しましたが、小正すみれ児童センターではなく、稲沢東第2児童クラブにお世話になることになりました。高御堂中央保育園に下の子を預け、稲沢東第2児童クラブに上の子を預けてからの出勤となりとても大変でした。児童クラブにはお弁当を持参せねばなりません。子育ての大変さをとても痛感した夏休みでした。母も父も働いているということ想定して、学校施設や児童センター、教育活動を検討してもらいたいです。夏休みなどの長期休暇に学校内に児童クラブがあってもいいのではと思います。給食もあると本当に助かるので検討していただけたら嬉しいです。
624	体育館へのエアコンの設置を進めて頂きたい（通常の利用とともに避難所機能としても必要）。水泳の授業は地域のスイミングスクールの活用ができないか。長期休暇時の学童保育利用する際に、お弁当注文サービスがあると良い。今後宿題でタブレットの課題が増えるのであれば、学童保育にWi-Fiを導入してほしい。
625	校舎の老朽化も気になりますが、校舎の中の清掃が行き届いていないこと、学校の敷地中の木々や草が伸び放題で蚊が大量に発生していたり、学校施設全体において手入れができていないと感じています。清掃や樹木の手入れは教員や生徒がやるべきことではないので専門のスタッフを各学校に配備してほしい。防犯面でも、教員だけでは何かあった時に不安です。警備員も各学校に配備していただきたいです。
626	現在学校のPTAが必要なのか？という問題がよく報道されています。私達親世代が子供の頃は、母親が専業主婦の方やパート勤務で参加することが出来たから存続していたかもしれませんが、現在、女性の社会進出により、正社員で働いている方が多い中、なかなか参加出来ない時代になりました。私自身上の子の時に3度PA役員として参加しましたが、報道されている面倒だとか、殺伐とした雰囲気は一切なく楽しく参加させて頂き、なおかつ、学校について、先生方と交流出来るなどプラスの部分もありました。現在通っている小学校で「学校サポーター」制が始まったのですが、正直、「登録」となると敷居が高い感じがしています。ボランティアとして、都度募集があれば参加したいと思っていますので、どんどん募集して頂きたいです。（仕事の都合もあるので、結構前もって募集してほしいです。）
627	日々、大変お疲れ様です。通学団のことでかなり苦労した親です。地域のこととして通学団のことを任せるのも一つですが、学校主導でやっていただけると嬉しいです。それが難しいなら通学団の解散も一つか。
628	学校施設や、統合について決定後の報告ではなく、直接（広報だけでは伝わらない。）関係者と協議してほしい。「なぜ選択肢が3つなのか」の理由が知りたい。
629	夏季（28℃以上）はリュックサック等でも登校、下校可にして欲しい。緊急引き渡し下校になった場合、ドライブスルー形式にしてほしい。暑い時期に校庭に並んで下校しているが、その校庭に並んでいる時間が暑くてしんどいそうです。熱中症や体調不良にならないように、他の下校の仕方にしてほしい。稲中のバスコート（外の白山公園のとなり）ですが、水はけが非常に悪く、整備してほしい。また、利用者が多いのでコートを増設してほしい。全ての予防接種を無料にしてほしい。
630	クラス替えができないのは、いじめなどの問題が起きたときに逃げ道がなくなってしまうので避けたいと思いますが、統合して子どもの通学に30分以上かかってしまうのは熱中症などのリスクも上がるので難しいですね。
631	小中一貫校の導入に向けた議論を進めるべき。先生のなり手が減っていること、少子化が進むことから、小規模校の統合は積極的に進めるべきと考える。安全に通学できるようにスクールバスとセットで考えるべき。先生の負担軽減につながるよう、事務の減少等進めてほしい。
632	ハードよりソフトだと思うので、オンライン等、活用して、懇談会等はteams等で効率化して欲しい。教育現場のITリテラシーを上げた方が良くと思う。お互いに効率化出来る物は刷新していけば良いと思う。先生達の働き方改革にして欲しいし、負担もお互いに減らしたい。校舎は耐震性と、過ごし易い環境があれば古くても問題ない。どうしても統合で遠方になるならスクールバス等インフラ整備すれば良い。建て直しよりローコストだと思う。

633	目まぐるしく変わる世間の情勢において、教育現場へも様々な世相が反映されますが、それぞれにおいて正しい情報を多角的に収集頂き、情報を精査し議論検証の上、教育の場でも過度に偏った発信とならぬ様お願い申し上げます。又、教育の場においては、正しい歴史認識を伝え、国や地域、伝統を大切に思える自尊史観の育成、管理・偏差値教育でなく、個性・主体性を尊重し、自ら学ぶ学習力（自ら考え自ら学ぶ力）の向上がこれからの多様性を求める世の中では必要な人材であると思います。現場の先生方におかれましては、待遇・環境の厳しい中、日々の御指導感謝申し上げます。
634	今後、稲沢市内の学校建替計画があるようですが、自宅から学校までの距離が遠くなりすぎる場合、保護者としては不安に感じると思います。その点は考慮いただきたいです。また、新たな学校についてはセキュリティを最重要としていただきたいです。建設会社の選定の際には安かろう悪かろうではなく、総合評価とし、修膳などに多くの費用をかけず、長期間メンテいらずで使用可能となる建物を建築できる会社を選んでいただきたいです。
635	小中高一貫のモデルケースとなるような学技施設を検討しては如何でしょうか。市内に人を呼び込むための魅力ある施設が必要だと考えます。また高い教育水準の提供も大切だと考えます。通学時間については徒歩にこだわらず、通学バスの利用も視野に入れて検討してもいいと思います
636	昔からずっとあるPTAや子ども会の在り方を考えるべきではないかと思う。やりたい人はやればいいが、人数合わせのために選出された人は色んな思いでやっていると思う。そして、それを伝達するのは担任の先生。やれませんか断り続けられると、決まるまで帰れないと言ううそか本当かわからない話も聞いた事がある。共働きの家庭が増えていると言うのに日当削ってまでやる事なのか毎回謎です。
637	学童保育の短期申込者は、終業式・始業式の日には利用できないが、利用できるようにしてほしい。子供が安全に過ごせるように改善してほしい。体育館にエアコンを設置してほしい。災害時に利用する為、必要だと思う。
638	財政的な制約もあり今後すべての学校を建て替えることは出来ない状況とあるが、本当にそうなのか？なぜ前提なのか。もしそうだとするなら、大規模改修の目安となる40年後どうするつもりだったのか？老朽化が進んでしまった今になって、なぜアンケートをとるのか？
639	学校のサポーター募集がありますが参加できずに申し訳なく思っています。もう少し手が空くような時がきたらいつかお手伝いできたらと思っています。先生方や、登下校の見守りをしてくださっている地域の方に大変感謝しています。
640	子どもたちが少ない学校は近くの学校と統合も考えるべき。子どもたちが多く、この先も使う場合は、安全の為建て替えを進めるのは必要だと思う
641	だんだん通学班に子供が少なくなり、旗当番を行う回数が多しなり親の負担がかかり、子供会をやめてしまう家庭も増えてきました。両親共に働いている家庭が多くなっているので、その負担を減らす為地域住民に協力してもらうよう働きかけてほしい。
642	学校施設について、最近では温暖化が進み、夏場に熱中症になるリスクが高い為、立地についてはなるべく生徒たちの通学時間が短くなるような場所や通学バスの利用をするべき。また、夏場の気温に左右されずに体育の授業が受けられるように、体育館には冷房が必要だと考えます。夏しか使われないプールは、地域のスイミングスクールに委託しても良いかと思えます。トイレについて、ジェンダーレスを考えるのであれば、各クラスごとにトイレを設置（各クラス1～2個）するのもありかと（以前子どもが通っていたアメリカの小学校がそうでした）。それから夏場は1Lの水筒を持っていても飲み物が足りない為、ウォーターサーバーの設置を強く望みます。教育活動について、1学年の学級数を考えるのではなく、1クラスあたり30名程度のクラス分けを望みます。
643	近頃の異常気象（特に夏の暑さ）を考えると、これから先夏季の屋外での活動は難しくなっていくのではないかと感じます。例えば、体育館への冷房設備の設置で、一度に活動できる人数は減るが、安心して7月や9月も体育の授業ができると思います。またそれにより、災害時の避難所としての機能も上がると思います。付随して、太陽光パネルや蓄電池もあるとなお安心だし、環境への配慮もできると思えます。夏場の暑さについては、登下校も心配があります。登校時はまだ大丈夫かもしれませんが、下校時の子供たちは、顔を真赤にして汗だくで帰ってきて心配になります。15時前後の暑さピークの時間を外した下校時刻の設定や、可能であれば不審者への対策も兼ねて、下校だけでもスクールバスの運行があるといいと思っています。

644	学校自体がもっと保護者との関係を密にしてほしい。夕方電話がつながらなくなり困ったときも相談にのってくれなくなったし、しづらい。学校で問題がおきたときもうやむやにされ、結局子どもが悪いと言われた。たぶん担任（学年主任）だけで話が止まっていて、上の方々は知らないと思う。先生内でも情報共有をきちんとして子どもに納得がいく説明をしてほしい。子どもが大人を信用できなくなり、今後いじめ等が発生しても今の雰囲気では先生に言ってもムダと言わないです。
645	学校給食の残飯が多いと子供達から毎日聞きます。一生懸命メニューを予算の中で考えてくださっているのは分かっています。ウチの子達は、沢山食べる方ですが、給食は多すぎて残してしまうようです。正直、給食がおいしくなくて、楽しみではないようです。再度、量や味付を検討して頂きたいと思います。今、5年生の子が2年生の時、約3年前までは、毎日給食がおいしいと帰ってきていました。3年前に何かが変わったのでしょうか？
646	教師の働き方改革を進めるために、夏休みに完全な学校が休みの日を設けるとか、休日の部活動中止も理解できなくはないが、その一方で、子供の教育活動の場が失われている。ある意味、犠牲になっている気がしてならない。今年は運動会が開催されましたが、コロナ前に比べ、ずいぶん省略された内容だなあと感じました。合唱コンクールもなくなりました。学校は関係ないですが、子供会もどんどんなくなっています。昔にくらべ、子供が集う、集まる機会が少なくなっています。これでは、コミュニケーション能力の低い人間ばかりが大人になっていきます。AI化も良いですが、人間しかできないコミュニケーション、人間らしいことをもっとできる世の中になってほしいと願います。
647	1クラス27~30名ほどの編成で2~3クラスだと、クラス替えの際にイジメや揉めた子同士のクラスを端と端にするなど、対策が行いやすいのではないかと感じています。また、人数が少ないことで思考が閉塞的になるのではないかと懸念も感じています。他にも、国・数・英のように特性レベルの差が出やすいものは、学力レベルごとの授業にしたいだけだと、同じレベルで取り組めるのではと思います。
648	いじめ等人間関係で問題が起きたとき、クラス替えをすればいいというのは安易な考えでは？それでは根本的解決になりませんよね？クラス替えできるようにするため、学校を統合するという考えには納得できません。いじめに対する考え方が甘いです。クラス替えしたって、いじめの子は変わらないし、いじめられる子の心のキズはいえませんが。
649	プールを室内でやってほしい。
650	ADHDなど心や体に不安がある子がたくさんいます。そういった子を見てもらえる学校があってもいいと思います
651	ますます少子化が進む中、継続して老朽化した施設を利用し続けることは、いつか限界がくると感じます。昨今教員の人数も足りない社会なので、予算の関係もありますが、エリア、施設の築年数を鑑みて、順次再編・統合に踏み切っても良いと思います。
652	防犯カメラの設置等、児童の災害を未然に防ぐ対策を実施希望。何かしらの問題発生時に、確認できるシステムを！
653	クラス替えがないのは苦しさを感じる。学級委員が、男女問わず2名になったのは、逆に不平等に感じる。
654	子どもが通う学校は、小規模校ではありますが、あまり不便さを感じていませんが、他の学校で、規模が大きいと、何をやるにも迫力があり、そして何か人間関係で問題が起きた際も2クラス以上あれば対応ができるという面では、規模が大きくて良いなと思う時もあります。校舎の老朽化はいずれ出てくる問題ですが、何より子ども第一で取り組みが進んでほしいです。安全面の保障がされていて、子どもたちが笑顔で通えるということなら、近隣の学校との統合もありだと感じています。難しい問題だと思いますが、少子化は止められないので、このようなアンケートを実施し、意見を聞いていただけたこと、感謝しています。よりよい教育施設になることを期待しています。
655	1人1台のタブレット端末があるのでもっと活用してほしい。教科書など荷物がとても重いので夏は特に大変です。課題など地域での差があると思うが、なるべく同じにしてほしい。自主性にまかせすぎず、漢字や計算の反復学習、プリントがあると良い。少人数の学校では、先生方の負担も多くなると思うので補助的（お手伝い）に入れる人員がいると良いと思う。毎日ありがとうございます。よろしくお願ひします。
656	まず一番にトイレを全て和式から洋式にして頂きたいです。また、水筒のお茶が無くなってしまった時に、水道水では無くウォーターサーバーがあるとありがたいです。温暖化が進み、熱中症が心配なので運動会は9月から11月（又は10月中旬以降）に変更してもらいたいです。練習も暑くてかわいそうだと思います。保育園でおむつが支給され始めたように、生理用品も学校で自由に使えるようになると親としてありがたいし安心します。
657	1学級だけで、人数も少なくなります。隣の小学校などと交流をして、今のままで続けて欲しいです。

658	児童数の減少＝学校施設の老朽化の問題は、とても心配です。現状や将来を考えると小学校の再編・統合を進めるのは致し方ないと思います。祖父江小学校では、すでに全学年が一学級で変化に乏しい環境ですが、運動会をはじめ、学校行事は全体でアイデアを出しあい子供主体で行動したり、他学年との交流を積極的に取り入れ活動をして頂いています。ただ、クラス替えがないことは、小さな頃から共に過ごすことで親密になり結束力が高まる一方、トラブル等何か問題が発生した時には、逃げ場がないことが心配です。この環境は変えられないので、視野を広げる為学校外にも友達を作ったり、イベント等にも積極的に参加し、息抜きできる環境作りは親として意識しています。
659	統合には賛成です。
660	将来デジタル社会で生きていく子ども達にとって、何十年も昔からほとんど変化のない学校環境や教育内容が適切とは思えない。気候の変動にも対応できていない為、夏～秋は毎年とても不安。また、設備の問題だけでなく、支給されたタブレット端末をお遊び程度にしか利用していないように見受けられるなど、せっかくお金をかけて新しく取り入れても有効活用していない事に疑問を感じる。先生だけで対応できないなら専門家を設置すべき。
661	少子化になり、現状でも同級生との交流が少なく、授業においても体育では一部の球技が実施できなくなる等、小学生が体験できることが減ってしまっています。なかには、防災や地域のコミュニティーが崩れるからと小学校の再編・統合に対して反対の意見もあると思いますが、跡地等を活用し、既存の機能は最低限残しつつ、児童の教育を第一に考えた小学校の再編、統合をすすめて頂きたいと思います。また、再編、統合後、改修が必要となる40年後についても考慮して話が進んでいくと良いと思います。
662	小学校、再編・統合を進めるのは、仕方がないと思っています。児童数が少ない学校の空き教室を、地域のお年寄の方々に使用していただくようにし、子ども達との交流がもっと育まれるといいな…と思います。また、再編・統合にあたって小中一貫校についても、視野に入れていただけたらいいな…と思います。
663	子どもの安全が最優先だと考えます。耐震や不審者対策が最も重要で、その次にウォシュレット付トイレや全館空調など快適な環境が求められると思います。
664	昨年の学校アンケートに、学校への連絡（欠席連絡）や学校からの連絡（紙媒体）をアプリでできるように、市教委にかけ合っしてほしいと回答しましたが、今学期からアプリでの連絡となり、便利になったと感じました。早々の対応ありがとうございました。
665	男女で着がえの時に教室を別にしてほしいです。
666	2クラス以上の学級が望ましくはありますが、人数が多い、クラスの数が多いがゆえの人間関係の複雑化が問題になってくるのではないのでしょうか。少人数だからこそ先生が一人ひとりの児童に目が向くメリットもありますし、少人数だからこそ上下関係の形成、他学年との交流も児童たちの心の成長に役立つと思います。学校までの通学時間が長いのは問題ですので、統合でより遠くなるより校区の見直し、自由な学校の選択があると、各家庭の事情にあったライフスタイルが叶うのではと思います。
667	下校する子ども、児童クラブの子ども、校庭で明るい時間帯は自由に遊ぶことができると良い（児童クラブは制約が厳しすぎる）。統合や建て替えをするなら今行っている工事はなぜ行っているのか。統合をするのなら建て替えて魅力的な学校にしないとどんどん子どもも人口も減って行くだけではないのでしょうか。
668	時代の変化に伴い教員はただ授業をするだけではなく、生徒全員が最低限の知識、心を育てるように責任をもって教育できる環境を作る必要があると思います。学校の統廃合をする事で教員、教師の配置を増やし、勤務時間、仕事量を考慮し、心にゆとりを持ち生徒に寄り添う教育を実現させてほしいです。教員、教師も給料を貰っている以上、生徒を社会に送り出せる水準にするのが義務だと思う。定期的に第三者機関などから教員、教師を評価し、配置換え、時に厳しい処罰をすることで明確に評価される必要があると思います。そうする事で教員、教師のみならず、生徒、その家族の質の向上、心の向上が見込める。その様な取り組みを稲沢市が行って欲しいです。
669	小学生にタブレット等は必要ないと思います。重たい、画面が小さく目に悪い、連絡帳を確認するだけで大変、と2学期より毎日持ち帰るようになりましたが、かえって負担が増えました。アメリカのIT、PC等を開発してきた人達は、自分の子どもには一切のデジタル機器を一定年齢以上入になるまでは触れさせないそうです。今一度、小学生に真に必要な教育を考えていただきたいと思います。
670	この様なアンケートは子供たちの学ぶ環境をより良いものにすることが出来るため大変ありがたいです。他のテーマについても是非定期的実施して欲しいです。
671	1クラスが40名に満たなくても2クラスに分けてほしい。その方が先年もより負担が少なく、目が届くと思います。

672	小規模で、クラスの人数が減っても、その分先生の眼が行き届くので、良いかと思えます。他市から引っ越してきましたが、“プラスワン”が行われている事は素晴らしいですが、就学前までの親子への支援を、もう少し充実させてもらえたらありがたいです。テレビで見たのですが、幸福度No. 1の福井を参考にしてみてもいいかもしれません。子育て世代が住みやすい、選びやすい、幸せを感じられる市になってほしいです。
673	みんなが同じことを同じようにやらなければいけない！という教育がどうなのかな？と感じています。社会にでたら、個性が重要視されているのに、子どもの時に同じことを同じようにやらないと、はみだしもののようにされていると、個性がつぶされてしまうように思います。不登校の家族がいるので、不登校の子供への学習をやりたいと思っている子へのケア、金銭面などのケアももっと必要だと思えます。子どもが不登校になると家での昼食代は必要、フリースクールに行くにも送迎でガソリン代、有料のフリースクールだと、その代金が必要だけど、母親は仕事をフルですということは無理なので、本当に金銭的な面もきついです。タブレットでオンライン授業ができると思われるかもしれませんが、いじめで学校に行けなくなった子は、学校のオンライン授業を受けるなんて気持ちにはなりません。いろいろな課題はあると思いますが、子どもたちにとって住みやすい稲沢市になってくれることを願います。
674	通学距離について。夏の気温の上昇、熱中症対策などを考えれば、今の通学距離は、適切ではないと思えます。スクールバス等、考えていただきたい。気温40度近い日は、なるべく車でむかえに行くようにしていますが、そのたびに仕事を早く切りあげたり、ガソリン代もバカにならない。保護者にだけ「通学時の安全」を丸なげせず、本気でスクールバスを検討して下さい。子供が通学時に、熱中症で亡くなってからでは遅い!!
675	自分ならやれるという自己肯定感を持った子供を増やし、学校でも培える環境を作って欲しい。教員にも達成感を感じられる教育が必要だと思う。
676	小学校を再編・統合する場合、複雑な問題が沢山あると思えますので、関わる人との話し合いを大切に慎重に進めていただきたいです。
677	教室内のエアコンから水もれがずっと（数か月）続いていると聞いています。業者は問題ないと言っていると伝え聞きましたが、子供達への安全面は大丈夫なのでしょうか。未来の対策も重要かと思えますが、現状の配慮もしっかりして頂きたい。
678	現在通っている小学校は、学年2クラスと小規模であり、小学校6年間で6回クラス替えをしたとしても、一緒に行動する友人は、いつもきまった友人になりがち。今は部活動もないため、上級生や下級生とのかかわりも少ない。そんな子供たちが大人になった時、いろいろな人と接してうまくやっていけるのか不安はある。小学校を統合することが難しいのであれば、学校行事を合同でやる機会を増やしたり、学年をこえた活動をもっと増やし、たくさんの人から色々なことを学んでほしいと思う。
679	学校の統合・再編のメリットをもっと伝えてほしい。変化を嫌う人が多いが、それは、メリットを知らず、自分の経験（その土地で育っている所以他を知らない）でしか語らないからだと感じる事が多い。グローバルな視点の社会は今までよりも速いスピードで変化しているのだから、地域社会も対応して少子化の今の時代に合った社会づくりをしてほしいです。
680	地域交流と学校の安全は反するもので、安全対策を行うことは専ら先生方です。現場の先生方の負担を増やすものは極力避けてもらいたい。クラス替えできない状況は児童の人間関係を狭めて、依存することで良くない。
681	通学時の安全確保について、現在地域の見守り隊の方々や保護者が協力し合って見守りを行っています。高齢化や保護者の負担（それぞれの事情もあり、平等にするのは難しい。）など問題が出てきています。統合するのであればスクールバスを取り入れても良いのではないかと思います。近年、温暖化が進み熱中症のリスクが高い時期が長くなってきていますので、学校行事の時期など考慮が必要かと思えます。
682	小規模でクラス替えができないことよりも、生徒数がないことで学習や体験できることが狭められてしまうことがさびしい。親としては、田舎なりの体験ができるのは良いが、できるかぎり平等に機会を与えてやってほしい。総合、廃校するのはしかたないが、通学が心配である。
683	小学校統合には反対です。理由は、1人1人に目が、とどきにくなる。通学が不安。のびのびとした環境が失われる。

684	現在片道30分弱かけて登校していますが、これ以上通学時間が長くなるのは子供が辛い です。なぜならランドセルが重すぎるからです。ある日、ママ持ってみてと言われたので 持ってみたのですが、その重さにビックリしました。体重計に乗せてみたところ7.2kgあり ました。そのせいもあり肩が痛いと言う時もあります。大人でも7kgの荷物を持って30分 歩くのは嫌です。今はタブレット学習もあるようですが、そのタブレットも重すぎです。 ランドセルの問題がなければ、徒歩で30分かかっても全々問題ないと思います。子供の体 力もつき、健康面においても良い事だと思います。学校施設とは関係ない話になりますが が、その点についても考えていただきたいと思います。よろしくお願い致します。
685	小学校再編・統合に際して、スクールバスの利用は不可欠とは思いますが、時間の設定 などに配慮いただきたい。学校が遠くなることで、自宅出発時間が早くなり、生活リズム の乱れにも繋がりがかねないので。学校使用タブレットについて、現状制限が甘いと思いま す。成人向けサイトの閲覧ができてしまうことや時間の制限がないため、深夜までユー チューブなど見ており、依存の傾向にあります。スマホ・タブレット等の向き合い方を指 導することも大切ですが、あまりにも無秩序となっており、十分に管理ができていないこ とに大きな問題を感じています。
686	いつもお世話になっております。生徒達の安全、健康第一でよろしくお願ひいたしま す。
687	グラウンドの整備にも期待したいです。
688	小学校のトイレは洋式で清潔だが、祖父江中学校のトイレは和式が多いようで、掃除担 当の生徒が一生懸命に掃除をしてもなかなか大変のようです(古いから?)。中学のトイレ を使用するのが嫌で我慢してしまう子もいるようです。小学校のトイレは清潔だったので、 中学に上がり、(上の子が)ショックをうけてました。
689	少子化でかつ財政難の時代ですから、地域住民も智恵や労力を出して誰もが喜ぶ形を目 指せると良いなと考えます。どうしても学校は民間の塾や習い事より時代遅れになってしま います。ならば、せめて義務教育の根幹を大切に、取り残される子をなるべく少なく してほしいです。その為には、先生が今以上に頑張るのではなく、インクルーシブ教 育、異学年、地域交流などを通じて、生徒や保護者、地域住民を巻き込んでどうかと考 えます。学校の再編も、例えばハーモニーランドなどのショッピングタウンに立地する事 で、地域学習も容易になり、地域の人の目により防犯も叶うのではないのでしょうか。
690	親にとって、安全に通学できる事が一番大事な事だと思います。今、全学年1クラスで すが、少ないなら少ないなりに良さがあると思います。学年関係なく、仲良くなって、他 の学年の子の名前も覚えられて、何か困った事があつたら、手伝ってくれる、助けあえる 環境だと思います。子供には、名古屋と比べると子供の数が少ない地域なんだよ、貴重な 友達を大事にしようね。みんなで協力して学校活動をしようねと伝えています。きつとい じめは発生しないと信じています。あと、通学60分は初めて知りました。1年生が重たい ランドセルを背おって60分真夏の15時に帰る…。大人はできますか?残酷です。熱中症で 死んでもいいって事でしょうか…。それとも親が毎日迎えに行くのでしょうか…。
691	通学手段を考えるのは大変かもしれないが、小規模な小学校は、再編・統合を進めた方 が良いと思います。理由は、やはりクラス替えができるようになることで、たくさんのお 友達とふれ合えるからです。小さな時からたくさんのお友達とふれ合うことで、考え方の 違いを学べたり、色々な発見があると思う。祖父江地区は、中学校で急に人数が増えるの で、上の子たちは中学入学当初、とても抵抗があつたようです。
692	夏休みにプールの開放を望む。
693	小学校の再編・統合には反対です。統合によって通学距離が長くなることで、子ども同 士の遊び、勉強・習い事等の貴重な時間が削られたり、安全面でのサポート(下校の付き 添い等)が更に必要になり、保護者や地域の方々の負担も増えます。バスを配備するとい う案もあるんですが、その資金があるなら校舎の建て替えの方にまわして頂きたいで す。老朽化を訴えながら、財政的な制約を理由に建て替えを渋るのはおかしいです。一番 大事なのは何より子どもたちの安全です。教育委員会の管轄外と言われるかもしれませんが が、子どもの数の減少を抑えるためにも、若い世代が稲沢に定着してくれるような環境作 り(子育てサポートや、田舎の方に住む際にかかる自治会加盟料のようなもの(「公民館 使用料」等)の軽減)に力を入れて頂きたいです。うちでは20万円程でした。土地が安く ても田舎に住むメリットがかすんでしまいます。
694	6年間、同じクラスだとつらい子もいるのでは?クラスが沢山あると運動会や行事など もっと楽しい小学校生活を過ごせると思う。今現在、教科担任制になっているが、年配の 先生だと子供達が楽しんでその教科を受けることが出来ない。考え方が古い。先生が苦手 になるとその教科も嫌いになる。

695	現在、教員不足により子どもの数が少ないとはいえ行き届かないこともあると思います。もし、学校統合で子の数も増え教員の数も増えたときに、現在の子どもたちへもっと気にかけてもらわないといけないと思います。子の数が増えるということは、親の数も増える。現在は少ない人数で保護者同士も何かあれば話したり伝えたりできますが、知らない保護者同士も増えていくと子どもの変化なども気づきにくくなるかもしれません。なので、子ども、先生、親の報連相などがとても大事になってくると思います。
696	親や先生・大人の意見も必要ですが、一番は学校で生活する子どもたちのためになるようにしてほしいです。小さな子どもたちでは、まだまだ理解できないかもしれませんが…。大人の利権や、お偉いさんのためではなく!!一番優先されるのが子どものためであることを強く強く願います!!
697	教育環境の充実は人を呼びこむ力があると思うので、教育の合理化と同じに住みやすいまちづくりもふくめて考えていただきたい。自分の住んでいた地域は小学校まで30分（徒歩）かかる場所だった。30人以上いた通学団も現在は3人になってしまっている。不便で教育環境の低下は、若い人がその地域に住まなくなり、高齢化、週疎化が進んでしまう。教育環境や暮らしやすい街づくりに力を入れて欲しい。
698	牧川は歴史のある学校なのでこわさないでほしい。
699	学校施設の老朽化について築年数を見る限り、数年ずつしか変わらない所を見ると、いかに学校施設に財政が使われていないかが目に見えてしまいます。今後大地震などの事を考えると学校が避難所に本当になるのが不安である。子供を守るために子供の安全が保たれる学校施設を整備願いたい。
700	1学年1クラスというのは子供の学びや人間関係が制限され、井の中のかわず状態で良くないと考えます。早急に統合を進め、遠方でもシャトルバス運用など、子供第一の施策実現に期待します。
701	先生（担任含む）の指導力、配属等が欠如している方が多すぎるように感じます（もちろん、素敵な先生もいます）。私自身も卒業生ですが、ここまで酷いものではありませんでした。他保護者から聞くと不出来な先生がこの学校にくると話す人もいます。そんな状態であるのなら一刻も早く統合して頂きたいと思っています。
702	古い校舎が多く、冬は寒く、夏は暑すぎる（子供の意見です）。自分でエアコンや暖房の調整が出来るわけではないので、上着で調整はさせていますが、エアコンが寒すぎてトイレが近くなったり、授業に集中出来ない事もあったようです。建てかえ等の予定があれば、その点でストレスがなくなると良いと思いました。
703	小規模であったため、長岡保育園では年少から年長まで、いっしょに学んだり、遊んだり、異学年生とのふれあいがあり、上の子が下の子のめんどうを見るなど、自然と学ぶ事が出来た。小規模でも、組み合わせでなんとでも出来る事はあると思うので、そちらを大事にしてほしい。
704	現在の小学校では子供たちや、他の保護者から聞いた話、保護者として関わりをもって感じるのは、適切な教員が少ない事。教員不足が言われている中でも、子供たち、保護者が信頼できる教員がいない。子供たちに対する指導（授業をうけさせず、宿題をやらせたり、忘れ物をした子への罰として給食のおかわり禁止等）。「それは、どうなの?」と思うことが多い。嫌な事があって助けを求めても「そうなんだね。じゃあまた何かあったら教えてね。」と対応してもらえなかった。家で「誰に相談したら良いかわからない。」と子が泣いた事もあった。先生が頼りにならないと子どもたちも思っている。現1年生でも授業に集中できない子がいて、そちらの対応に先生がとられ、授業が進まないと聞いている。それなら一刻も早く、再編、統合を進め、子供たちが頼れる先生をむかえ入れてほしい。今のままでは学力の低下も懸念されます。現状のまま小学校を残すメリットがわからない。現在いる子どもたちの為にも早めの統合を願います。
705	この先、学校統合の話は確かに出ていて、そうなっていくのは、やむをえないという部分もあるのですが、そうした場合の対応としてバスでの送り迎えが必要な地域には、配慮していただきたいです。
706	学校施設はとにかく古さがめだつ。地震の際に避難をする場所なので、やはりもっと考えた方が良くと思う。学校が市内でも端にあり、良い先生が来ないという話を先ばいママに聞いていたけど、実際子供たちを通わせてみて、そう思ったことがある。ムラのない職員配置をお願いしたい。梅雨時に遠足がある。子供たちが雨だと歩きまわるのもかわいそうなので、もっとずらしてほしい。夏休みの出校日は、もう無い学校も増えてきている。暑い中歩かせ、数時間で帰るなら、オンラインでもよいかと思う。
707	早めにおしえてほしいです。

708	小学校も統合をするとの情報が飛びかっていますが、休園、廃園された保育園等のその後は何を目的として活用されるのでしょうか？それこそ、地域住民が利用できるコミュニティ施設だったり、サロン、放課後デイの利用にするなど考えて行ったら良いのでは？と思いました。誰も利用しない公共施設は空き巣が入ったり、草が生えたり…良いことないですよ。
709	教師の人間性アップを求めます。もっと柔軟な対応と報告、連絡、相談の徹底をしてほしい
710	朝食を6時半頃に食べさせ登校させます。給食が12時半から準備をして食べるのですが、朝食から約6時間経ってしまいます。育ち盛りの子達にはかわいそうだと思います。朝ごはんをしっかり食べさせてもお腹は減るみたいです。年頃になるとお腹が鳴るのが恥ずかしいと悩んでいる子もいると聞きました。なぜこんなに給食の時間がおそいのでしょうか？
711	イジメが起こった時の「学校の在り方」について、校長に幻滅しています。心から。ぼんやりと、なあなあと、ふんわりとした姿勢で終わらせないシステムを確立して頂きたい。私立高校のイジメについてのメソッドを見習いなさい。警察・弁護士・マスコミ・探偵、あらゆる手段を使って、イジメをした側を追いつめ、決して許されないという流れが有るべきです。更に、イジメをした側には、「問答無用に」家庭へも（子のみならず親（両方）に）カウンセラー等が入る!!という、強制的な手段を作りなさい。「悩み相談はこちらへ～」というプリントは紙のムダです（怒）。話すだけでは解決できないその先を、道すじをきちんと作って頂きたい。
712	今年の夏は例年以上に気温が高い日が多く、来年以降も熱中症の心配がある為、勉強だけでなく、体を動かすことも子供達の心身の発達・発育に大切なことだと思うので、その為にも天候に左右されず体育館を有効に活用出来る様に、冷暖房（特に冷）の設置を切望します。また、一生懸命準備して下さっても、保護者が学習発表会や卒業式の時は寒くて行事に集中出来ない事もあります…。
713	子供の数が減少し、空いた教室等で、高齢者サロンなどに使用し、子と高齢者の交流の場もあると良いのではないかと。お互いに助け合える事など学べる場ともなり、子供への助けなど高齢者の生きがいへとつながり介護サービスの利用の減少へとつながるのではないかと。
714	クラスになじめない子などが集えるクラスを1つ作ると思います。そうすることで不登校で悩む事が少しでも軽減され、社会、人とのつながりも継続しながら、生活できるのではないかと思います。プールの授業について、天候に左右され、実施する日が少なかったり、習い事をしている子としていない子で差がでているのも気になります。一部の学校では、温水プールで特別講師が指導していると伺いました。その様に温水プールを活用する、もしくは老朽化に伴い、各中学区ごとに温水プールの施設を作り、専門の講師に指導を受けると良いと思います。担任の先生への負担も減るのではないのでしょうか。ご検討の程宜しくお願い致します。
715	学校が遠くなるのは仕方ないとしても、夏があつすぎて登下校中の熱中症や、安全面でも、心配はつきません。ランドセルも重いです。いろいろ考えることがあると思います。
716	不審者侵入の事件等、全国でもみうけられるので、子どもが学校にいる間の施設や、親も含めて外部から容易に侵入できる造りを見直してほしい。セキュリティの強化の徹底
717	夏の体育授業が心配なので体育館にも冷房があつたらいいなと思います。
718	1クラスの人数が少ない上、男女で分けるともっと少なくなる。同学年の同性の友達が、十数人しかいない状況で、6年間過ごすことは、今後の人間関係を築くための勉強に限りがあると思う。また、友人トラブル等あった際、少ない人数の中で、他の友達を見つけづらい。小学校の統合を強く望みます。
719	授業参観とは別に、子供の学校生活を見られる様にしてほしいです。午前中までに連絡をすれば、いつでも見る事が出来る等。授業中はもちろん、放課中に何をしているか、誰と遊んでいるかなどを、気になる時に行けるならば、いじめを気にしている時、おかしな時など、親の目で直接見る事が出来る様になるといいです。もちろん、カメラでもいいと思いますが、死角がわかったりすると、いじめには効果があるかは分からないので。親も子も安心して、学校生活が送れる様にしてほしいです。
720	勉強をなぜするのか、何の為にするのかを教えていくと共に、主体性が子供達に付く教育を行ってほしい。
721	小学校を統合した場合は、学校から家が遠い生徒にはバス通学ができると、学校が近くなくても安心して通わせることができると思います。

722	児童数減少により、1学級の学年が増え、人間関係が広がらないのは、子供達の成長への影響が大きいと思います。ぜひ子供達への安全を確保した上で、統合再編を検討すべきと考えます。市内で学校を配置するのが本来だとは思いますが、近隣の市への越境を可能にするなど、広い視野で子供達へ選択肢を提供できるようになると良いなと思います。
723	いろいろと考えて下さり、ありがとうございます。宜しくお願い致します。
724	再編統合などして通学の距離や時間がのびる場合、スクールバス等も必要だと思う。(事件や事故、熱中症リスクなどの点から)
725	熱中症予防と対策を強化して欲しい。登下校中の交通事故にあわないような通学路の整備
726	人数が少なく、1クラスしかありません(30人以上40人未満)。これにより、教員一人ではサポートしきれず、学力や人間関係に不安があります。1クラスあたりの人数をへらし、ゆとりある学校生活ができることを願います。学校の再編ではなく、まずそちらが先ではないのでしょうか。
727	画一的指導ではなく、多様な個性をもつ児童への対応が可能な施設、設備の拡充、教職員等人員の確保を目指し、予算をしっかりとつけてほしい
728	選択肢の文章が小難しく、もっと分かりやすい文章にしてほしい。
729	問4での通学時間60分以内だが、秋から春はまだよいが、夏の朝から暑い日に20分歩くだけでも、かなり負担になると思います。統合して、バス通学で安全が確保されるのであれば、考えてもよいと思う。
730	小規模な学校、大規模な学校のデメリット、メリットがあると思うので。それぞれのメリットを生かしてほしい。私の実家が岐阜県ですが、田舎ということもあり、すでに小学校が統合されているが、通学はバスを利用しており、特に問題なさそうなので、どんどんすすめてほしい。統合された小学校が新しくなるなら、今より学ぶ環境は良くなると思うのです。大規模な小学校になったとしても1クラスの定員は変わらないので、人間関係など学ぶためにも大人数の方が良いと思う。
731	
732	本気で答えました。本気でご対応ください。(40人学級、学童環境の悪さ、不適切保育) 再編・総合ありきで進めようとしているようだが、児童数が減少する見込みであれば、それを防ぐ施策を行うべき。全国には子供の数が増えている地方都市もあり、不可能ではない。施設が老朽化したら建て替えればよく、財政の都合だけで統合して、児童や保護者に不利益を生じさせるべきではない。「子育てするなら稲沢」とうたうのであれば、削減ではなくより手厚くすべき。住んでいる平和町地区では3つの保育国が統廃合されて1つの子供園になったが、送り迎えの時間が倍以上になり、保育の質が低下して不適切保育がおこるなどデメリットばかりが目立つ。財政削減ばかりではなく、子供や保護者の視点に立った教育行政をしてもらうようお願いいたします。 要望)六輪小の学童の部屋が駐車場から遠く、往復で10分以上かかります。西門付近を整備して駐車場を近くにつくるなど対策してください。部屋自体も狭く、環境が悪いのでちゃんとした施設をつくってください。
733	建物の老朽化が進んでいます。改修工事はしてくださっているのは知っていますが、先日、子どもがトイレのドアを閉めたら開かなくなったと言っていました。たまたま1年生の子がトイレに入って来て、外から押してくれたら開いたそうですが、老朽化に改修工事が追いついていないのではないのでしょうか?地域の防災検点としての役割もあります。安全な学校であり続けられるよう、ハード面をより充実させてほしいです。
734	子供から挙げた意見を記入させて頂きます。図書館の本をもっと充実させてほしい(江戸川乱歩など、全巻揃っていないので途中で読むのを諦めてしまった)。図工室などエアコンが設置されていない部屋での夏場の授業が集中できない。以上、よろしくお願い致します ☆2Fの西トイレが古く、臭いがひどいのを子供達がとても嫌がっていましたが、現在改装工事をして下さっているとのお事!ありがとうございます!☆

735	<p>昨今の夏の暑さは異常。エアコンが設置されたが、子供は徒歩通学で登校した頃には汗でベタベタ。どんなに多く水分を持たせても空になる。ランドセル自体が重く、2教科だけでも教科書、ノートやドリル等で8~10冊はある為、1、2年生にとって適切とは思えない。スクールバスがあれば、それらの問題は解決される。有料でも実施してほしい。今の子供達は、成人した頃、英語を話せるようになるのでしょうか？20年前、私自身が受けていた教育との差をあまり感じません。他県の様にもっと力を入れてほしい。日常会話レベルまで学ばせてほしい。PTAの必要性が分かりません。役員として携っておりますが無くて良いと感じます。一方で、保護者は子を預けっぱなしでは良くないと思います。学校を通じてボランティアを募る形で保護者も子供達と関わりを持てると良い。必ずしもPTAが発信しなくても良いのでは。</p>
736	<p>進学について、私立や公立について詳しい先生がいらっしゃらない為、将来の選択と一緒に考えてくださる方がいない為、もう少し詳しい先生を入れるべき。トイレが古すぎの為、冬の便座がかわいそうすぎます。(つめたい)</p>
737	<p>教員になりたいと思う人が少ないので、まずは先生方が、よりよい環境、待遇で仕事ができる様にするべきだと思います。施設ばかり良くなっても、教えてくださる先生が居なければ意味がないと思います。</p>
738	<p>近年、児童の数が少なくなって来ているので、もっと稲沢市に移住者(若年層)が増えるように街ぐるみで取り組んで行かないといけないと思う！そのためには魅力有る街作り、人作りを！他県からの移住者ですが、ちょっと残念…。</p>
739	<p>なし</p>
740	<p>小学校の敷地内にプールがないため、プールの授業数が少なく、泳げないので、多くの子供がスイミングスクールに通っています。スイミング代が月額8千円程度かかります(高い)。今年もプールに入れたのは3回でした。車道を渡って、プールに行くのも心配です。保育園が再編・統合された、六輪保育園の跡地を活用し、学校隣接地にプールを作ってほしいです。</p>
741	<p>少子化に伴い、今後多くの課題が出てくる中で、一番に子どもたちの安全を考えていただければと思います。通学における稲沢市の一斉下校はとても良い取り組みとと思っているので、今後も新しい発想を取り入れていただきたいと思っています。「子は地域の宝」とし、子どもたちの意見も取り入れていただきたいとも思っています。</p>
742	<p>小規模校は、アットホームで一人一人の個性を生かした教育が充実しているというありがたい環境である反面、クラス替えがないことで、一度構築された人間関係がこじれると、再度良い方向に持っていくことが大変難しいという恐ろしい面があることを心配しています。クラス替えがあることで、人間関係をリセットできる機会がありますし、たくさんの友達と触れ合う中で学ぶことも多いのではないかと思いますので、クラス替えができない小学校の再編・統合を強く望みます。</p>
743	<p>今、認知が高まり、ふえてきたといわれているグレーゾーンの子ども達にとっては、安心した環境で落ち着いて学べる場所が大切だと思います。施設の老朽化などで合併をせざるを得ない時に、急な環境の変化は、定型発達の子どもやグレーゾーンの子ども達にとっては、特に多くの不安やストレスにさらされることとなります。統廃合は、スピーディーに行うものでなく、環境の安全がしっかり確歩できるペースで、地域住民からも十分な理解を得られた上でしか、進めてはならないと思います。我が子は、単学級ですが、のびのびとした環境で支援も行き届いており満足しています。</p>
744	<p>今の小学校は人数が少ない為、先生が一人一人しっかりと向き合っている。再編・統合した場合、児童の数がかなり増え、児童一人一人にしっかりと向き合えるかどうか心配。運動会など、自分の子供がどこにいるのかわからなくなるのも苦だと思う。</p>
745	<p>通学はやはり遠いと心配だったりするので、海外のように保護者が送迎するのもありなのではないかと思います。少人数のクラスでは問題が起きた時に逃げ道がなく辛い思いをするので、2クラス以上あるのが理想的です。</p>
746	<p>再編・統合は望みません。質問内容が再編・統合ありきで、恣意的です。問3のクラス替えについてや問5の適切な学級数については再編・統合の証拠集めとしか思えません。このアンケート調査を学校施設整備に関する基礎資料にすること自体反対です。公正・中立の立場でないのにアンケート調査を実施する稲沢市教育委員会に不信感が募りました。</p>

747	<p>そもそも、見直すべきところが間違っていると思う。児童数が減少していきます、だから学校を再編・統合しましょう。ではなく、どうしたら児童数が増えるかを考えてほしい。今のところ、学級が1クラスでも何ら問題ありません。それよりも使われていない土地等があるにもかかわらず、地目等によって住宅が建てられず、新しい人たちが入って来づらい状況をどうかした方がよいのではないのでしょうか。築年数の表も正しい情報を書いてもらいたいです。平和中学校、最近建て直してますよね？校舎新しいはずです。は明らかに学校数を減らしたいのがみえみえなアンケートで気分が悪いです。（教育委員会注：一部建替えていない校舎棟があり、平和中学校の「築年数39年」は誤りではありません）その校舎棟の築年数を記載しています）教育・子育てするなら稲沢で!!と言うのであれば、もう少し考えてもらいたいです。地域の人の話を聞いてほしい。</p>
748	<p>元町と市で関係のない統合はむずかしいと思います。あえて建て替えるのであれば、中学校との一貫校という考え方もありだと思います。三宅は教員数も少なく、先生1人にかかる負担も多いように思えます。発達グレーゾーンのような子や配慮が必要な子、家庭での問題など、先生の数が増えれば、対応しやすいかと思います。</p>
749	<p>通学時間が短く、給食があるため公立小学校はいいと思うが、設備、多様性を認める校風、場合によりPTAがないなどの私立小学校の状況を知ると“みんな一緒”をしなければならぬ公立小学校は、かわっていくことは難しいと思う。</p>
750	<p>現在、小規模校ですが、アットホームな雰囲気、どの先生にも目をかけてもらえるのはよいところだと思っています。ただし、今後人数が減りすぎてPTA活動が大変になることがあれば困るなとも思います。（何回も役員が回ってくるなど。）</p>
751	<p>私自身が大規模校で小学校時代を過ごした経験があったので、クラス替えのない小学校へ我が子を通わせるのはとても不安でした。しかし二人の子供たちは、私の小学校時代と比較してもより深い人間関係を築くことができている、こういうメリットもあったのだと今では思っています。ただ、我が子達は幸い、友達とのトラブルはなくここまで来れましたが、周囲ではやはりトラブルはあるので、逃げ場がないのはかわいそうに感じます。その観点からクラス替えはできた方がよいと思っています。</p>
752	<p>三宅小学校の金管クラブがなくなってしまう事への学校の対応説明にとっても不満です。校長は、PTA総会で報告という形で説明しましたが、学校側、一部の保護者の意見のみであり、全ての保護者の本意ではありません。学校側の一方的な決定だと思います。先生方の働き方改革も良いですが、何でもかんでも理由にしすぎです。色々な活動がなくなってしまっただけは、学校へ行かせる意味もないし、先生も人間でなくてもロボットなどでも良いと思っています。現状の学校教育へは何も期待しません。</p>

○ 瀬戸市立にじの丘学園の視察結果について

稲沢市学校施設整備基本計画案策定の参考とするため、5つの小学校と2つの中学校を統合した小中一貫校である「瀬戸市立にじの丘学園」の現地視察を下記のとおり実施しました。

記

1 実施日

令和5年8月1日（火）

2 視察参加者

稲沢市学校施設整備基本計画策定委員11名、稲沢市教育委員会教育長、教育委員3名、教育委員会事務局5名

3 視察内容

学校施設の見学、小中一貫校としての特色的な取り組み事例、地域との交流を目的とした取り組み事例、統廃合によるメリット・デメリット（教育面、施設面） など（詳細は次ページ以降参照）

【にじの丘学園視察時の主な質問内容】

1 施設整備にあたっての留意事項について

ア) 小中一貫校として整備するに際しての工夫した点について

- ・ 一体性を確保しながら、学年構成に対応した領域の構成
- ・ 日常的に交流できる空間や動線の整備
- ・ 円滑な情報交換を図るため職員室は小中共有としている
- ・ 教育環境の充実や特色ある学びを推進するための具体的内容
- ・ 愛知県産の木材をふんだんに使用し、ぬくもりある空間として整備
- ・ 自然環境を活かしたエコスクールとして整備（省エネで 50%以下までエネルギー消費量を削減する Z E B R e a d y を実現）※環境省補助金受領
- ・ 3つの普通教室ごとに1つの多目的室を整備
- ・ 普通教室の近くに特別教室を整備
- ・ 普通教室にワークスペースを併設し、間仕切りは引き戸式とした
- ・ 各部屋にプロジェクタを整備し無線 L A N も構築
- ・ 焼き物の街をイメージした登り窯ステップ（グラウンドレベルから2階までの動線）と多目的スペース、図書館を配置し、交流スペースとして整備
- ・ 図書館は休日に地域開放している。外から直接出入りできる多目的活動室（地域連携室）も整備
- ・ 開放エリアと学校エリアの境には扉を設置したり、コーンをおいて動線を明示している。
- ・ 全ての方が利用しやすいようユニバーサルデザインによる整備

イ) 保護者、地域住民からの要望事項への対応内容

- ・基本構想作成に向けたワークショップの開催（大学生、PTA、自治会、教員）
- ・統合した7校の校名を刻んだ石碑やモニュメントを敷地内に設置するなど、歴史を引き継ぐ工夫をしている
- ・開校後に保護者からの要望を受け、保護者送迎用の駐車場整備

2 通学時の安全対策について

ア) バス利用者への配慮事項

- ・シルバー人材センター職員による乗車見守り（開校当初は全便で実施）

イ) スクールガード等付き添い登校の状況

- ・登録制で見守りボランティア実施

ウ) 最も通学時間が長い児童・生徒の通学時間

- ・徒歩、バス利用とも40分～50分
- ・通学者の半数が基幹バス利用

3 地域の学校行事等への参加状況について

「できる人が、できることを、できるときに」ということで少しずつ進めている。

例) 面接の練習、郊外活動の付き添い、ピアノ演奏、読み聞かせ等

4 その他

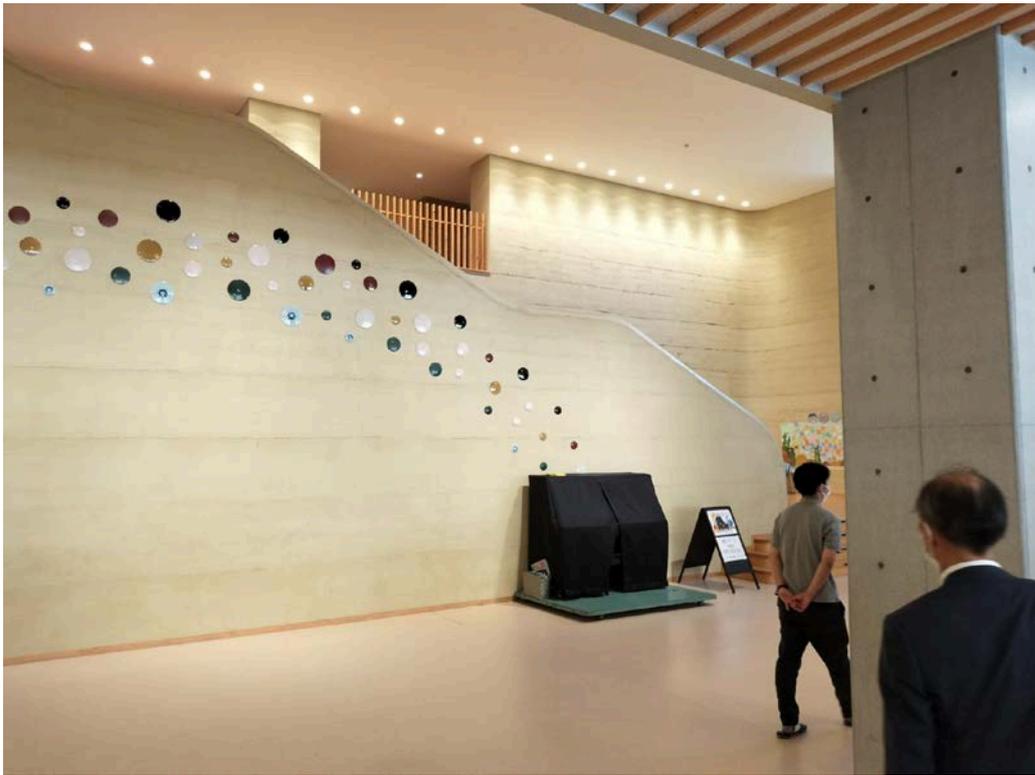
ア) 教職員との事前の調整内容について

- ・平成29年度から校長会や教頭会はじめ各役職に応じた課題を整理し、カリキュラム編成委員会で小中一貫でのカリキュラム検討

- ・対象校合同での修学旅行や共通の取組みとして「あいさつ、時間、思いやり」を共通の取組みとした。

イ) 開校後の児童生徒、保護者、教職員、地域住民の反応

- ・当初児童生徒約 850 人でスタートしたが、通学区域への転入増加により、約 250 人増えている。いい学校をつくれれば人が住む。まちづくりに直結した取組みである。



①瀬戸物をあしらった広いエントランス



②国産木材を使用した下駄箱



③木のぬくもりを感じさせる設え



④ちょっとしたコミュニケーションがとれるような工夫も



⑤ 土日には地域にも開放されるにじの丘ライブラリー



⑥ 地域開放時は格子戸により教室等と区画可能なつくり



⑦可動式の教室間仕切りで廊下と一体的な活動が可能



⑧広くゆとりのある廊下



⑨多数設けられた相談室は、保護者からの相談や日本語教室等で活用



⑩多目的トイレも完備



⑪旧学校の図書をレイアウトした大階段



⑫事務室が別途確保され、教職員にとっても働きやすい職員室

稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿

平成26年5月13日
稲沢市教育委員会

はじめに

平成21年10月1日、日本の総人口は1億2,751万人となり、前年に比べ18万3千人(0.14%)減少し、減少幅は前年より大きく拡大した。

稲沢市においても人口減少、さらには少子高齢化の波は着実に押し寄せている。今後、国や地域経済の規模と市財政の縮小化が現実問題として浮かび上がってくることは避けられず、身の丈にあったコンパクトでスリムなまちづくりと行政運営が求められる。

そのような背景を踏まえ、稲沢市教育委員会として、次代を担う子どもたちに生きる力を身につけさせるためにはより活力ある教育活動を展開する学校づくりを目指す必要があると考える。

そこで、稲沢市としての義務教育のあり方、学校のあるべき姿について市全体の均衡と将来展望を見据えた教育を推進すべく提言したい。

一方、こうした取組みと平行して、人口減少に歯止めをかけ、人口増につなげるような思い切った政策の実施も期待したい。

1 義務教育のあり方

日本国憲法は、「主権が国民に存することを宣言し、民主主義を人類普遍の原理と定め、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚する」と述べ「日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓う」と謳いあげた。そして、ひとしく教育を受ける権利を保証し、教育を受けさせる義務を負わせた。

これを受け教育基本法は、教育の目的として「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」を掲げている。そして義務教育においては、国民に、保護する子に普通教育を受けさせる義務を負わせ、義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培うことを目的として行うこととしている。

さらに国及び地方公共団体は、義務教育の機会の保障、水準の確保と実施に責任を負うものとし、学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育を組織的に行い、教育を受ける者が、規律を重んじ、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視するよう求めている。

稲沢市においては、これらのことを義務教育のあるべき不易な姿として教育活動を推進していくべきである。

2 稲沢市の学校のあり方

稲沢市には100年以上の歴史と伝統を有する学校が多く存在する。学校教育法が求めている「我が国の歴史、伝統と文化の尊重と、我が国と郷土を愛する態度を養う」という精神を重く受け止め、これらの学校の存在意義を考えなければならない。しかしながら、どの学校も永久に現在の場所で存続するという保証はなく、時代の流れや社会状況により変わっていくことはやむを得ない。

昭和40年から50年代にかけての児童生徒数の増加時には、多くの学校が分離を余儀なくされ、新設校が建設された。しかし、少子化が急速に進む稲沢市における近未来社会を予想し、学校教育に関わる様々な条件を冷静に分析したとき、学校再編、校区再編は避けて通れない課題である。

ア 稲沢市の小中学校標準規模

稲沢市にとって学校再編、校区再編が不可避であるとすれば、子どもたちの学びや育ちを保証し、活力ある学校教育を推進していくためには、どの程度の学校規模がよりよいのかという標準を定める必要がある。稲沢市においては小中学校の標準規模を学級数と通学距離で設定する。

小学校においては

- ① 学級数による標準規模を、12学級（各学年2学級以上）から24学級とする。
- ② 通学距離の限度を、片道4km程度とし、4kmを超える場合は小学校低学年児童の体力を考慮し、スクールバス等の活用を考慮する。

中学校においては

- ① 学級数による標準規模を、6学級（各学年2学級以上）から24学級とする。
- ② 部活動が行われる中学校では、自転車通学も可能であることから通学距離の標準は特に定めない。

イ 学校再編、校区再編に関する基本方針

- ① 少子化の進捗に伴う地域の学校再編・校区再編を図り、学校を標準規模化するよう努める。
- ② 都市開発による人口増加地域については、学校の校区再編も視野に入れ、学校規模の標準規模化を目指す。

ウ 学校再編、校区再編の進め方

- ① 学校再編、校区再編を進めるときは、児童生徒、保護者、地域住民の学校に対する思いや判断を最大限尊重する。
- ② 学校再編の対象となる学校の児童生徒、保護者、地域住民には、学校再編が単なる学校の小規模校解消のためだけでなく、このことを契機として活力ある学校教育の展開と、新たな機能を有する学校建設の可能性をきちんと説明し、理解と納得を得るよう努力する。
- ③ 複数校を再編するときには、既存の学校を核として全面改築する手法、第三適地へ新たな学校を建設する手法など、多様な選択肢を考慮する。
これには財政的に大きな負担がかかることは否めない。しかし、将来の稲沢を、そして日本を背負う子どもたちのための投資であるという共通認識で立案し推進する。
- ④ 廃校となる学校の跡地利用については、保護者、地域住民とともに有効活用の方策を考える。
- ⑤ 人口増加時代に建設された新設校の校区設定には、地域住民や保護者の複雑な思いが傾注されている。しかし最近の都市開発による人口偏重により、学校規模がアンバランスになっている。そこで、そうした学校の校区を再考、再編し学校の標準規模化に協力を求める。

おわりに

これからの学校は、単に児童生徒を教育する場としての存在から、子育て支援の一翼を担う施設として有効活用することを積極的に考えるべきである。さらには地域住民の生涯学習拠点としての機能を付随したものなどを提案していきたい。

そうした観点から、今後、老朽化した校舎を有する学校の建て替えを検討するときには、「稲沢市の義務教育と学校のあるべき姿」を指針として、学校再編、校区再編の必要性、可能性を踏まえ議論していくことが望まれる。